

フリービルトインタイプ 設計・施工用資料集(総集編)

MBZ-2822AS

MBZ-3622AS

MBZ-4022AS

MBZ-5022AS



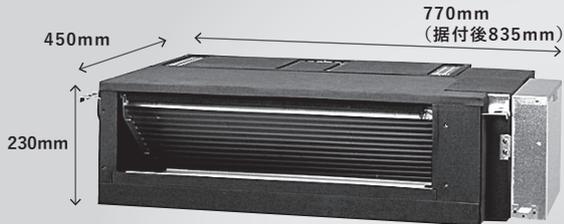
1. セールスポイント	4
2. リニューアルについて	6
2.1 一間幅天袋吊り設置をリニューアルする場合	7
2.2 一間幅天袋置き / 地袋置き設置をリニューアルする場合	8
2.3 下がり天井設置をリニューアルする場合	9
2.4 天井埋込ダクト設置をリニューアルする場合	10
3. 可能な施工例と構成図	11
4. 製品仕様表	15
5. 外形寸法図（出荷仕様）	17
6. 電気配線図	19
7. 据付工事	20
7.1 室内・室外機据付図	20
7.2 室内機の据付前に	21
7.3 室内機の据付手順	21
7.4 室内機の据付	22
7.5 電源電線・内外接続電線の接続	24
7.6 冷媒配管の接続および断熱	25
7.7 高天井及びダクト長（吸込側＋吹出側）が3mを超える場合	27
7.8 地袋設置の場合	27
7.9 遠隔操作別売部品の取付け	27
7.10 室内機切換	28
7.11 室外側ドレン配管	29
7.12 真空引き・リークテスト	29
7.13 試運転（必ず実施してください。）	30
7.14 据付時・据付工事後の確認	30
8. 据付時の注意事項	31
8.1 冷媒配管に関する注意事項	31
8.2 アース工事に関する注意事項	31
8.3 据付時およびアフターメンテナンスに関する注意事項	32
9. 設置パターン別施工要領	33
9.1 <パターンA> 半間幅天袋吊り設置 [一面グリル]、 <パターンB> 半間幅地袋置き設置 [一面グリル]	33
9.1.1 <パターンA> 別売部品と寸法図	33
9.1.2 <パターンB> 別売部品と寸法図	35
9.1.3 <パターンA> <パターンB> 据付要領	37
9.2 <パターンC> 半間幅天袋吊り設置 [分離グリル縦置き]	40
9.2.1 <パターンC> 別売部品と寸法図	40
9.2.2 <パターンC> 据付要領	43
9.3 <パターンD> 半間幅地袋置き設置 [分離グリル縦置き]	45
9.3.1 <パターンD> 別売部品と寸法図	45
9.3.2 <パターンD> 据付要領	48
9.4 <パターンE> 一間幅天袋吊り設置、<パターンF> 一間幅天袋置き設置	50
9.4.1 <パターンE> 別売部品と寸法図	50
9.4.2 <パターンF> 別売部品と寸法図	53
9.4.3 <パターンE> <パターンF> 据付要領	56
9.5 <パターンG> 一間幅地袋置き設置	58
9.5.1 <パターンG> 別売部品と寸法図	58
9.5.2 <パターンG> 据付要領	61
9.6 <パターンH> 下がり天井設置 [キャンバスダクトなし / あり]	63
9.6.1 <パターンH> [キャンバスダクトなし] 別売部品と寸法図	63
9.6.2 <パターンH> [キャンバスダクトあり] 別売部品と寸法図	66
9.6.3 <パターンH> 据付要領	70

9.7 <パターンI> 天埋設置下吸込パネルタイプ [1方向吹出・キャンバスダクトなし/あり]、 <パターンJ> 天埋設置下吸込パネルタイプ [2方向吹出・キャンバスダクトなし/あり] ……	74
9.7.1 <パターンI> [キャンバスダクトなし] 別売部品と寸法図 ……	74
9.7.2 <パターンI> [キャンバスダクトあり] 別売部品と寸法図 ……	78
9.7.3 <パターンJ> [キャンバスダクトなし] 別売部品と寸法図 ……	83
9.7.4 <パターンJ> [キャンバスダクトあり] 別売部品と寸法図 ……	87
9.7.5 <パターンI> <パターンJ> 据付要領 ……	92
9.8 <パターンK> 天埋設置吸吹両ダクトタイプ [1方向吹出]、 <パターンL> 天埋設置吸吹両ダクトタイプ [2方向吹出] ……	99
9.8.1 <パターンK> 別売部品と寸法図 ……	99
9.8.2 <パターンL> 別売部品と寸法図 ……	105
9.8.3 <パターンK> <パターンL> 据付要領 ……	111
9.9 <パターンM> 下がり天井タイプ [直付レール・フィルターセット利用] ……	117
9.9.1 <パターンM> 別売部品と寸法図 ……	117
9.9.2 <パターンM> 据付要領 ……	120
10. 別売部品据付要領	
■ 吹出チャンバー	MAC-500FC …… 122
■ 吹出グリル(白木・ホワイト)	MAC-501FG・502FG …… 123
■ 吹出ボックス	MAC-503FB …… 124
■ 吸込グリル(白木・ホワイト)	MAC-504SG・505SG …… 126
■ 吸込ボックス	MAC-506SB …… 127
■ 一面グリル(白木・ホワイト)	MAC-525TG・526TG …… 129
■ 一面グリル用据付ボックス	MAC-529TB …… 131
■ 下吸込パネル	MAC-530UP …… 133
■ キャンバスダクト	MAC-508CD …… 134
■ ダクト吸込チャンバー	MAC-509SC …… 135
■ ダクト吸込ボックス	MAC-510SB …… 136
■ ダクト吸込グリル(ホワイト/ベージュ)	MAC-511SG / 512SG …… 137
■ ロスナイ給気フランジ	MAC-513LK …… 138
■ ダクト吹出チャンバー	MAC-514FC …… 139
■ フレキシブルダクト(φ150、1m・2m)	MAC-515FD・516FD …… 140
■ ダクト大吹出ボックス	MAC-517FB …… 141
■ ダクト大吹出グリル(ホワイト/ベージュ)	MAC-518FG / 519FG …… 142
■ ダクト小吹出ボックス	MAC-520FB …… 143
■ ダクト小吹出グリル(ホワイト/ベージュ)	MAC-521FG / 522FG …… 144
■ レシーバー取付具	MAC-523RT …… 145
■ レシーバー延長コード	MAC-551RC …… 146
■ 本体フィルター設置レール	MAC-545HR …… 147
■ 本体用エアフィルター	MAC-546HF …… 148
11. 設置パターン別特性	
11.1 運転音 ……	149
[1] 運転音の表示 ……	149
[2] 音圧レベル測定点 (JIS C 9612 : 2005) ……	149
[3] 運転音 (音響パワーレベル、音圧レベル、NC 曲線) ……	150
11.2 設置パターン別の能力、消費電力 ……	155
11.2.1 ダクトを使用しない設置パターンの風量 ……	155
11.2.2 ダクトを使用した設置パターンの風量 ……	156
[1] 風量の求め方 ……	156
[2] 部材の風量・圧力損失特性 ……	157
[3] 風量・静圧特性 ……	158
11.2.3 能力・消費電力性能補正曲線 ……	170
12. 能力曲線図 ……	171
13. 故障診断 ……	173

1. セールスポイント

床の間の地袋、押入れの天袋・地袋、リビングの上がり天井・天井懐等、お部屋のつくりをいかしながら、省スペースでの設置ができます。
 お部屋の上の方へ設置するときは<上吸込 / 下吹出>、お部屋の下の方へ設置するときは<下吸込 / 上吹出>と変更することで、効率の良い冷房・暖房が可能です。
 また、吸込口と吹出口を別々にできるため、インテリアに合わせたいろいろな設置をご検討いただけます。

お部屋のインテリアにあわせて、自在にレイアウト。



*室内機寸法中()内の寸法は、電気品箱が付いた状態での寸法です。電気品箱は据付形態により取付け位置が異なります。
 *室内機本体以外は別売

■一面グリル設置



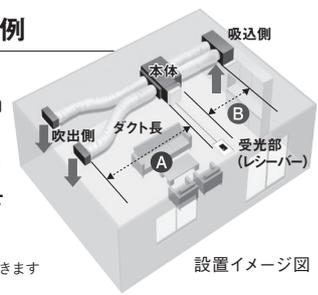
■分離グリル設置



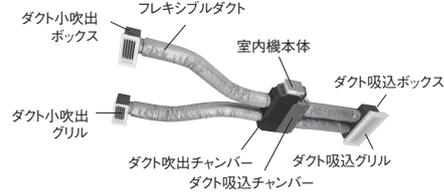
ダクト設置時の例

- A 吹出側(2本) 各6m
- B 吸込側(2本) 各1m
- A+B 各7m以下

受光部は別売部品で最大10mまで離して設置できます

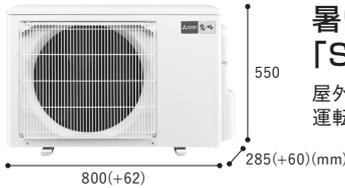


■天井埋込設置



室外機 * ()内の寸法は、サービスパネルおよび脚部の突出寸法です。

MUBZ-2822AS~5022AS



暑い夏に強い「STRONG冷房」
 屋外温度 46℃^{*1}でも運転が止まらない^{*2}。

新搭載

リモコン

- 便利な壁掛け穴付
- 0.5℃単位の温度設定
- 薄型
- スライド式カバー



冷暖房とも主に10畳 MBZ-2822AS

期間消費電力量	981kWh	省エネ基準達成率	100%	省エネ基準消費効率	5.4
冷房	8~12畳(13~19㎡)	能力(kW)	2.8	消費電力(W)	735
暖房	9~11畳(15~18㎡)	能力(kW)	4.0	消費電力(W)	1,015
低温暖房能力	外気温2℃時 4.7kW				
施工情報	単相 200V 15A	内・外選択(直結)	管:液φ6.35・ガスφ9.52 配管長30m(チャージレス10m)/高低差20m		
価格	室内:MBZ-2822AS-IN	170,000円(税別)	室外:MUBZ-2822AS	220,000円(税別)	本体価格 390,000円(税別)

設置パターン別に別売部品が必要です。

冷暖房とも主に12畳 MBZ-3622AS

期間消費電力量	1,362kWh	省エネ基準達成率	100%	省エネ基準消費効率	5.0
冷房	10~15畳(16~25㎡)	能力(kW)	3.6	消費電力(W)	1,050
暖房	11~13畳(17~22㎡)	能力(kW)	4.8	消費電力(W)	1,270
低温暖房能力	外気温2℃時 5.3kW				
施工情報	単相 200V 15A	内・外選択(直結)	管:液φ6.35・ガスφ9.52 配管長30m(チャージレス10m)/高低差20m		
価格	室内:MBZ-3622AS-IN	190,000円(税別)	室外:MUBZ-3622AS	240,000円(税別)	本体価格 430,000円(税別)

設置パターン別に別売部品が必要です。

冷暖房とも主に14畳 MBZ-4022AS

期間消費電力量	1,513kWh	省エネ基準達成率	100%	省エネ基準消費効率	5.0
冷房	11~17畳(18~28㎡)	能力(kW)	4.0	消費電力(W)	1,220
暖房	12~15畳(20~25㎡)	能力(kW)	5.6	消費電力(W)	1,700
低温暖房能力	外気温2℃時 5.9kW				
施工情報	単相 200V 15A	内・外選択(直結)	管:液φ6.35・ガスφ9.52 配管長30m(チャージレス10m)/高低差20m		
価格	室内:MBZ-4022AS-IN	210,000円(税別)	室外:MUBZ-4022AS	280,000円(税別)	本体価格 490,000円(税別)

設置パターン別に別売部品が必要です。

冷暖房とも主に16畳 MBZ-5022AS

期間消費電力量	2,149kWh	省エネ基準達成率	97%	省エネ基準消費効率	4.4
冷房	14~21畳(23~34㎡)	能力(kW)	5.0	消費電力(W)	2,230
暖房	14~17畳(23~29㎡)	能力(kW)	6.3	消費電力(W)	2,020
低温暖房能力	外気温2℃時 6.4kW				
施工情報	単相 200V 20A	内・外選択(直結)	管:液φ6.35・ガスφ9.52 配管長30m(チャージレス10m)/高低差20m		
価格	室内:MBZ-5022AS-IN	222,000円(税別)	室外:MUBZ-5022AS	331,000円(税別)	本体価格 553,000円(税別)

設置パターン別に別売部品が必要です。



(付属品の一部は除く)



- 上記価格は事業者様向けの見積価格であり、一般消費者様向けの販売価格ではありません。
- 掲載機種にアース線(アース棒)は同梱されていません。
- 掲載機種にドレンソケットは同梱されていません。
- 寒冷地でご使用の場合は、別売の室外機凍結防止ヒーターを設置してください。
- MBZ-3622AS~5022ASは既設配管がφ12.7(ガス側)の場合でも再利用可能です。別売の異径継手セット形名:MAC-A20JP 価格(税別):2,000円をご利用ください。

*1: 室外機の吸込み温度。ベランダなどの狭小スペースでは室外機周辺が高温度になることがあります。
 *2: 使用環境・設置状況により能力の低下があります。所定の設置スペースの確保が必要です。

(1) インテリアを重視したオーダーメイド感覚の設置が可能

住宅内の限られたデッドスペースを有効に活用できるコンパクトサイズの室内機です。

P11の施工例のように様々な設置パターンをインテリアにあわせて選べるオーダーメイド感覚のエアコンです。

(2) リブレース対応新冷凍機油

既設配管を洗浄レスで再利用できるリブレース対応新冷凍機油を採用。

(3) プラチナエアフィルターを搭載

プラチナエアフィルターを採用

別売部品吸込グリル(MAC-504SG/505SG)、下吸込パネル(MAC-530UP)、ダクト吸込ボックス(MAC-510SB)、一面グリル(MAC525TG/526TG)に同梱しています。

(4) ドレンアップメカを内蔵

室内機下面から最大500mmまでドレンアップ可能です。

(5) ロスナイセントラル換気ユニットとの接続が可能

天埋設置吸吹両ダクト(パターンK、パターンL)タイプの場合、別売部品ダクト吸込ボックス(MAC-510SB)使用時にロスナイセントラル換気ユニットから分岐ダクトを接続し、ロスナイセントラル換気ユニットの給気口を兼ねることができます。

また、このときロスナイに接続するため、別売部品ロスナイ給気フランジ(MAC-513LK)が必要となります。

別売部品ダクト吸込ボックス(MAC-510SB)にロスナイ給気フランジ(MAC-513LK)を取付けてください。

接続可能ロスナイセントラル形名

VL-25ZMHV ₂	VL-200ZMHSV ₄	VL-20PZMG ₄ -L(-R)
VL-20ZMH ₄ -L(-R)	VL-200ZMHS ₄	VL-15PZM ₄ -L(-R)
VL-15ZMH ₄ -L(-R)	VL-15CZ ₄ -L(-R)	VL-10PZM ₄ -L(-R)
VL-11ZF(H) ₂	VL-10CZ ₄ -L(-R)	VL-09ZF
VL-08ZF(H) ₂	VL-11ZFHV ₂	

●接続可能機種は増えることもありますのでご了承ください。

**(6) 週間スケジュールタイマー**

設定した曜日・時刻・温度に合わせて、運転を開始したり停止したり出来るので、生活パターンにあった効率的な運転が行えます。

1日最大4回まで時刻に合わせ設定できますので、電力会社の様々な新しい時間帯別料金制度に合わせ省エネ運転が可能です。

(7) 施工性も大幅アップで短工期を実現

「シングルスパナ + 配管接続」 + 「断熱材レス対応カバー」で配管作業が楽になりました。

(8) 「霧ヶ峰 REMOTE^{※3}」で、エアコンの遠隔操作や「週間スケジュールタイマー」設定が可能。

外出先^{※4}から運転オンや設定温度の変更ができるので、帰ったときにはお部屋が快適に。さらに、1週間の生活パターンに合わせて、設定した曜日ごとにタイマー設定もできます。

*お客様による設定が必要です。

*ダウンロードおよびサービスのご利用には通信料がかかります。

*機種により機能は異なります。くわしくは取扱説明書をご覧ください。

(9) システムコントロールが可能^{※3}

別売部品システム制御用インターフェイス MAC-333IF を使用することで、次のシステムコントロールが可能です。

- ① 集中管理
- ② ワイヤードリモコン化
- ③ 停電自動復帰または元電源発停
- ④ 遠方コントロール
- ⑤ HA-JEM-A 端子による制御
- ⑥ ロスナイとの連動

くわしくは、「システムコントロール商品技術ガイドブック」をご覧ください。

※3：別売部品のご購入と専用工事が必要です。無線 LAN アダプターとシステムコントローラーは併用できません。機種により機能は異なります。HEMSについて、くわしくは各コントローラーメーカーにご確認ください。

※4：エアコンやその周辺、お部屋にいる人の状態などを事前に十分確認してから操作してください。宅外操作の場合、設定から運転に反映するまで最大約5分かかります。

2. リニューアルについて

MBZ-**22AS シリーズにリニューアル可能です。下記を参照してください。

また MBZ-**10S、**14S の別売部品は使用できませんので、MBZ-**22AS の別売部品をご使用願います。リニューアルに際し、既設配管の利用が可能ですが、下記にご注意願います。

- 古いエアコン取外しの際には必ずポンプダウンを行い、冷媒・冷凍機油の回収を実施してください。
- 配管厚が下記であることを確認してください。
 $\phi 6.35 / \phi 9.52\text{mm}$ を使用する場合、配管厚 0.8mm以上あること。
 $\phi 12.7\text{mm}$ を使用する場合、配管厚 1.0mm以上あること。
- フレアは R410A 対応に切り直してください。
- 配管内が極端に汚れている場合には洗浄するか新しい配管に交換してください。
- 圧縮機に故障履歴がある場合は洗浄が必要です。
- 洗浄の際は R22 の場合は R22、R410A の場合は R410A を洗浄剤として使用してください。
- 窒素ブローでは不純物を除去できません。
- 施工用工具は、R410A 用を使用ください。

既設の形名	リニューアル機種の形名	設置パターン	掲載ページ
MBZ-2810S/2814S MBZ-3210S/3214S MBZ-4010S/4014S	MBZ-2822AS MBZ-3622AS MBZ-4022AS MBZ-5022AS	一間幅天袋吊り設置	7
		一間幅天袋置き設置	8
		一間幅地袋置き設置	8
		下がり天井設置	9
		天井埋込ダクト設置	10

- 冷媒配管 / ドレン配管の接続位置が異なるため、修正が必要です。
- 室内機の吊りボルトピッチが異なるため、修正が必要です。
- 電気品箱を背面に移した設置パターンでは、配管カバーを取り付ける際、ユニット配管側と壁面に 50mm程度のすき間が必要です。
- MBZ-**22AS シリーズは、ドレンポンプを内蔵していますので別売のドレンアップメカは不要です。
- MBZ-3622AS/4022AS/5022AS にリニューアルする場合、既設配管径が $\phi 12.7\text{mm}$ (ガス管) でも再利用可能です。
別売の異径継手：MAC-A20JP をご利用ください。
- MBZ-***PS/RAS/2AS/5AS/17AS/22AS シリーズは、同じ別売部品を使用できます。

2.1 一間幅天袋吊り設置をリニューアルする場合

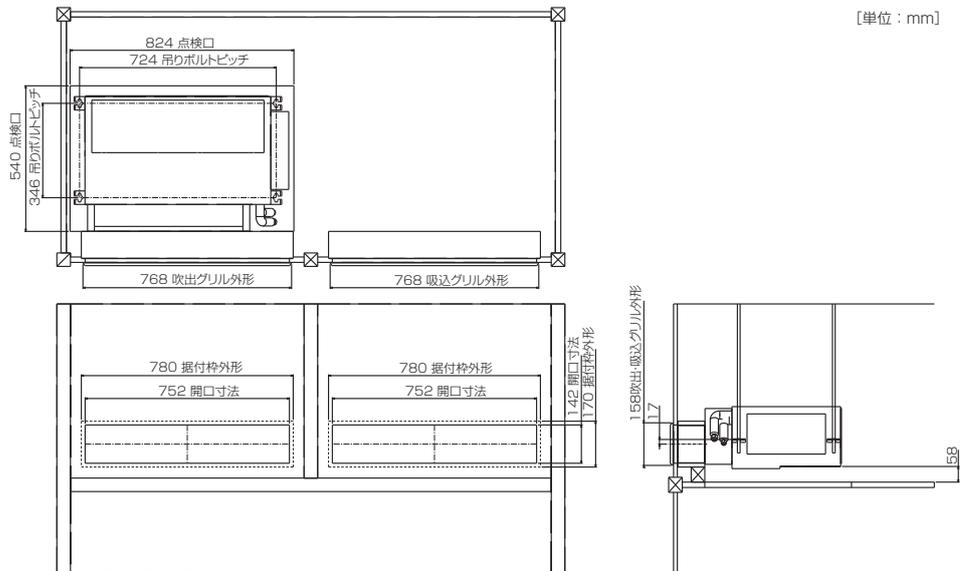
ポイント

- 新機種 (MBZ-**22AS) 用の吸込・吹出ボックス (据付枠)、吸込・吹出グリルを使用してください。
旧機種 (MBZ-**10S, **14S) 用の据付枠、グリルは使用できません (取付方法が異なります)。
- 壁開口穴はそのまま使用できます (吸込・吹出グリルの外形は新旧同一です)。
- 点検口は可能な場合は、新機種 (MBZ-**22AS) の寸法に広げてください。
点検口を広げられない場合、電気品を背面に移動してください
(電気品の移動方法は、据付工事説明書を参照してください)。
- 冷媒配管、ドレン配管接続位置が、室内機前面側から背面側に変更になっています。

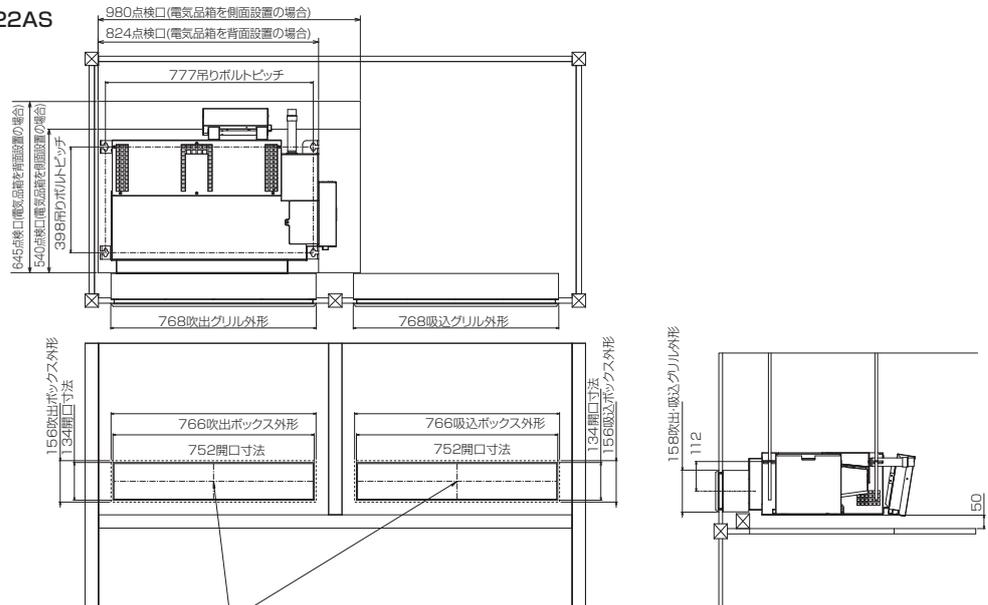
作業内容

1. 既存の室内機と据付枠を取外します。
2. 接続配管とドレン配管を所定位置に変更する。
ドレン配管：下り勾配 1/100 以上となるようにし、途中でトラップや山越えを作らないようにしてください。
3. 点検口を広げます。(可能な場合)
4. 吊りボルトの位置を変更します。
5. 新機種 (MBZ-**22AS) 用の吸込・吹出ボックス (据付枠) を既存の壁開口の中心に合わせて取付けます。
6. 新機種 (MBZ-**22AS) を据付工事説明書にしたがって据付ます (点検口を広げない場合は、電気品を背面に移動してください)。※本内容は一例です。様々な据付形態がありますので各現場にて適宜対応をお願いします。

●MBZ-28/32/4010S, 28/32/4014S



●MBZ-28/36/40/5022AS



2.2 一間幅天袋置き / 地袋置き設置をリニューアルする場合

[本図は、天袋設置の場合を示しますが、地袋設置の場合でも同様に実施してください。]

ポイント

- 新機種 (MBZ-**22AS) 用の吸込・吹出ボックス (据付枠)、吸込・吹出グリルを使用してください。
旧機種 (MBZ-**10S, **14S) 用の据付枠、グリルは使用できません (取付方法が異なります)。
- 壁開口穴・点検口はそのまま使用できます (吸込・吹出グリルの外形は新旧同一です)。
- 冷媒配管、ドレン配管接続位置が、室内機前面側から背面側に変更になっています。

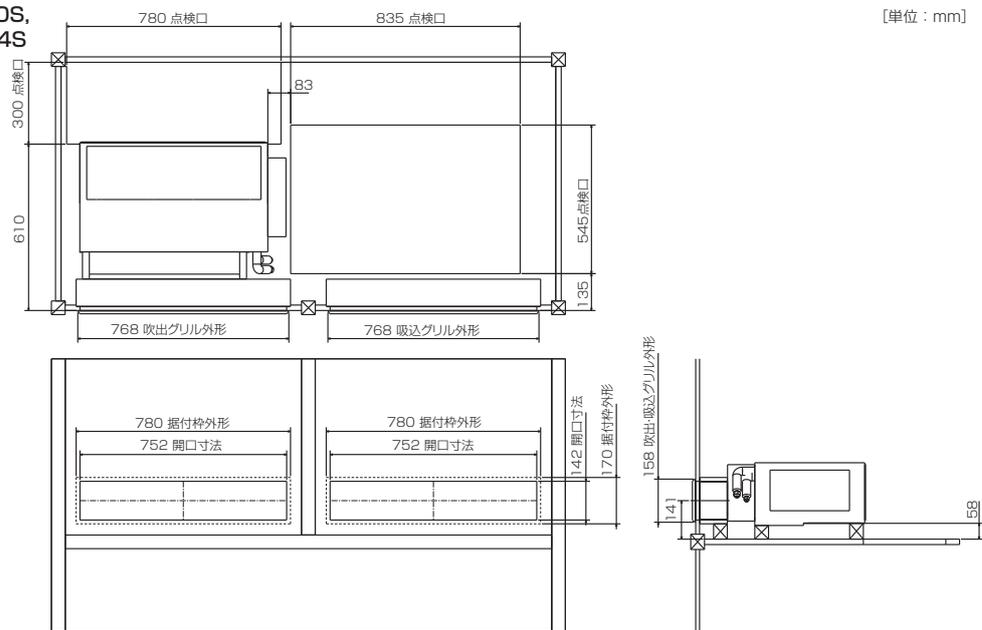
作業内容

1. 既存の室内機と据付枠を取外します。
2. 接続配管とドレン配管を所定位置に変更する。
ドレン配管：下り勾配 1/100 以上となるようにし、途中にトラップや山越えを作らないようにしてください。
3. 室内機の支柱の高さを新機種 (MBZ-**22AS) に合わせます。
4. 新機種 (MBZ-**22AS) 用の吸込・吹出ボックス (据付枠) を既存の壁開口の中心に合わせて取付けます。
5. 新機種 (MBZ-**22AS) を据付工事説明書にしたがって据付ます (既存の点検口を使用します)。

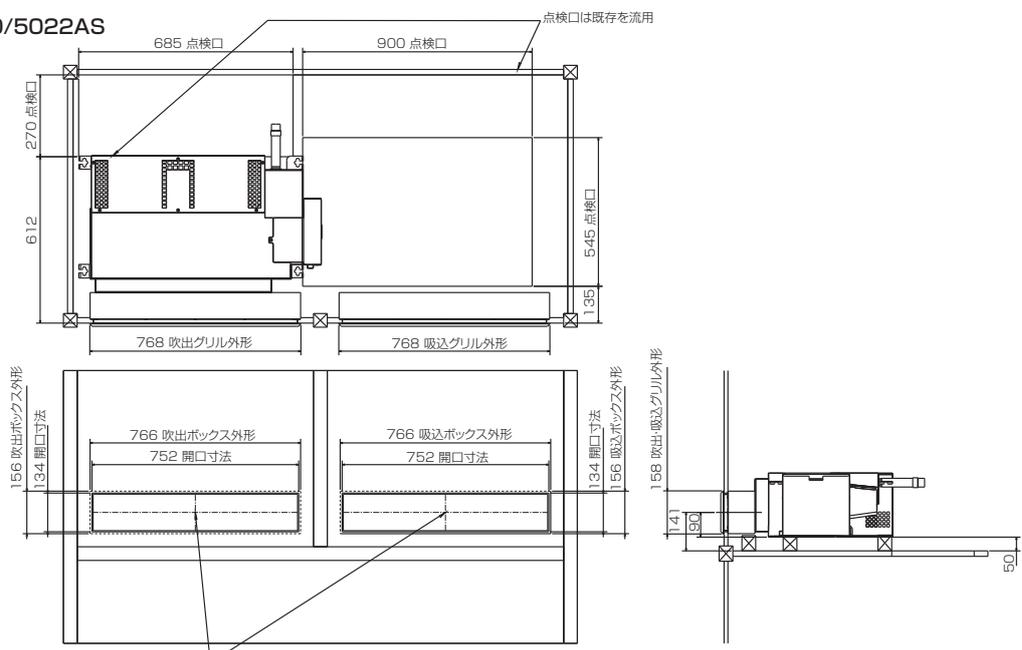
※本内容は一例です。様々な据付形態がありますので各現場にて適宜対応をお願いします。

●MBZ-28/32/4010S, 28/32/4014S

[単位：mm]



●MBZ-28/36/40/5022AS



開口穴は既存のまま、開口穴と吸込/吹出ボックスのセンターを合わせる。

2.3 下がり天井設置をリニューアルする場合

ポイント

- 新機種 (MBZ-**22AS) 用の吹出ボックス (据付枠)、吹出グリル、吹出チャンバー、下吸込パネルを使用してください。
旧機種 (MBZ-**10S、**14S) 用の物は使用できません。
- 壁開口穴・天井開口穴はそのまま使用します。
※壁開口穴と天井開口穴のセンター位置が旧機種 (MBZ-**10S、**14S) と異なります。
<旧機種 (MBZ-**10S、**14S) : 56mm、新機種 (MBZ-**22AS) : 36mm> 従って、下記に示した位置調整金具 (2個) とその固定ネジ (4個) が必要となります。尚、位置調整金具 (2個) とその固定ネジ (4個) は、現地にて調達してください。キャンバスダクトを使用する場合は、位置調整が可能のため、不要です。
- 冷媒配管、ドレン配管接続位置が、異なります。(修正してください。)

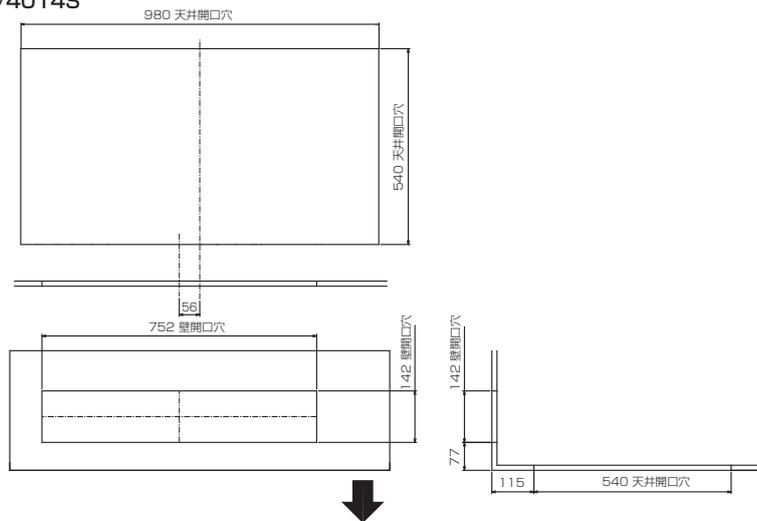
作業内容

1. 既存の室内機と据付枠を取外します。
2. 接続配管とドレン配管を所定位置に変更する。
ドレン配管：下り勾配 1/100 以上となるようにし、途中にトラップや山越えを作らないようにしてください。
3. 吊りボルト位置を変更します。
4. 新機種 (MBZ-**22AS) 用の吹出ボックス (据付枠) を既存の壁開口の中心に合わせて取付けます。
5. 吹出チャンバーを室内機に取付後、位置調整金具 (現地調達) を吹出チャンバーに取付けます。
下記を参照してください。
キャンバスダクトを使用する場合は、位置調整が可能のため、不要です。
6. 新機種 (MBZ-**22AS) を据付工事説明書にしたがって据付けます。

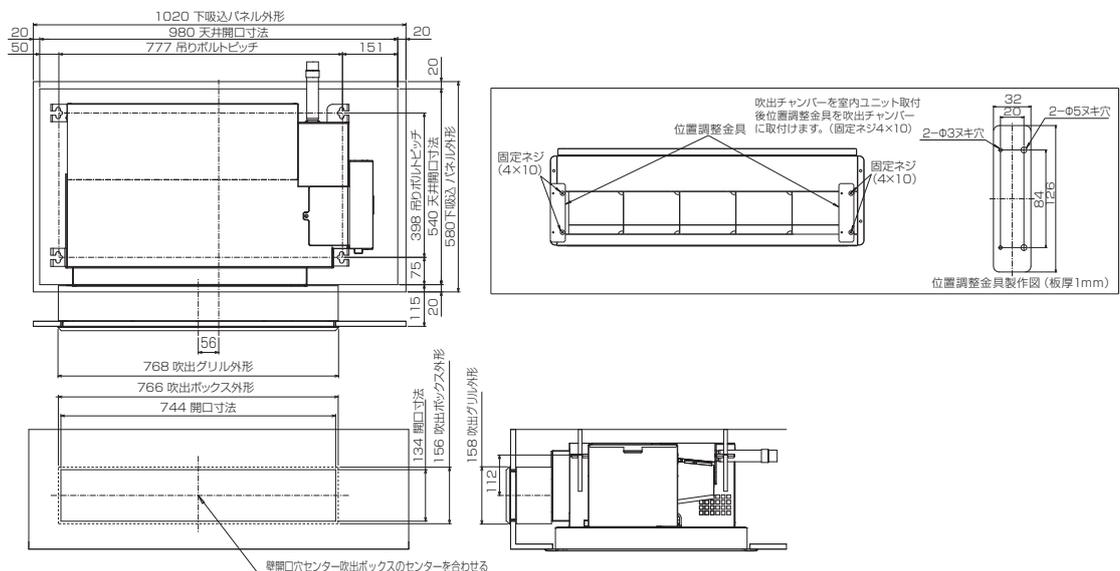
※本内容は一例です。様々な据付形態がありますので各現場にて適宜対応をお願いします。

●MBZ-28/32/4010S, 28/32/4014S

[単位 : mm]



●MBZ-28/36/40/5022AS



2.4 天井埋込ダクト設置をリニューアルする場合

ポイント

- 新機種 (MBZ-**22AS) 用のダクト吹出チャンバー、ダクト吸込チャンバーを使用してください。
旧機種 (MBZ-**10S、**14S) 用の物は使用できません。
- フレキシブルダクト径は、φ150 ですのでフレキシブルダクトと吹出・吸込グリルセットはそのまま使用できます。
但し、受信装置の取付形状が異なるため、受信装置取付用の開口穴を新たに設けてください。
吹出・吸込グリルを新機種 (MBZ-**22AS) 用にする場合は、天井の改装が必要になります。
- 点検口は可能な限り、新機種 (MBZ-**22AS) の寸法に広げてください。
点検口を広げられない場合、電気品をサービス可能な位置に移動し、固定してください
(ファンモータ、ドレンポンプのサービスは、既存の点検口から可能です)。
- 冷媒配管、ドレン配管接続位置が、異なります (修正してください)

作業内容

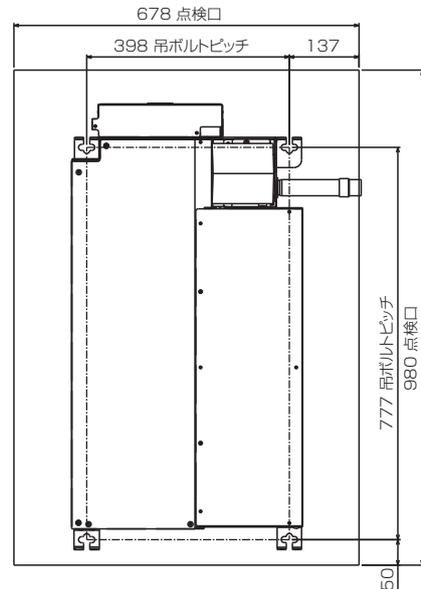
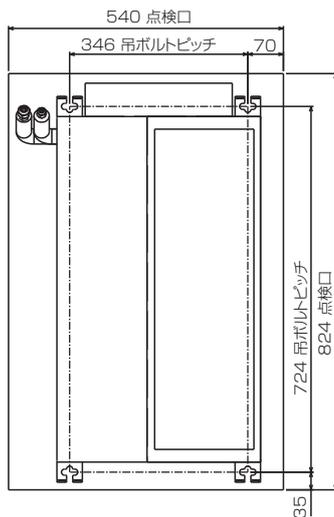
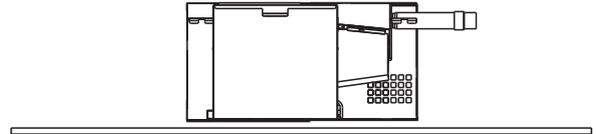
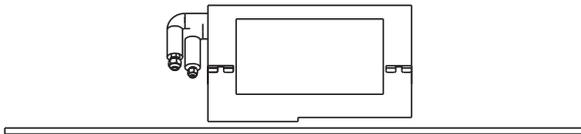
1. 既存の室内機を取外します。(フレキシブルダクトと吹出・吸込グリルセットは、そのまま使用します。)
2. 接続配管とドレン配管を所定位置に変更する。
ドレン配管：下り勾配 1/100 以上となるようにし、途中にトラップや山越えを作らないようにしてください。
3. 吊りボルト位置を変更します。
4. 新機種 (MBZ-**22AS) を据付工事説明書にしたがって据付けます。
5. 受信装置をレシーバー取付具を使用し取付けます。

※本内容は一例です。様々な据付形態が有りますので各現場にて適宜対応をお願いします。

●MBZ-28/32/4010S,
28/32/4014S

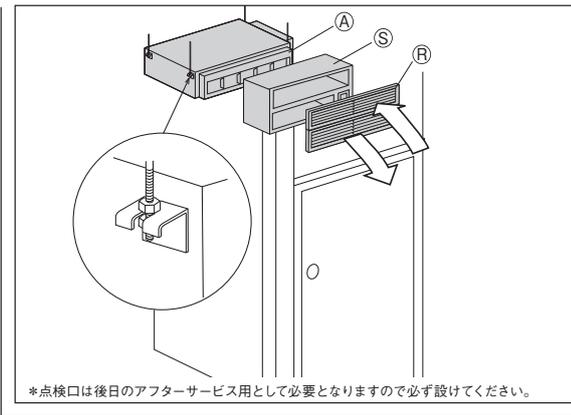
●MBZ-28/36/40/5022AS

[単位：mm]



3. 可能な施工例と構成図

パターン A 半間幅天袋吊り設置【一面グリル】(詳細は33ページを参照してください。)



■必要部品価格

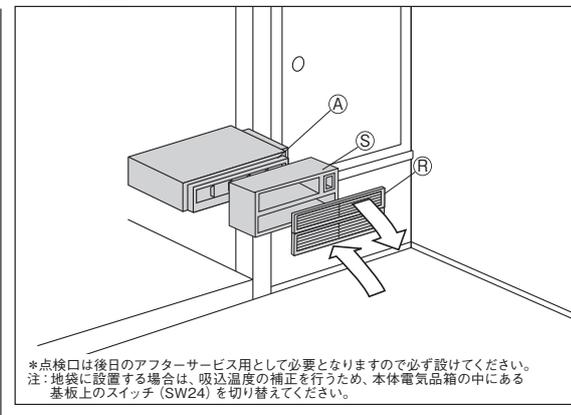
① MAC-500FC	6,000円(税別)
② MAC-525TG / MAC-526TG	各35,000円(税別)
③ MAC-529TB	20,000円(税別)
合計価格(工事費別)	61,000円(税別)

■別売部品一覧(□はイラスト図示部品)

品名	形名	価格(税別)
① 吹出チャンバー※1	MAC-500FC	6,000円
② 一面グリル(白木)※2	MAC-525TG	35,000円
③ 一面グリル(ホワイト)※2	MAC-526TG	35,000円
④ 一面グリル用据付ボックス	MAC-529TB	20,000円

※1:室内機の先行準備の時点で取り付けてください。 ※2:一面グリルは、いずれかを選定してください。

パターン B 半間幅地袋置き設置【一面グリル】(詳細は35ページを参照してください。)



■必要部品価格

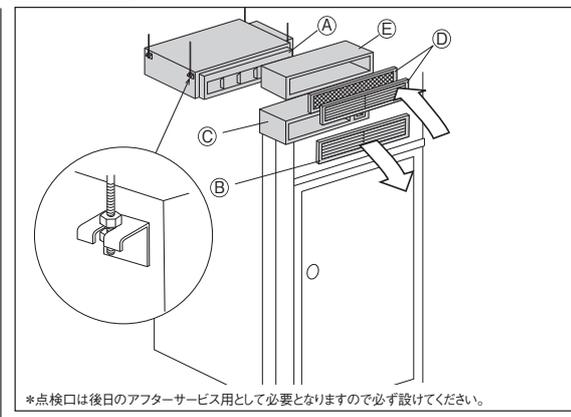
① MAC-500FC	6,000円(税別)
② MAC-525TG / MAC-526TG	各35,000円(税別)
③ MAC-529TB	20,000円(税別)
合計価格(工事費別)	61,000円(税別)

■別売部品一覧(□はイラスト図示部品)

品名	形名	価格(税別)
① 吹出チャンバー※2	MAC-500FC	6,000円
② 一面グリル(白木)※2	MAC-525TG	35,000円
③ 一面グリル(ホワイト)※2	MAC-526TG	35,000円
④ 一面グリル用据付ボックス	MAC-529TB	20,000円

※1:室内機の先行準備の時点で取り付けてください。 ※2:一面グリルは、いずれかを選定してください。

パターン C 半間幅天袋吊り設置【分離グリル縦置き】(詳細は40ページを参照してください。)



■必要部品価格

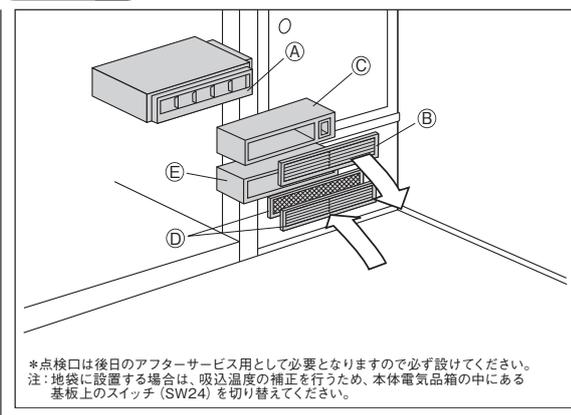
① MAC-500FC	6,000円(税別)
② MAC-501FG / MAC-502FG	各12,000円(税別)
③ MAC-503FB	8,000円(税別)
④ MAC-504SG / MAC-505SG	各14,000円(税別)
⑤ MAC-506SB	8,000円(税別)
合計価格(工事費別)	48,000円(税別)

■別売部品一覧(□はイラスト図示部品)

品名	形名	価格(税別)
① 吹出チャンバー ※1	MAC-500FC	6,000円
② 吹出グリル(白木) ※2	MAC-501FG	12,000円
③ 吹出グリル(ホワイト) ※2	MAC-502FG	12,000円
④ 吹出ボックス	MAC-503FB	8,000円
⑤ 吸込グリル(白木) ※3★	MAC-504SG	14,000円
⑥ 吸込グリル(ホワイト) ※3★	MAC-505SG	14,000円
⑦ 吸込ボックス	MAC-506SB	8,000円

※1 室内機の先行準備の時点で取り付けてください。 ※2 吹出グリルは、いずれかを選定してください。
※3 吸込グリルは、いずれかを選定してください。 ★フィルター付。

パターン D 半間幅地袋置き設置【分離グリル縦置き】(詳細は45ページを参照してください。)



■必要部品価格

① MAC-500FC	6,000円(税別)
② MAC-501FG / MAC-502FG	各12,000円(税別)
③ MAC-503FB	8,000円(税別)
④ MAC-504SG / MAC-505SG	各14,000円(税別)
⑤ MAC-506SB	8,000円(税別)
合計価格(工事費別)	48,000円(税別)

■別売部品一覧(□はイラスト図示部品)

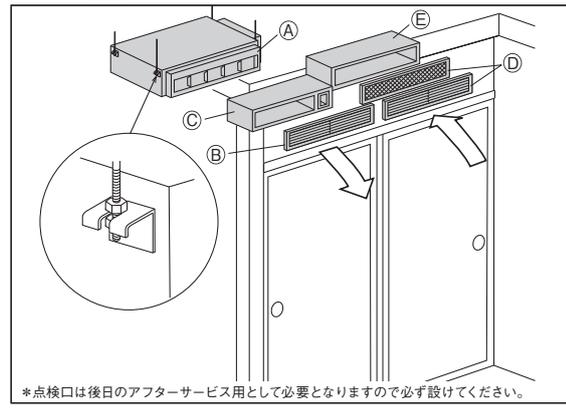
品名	形名	価格(税別)
① 吹出チャンバー ※1	MAC-500FC	6,000円
② 吹出グリル(白木) ※2	MAC-501FG	12,000円
③ 吹出グリル(ホワイト) ※2	MAC-502FG	12,000円
④ 吹出ボックス	MAC-503FB	8,000円
⑤ 吸込グリル(白木) ※3★	MAC-504SG	14,000円
⑥ 吸込グリル(ホワイト) ※3★	MAC-505SG	14,000円
⑦ 吸込ボックス	MAC-506SB	8,000円

※1 室内機の先行準備の時点で取り付けてください。 ※2 吹出グリルは、いずれかを選定してください。
※3 吸込グリルは、いずれかを選定してください。 ★フィルター付。

* 価格(税別)は事業者様向けの積算見積価格であり、一般消費者様向けの販売価格ではありません。

(写真・イラストはすべてイメージです)

パターン E 一間幅天袋吊り設置(詳細は50ページを参照してください。)



必要部品価格

④ MAC-500FC	6,000円(税別)
⑤ MAC-501FG / MAC-502FG	各12,000円(税別)
③ MAC-503FB	8,000円(税別)
⑥ MAC-504SG / MAC-505SG	各14,000円(税別)
② MAC-506SB	8,000円(税別)

合計価格(工事費別)

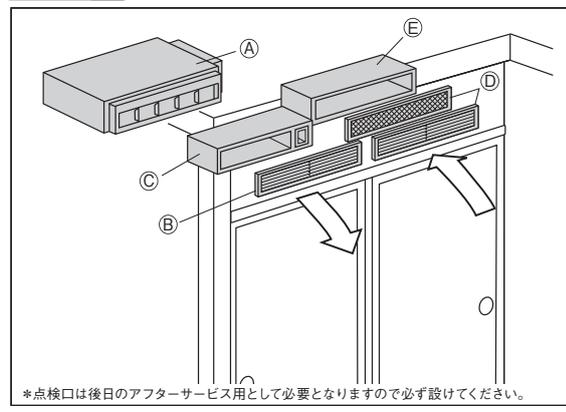
48,000円(税別)

別売部品一覧 (□はイラスト図示部品)

品名	形名	価格(税別)
④ 吹出チャンバー ※1	MAC-500FC	6,000円
⑤ 吹出グリル(白木) ※2	MAC-501FG	12,000円
⑥ 吹出グリル(ホワイト) ※2	MAC-502FG	12,000円
③ 吹出ボックス	MAC-503FB	8,000円
⑦ 吸込グリル(白木) ※3★	MAC-504SG	14,000円
⑧ 吸込グリル(ホワイト) ※3★	MAC-505SG	14,000円
② 吸込ボックス	MAC-506SB	8,000円

※1 室内機の先行準備の時点で取り付けてください。 ※2 吹出グリルは、いずれかを選定してください。
 ※3 吸込グリルは、いずれかを選定してください。 ★フィルター付。

パターン F 一間幅天袋置き設置(詳細は53ページを参照してください。)



必要部品価格

④ MAC-500FC	6,000円(税別)
⑤ MAC-501FG / MAC-502FG	各12,000円(税別)
③ MAC-503FB	8,000円(税別)
⑥ MAC-504SG / MAC-505SG	各14,000円(税別)
② MAC-506SB	8,000円(税別)

合計価格(工事費別)

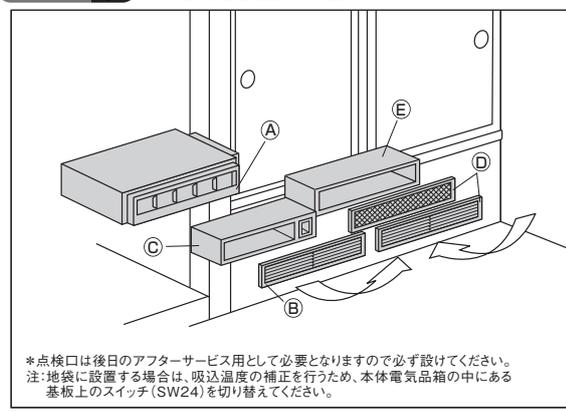
48,000円(税別)

別売部品一覧 (□はイラスト図示部品)

品名	形名	価格(税別)
④ 吹出チャンバー ※1	MAC-500FC	6,000円
⑤ 吹出グリル(白木) ※2	MAC-501FG	12,000円
⑥ 吹出グリル(ホワイト) ※2	MAC-502FG	12,000円
③ 吹出ボックス	MAC-503FB	8,000円
⑦ 吸込グリル(白木) ※3★	MAC-504SG	14,000円
⑧ 吸込グリル(ホワイト) ※3★	MAC-505SG	14,000円
② 吸込ボックス	MAC-506SB	8,000円

※1 室内機の先行準備の時点で取り付けてください。 ※2 吹出グリルは、いずれかを選定してください。
 ※3 吸込グリルは、いずれかを選定してください。 ★フィルター付。

パターン G 一間幅地袋置き設置(詳細は58ページを参照してください。)



必要部品価格

④ MAC-500FC	6,000円(税別)
⑤ MAC-501FG / MAC-502FG	各12,000円(税別)
③ MAC-503FB	8,000円(税別)
⑥ MAC-504SG / MAC-505SG	各14,000円(税別)
② MAC-506SB	8,000円(税別)

合計価格(工事費別)

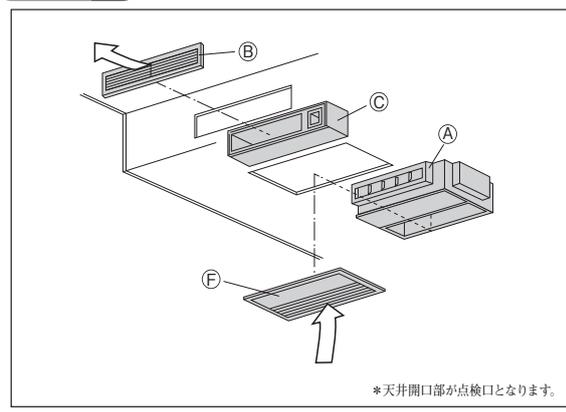
48,000円(税別)

別売部品一覧 (□はイラスト図示部品)

品名	形名	価格(税別)
④ 吹出チャンバー ※1	MAC-500FC	6,000円
⑤ 吹出グリル(白木) ※2	MAC-501FG	12,000円
⑥ 吹出グリル(ホワイト) ※2	MAC-502FG	12,000円
③ 吹出ボックス	MAC-503FB	8,000円
⑦ 吸込グリル(白木) ※3★	MAC-504SG	14,000円
⑧ 吸込グリル(ホワイト) ※3★	MAC-505SG	14,000円
② 吸込ボックス	MAC-506SB	8,000円

※1 室内機の先行準備の時点で取り付けてください。 ※2 吹出グリルは、いずれかを選定してください。
 ※3 吸込グリルは、いずれかを選定してください。 ★フィルター付。

パターン H 下がり天井設置[キャンバスダクトなし / あり] (詳細は63/66ページを参照してください。)



必要部品価格

④ MAC-500FC	6,000円(税別)
⑤ MAC-501FG / MAC-502FG	各12,000円(税別)
③ MAC-503FB	8,000円(税別)
⑥ MAC-530UP	45,000円(税別)

合計価格(工事費別)

71,000円(税別)

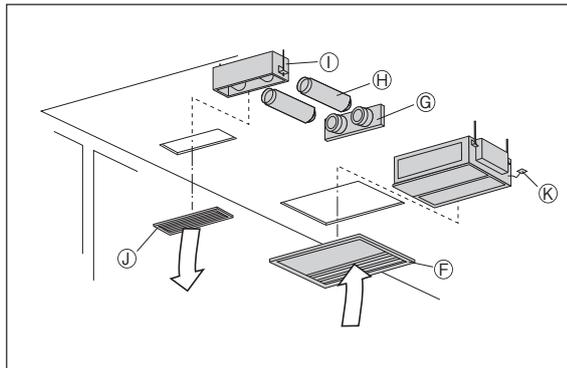
(□はイラスト図示部品)

別売部品一覧 ●必要に応じて「キャンバスダクト」をご使用になることもできます。

品名	形名	価格(税別)
④ 吹出チャンバー ※1	MAC-500FC	6,000円
⑤ 吹出グリル(白木) ※2	MAC-501FG	12,000円
⑥ 吹出グリル(ホワイト) ※2	MAC-502FG	12,000円
③ 吹出ボックス	MAC-503FB	8,000円
⑥ 下吸込パネル ※3	MAC-530UP	45,000円
レシーバー(リモコン受光部)取付具 ※4	MAC-523RT (オプション)	2,000円
キャンバスダクト	MAC-508CD (オプション)	30,000円
レシーバー(リモコン受光部)延長コード ※5	MAC-551RC (オプション)	8,000円

※1:室内機の先行準備の時点で取り付けてください。 ※2:吹出グリルは、いずれかを選定してください。 ※3:フィルター付。
 ※4:受信装置は吹出ボックスMAC-503FBに取付け可能ですが、それ以外の場所(天井など)に取り付ける場合にご使用ください。
 ※5:室内機に付属している長さ(2m)で不足する場合がございます。延長コードの長さ:10m

パターン I 天埋設置下吸込パネルタイプ[1方向吹出・キャンバスダクトなし / あり]☆ (詳細は74/78ページを参照してください。)



フレキシブルダクト使用制限

許容ダクト長	ダクト曲がり部
吹出側ダクト 7m以下	90°以下1か所

*天井開口部が点検口となります。

■必要部品価格 (ダクト長2mの場合)

⑤ MAC-530UP	45,000円(税別)
⑥ MAC-514FC	12,000円(税別)
⑦ MAC-516FD×2	26,000円(税別)
⑧ MAC-517FB	26,000円(税別)
⑨ MAC-518FG / MAC-519FG	各25,000円(税別)
⑩ MAC-523RT	2,000円(税別)
合計価格(工事費別)	136,000円(税別)

(□はイラスト図示部品)

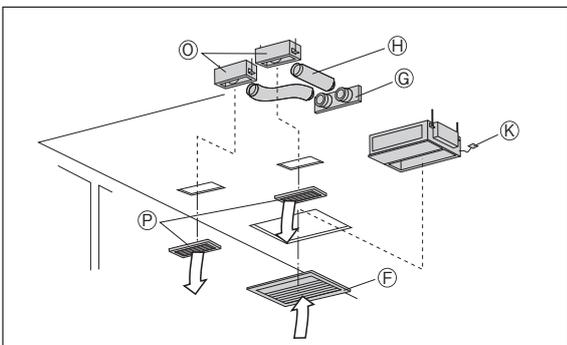
■別売部品一覧 ●必要に応じて「キャンバスダクト」をご使用になることもできます。

品名	形名	価格(税別)
⑤ 下吸込パネル※1	MAC-530UP	45,000円
⑥ ダクト吹出チャンパー※2	MAC-514FC	12,000円
⑦ フレキシブルダクト(φ150,2m)	MAC-516FD	13,000円
⑧ ダクト大吹出ボックス	MAC-517FB	26,000円
⑨ ダクト大吹出グリル(ホワイト)※3	MAC-518FG	25,000円
⑨ ダクト大吹出グリル(ベージュ)※3	MAC-519FG	25,000円
⑩ レシーバー(リモコン受光部)取付具	MAC-523RT	2,000円
キャンバスダクト	MAC-508CD(オプション)	30,000円
レシーバー(リモコン受光部)延長コード※4	MAC-551RC(オプション)	8,000円

※1:フィルター付。 ※2:室内機の先行準備の時点で取り付けてください。 ※3:吹出グリルは、いずれかを選定してください。 ※4:室内機に付属している長さ(2m)で不足する場合がございます。延長コードの長さ:10m *ドレンポンプは室内機に内蔵しています。ダクト小吹出グリルは2セット必要です。

☆ダクト長が3mを超える場合は、風量アップを図る必要があるため、電気品箱の中にある基板上的風量切換スイッチを切り替えてください。

パターン J 天埋設置下吸込パネルタイプ[2方向吹出・キャンバスダクトなし / あり]☆ (詳細は83/87ページを参照してください。)



フレキシブルダクト使用制限

許容ダクト長	ダクト曲がり部
吹出側ダクト 7m以下	90°以下1か所

*天井開口部が点検口となります。

■必要部品価格 (ダクト長2mの場合)

⑤ MAC-530UP	45,000円(税別)
⑥ MAC-514FC	12,000円(税別)
⑦ MAC-516FD×2	26,000円(税別)
⑧ MAC-520FB×2	40,000円(税別)
⑨ MAC-521FG / MAC-522FG×2	各36,000円(税別)
⑩ MAC-523RT	2,000円(税別)
合計価格(工事費別)	161,000円(税別)

(□はイラスト図示部品)

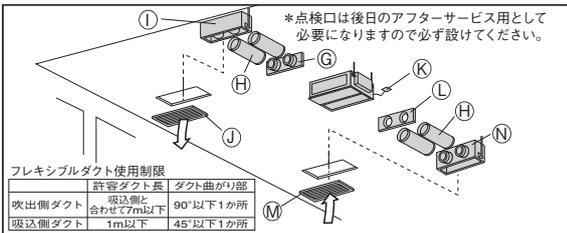
■別売部品一覧 ●必要に応じて「キャンバスダクト」をご使用になることもできます。

品名	形名	価格(税別)
⑤ 下吸込パネル※1	MAC-530UP	45,000円
⑥ ダクト吹出チャンパー※2	MAC-514FC	12,000円
⑦ フレキシブルダクト(φ150,1m)	MAC-515FD	9,000円
⑦ フレキシブルダクト(φ150,2m)	MAC-516FD	13,000円
⑧ ダクト小吹出ボックス	MAC-520FB	20,000円
⑨ ダクト小吹出グリル(ホワイト)※3	MAC-521FG	18,000円
⑨ ダクト小吹出グリル(ベージュ)※3	MAC-522FG	18,000円
⑩ レシーバー(リモコン受光部)取付具	MAC-523RT	2,000円
キャンバスダクト	MAC-508CD(オプション)	30,000円
レシーバー(リモコン受光部)延長コード※4	MAC-551RC(オプション)	8,000円

※1:フィルター付。 ※2:室内機の先行準備の時点で取り付けてください。 ※3:吹出グリルは、いずれかを選定してください。 ※4:室内機に付属している長さ(2m)で不足する場合がございます。延長コードの長さ:10m *ドレンポンプは室内機に内蔵しています。

☆ダクト長が3mを超える場合は、風量アップを図る必要があるため、電気品箱の中にある基板上的風量切換スイッチを切り替えてください。

パターン K 天埋設置吸吹両ダクトタイプ[1方向吹出]☆ (詳細は99ページを参照してください。)



フレキシブルダクト使用制限

許容ダクト長	ダクト曲がり部
吹出側ダクト 吸込側と合わせて7m以下	90°以下1か所
吸込側ダクト 1m以下	45°以下1か所

*点検口は後日のアフターサービス用として必要になりますので必ず設けてください。

■必要部品価格 (ダクト長吹出側2m、吸込側1mの場合)

① MAC-509SC	12,000円(税別)
② MAC-510SB	26,000円(税別)
③ MAC-511SG / MAC-512SG	各25,000円(税別)
④ MAC-514FC	12,000円(税別)
⑤ MAC-515FD×2	18,000円(税別)
⑥ MAC-516FD×2	26,000円(税別)
⑦ MAC-517FB	26,000円(税別)
⑧ MAC-518FG / MAC-519FG	各25,000円(税別)
⑩ MAC-523RT	2,000円(税別)
合計価格(工事費別)	172,000円(税別)

品名	形名	価格(税別)
① ダクト大吹出ボックス	MAC-517FB	26,000円
② ダクト大吹出グリル(ホワイト)※4	MAC-518FG	25,000円
② ダクト大吹出グリル(ベージュ)※4	MAC-519FG	25,000円
⑩ レシーバー(リモコン受光部)取付具	MAC-523RT	2,000円
ロスナイ給気フランジ※5	MAC-513LK(オプション)	3,000円
レシーバー(リモコン受光部)延長コード※6	MAC-551RC(オプション)	8,000円

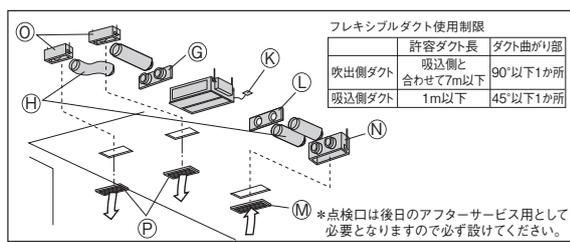
※1:室内機の先行準備の時点で取り付けてください。 ※2:フィルター付。 ※3:吸込グリルは、いずれかを選定してください。 ※4:吹出グリルは、いずれかを選定してください。 ※5:ロスナイ接続時のみご使用ください。 ※6:室内機に付属している長さ(2m)で不足する場合がございます。延長コードの長さ:10m *ドレンポンプは室内機に内蔵しています。

☆ダクト長が3mを超える場合は、風量アップを図る必要があるため、電気品箱の中にある基板上的風量切換スイッチを切り替えてください。

* 価格(税別)は事業者様向けの積算見積価格であり、一般消費者様向けの販売価格ではありません。

(写真・イラストはすべてイメージです)

パターン L 天埋設置吸吹両ダクトタイプ[2方向吹出] ☆(詳細は105ページを参照してください。)



別売部品一覧 (□はイラスト図示部品)

品名	形名	価格(税別)
ダクト吸込チャンバー※1	MAC-509SC	12,000円
ダクト吸込ボックス※2	MAC-510SB	26,000円
ダクト吸込グリル(ホワイト)※3	MAC-511SG	25,000円
ダクト吸込グリル(ベージュ)※3	MAC-512SG	25,000円
ダクト吹出チャンバー※1	MAC-514FC	12,000円
フレキシブルダクト(φ150,1m)	MAC-515FD	9,000円
フレキシブルダクト(φ150,2m)	MAC-516FD	13,000円

必要部品価格 (ダクト長吹出側2m、吸込側1mの場合)

MAC-509SC	12,000円(税別)
MAC-510SB	26,000円(税別)
MAC-511SG / MAC-512SG	各25,000円(税別)
MAC-514FC	12,000円(税別)
MAC-515FD×2	18,000円(税別)
MAC-516FD×2	26,000円(税別)
MAC-520FB×2	40,000円(税別)
MAC-521FG / MAC-522FG×2	各36,000円(税別)
MAC-523RT	2,000円(税別)

合計価格(工事費別)

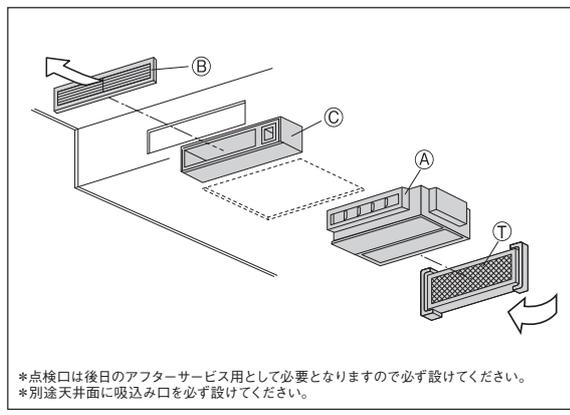
197,000円(税別)

品名	形名	価格(税別)
ダクト小吹出ボックス	MAC-520FB	20,000円
ダクト小吹出グリル(ホワイト)※4	MAC-521FG	18,000円
ダクト小吹出グリル(ベージュ)※4	MAC-522FG	18,000円
レシーバー(リモコン受光部)取付具	MAC-523RT	2,000円
ロスナイ給気フランジ※5	MAC-513LK(オプション)	3,000円
レシーバー(リモコン受光部)延長コード※6	MAC-551RC(オプション)	8,000円

※1:室内機の先行準備の時点で取り付けてください。 ※2:フィルター付。 ※3:吸込グリルは、いずれかを選定してください。 ※4:吹出グリルは、いずれかを選定してください。 ※5:ロスナイ接続時のみご使用ください。 ※6:室内機に付属している長さ(2m)で不足する場合には使用ください。延長コードの長さ:10m *ドレンポンプは室内機に内蔵しています。ダクト小吹出ボックスとダクト小吹出グリルは2セット必要です。

☆ダクト長が3mを超える場合は、風量アップを図る必要があるため、電気品箱の中にある基板上的風量切換スイッチを切り替えてください。

パターン M 下がり天井タイプ[直付レール・フィルターセット利用] (詳細は117ページを参照してください。)



必要部品価格

MAC-500FC	6,000円(税別)
MAC-501FG / MAC-502FG	各12,000円(税別)
MAC-503FB	8,000円(税別)
MAC-552HR	8,000円(税別)

合計価格(工事費別)

34,000円(税別)

別売部品一覧 (□はイラスト図示部品)

品名	形名	価格(税別)
吹出チャンバー※1	MAC-500FC	6,000円
吹出グリル(白木)※2	MAC-501FG	12,000円
吹出グリル(ホワイト)※2	MAC-502FG	12,000円
吹出ボックス	MAC-503FB	8,000円
直付レール・フィルターセット	MAC-552HR	8,000円

※1:室内機の先行準備の時点で取り付けてください。 ※2:吹出グリルは、いずれかを選定してください。

☆ダクト長が3mを超える場合は、風量アップを図る必要があるため、電気品箱の中にある基板上的風量切換スイッチを切り替えてください。

室内ユニット収納室は外部の空気を吸い込むことのないように配管貫通部、板の合わせ目などをしっかりふさいでください。

★フリービルトイン形の取扱説明書、据付工事説明書(設置パターン別施工要領)、関連別売部品据付工事説明書は暮らしと設備の業務支援サイト [WIN²K] に掲載しております。

暮らしと設備の業務支援サイト WIN²K

製品のカatalog・技術情報等はこちら

三菱電機WIN2K 検索

* 価格(税別)は事業者様向けの積算見積価格であり、一般消費者様向けの販売価格ではありません。

(写真・イラストはすべてイメージです)

4. 製品仕様表

項目		形名	室内 MBZ-2822AS-IN 室外 MUBZ-2822AS	室内 MBZ-3622AS-IN 室外 MUBZ-3622AS	
性能	冷房	標準能力 (kW)	2.8(0.9~3.3)	3.6(0.9~4.1)	
		暖房	4.0(0.7~6.5)	4.8(0.8~7.3)	
	通年エネルギー消費効率 (APF)	低温能力 (kW)	4.7	5.3	
		JIS C 9612 : 2005	5.4	5.0	
	運転音 (音響パワーレベル)	冷房	室内(強・中・弱・静) (dB)	56・52・50・48	58・54・51・48
			室外 (dB)	59	57
		暖房	室内(強・中・弱・静) (dB)	57・54・52・50	59・56・53・50
			室外 (dB)	60	58
電気特性	電源 (相・V・Hz)		単・200・50/60		
	定格 Hz	標準消費電力 (W)	735(190~930)	1,015(130~2,115)	1,050(165~1,300)
		運転電流 (A)	4.03	5.57	5.46
		力率 (%)	91	91	96
	最大電流 (A)	—	15.0	—	
	低温消費電力 (W)	—	1,870	—	
	始動電流 (A)	5.57		6.54	
	色調	(室内) - (室外)アイベリ(3.0Y7.8/1.1)		(室内) - (室外)アイベリ(3.0Y7.8/1.1)	
	外形寸法<高さ×幅×奥行> (mm)	(室内)230×770(+65)×450 (室外)550×800(+62)×285(+59.5)		(室内)230×770(+65)×450 (室外)550×800(+62)×285(+59.5)	
	製品質量 (kg)	(室内) 18 (室外) 33		(室内) 18 (室外) 35	
	冷媒量 <R410A> (kg)	1.20		1.15	
	熱交換器形式	加圧イン			
	内外接続電線	VVfケーブル 3芯・1本・φ2.0mm		VVfケーブル 3芯・1本・φ2.0mm	
	内外接続配管	許容値		配管長 30 ・ 高低差 20	
		パイプ径	ガス管 (mm)	φ9.52	
			液管 (mm)	φ6.35	
	ドレン接続口 (mm)	VP20接続		VP20接続	
	保護装置	圧縮機保護		電流検知/吐出温度検知	
送風機保護		(室内) 電流検知/回転速度検知 (室外) 電流検知/回転速度検知	(室内) 電流検知/回転速度検知 (室外) 電流検知/回転速度検知		
圧縮機	形名		KNB092FFAH		
	出力 (W)		750		
送風機	形式		(室内)シロッコファン (室外)ファン	(室内)シロッコファン (室外)ファン	
	出力 (W)		(室内)40 (室外)50	(室内)40 (室外)50	
	風量切替		(室内) 4段 (室外) 3段	(室内) 4段 (室外) 3段	
	冷房	回転速度 (rpm)	(室内)980 (室外)860	(室内)1,100 (室外)860	
		風量 (m³/h)	(室内)690 (室外)1,765	(室内)785 (室外)1,765	
	暖房	回転速度 (rpm)	(室内)980 (室外)795	(室内)1,100 (室外)795	
風量 (m³/h)		(室内)690 (室外)1,625	(室内)785 (室外)1,625		
コンセント形状・定格		端子台直結・15A			
電源電線(分岐回路)の太さと長さ		φ1.6/14、φ2.0/23			

1. 運転特性は JIS C 9612 : 2013 の条件で運転した場合の数値です。
 定格冷房能力(室内側: 27.0℃ [DB], 19.0℃ [WB], 外気温度: 35.0℃ [DB], 24.0℃ [WB])
 定格暖房能力<標準>(室内側: 20.0℃ [DB], 外気温度: 7.0℃ [DB], 6.0℃ [WB])
 <低温>(室内側: 20.0℃ [DB], 外気温度: 2.0℃ [DB], 1.0℃ [WB])
2. 運転音測定条件: 無響室, Aスケール, JIS C 9612 : 2013 (音響パワーレベル) によります。
3. 本仕様書は予告なく変更することがあります。
4. 能力、消費電力の () 内数値は、最小から最大までの可変巾を示しています。
5. 室内機外形寸法中 () 内の寸法は、電気品箱の寸法を示しています。
6. 室外機外形寸法中 () 内の寸法は、サービスパネルの突出寸法、取付足の突出寸法を示しています。
7. 設計圧力は 4.15MPa です。

項目		形名	室内 MBZ-4022AS-IN 室外 MUBZ-4022AS	室内 MBZ-5022AS-IN 室外 MUBZ-5022AS			
性能	冷房	標準能力 (kW)	4.0(0.9~4.3)	5.0(0.9~5.3)			
		標準能力 (kW)	5.6(0.8~8.1)	6.3(0.9~8.8)			
	暖房	低温能力 (kW)	5.9	6.4			
		通年エネルギー消費効率 (APF)	5.0	4.4			
	運転音 (音響パワーレベル)	JIS C 9612:2005		5.0	4.4		
		冷房	室内(強・中・弱・静) (dB)	58・54・51・48	61・56・51・48		
			室外 (dB)	60	62		
		暖房	室内(強・中・弱・静) (dB)	60・57・54・51	62・57・54・51		
室外 (dB)			63	63			
電気特性		電源(相・V・Hz)		単・200・50/60			
			冷房	暖房	冷房	暖房	
	定格 Hz	標準消費電力 (W)	1,220(165~1,350)	1,700(130~2,965)	2,230(240~2,410)	2,020(210~3,460)	
		運転電流 (A)	6.28	8.58	11.26	10.20	
		力率 (%)	97	99	99	99	
	最大電流 (A)		-	15.0	-	20.0	
	低温消費電力 (W)		-	2,620	-	3,060	
	始動電流 (A)		8.58		11.26		
	色調		(室内) - (室外)アイベリ(3.0Y7.8/1.1)		(室内) - (室外)アイベリ(3.0Y7.8/1.1)		
	外形寸法<高さ×幅×奥行> (mm)		(室内)230×770(+65)×450 (室外)550×800(+62)×285(+59.5)		(室内)230×770(+65)×450 (室外)550×800(+62)×285(+59.5)		
	製品質量 (kg)		(室内) 18 (室外) 35		(室内) 18 (室外) 35		
	冷媒量 <R410A> (kg)		1.15		1.15		
	熱交換器形式		知見		知見		
	内外接続電線		VVfケーブル 3芯・1本・φ2.0mm		VVfケーブル 3芯・1本・φ2.0mm		
	内外接続配管	許容値		配管長 30・高低差 20		配管長 30・高低差 20	
		パイプ径	ガス管 (mm)	φ9.52		φ9.52	
			液管 (mm)	φ6.35		φ6.35	
			ドレン接続口 (mm)	VP20接続		VP20接続	
	保護装置	圧縮機保護		電流検知/吐出温度検知		電流検知/吐出温度検知	
		送風機保護		(室内) 電流検知/回転速度検知 (室外) 電流検知/回転速度検知	(室内) 電流検知/回転速度検知 (室外) 電流検知/回転速度検知		
	圧縮機	形名		SNB140FRNH		SNB140FRNH	
		出力 (W)		1,100		1,300	
送風機	形式		(室内)ソックファン (室外)ブレードファン	(室内)ソックファン (室外)ブレードファン			
	出力 (W)		(室内)40 (室外)50	(室内)40 (室外)50			
	風量切替		(室内) 4段 (室外) 3段	(室内) 4段 (室外) 3段			
	冷房	回転速度 (rpm)	(室内)1,100 (室外)960	(室内)1,180 (室外)1,010			
		風量 (m³/h)	(室内)785 (室外)1,960	(室内)850 (室外)2,380			
	暖房	回転速度 (rpm)	(室内)1,100 (室外)950	(室内)1,180 (室外)950			
風量 (m³/h)		(室内)785 (室外)1,945	(室内)850 (室外)1,945				
コンセント形状・定格		端子台直結・15A		端子台直結・20A			
電源電線(分岐回路)の太さと長さ		φ1.6/14、φ2.0/23		φ2.0/17			

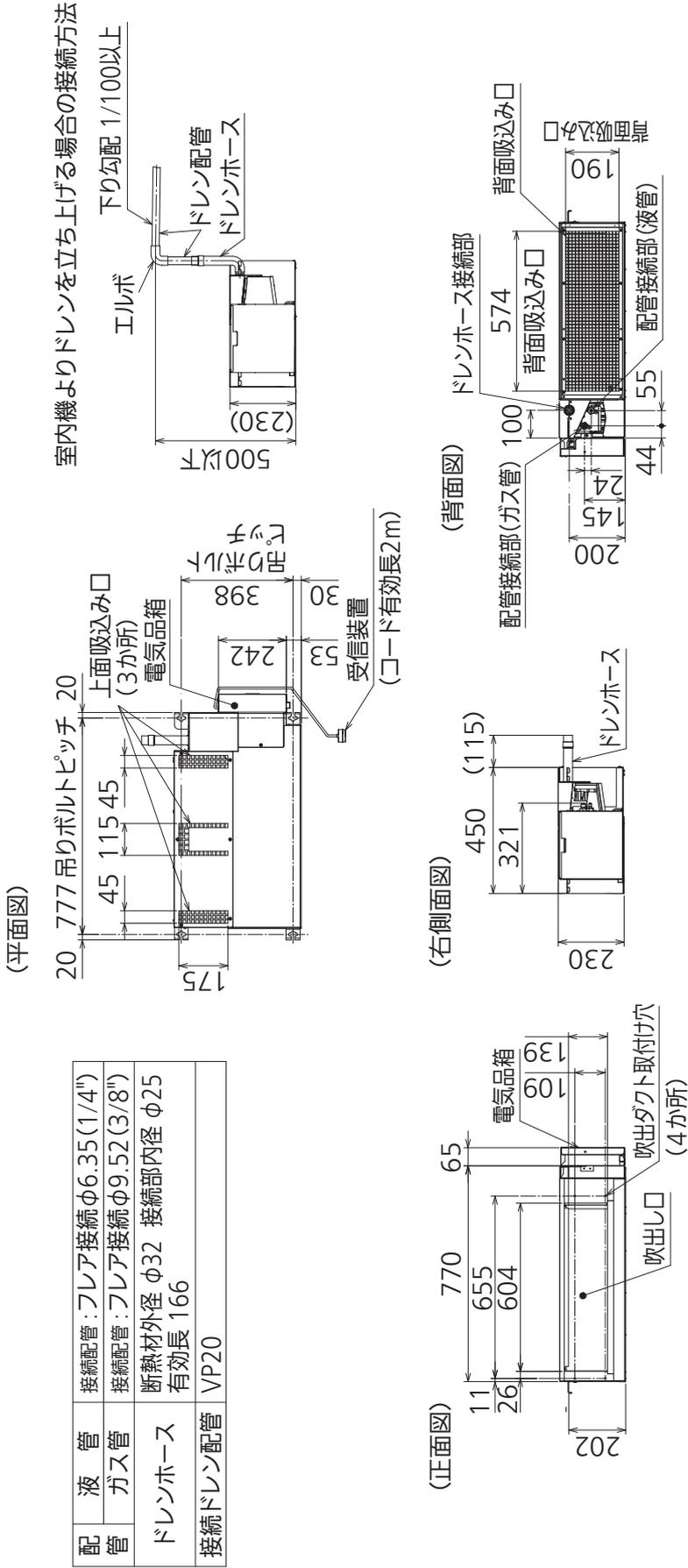
1. 運転特性は JIS C 9612:2013 の条件で運転した場合の数値です。
 定格冷房能力(室内側: 27.0℃ [DB], 19.0℃ [WB], 外気温度: 35.0℃ [DB], 24.0℃ [WB])
 定格暖房能力<標準>(室内側: 20.0℃ [DB], 外気温度: 7.0℃ [DB], 6.0℃ [WB])
 <低温>(室内側: 20.0℃ [DB], 外気温度: 2.0℃ [DB], 1.0℃ [WB])
2. 運転音測定条件: 無響室, Aスケール, JIS C 9612:2013 (音響パワーレベル) によります。
3. 本仕様書は予告なく変更することがあります。
4. 能力、消費電力の()内数値は、最小から最大までの可変巾を示しています。
5. 室内機外形寸法中()内の寸法は、電気品箱の寸法を示しています。
6. 室外機外形寸法中()内の寸法は、サービスパネルの突出し寸法、取付足の突出し寸法を示しています。
7. 設計圧力は 4.15MPa です。

5. 外形寸法図

室内機 〈出荷仕様〉

MBZ-2822AS-IN MBZ-3622AS-IN MBZ-4022AS-IN MBZ-5022AS-IN

単位 : mm



液管	接続配管 : フレア接続 φ6.35 (1/4")
ガス管	接続配管 : フレア接続 φ9.52 (3/8")
ドレンホース	断熱材外径 φ32 接続部内径 φ25 有効長 166
接続ドレン配管	VP20

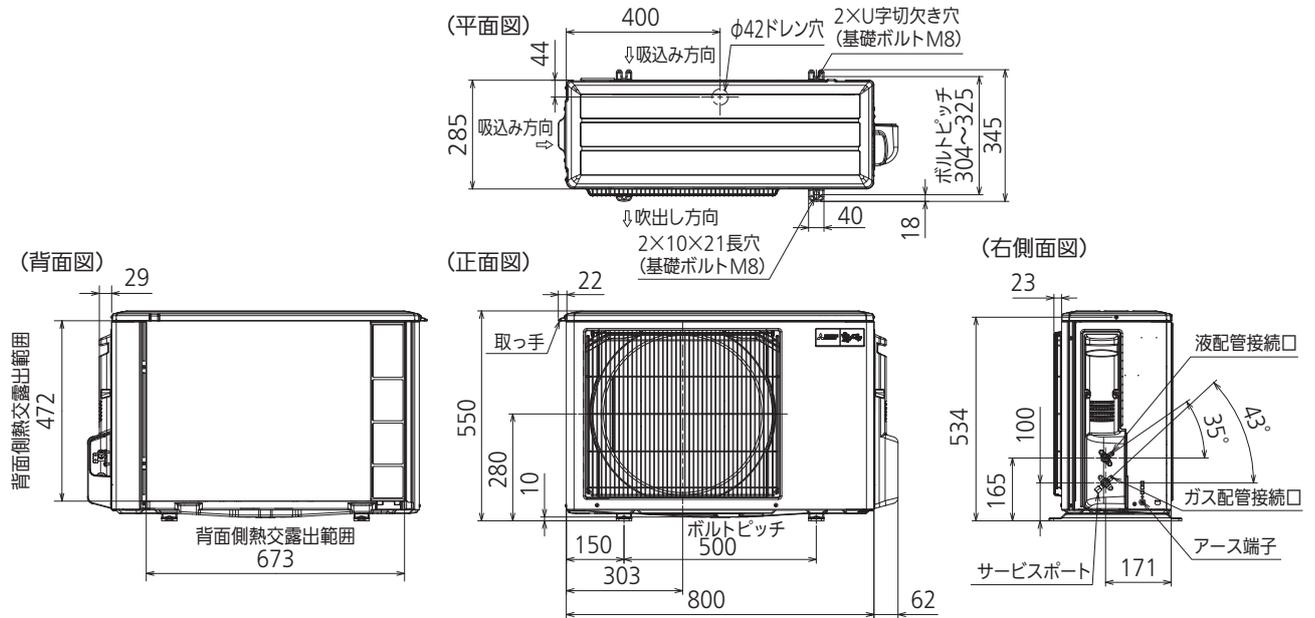
受信装置外形図	
リモコン外形図	

*小数点以下は端数処理を行っているため、合算値が一部合わない箇所がございます。

室外機

MUBZ-2822AS
MUBZ-3622AS
MUBZ-4022AS
MUBZ-5022AS

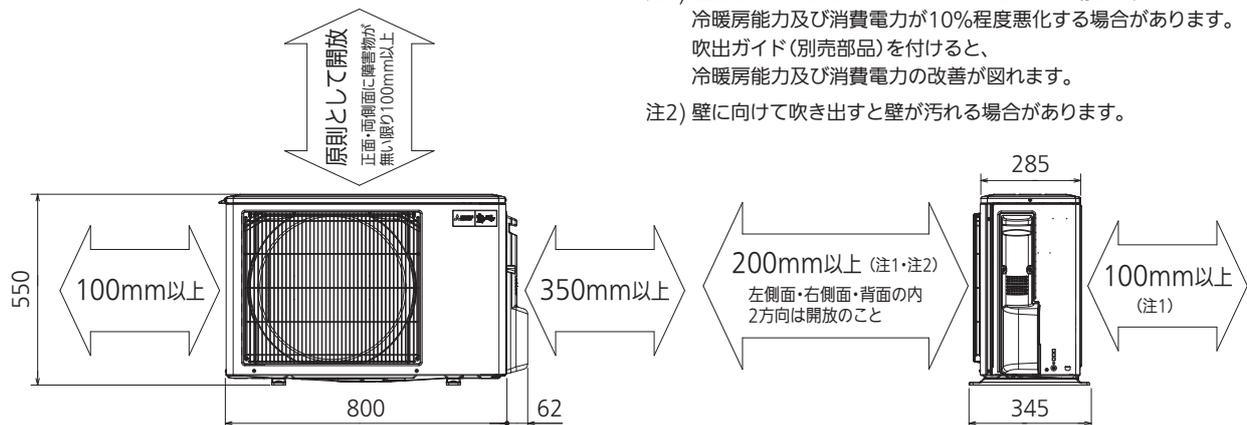
単位: mm



設置必要スペース

室外ユニットの据付上最小のスペース

- 注1) 風通しが悪くショートサイクルがおきやすい場合は、冷暖房能力及び消費電力が10%程度悪化する場合があります。吹出ガイド(別売部品)を付けると、冷暖房能力及び消費電力の改善が図れます。
- 注2) 壁に向けて吹き出すと壁が汚れる場合があります。



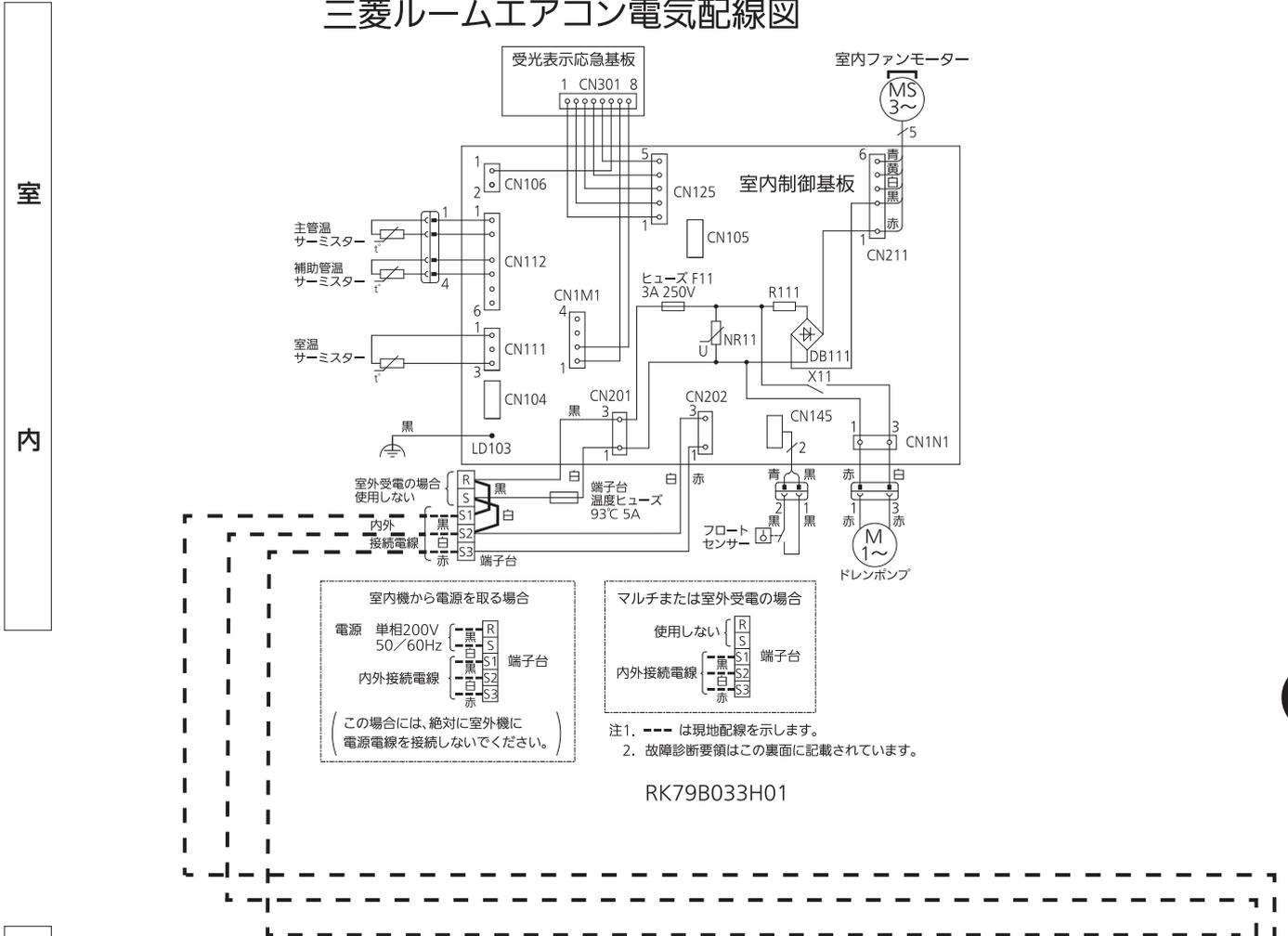
形名	MUBZ-2822AS MUBZ-3622AS MUBZ-4022AS MUBZ-5022AS
液管配管接続口	接続配管 φ6.35 フレア接続 6.35(1/4")
ガス管配管接続口	接続配管 φ9.52 フレア接続 9.52(3/8")

6. 電気配線図

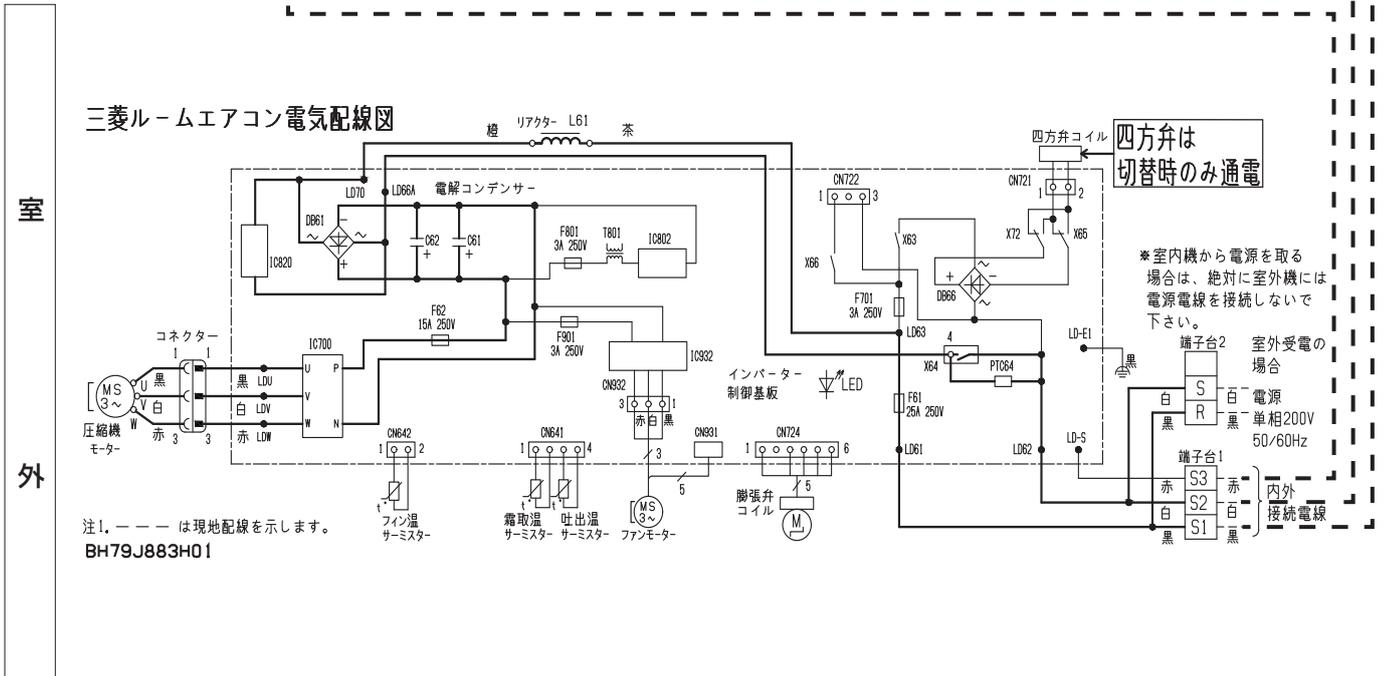
本図に示す電気部品は全て安全部品 (△) です。安全および性能維持上特に重要です。交換の際は必ず指定品をお使いください。

MBZ-2822AS-IN・MUBZ-2822AS
 MBZ-3622AS-IN・MUBZ-3622AS
 MBZ-4022AS-IN・MUBZ-4022AS
 MBZ-5022AS-IN・MUBZ-5022AS

三菱ルームエアコン電気配線図



三菱ルームエアコン電気配線図



7. 据付工事

7.1 室内・室外機据付図

(詳しくは据付工事説明書をご覧ください。)

使用部品 (各項目のイラストを参照し、確認してください)

室内機付属部品		
①	アルカリ乾電池 リモコン用単4形	2
②	特殊座金 (クッション付4個)	8
③	パイプバンド(大)	1
④	電気品箱背面取付金具(半間幅設置用)	2
⑤	③の固定用ネジ 4×10	4
⑥	断熱材(200×130 t3)	3
⑦	断熱材(202×140 t3) ※L字形	1
⑧	断熱材(218×629 t3)	1
⑨	断熱材(230×145 t3)	1
⑩	リモコン	1

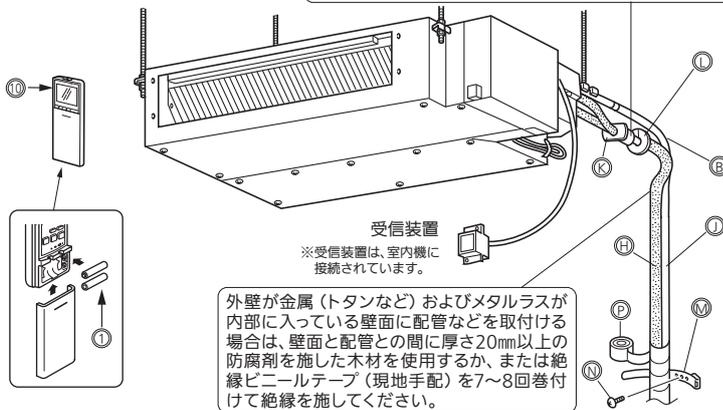
このエアコンは、設置パターンによって別売部品が必ず必要です。使用別売部品については設置パターン別の項を参照してください。

- 据付前に付属部品を確認してください。
- 現地で準備していただく部品の数量は室内機と室外機各1台の場合の使用数です。
- 内外接続電線⑩については3芯φ2.0mmを推奨しますが、室内受電の最大電流15A以下の機種かつ電線長さ10m以内の場合は3芯φ1.6mmも使用できます。室外受電の場合は3芯φ1.6mmも使用できます。(2芯φ2.0mmと2芯φ1.6mmを組み合わせ使用しないでください)最大電流値については取扱説明書またはカタログを確認してください。
- 市販の銅管を使用する場合、JIS H 3300「銅および銅合金継目無管」のC1220タイプで内部の付着油量は40mg/10m以下、配管肉厚は0.8mmのものを使用してください。

現地で準備していただく部品(別売部品および一般市販部品)					
Ⓐ	冷媒配管(内外接続配管) (梱包表示による)	1	Ⓒ	配管穴補修部品 バテ、カバー(または石膏など)	1
Ⓑ	ドレン配管 VP20(外径φ26mm)	1	Ⓜ	配管固定用バンド	2~7
Ⓒ	電源電線VVfケーブル2芯φ2.0mm	1	Ⓝ	Ⓜの固定用ネジ	2~7
Ⓓ	内外接続電線VVfケーブル3芯φ2.0mm	1	Ⓔ	配管テープ	1~5
Ⓔ	吊りボルト(M10)	4	Ⓕ	据付工事部品一式 水さしなど	—
Ⓕ	フランジ付きナット(M10)	8	Ⓖ	ビニールホース(内径φ15mm)室外側ドレン配管を接続する場合に使用	1
Ⓖ	六角ナット(M10)	4	Ⓙ	ドレンソケット(別売部品)	1
Ⓙ	冷媒配管用断熱材 耐熱発泡ポリエチレン 比重0.045 肉厚14mm以上 相当品	1	Ⓚ	アース棒(別売部品)	1
Ⓚ	ドレン配管用断熱材 発泡ポリエチレン 比重0.03 肉厚10mm以上 相当品	1	Ⓛ	塩ビ系接着剤	少量
Ⓛ	壁穴用スリーブ(別売部品)	1	Ⓧ	室外機の置台	2
—			—	設置パターン別 別売部品	—

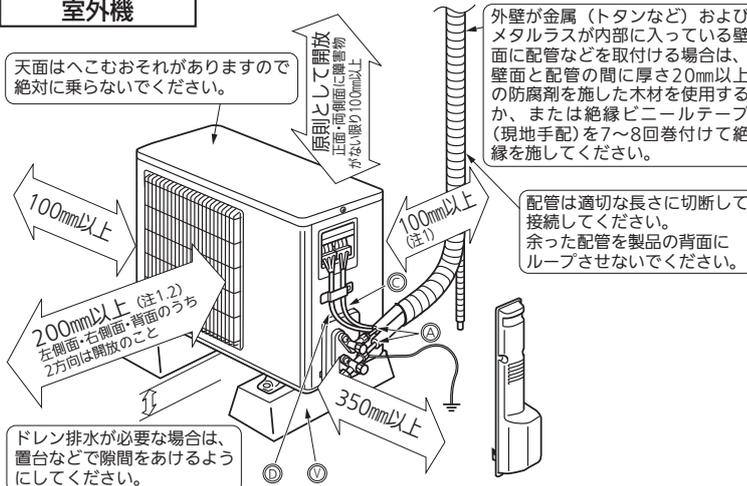
室内機

内外接続電線と壁の中の金属部との接触や、小動物の侵入などを防止するため、壁穴用スリーブ⑩は必ずご使用ください。
※集合住宅に設置する場合で配管類が防火区画を貫通するときは、耐火措置として耐火キャップ(現地手配)が必要です。

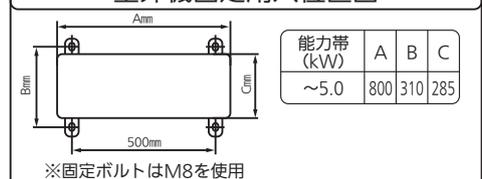


室外機

天面はへこむおそれがありますので絶対に乗らないでください。



室外機固定用穴位置図



※左記の(⇔)印寸法は、エアコンの性能を保証するために必要な空間です。後々のサービス、補修なども考慮してできるだけ周囲の空間が大きくとれる場所に設置してください。

注1. 風通しが悪くショートサイクルが起きやすい場合は、冷暖房能力および消費電力が10%程度悪化する場合があります。「吹出ガイド」(別売部品)を付けると冷暖房能力および消費電力の改善が図れます。

注2. 壁に向けて吹き出すと壁が汚れる場合があります。

7.2 室内機の据付前に

- 室内機は、別売部品の使用により下表の据付が可能です。

<据付設置例>

据付パターン	一間幅設置		半間幅設置		天井埋込設置		
	天袋	地袋	天袋	地袋	下がり天井	天井内	
使用別売部品	吹出チャンバー (MAC-500FC) 吹出グリル (白木) (MAC-501FG) 吹出グリル (ホワイト) (MAC-502FG) 吹出ボックス (MAC-503FB) 吸込グリル (白木) (MAC-504SG) 吸込グリル (ホワイト) (MAC-505SG) 吸込ボックス (MAC-506SB)	吹出チャンバー (MAC-500FC) 吹出グリル (白木) (MAC-501FG) 吹出グリル (ホワイト) (MAC-502FG) 吹出ボックス (MAC-503FB) 吸込グリル (白木) (MAC-504SG) 吸込グリル (ホワイト) (MAC-505SG) 吸込ボックス (MAC-506SB)	吹出チャンバー (MAC-500FC) 吹出グリル (白木) (MAC-501FG) 吹出グリル (ホワイト) (MAC-502FG) 吹出ボックス (MAC-503FB) 吸込グリル (白木) (MAC-504SG) 吸込グリル (ホワイト) (MAC-505SG) 吸込ボックス (MAC-506SB)	吹出チャンバー (MAC-500FC) 吹出グリル (白木) (MAC-501FG) 吹出グリル (ホワイト) (MAC-502FG) 吹出ボックス (MAC-503FB) 下吸込パネル (MAC-530UP) キャンバスダクト (MAC-508CD)	吹出チャンバー (MAC-500FC) 吹出グリル (白木) (MAC-501FG) 吹出グリル (ホワイト) (MAC-502FG) 吹出ボックス (MAC-503FB) 下吸込パネル (MAC-530UP) キャンバスダクト (MAC-508CD)	ダクト吸込チャンバー (MAC-509SC) ダクト吸込ボックス (MAC-510SB) ダクト吸込グリル (ホワイト) (MAC-511SG) ダクト吸込グリル (ベージュ) (MAC-512SG) ロスナイ給気フランジ (MAC-513LK) ダクト吸込チャンバー (MAC-514FC) フレキシブルダクト (φ150.1m) (MAC-515FD) フレキシブルダクト (φ150.2m) (MAC-516FD) ダクト大吹出ボックス (MAC-517FB) ダクト大吹出グリル (ホワイト) (MAC-518FG) ダクト大吹出グリル (ベージュ) (MAC-519FG) ダクト小吹出ボックス (MAC-520FB) ダクト小吹出グリル (ホワイト) (MAC-521FG) ダクト小吹出グリル (ベージュ) (MAC-522FG) レシーバー取付具 # (MAC-523RT) レシーバー延長コード # (MAC-524RC)	ダクト吸込チャンバー (MAC-509SC) ダクト吸込ボックス (MAC-510SB) ダクト吸込グリル (ホワイト) (MAC-511SG) ダクト吸込グリル (ベージュ) (MAC-512SG) ロスナイ給気フランジ (MAC-513LK) ダクト吸込チャンバー (MAC-514FC) フレキシブルダクト (φ150.1m) (MAC-515FD) フレキシブルダクト (φ150.2m) (MAC-516FD) ダクト大吹出ボックス (MAC-517FB) ダクト大吹出グリル (ホワイト) (MAC-518FG) ダクト大吹出グリル (ベージュ) (MAC-519FG) ダクト小吹出ボックス (MAC-520FB) ダクト小吹出グリル (ホワイト) (MAC-521FG) ダクト小吹出グリル (ベージュ) (MAC-522FG) レシーバー取付具 # (MAC-523RT) レシーバー延長コード # (MAC-524RC)

: レシーバー取付具/レシーバー延長コードは、一間幅/半間幅/下がり天井設置の場合でも使用可能です。

- 室内ユニットにドレンポンプを内蔵しています。
- 各々の据付パターンには、室内ユニットの先行準備が必要です。詳細は各設置パターンの据付要領の項を参照してください。

7.3 室内機の据付手順

順序	一間幅天袋設置		半間幅天袋設置	一間幅地袋設置	半間幅地袋設置	下がり天井設置	天埋設置 吸込両ダクトタイプ	天埋設置 下吸込パネルタイプ
	室内ユニット吊り	室内ユニット置き	室内ユニット吊り	室内ユニット置き	室内ユニット置き	室内ユニット吊り	室内ユニット吊り	室内ユニット吊り
1	室内ユニット点検口および開口穴の設定							
2	吹出ボックス/吸込ボックス/(据付ボックス)の取付					吹出ボックスの取付	ダクト吹出大(小)ボックス/ダクト吸込ボックス※/レシーバー取付具の取付	ダクト吹出大(小)ボックス/レシーバー取付具の取付
3	室内ユニットの先行準備							
	吹出チャンバーの取付						ダクト吸込・吹出チャンバーの取付/風量切替SWの切替	ダクト吹出チャンバーの取付/風量切替SWの切替
	-		室内ユニットの部品脱着				室内ユニットの部品脱着/レシーバー延長コードへの交換	室内ユニットの部品脱着/レシーバー延長コードへの交換
	-		電気品箱の背面取付設置場所切替えの設定	-		電気品箱の背面取付設置場所切替えの設定	キャンバスダクトの取付	キャンバスダクトの取付
4	室内ユニットの吊り込み	室内ユニットの取付	室内ユニットの吊り込み	室内ユニットの取付		室内ユニットの吊り込み		
5	壁穴あけ							
6	ドレン配管接続							
7	電源電線/内外接続電線の接続、室内ユニット切替SWの設定							
8	冷媒配管接続							
9	受信装置の取付					下吸込パネルの取付/キャンバスダクトの固定	受信装置の取付	下吸込パネルの取付/キャンバスダクトの固定
10	吹出グリル/吸込グリル/(一面グリル)の取付					受信装置の取付	吸込・吹出大(小)グリルの取付	受信装置の取付
11	試運転					吹出グリルの取付	試運転	吹出グリルの取付
12	-					試運転	-	試運転

※ロスナイセントラル換気ユニットと接続する場合は、ロスナイ給気フランジ (MAC-513LK) を取り付けてください。

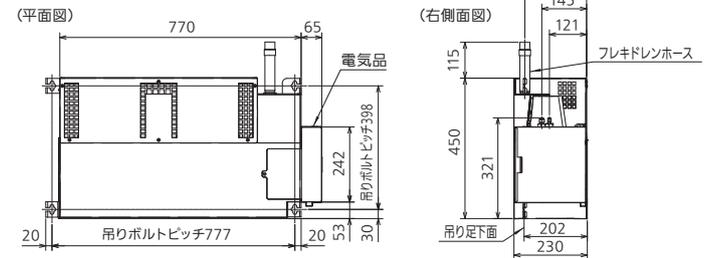
7.4 室内機の据付

7.4.1 吊り込み準備

室内機を吊る場合に行います。

- 室内機吊り下げ後、天井内での配管、配線接続作業が必要です。据付場所選定後、配管引出し方向を決定し、特に天井が既設の場合は、室内機を吊り上げる前に配管、配線接続位置まで冷媒・ドレン配管・内外接続電線を引いておいてください。
- 点検口寸法（天井開口寸法）は、据付パターンによって異なります。裏面の各設置構成図および設置スペース必要寸法をご覧ください。
- 点検口は必ず設けてください。アフターサービス用として必要になります。
- 設置スペースは据付作業を考慮し余裕ある寸法にしてください。
- 天井または壁面の処理…建物の構造により異なりますので、詳しくは建築、内装業者とご相談ください。

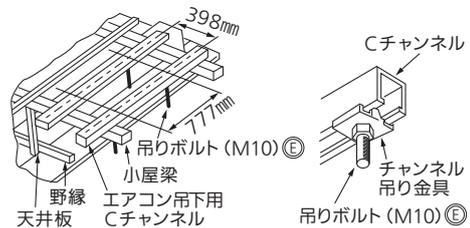
<室内ユニット外形図> (単位:mm)



吊りボルトの設置

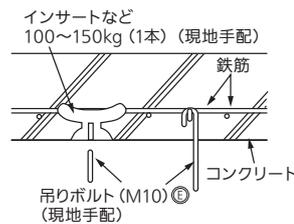
木造の場合

- 小屋梁<平屋建>または二階梁<二階建>を強度メンバーとしてください。
- 市販のCチャンネルとチャンネル吊り金具を使用してエアコンを吊り下げてください。
- 吊りボルトは M10 を用いてください。(現地手配)



鉄筋の場合

右図の方法で吊りボルトを固定するか、またはアングル・角材などを利用して吊りボルトを取付けてください。



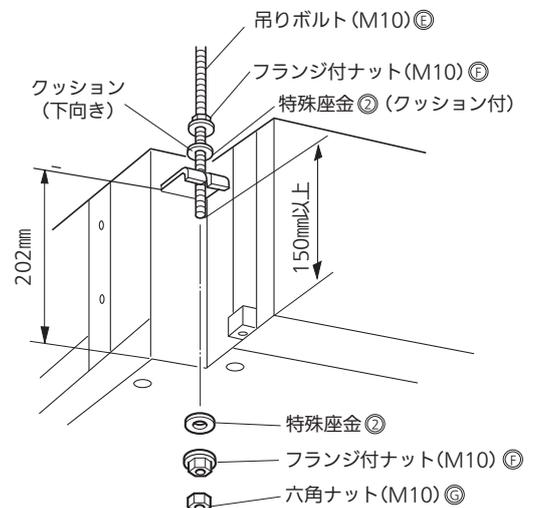
7.4.2 別売レシーバー取付具 (MAC-523RT) の設置

- 受信装置取付の際は、天井または壁に開口部を設けます。
※設置場所については 9. 設置パターン別施工要領をご参照ください。

7.4.3 吊り込み作業

吊りボルトのピッチを確認してください。(398mm×777mm)
※室内機下面から吊りボルト(M10)㊦下端まで150mm以上を確保してください。

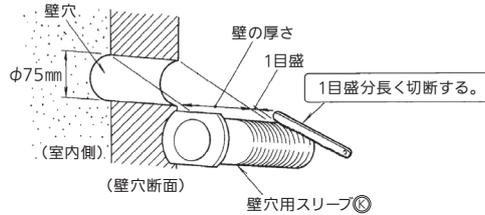
- 1) 吊りボルトにあらかじめフランジ付ナット(M10)、特殊座金㊦(2個)、フランジ付ナット(M10)㊦、六角ナット(M10)㊦の順に通しておく。
※クッション付特殊座金㊦はクッションを図の向きにしてセットしてください。
- 2) 室内機を吊り込みます。
取付足を特殊座金㊦の間に引っ掛けます。
- 3) フランジ付ナット(M10)㊦を締め付け固定します。
- 4) コーナー4か所が水平になっているか水準器で確認してください。



※水平に据付けていない場合、室内機から水が滴下する可能性があります。

7.4.4 壁穴あけ

- 1) 壁穴位置を決めます。
 - 2) $\phi 75\text{mm}$ の穴を外側に下がりぎみにあけます。
 - 3) 壁穴用スリーブ⑩をはめ込みます。
- ※壁穴用スリーブ⑩は冷媒配管用です。
ドレン配管用は別に設けてください。

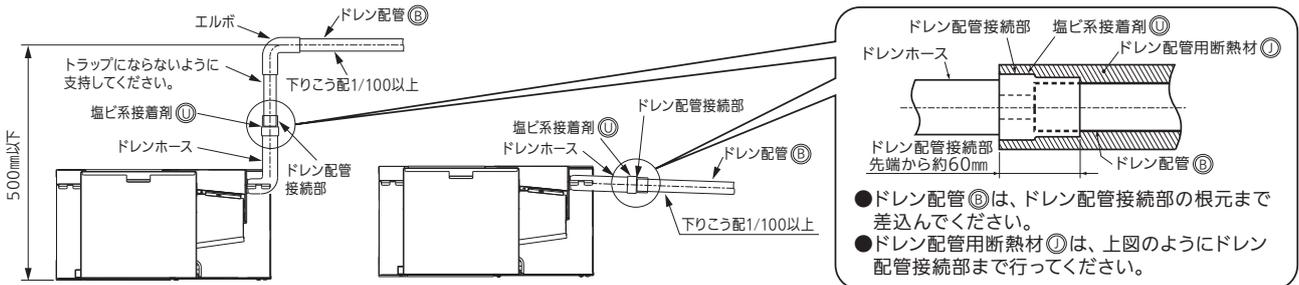
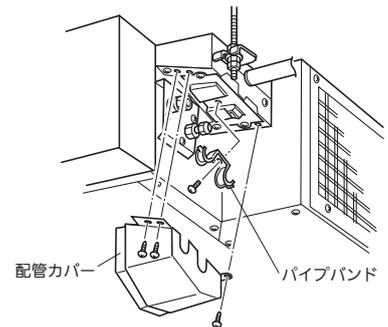


お願い

内外接続電線と壁の中の金属部との接触や、小動物の侵入などを防止するため、壁穴用スリーブ⑩は必ずご使用ください。

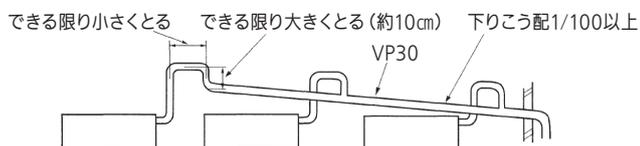
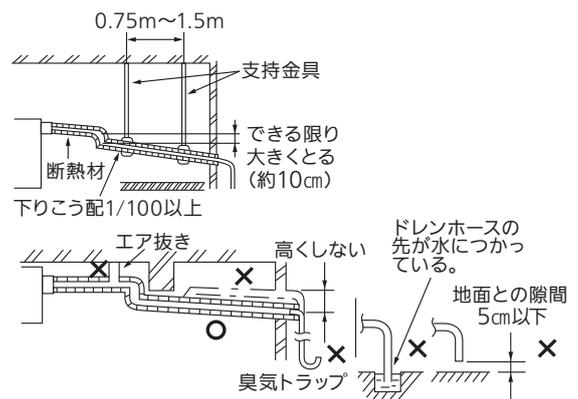
7.4.5 ドレン配管接続

- ドレン配管接続前に配管カバーとパイプバンドを外してください。
- ドレンホースのドレン配管接続部(ソケット側)はVP20を直接接続してください。
- ドレン配管⑨は、ドレン配管接続部の根元まで差込んでください。
- ドレン出口高さを上げたい場合は下記のように、室内機下面から最大500mmまで垂直に立ち上げた後、下りこう配1/100以上になるように支持金具を設けて施工してください。
- ドレン配管⑨は硬質塩ビパイプ一般管VP20(外径 $\phi 26\text{mm}$)を使用し接続部は下図のように接続し、必ず塩ビ系接着剤⑪にて漏れないように接着してください。



※ドレン出口の立ち上げ可能最大寸法は室内機下面より高さ約500mmですが、可能な限り立ち上げ寸法は小さくしてください。

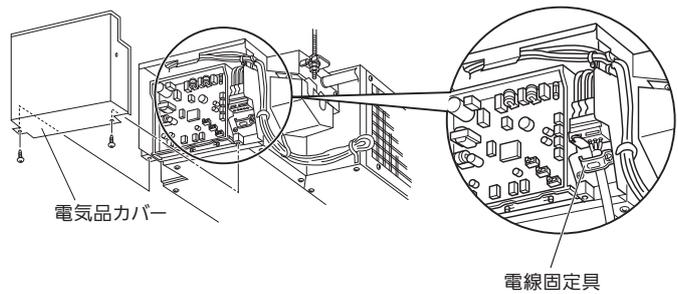
- ドレン配管⑨が屋内を通る場合は必ず市販の断熱材(発泡ポリエチレン比重0.03、肉厚10mm以上)を巻いてください。
- ドレン配管用断熱材⑫は、右上図のようにドレン配管接続部まで行ってください。
- ドレン配管⑨は室外側(排水側)が下りこう配(1/100以上)になるようにし、途中にトラップや山越えを作らないようにしてください。
- ドレン配管⑨の横引きは20m以下にしてください。また、ドレン配管⑨が長い場合には途中に支持金具を設けてドレン配管の波打ちをなくしてください。エア抜き管は絶対につけないでください。(ドレンアップメカ内蔵のためドレンが吹出場合があります)
- ドレン配管⑨の排水口部の臭気トラップは必要ありません。
- 集合配管の場合下図のように本体ドレン出口部より約10cm低い位置に集合配管がくるようにし、かつ集合配管はVP30程度のものの下りこう配1/100以上になるように施工してください。



- ドレン配管⑨を、アンモニアガス・イオウ系ガスの発生する下水槽や浄化槽などに、直接入れないでください。

7.4.6 内外接続電線の接続

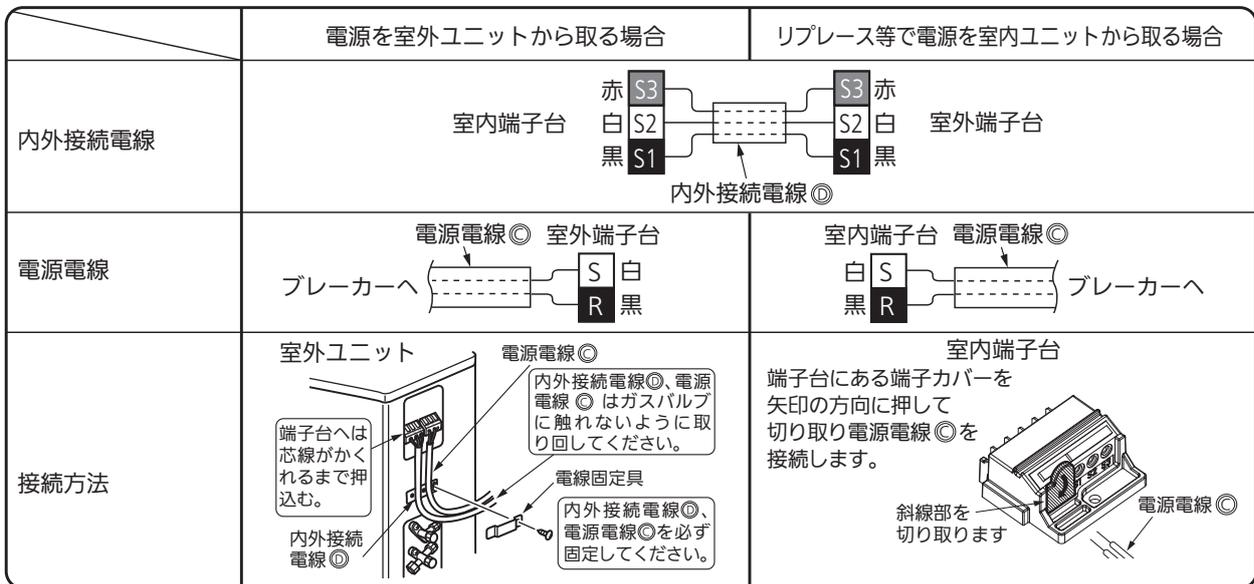
- 電気品カバーを取外します。
- 「内線規程」に従ってください。芯線がかくれるまで確実に押込み、各々の線を引っ張って抜けないことを確認してください。挿入が不十分ですと端子台が焼損することがあります。
- 内外接続電線◎を端子台に接続後、必ず電線固定具で内外接続電線◎を固定してください。
- 接続作業が完了したら、電気品カバーをもとに戻してください。
- 接続については下記 7.5 項も参照してください。



7.5 電源電線・内外接続電線の接続

- 電源電線のエアコンへの引込み接続工事については下記の仕様表に合わせ「電気設備技術基準」および「内線規程」に従って施工してください。
- 回路はエアコン専用回路としてください。
- 後々のサービスのことも考え、電源電線◎および内外接続電線◎には余裕をもたせてください。

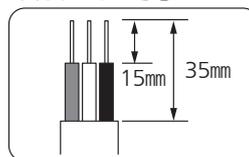
形名	定格電圧	運転電流 (A)	始動電流 (A)	ブレーカー容量	電源接続方式	電源電線 (分岐回路) の太さと長さ 電線径 (mm) / 最大こう長 (m)
MBZ-2822AS	単相 200V	5.57	5.57	15A	端子台	φ2.0/23 (φ1.6/14)
MBZ-3622AS		6.54	6.54			
MBZ-4022AS		8.58	8.58	20A		φ2.0/17
MBZ-5022AS		11.26	11.26			



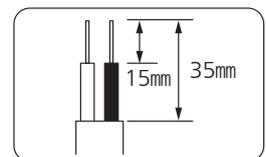
お願い

■電源電線の接続は、室内ユニットまたは室外ユニットのどちらか片方のみです。室内、室外両方に接続することは絶対に行わないでください。
誤配線をしますと正常な運転ができないか、またはヒューズが切れて運転が不可能となりますので誤配線ののないようにしてください。

(内外接続電線)
VVFケーブル3芯



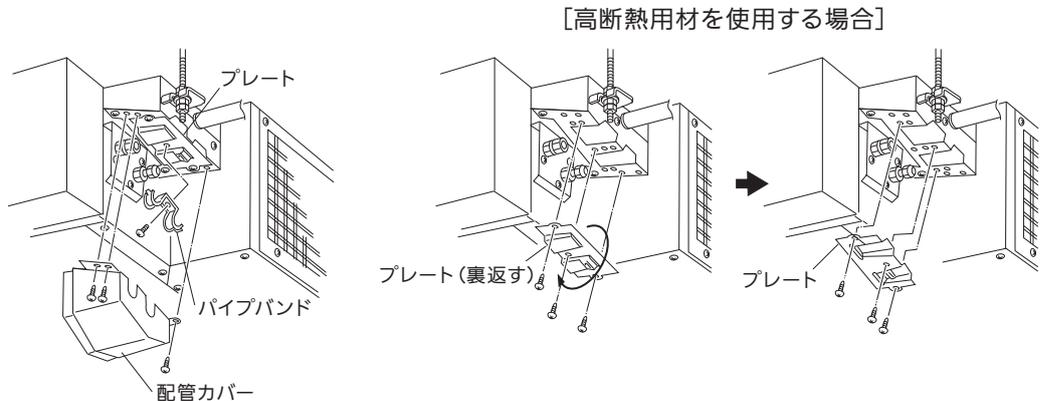
(電源電線)
VVFケーブル2芯



7.6 冷媒配管の接続および断熱

配管工事前作業

- ドレン配管接続前に配管カバーとパイプバンドを外してください。
- 内外接続配管の断熱材に高断熱用(液管用φ48mm、ガス管φ51mm相当品)を使用する場合は、プレート(板金)を外し裏返して、凹になるようにしてください。
高断熱用の接続配管を使用する場合は、配管カバーの加工が必要です。詳細は次ページ「◇高断熱用配管を使用した場合」を参照してください。



配管の準備

- 市販の銅管を使用する場合は右表の仕様のものを使用してください。
- 断熱材は、耐熱発泡ポリエチレン、比重 0.045・肉厚 14mm以上相当品を使用してください。
- 冷媒配管は露付防止のために 2 本とも確実に断熱してください。
- 冷媒配管の曲げ半径は 100mm以上 にしてください。

冷媒配管

	液管	ガス管
外径・肉厚	φ6.35mm(1/4")・0.8mm	φ9.52mm(3/8")・0.8mm
材料および規格	リン脱酸銅 C1220T JIS H 3300	
断熱材	耐熱発泡ポリエチレン 比重0.045 肉厚14mm ●接続配管は2本を分離して1本ごとに断熱してください。	

配管肉厚は、0.8mmのものを使用してください。

お願い

- 内外接続配管長が 10m を超える場合は、冷媒の追加充てんが必要です。追加冷媒量は 20 × (内外接続配管長 - 10) g です。また許容長を超える工事を行わないでください。
- 内外接続配管長の最小配管長は 3m です。

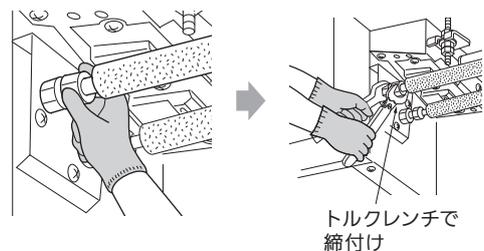
許容値	
配管長	3m 以上 30m 以内
高低差	20m 以内
曲げ箇所	10 か所以内

配管の接続

■室内機の接続

ネジ部には冷凍機油を塗布しないでください。過剰な締め付トルクによるネジの破損の原因になります。

- 接続は中心を合わせ、フレアナットは最初の 3 ~ 4 回転を手で締めます。
- 室内側ユニオン部の締め付けは右表を目安にしてトルクレンチで締め付けてください。締め過ぎますと、フレア部が破損します。



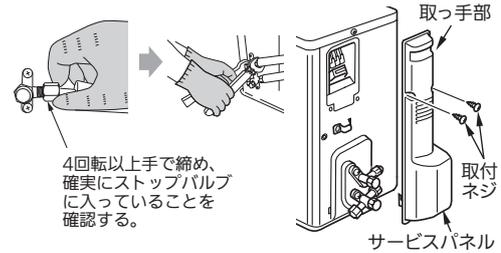
パイプ径	締め付トルク
φ6.35mm(1/4")	14~18N・m(140~180kgf・cmに相当)
φ9.52mm(3/8")	34~42N・m(340~420kgf・cmに相当)

お願い

フレアナットは必ずトルクレンチを使用し、指定の締め付トルクで締め付けてください。

■室外機の接続

- 1) サービスパネルの取付ネジ2本を外します。
- 2) サービスパネルを下側に押下げてから取っ手を手前に引いて取外してください。
- 3) 室内機と同様にして、室外機のストップバルブ（2方弁、3方弁）の各配管接続口へパイプを接続してください。
- 4) 締め付けはトルクレンチを用いて、室内機と同じ締め付トルクで行ってください。



お願い

接続時に配管内部に水・バリ・砂などが入ると、圧縮機の故障ならびに、性能低下につながります。配管加工時や接続時に水・バリ・砂などが入らないように十分注意すると共に、**配管接続後は真空引きを必ず実施してください。**

警告

据付作業では、圧縮機を運転する前に、確実に冷媒配管を取付ける。冷媒配管を取付けていない状態で、ストップバルブ開放状態で圧縮機を運転しない。空気などを吸引し、冷凍サイクル内が異常高圧になり、破裂・ケガなどの原因になります。

配管カバーの取付

★この作業は必ず行ってください。

“不備があると水漏れの原因になります。”

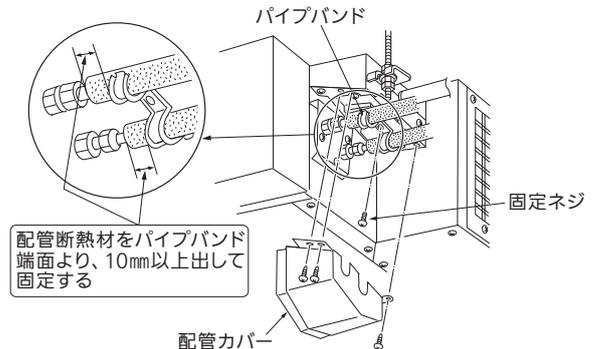
- 本製品は室内側配管接続部分の断熱は必要ありません。配管カバーにより、配管接続部の露を回収します。

- 1) 「配管工作業」で外したパイプバンドを取付け、接続配管を固定してください。

※パイプバンドが接続配管の断熱材を押さえるように取付けてください。

右図のようにパイプバンドから断熱材が10mm以上出るように取付けてください。

- 2) 配管カバーを取付けてください。



◆高断熱用配管を使用した場合

- 断熱材が高断熱用（液管用φ48mm、ガス用φ51mm相当）の接続配管を使用する場合は、下記作業を行ってください。

- 1) プレート（板金）が裏がえして凹形状になっていることを確認してください。

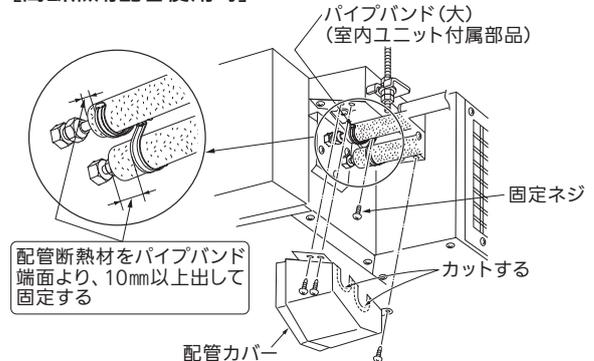
- 2) パイプバンドは、室内機付属部品のパイプバンド（大）を使用してください。（製品に取付けてあるパイプバンドは使用しません）

- 3) 配管カバーの接続配管出口がノックアウト（切り込み）になっています。

ラインに沿って断熱材ごと切り取ってください。

- 4) 配管カバーを取付けてください。

【高断熱用配管使用時】



注意

ドレン・配管工事は、据付工事説明書に従って確実に進行。ドレン・配管工事に不備があると、ユニットから水が滴下して家財などを濡らし、汚損の原因になることがあります

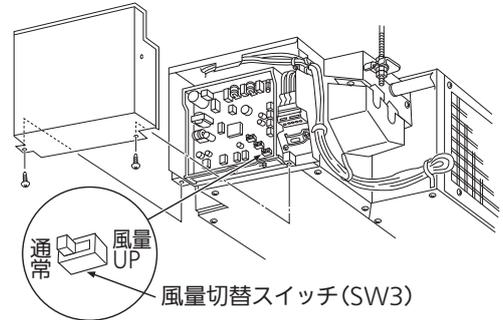
7.7 高天井及びダクト長(吸込側+吹出側)が3mを超える場合

- 風量切替スイッチ (SW3) の切替えは、天井高さ、及びダクト長により通常または風量 UP に設定してください。

	通常	風量UP
天井高さ	2.4m以下	2.4mを超え2.7m以下
ダクト長(吸込+吹出)	3m以下	3mを超え7m以下(吸込1m+吹出6m)

切替方法

- 1) 設定はエアコン用ブレーカーを「切」にしてから行ってください。
- 2) 室内機の電気品カバーを外します。
- 3) 右図の位置に風量切替スイッチがありますので、スイッチを操作できる位置まで制御基板を引き下げ、設定を行います。
- 4) 設定が終わりましたら、制御基板を元の位置にもどし、電気品カバーを取付けてください。



配線で基板を押し込まないように収納してください。

静電気による制御基板の破損防止のため、必ず静電気除去を行ってから作業してください。

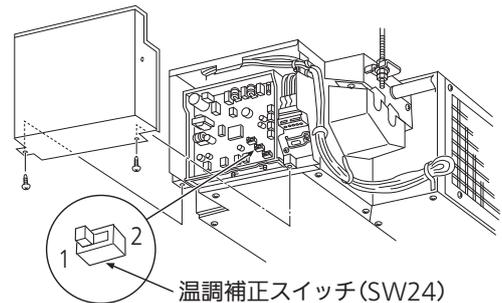
出荷時の設定は“通常”になっています。

7.8 地袋設置の場合

- 温調補正スイッチ (SW24) を 1 → 2 へ切替えてください。

切替方法

- 1) 設定はエアコン用ブレーカーを「切」にしてから行ってください。
- 2) 室内機の電気品カバーを外します。
- 3) 右図の位置に温調補正スイッチがありますので、スイッチを操作できる位置まで制御基板を引き下げ、設定を行います。
- 4) 設定が終わりましたら、制御基板を元の位置にもどし、電気品カバーを取付けてください。



配線で基板を押し込まないように収納してください。

静電気による制御基板の破損防止のため、必ず静電気除去を行ってから作業してください。

出荷時の設定は“1”になっています。

7.9 遠隔操作別売部品の取付け

*当社別売部品のシステム制御用インターフェイス、無線 LAN アダプターに対応しています。接続する場合、別売部品の据付工事説明書も参照してください。

本機のみでは、遠隔操作はできません。

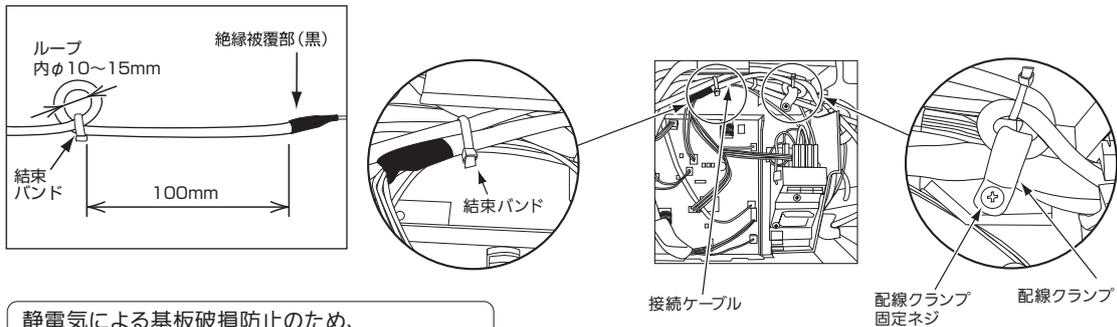
- 室内制御基板上には遠隔制御を行う場合のために HA・JEM-A 対応コネクタ (CN104)、遠隔操作別売部品対応コネクタ (CN105) が搭載されています。
 - 本機と遠隔操作別売インターフェイスを接続する場合は以下に従って正しく接続してください。
 - インターフェイス本体から出ている接続ケーブルを延長または切断しますと、接続不良になります。また、接続ケーブルを電源電線やアース線とまとめたりしないで、できるだけ離してください。
 - 接続ケーブルの細い部分が、お客さまの手に触れない位置に収納、配線してください。
 - 無線 LAN アダプターを接続する場合は、無線性能に影響がでる場合がありますので、室内機、躯体金属部から 5cm 以上遠ざけて設置してください。
- 1) 接続はエアコン用ブレーカーを「切」にしてから行ってください



警告

接続ケーブルは所定の位置に確実に固定する。
正しく固定されないと、感電・火災・故障の原因になります。

- 2) 接続ケーブルの太い部分の絶縁被覆部端から 100mmの位置に内径φ10～φ15mmのループを作り、インターフェイスに付属されている結束バンドで結束します。



静電気による基板破損防止のため、必ず静電気除去を行ってから作業してください。

- 3) 室内機本体の電気品カバーを取外します。
- 4) 室内制御基板上的のインターフェイス用コネクター (CN105) に接続ケーブルを接続します。
- 5) 電気品箱内の配線クランプ固定ネジを取外し、この配線クランプに接続ケーブルのループ部を通してから元通りに取付けます。
- 6) 接続ケーブルと機内配線 (受光部ケーブル: 白) をインターフェイスに付属されている結束バンドで結束します。
- 7) 電気品カバーを元通りに取付けてください。

※別売部品の無線 LAN アダプターは変更になることがあります。その場合、取付方法が異なることがあるため、「暮らしと設備の業務支援サイト WIN²K」から最新の据付工事説明書を確認してください。

7.10 室内機切替

●同じ部屋または、近接する部屋に 2 台室内機を設置した場合に 1 つのリモコンで 1 台のエアコンのみを操作したい時に設定を行ってください。

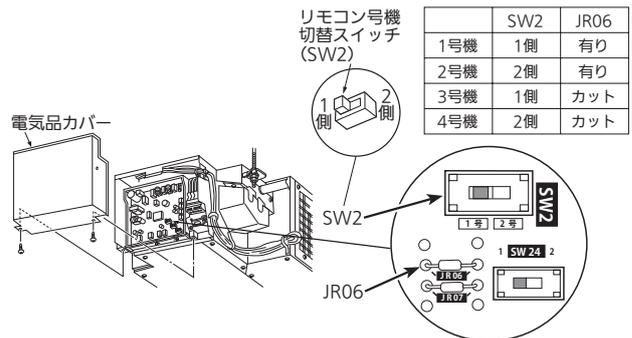
- 同じ部屋または、近接する部屋に複数台室内機を設置した場合、1つのリモコンの信号を複数の室内機が同時に受信してしまうことがあります。

この誤動作を防止するために号機切替機能を設定することが可能です。

- 室内機とリモコンのそれぞれに設定があります。下記設定方法に従って室内機の切替スイッチおよびリモコンのボタンを操作して双方の番号が合うように設定してください。
- 出荷時は室内機「1号機」、リモコン「1」の設定になっています。(最大4号機まで設定できます)

室内機の設定

- 1) 設定はエアコン用ブレーカーを「切」にしてから行ってください。
- 2) 室内機の電気品カバーを外します。
- 3) 右図の位置に切替スイッチがありますので、スイッチを操作できる位置まで制御基板を引き下げ、設定を行います。
- 4) 設定が終わりましたら、制御基板を元の位置にもどし、電気品カバーを取付けてください。

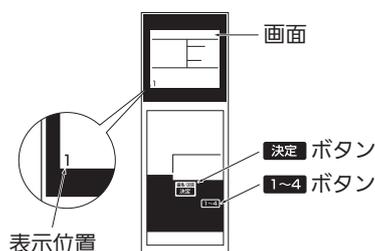


配線で基板を押し込まないように収納してください。

静電気による制御基板の破損防止のため、必ず静電気除去を行ってから作業してください。

リモコンの設定

- 1) 停止状態で 1~4 ボタンを 3 秒連続で押してください。「1」の表示が出ます。(右記表示になります)
- 2) 1~4 ボタンを押して「2」～「4」の表示にしてください。
- 3) 画面/決定 ボタンを押して完了です。

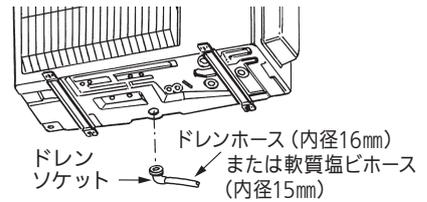


●出荷時は室内機、リモコンとも設定「1」になっています。

7.11 室外側ドレン配管

<ドレン処理について>

- 室内機と室外機の配管接続より先にドレン処理をしてください。
(室内機と室外機の配管接続後に行くと、室外機が動かなくなり、ドレンソケットが取付けにくくなります)
- 市販のドレンホース(内径φ16mm)を図の位置に接続してドレンを導いてください。
- ドレン配管はドレンが流れやすいように必ず下りこう配をつけて配管してください。
- ドレン排水が必要な場合は、置台などで隙間をあけるようにしてください。



寒冷地における注意事項

- ドレンが凍結し、ファンが回らなくなるおそれがありますので、ドレンソケットは取付けないでください。
- 上側の室外機のドレンで、下側の室外機が凍結するおそれがありますので、室外機の二段設置は行わないでください。

7.12 真空引き・リークテスト

地球環境保護の観点からエアパージは真空ポンプ方式でお願いします。

- マニホールドバルブ使用方法の詳細はマニホールドバルブの取扱説明書をご覧ください。
- ハンドルHiを全閉にしたままで、以下の作業中は操作しません。

ストップバルブ(2方弁、3方弁)の弁が全閉になっていることを確認する。ストップバルブ(3方弁)のサービスポートへマニホールドバルブのチャージホースの突起側(虫ピンを押す側)を接続し、チャージホースを真空ポンプに接続する。

マニホールドバルブのハンドルLoを全開にし真空ポンプを運転する。ストップバルブ(3方弁)のフレアナットを少しゆるめエアが入っていくことを確認し、再度フレアナットを締める。
(エアが入っていない場合はチャージホースがサービスポートへしっかり接続されているか再確認してください)

真空引きを15分以上行い連成計が -0.1MPa [ゲージ](-760mmHg)になっていることを確認する。

真空引きが終わったらマニホールドバルブのハンドルLoを全閉にし真空ポンプ側のチャージホースをゆるめ、エアを吸い込ませてから真空ポンプの運転を止める。

3分程度このままの状態にして針が戻らないことを確認し、チャージバルブ⑥部を戻す。ストップバルブ(2方弁、3方弁)の弁棒を六角レンチ(呼4)で反時計方向に当たりがあるところまで回し、全開にする。弁棒がストッパーに当たったら、それ以上の力を加えて回さない。

内外接続配管長が10mを超える場合 追加冷媒充てんを行う。

追加冷媒質量は $20 \times (\text{内外接続配管長} - 10) \text{g}^{\ast 1}$

追加充てん不要。

ストップバルブ(3方弁)のサービスポートよりチャージホースを外す。

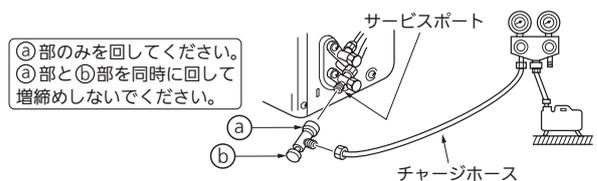
サービスポートのキャップとストップバルブ(2方弁、3方弁)のキャップをトルクレンチで締め付ける。手締めはガス漏れの原因になります。サービスポート…締付トルク $14 \sim 18\text{N}\cdot\text{m}$ ($140 \sim 180\text{kgf}\cdot\text{cm}$ に相当) ストップバルブ…締付トルク $20 \sim 30\text{N}\cdot\text{m}$ ($200 \sim 300\text{kgf}\cdot\text{cm}$ に相当)

リークテストを行い、ガス漏れがないことを確認してください。

$\ast 1$ 内外接続配管長が11mの場合 追加冷媒質量は $20 \times (11 - 10) = 20\text{g}$ となります。

- 注 1. 冷媒充てん用電子はかりを使用して、ポンベの液相から冷媒を充てんしてください。ただし液冷媒を一気に充てんすると圧縮機が故障するおそれがありますので、徐々に充てんしてください。
2. サービスポートのキャップおよび弁棒用キャップは必ず取付けてください。

チャージバルブを使用する場合のお願い



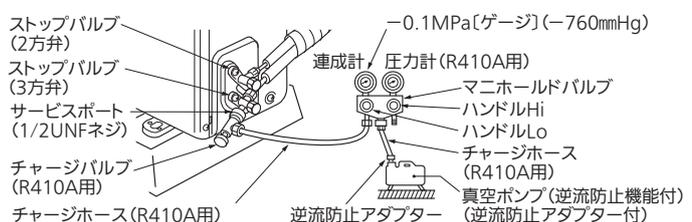
チャージバルブをサービスポートに取付ける際に締め過ぎるとバルブコア(虫ピン)の変形・緩みによるガス漏れのおそれがあります。チャージバルブの軸が変形していたり、パッキンが劣化していると、ガス漏れの原因になります。

- ③部のみを回して締め込んでください。バルブコア(虫ピン)を押込んだ状態(開いた状態)で③部を増締めすると、バルブコア(虫ピン)が変形するおそれがあります。
- ③部と⑥部(チャージバルブ本体)を同時に回して増締めしないでください。

- 締め過ぎると、フレア部が破損し、ガス漏れの原因になります。
- フレア部が破損すると、増締めしてもガス漏れは止まりません。

ガス漏れの場合

- フレアナット接続部を増締めしてください。
- 増締めを行っても止まらない場合は、冷媒回収などによりエアコン内に冷媒が無い状態にし、漏れ箇所修理後、再接続して真空引きを行い、規定量を充てんしてください。



7.13 試運転（必ず実施してください。）

- できるかぎり、お客さま立会いで試運転を実施してください。
- マルチ機種接続時は、冷媒配管と内外接続電線の接続違いを検出するために、はじめに冷房で1台ずつ試運転を実施してください。

- 1) 電源は定格電圧と合っているか必ず確認してください。
ブレーカーを入れます。
- 2) 「応急運転スイッチ」を押してください。(30分間は試運転となります)
(1) 1回押すと冷房試運転を開始します。

この時、約4分から約6分後に「運転モニターランプ」左側が点滅する場合は内外接続電線①の誤配線、電源電圧を点検してください。

- (2) もう1回押すと暖房試運転を開始します。
- (3) もう1回押すと運転が停止します。

（「応急運転スイッチ」を押すごとに（1）→（2）→（3）を繰り返します）

「応急運転スイッチ」を押すと30分間試運転（温度調節がはたらかず連続運転）の状態になり、30分以降は応急運転（冷暖房ともに設定温度24℃）となります。

- 3) リモコンの送信を確認してください。
リモコンの「切/入」ボタンを押して、室内機本体の受信音が鳴るのを確認してください。
もう1回ボタンを押して「切」にしてください。
受信しない場合は室内機とリモコンの設定が一致しているか確認してください。

リモコンで操作した場合は、リモコンの指令に従い試運転、応急運転とも解除されます。

- いったん、圧縮機が停止しますと、機器保護のため、3分間再起動防止機構が作動し、3分間は圧縮機が再運転しないようになっています。

ドレン排水について

- 1) 排水チェック用のドレン水の注入
 - 0.9L～1L ぐらいの水を吸込口からドレンパンへ給水用ポンプ等で徐々に注入してください。
- 2) ドレン排水チェック
 - ドレンアップメカが作動し、正常に排水するか確認してください。

室内機のみでドレン排水チェックをしたい場合

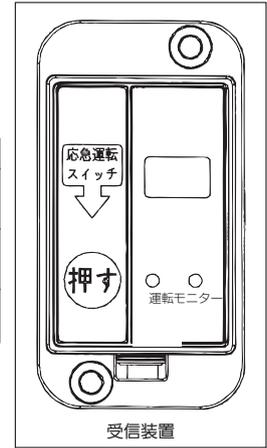
配線工事ができていないときは、室内端子台 S1, S2 に単相 200V 電源を接続して行ってください。

- 1) ドレンポンプ試運転モード開始
 - 応急運転スイッチ 5秒長押し（ピッと鳴るまで）にて、ドレンポンプ単独運転を開始します。
運転モニターランプが2つとも点滅します。
- 2) ドレンポンプ試運転モード停止
 - 応急運転スイッチをもう1回押すと停止します。そのままでも、15分後に自動停止します。
運転モニターランプが消灯します。



注意

新築物件やリフォームなどの内装工事、床面のワックスかけ時にはエアコンの運転を避ける。
作業終了後にエアコンを運転する場合は十分に換気を行ってください。
ワックスなどの揮発成分がエアコン内部に付着し、水漏れや露飛びの原因になることがあります。



モード	運転モニターランプ	
(1) 冷房 試運転	● (点灯)	○ (消灯)
(2) 暖房 試運転	○	●
(3) 停止	○	○

7.14 据付時・据付工事後の確認

- 据付が終了したら、下記にしたがってもう一度点検してください。
- 不具合がありましたら必ず直してください。

- 専用回路を設けてありますか？
- 電源電圧は規定どおりですか？
- 内外接続電線および電源電線は芯線がかくれるまで端子台へ押し込みましたか？
- 内外接続電線および電源電線とアース線は電線固定具で固定しましたか？
- 内外接続電線および電源電線の中間接続を行っていませんか？
- アース線の接続は確実ですか？
- R410A 用配管または、指定肉厚の配管を使用しましたか？
- 配管接続部のリークテストを行いましたか？
- 真空引きを行いましたか？
- ストップバルブの弁棒は全開ですか？
- ドレンホースの接続は確実ですか？
- 水を流してドレン排水を確認しましたか？
- 据付場所の強度はエアコンの重量に十分耐える場所で、騒音や振動が増大しないところですか？
- パイプバンドの取付けは確実ですか？
- 配管カバーの取付けは確実ですか？
- 試運転は行いましたか？
- リモコンの号機は正しく設定されていますか？
- ドレン工事を適切に行い、異音（ポコポコ）が発生しないことを確認しましたか？
- 据付工事説明書「安全のために必ずお守りください」の ⚠ 警告 ⚠ 注意の項目を確認しましたか？

8. 据付時の注意事項

8.1 冷媒配管に関する注意事項

8.1.1 配管長・高低差（シングルタイプ）

室外機にマルチ機種を使用する場合は室外機の据付工事説明書を参照してください。

	許容値
配管長	3m以上30m以内
高低差	20m以内
曲げ箇所	10か所以内

- 内外接続配管長が 10m を超える場合は冷媒の追加チャージが必要です。
- 追加チャージは『追加冷媒量 (g) = 20 × (内外接続配管長 - 10)』です。
- 冷媒は R410A を使用してください。
- 内外接続配管長の最小配管長は 3m です。

8.1.2 配管準備

1. 市販の銅管を使用する場合は下表の仕様のものを使用してください。

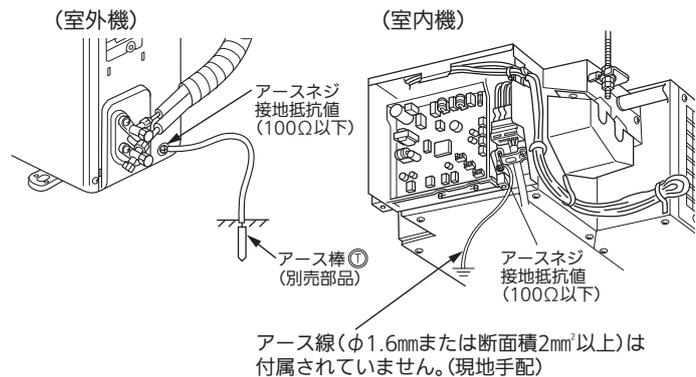
	外径	肉厚	材料及び規格
液管	Φ6.35mm(1/4")	0.8mm	リン脱酸銅
ガス管	Φ9.52mm(3/8")	0.8mm	C1220T JISH3300

2. 断熱材は、耐熱発泡ポリエチレン、比重 0.045・肉厚 14mm 以上相当品を使用してください。
3. 冷媒配管は露付防止のために 2 本とも確実に断熱してください。
4. 冷媒配管の曲げ半径は 100mm 以上にしてください。

8.2 アース工事に関する注意事項

- 接地工事は、「電気設備に関する技術基準」に従って第二種電気工事士の資格のある方が実施してください。

電源の条件	据付場所			
	エアコンの種類	水気のある場所	湿気が多い場所	乾燥した場所
交流対地電圧が 150V 以下の場合	単相 100V の機種 単相 200V (単相 3 線式 200V 電線) の機種		D 種接地工事が 必要です。	D 種接地工事は法的 には除外されていま すが安全のため接地 工事をしてください。
交流対地電圧が 150V を超える場合	三相 200V の機種	漏電しゃ断器を取付け、 さらに D 種接地工事が 必要です。		



■ D種接地工事について

- 接地工事は第二種電気工事士の資格のある方が実施してください。
- 接地抵抗値は 100 Ω 以下であることを確かめてください。
(漏電しゃ断器を取付けた場合は 500 Ω 以下であることを確かめてください)
- 室内機または室外機のどちらか一方でアースを取ってください。
- 室内機からアースをとる際には、上図の位置にアースネジ 4 × 8 で固定してください。
- 室外機側でアースを取る場合、必要に応じてアース棒 (別売部品: MAC-O76EB) を付けてください。

8.3 据付時およびアフターメンテナンスに関する注意事項

- 室内機の点検および後日のサービスが、容易に行えるように必ず点検口を設けてください。
室内機が取り出し可能な点検口を設けてください。
 - ・天袋設置の場合、室内機下面に点検口を設けてください。
 - ・地袋設置の場合、押入底板を上げ蓋方式とするなど室内機上面に点検口を設けてください。
 - ・天井埋込設置の場合、室内機下面に点検口を設けてください。
 - ・下がり天井設置や天井埋込設置にて、別売部品 下吸込パネル (MAC-530UP) を使用する場合、下吸込パネル取付用の天井開口が点検口となります。点検口の仕上げについては、建築・内装業者と打合せしてください。
- ダクト吸込ボックス (MAC-510SB)、ダクト大吹出ボックス (MAC-517FB)、ダクト小吹出ボックス (MAC-520FB) を使用する場合、所定の開口を必ず設けてください。
- 室内機収納室は、外部の空気を吸込むことのないように配管貫通部、板の合わせ目などしっかりふさいでください。
- 別売部品 吹出チャンバー (MAC-500FC) には方向性があります。
 - ・天袋設置 / 下がり天井設置の場合、風向が下向 (フランジが上) になるように取り付けてください。
 - ・地袋設置の場合、風向が上向 (フランジが下) になるように取り付けてください。また風漏れしないよう、別売部品 吹出チャンバー (MAC-500FC) と吹出ボックス (MAC-503FB) を密着してください。
- 高温多湿の場所に別売部品 フレキシブルダクト (MAC-515FD/516FD) を使用する場合、フレキシブルダクト (MAC-515FD/516FD) 外周に断熱材 (エーテル系ポリウレタン 比重 0.063 肉厚 20mm 以上相当品) を必ず巻きつけてください。使用しないと、露付きにより天井材を汚損します。
- プラチナエアフィルターの清掃
下記の別売部品にプラチナエアフィルターを付属していますので、必ず定期的に清掃してください。
吸込グリル (MAC-504SG/505SG)、下吸込パネル (MAC-530UP)、ダクト吸込ボックス (MAC-510SB)
一面グリル (MAC-525TG/526TG)
- 別売部品 フレキシブルダクト (MAC-515FD/516FD) は、天井施工前に接続してください。
- 別売部品 吹出チャンバー (MAC-500FC)、ダクト吸込チャンバー (MAC-509SC)、ダクト吹出チャンバー (MAC-514FC) は、室内機吊り込み前に必ず室内機に取り付けてください。
- 冷媒配管 / ドレン配管 / 電気配線のとりまわしにご注意ください。
- 吸込ボックス (MAC-506SB) には方向性が有りますのでご注意ください。天地を示すスタンプ印を表示しています。
- 吹出ボックス (MAC-503FB) に受信装置を取付けますが、受信装置の取付位置が部屋内から見て右側になるように設置してください。
- 室内機、各別売部品は、確実に固定してください。
- 下吸込パネル (MAC-530UP) に取付けられているヒモは、内側パネル開閉作業の安全のため取外さないでください。
- 下吸込パネル (MAC-530UP) とダクト吸込グリル (MAC-511SG/512SG) の内側パネル (ダクト吸込グリルの場合は、内側グリル) は、左右ツマミをスライドすることにより開閉できます。
内側パネルを開く時に左右ツマミをスライドさせると内側パネルがいきおいよく開いてケガをする可能性がありますので両手で支えながらゆっくり開いてください。
- 一面グリル用据付ボックス (MAC-529TB) には、方向性が有りますので、ご注意ください。
また、天袋設置と地袋設置の場合で、受信装置の取付位置を変更してください。
出荷状態は、天袋設置用としています。

★フリービルトイン形の取扱説明書、据付工事説明書 (設置パターン別施工要領)、
関連別売部品据付工事説明書は弊社情報サイト [WIN²K] に掲載しております。

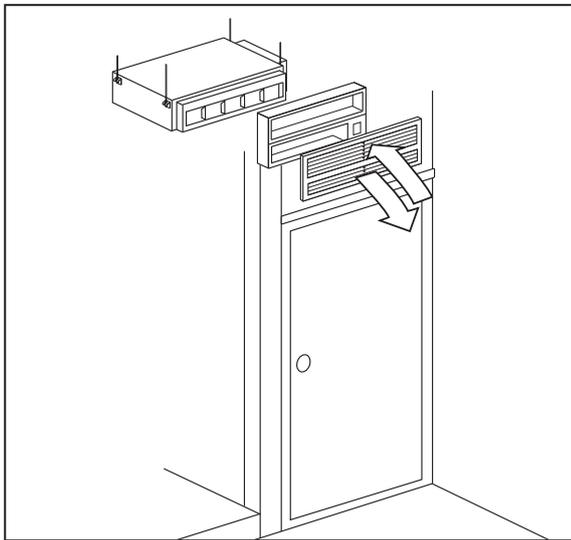


9. 設置パターン別施工要領

9.1 <パターンA> 半間幅天袋吊り設置 [一面グリル]、 <パターンB> 半間幅地袋置き設置 [一面グリル]

9.1.1 <パターンA> 別売部品と寸法図

(1) 設置イメージ図

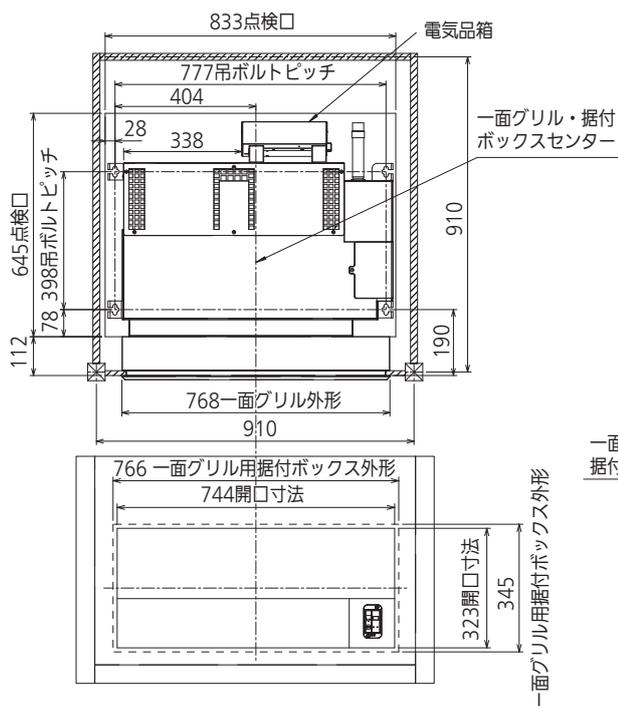


(2) 使用別売部品

品名	形名	備考
吹出チャンバー	MAC-500FC	室内ユニットの先行準備の時点で取付けてください。
一面グリル (白木)	MAC-525TG	一面グリルは、いずれかを選定してください。
一面グリル (ホワイト)	MAC-526TG	
一面グリル用据付ボックス	MAC-529TB	

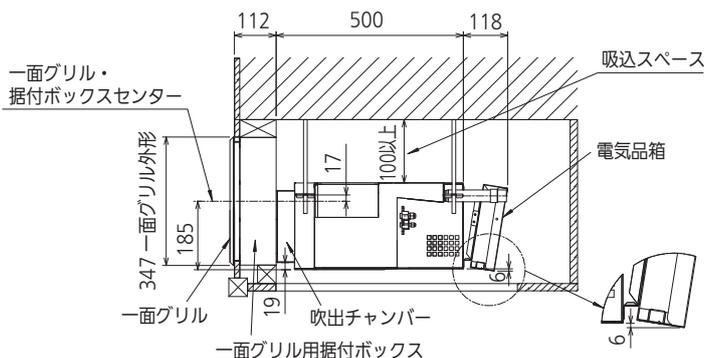
(3) 設置構成図および設置スペース必要寸法 (据付要領につきましては、P37 ~ P39 を参照ください。)

室内機収納室は外部の空気を吸込むことのないように配管貫通部、板の合わせ目などしっかりふさいでください。



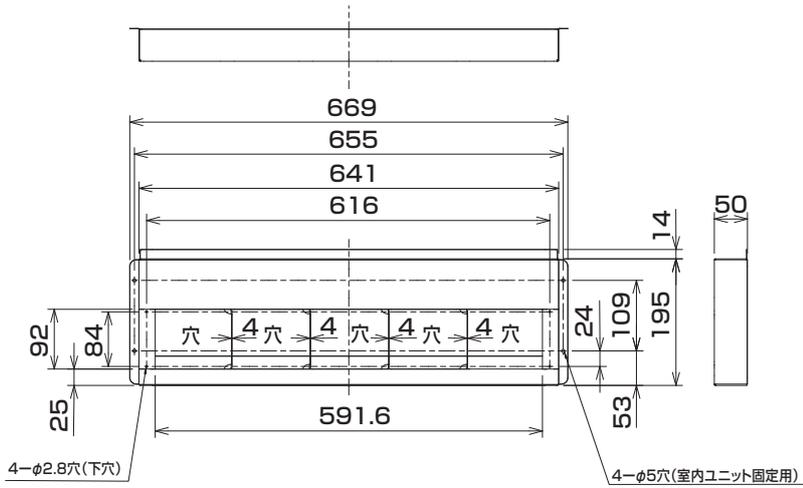
支柱：現地調達

- 据付枠は支柱 (現地調達) などを用いて必ず確実に固定してください。
- 据付枠は必ず水平にセットしてください。
- 室内機の重量により据付枠が傾斜しないよう室内機収納室内の補強を確実に行ってください。
- 点検口は必ず設けてください。
- 室内機の下面に支柱を設ける場合は、室内機の振動が壁面などへ伝わらないようにゴムなど (現地調達) を間にいれてください。



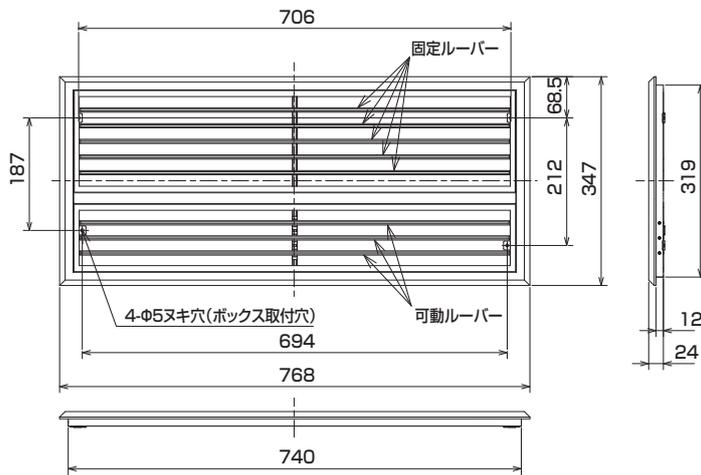
(4) 別売部品 外形図

- 吹出チャンバー MAC-500FC



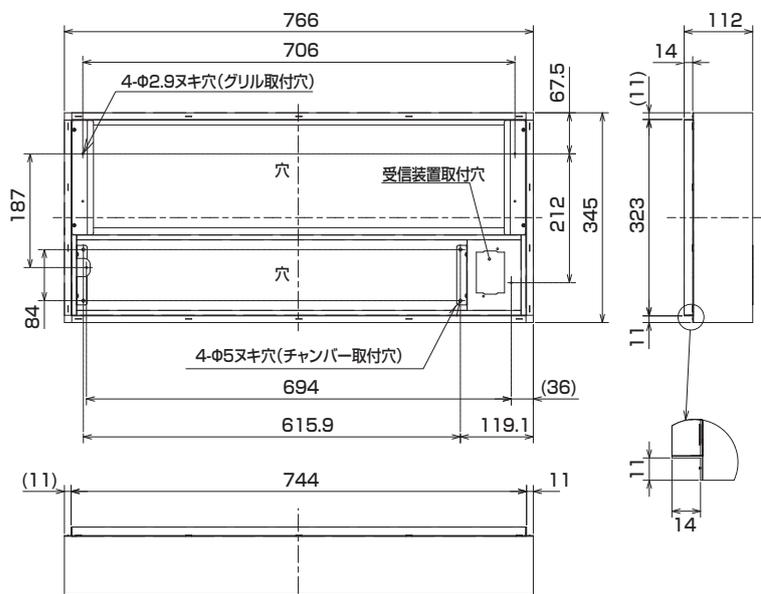
部品名	数量
① 吹出チャンバー	1
② ①の固定用ネジ	4
六角頭タッピングネジ 4×12	

- 一面グリル MAC-525TG (白木)、MAC-526TG (ホワイト)



部品名	数量	部品名	数量
① 一面グリル (外枠)	1	④ スパーサー (両面テープ付)	1
② 一面グリル (内枠)	1	⑤ ①の固定用ネジ	4
		タッピングネジ 4×10 (黒)	
③ エアフィルター	1	—	—

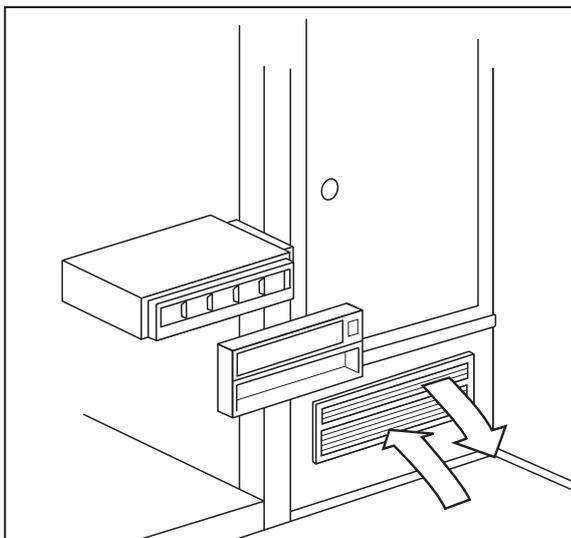
- 一面グリル用据付ボックス MAC-529TB



部品名	数量	部品名	数量
① 一面グリル用据付ボックス	1	④ シール材 (黒色)	大2・小1
② 断熱材(大小)	大・小各2	⑤ ①の固定用ネジ	4
		タッピングネジ 4×12	
③ クッション材	1	⑥ 受信装置取付用ネジ	2
		タッピングネジ 4×10(黒)	

9.1.2 <パターンB> 別売部品と寸法図

(1) 設置イメージ図



(2) 使用別売部品

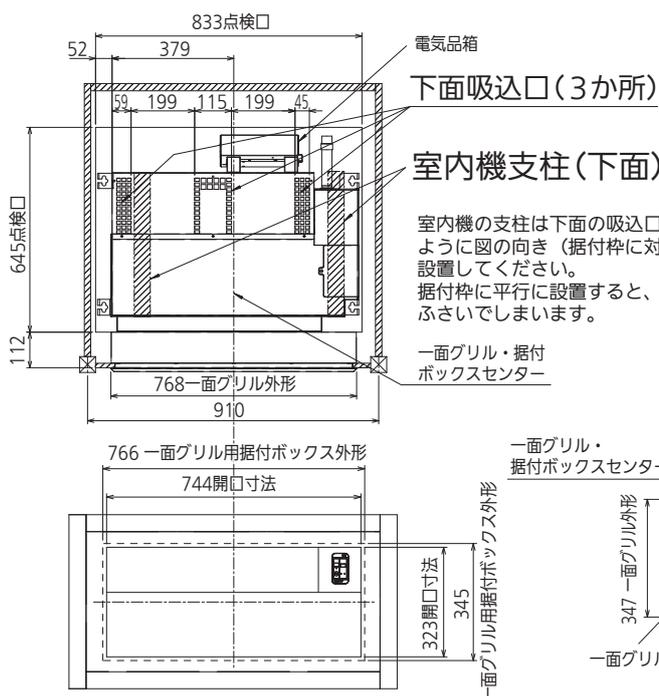
品名	形名	備考
吹出チャンパー	MAC-500FC	室内ユニットの先行準備の時点で取付けてください。
一面グリル (白木)	MAC-525TG	一面グリルは、いずれかを選定してください。
一面グリル (ホワイト)	MAC-526TG	
一面グリル用据付ボックス	MAC-529TB	

(3) 設置構成図および設置スペース必要寸法 (据付要領につきましては、P37 ~ P39 を参照ください。)

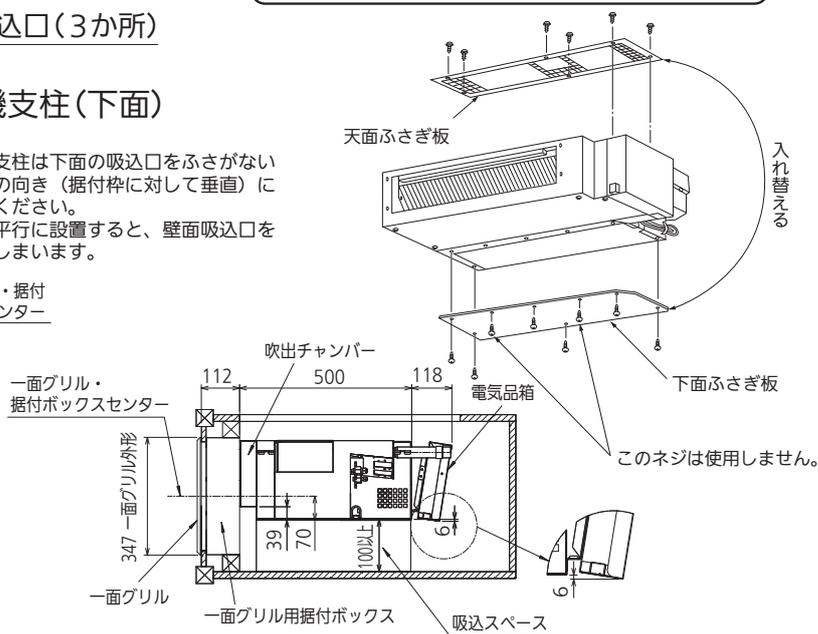
室内機収納室は外部の空気を吸込むことのないように配管貫通部、板の合わせ目などしっかりふさいでください。

支柱：現地調達

- 据付枠は支柱 (現地調達) などを用いて必ず確実に固定してください。
- 据付枠は必ず水平にセットしてください。
- 室内機の重量により据付枠が傾斜しないよう室内機収納室内の補強を確実に行ってください。
- 点検口は必ず設けてください。
- 室内機の下面に支柱を設ける場合は、室内機の振動が壁面などへ伝わらないようにゴムなど (現地調達) を間にいれてください。

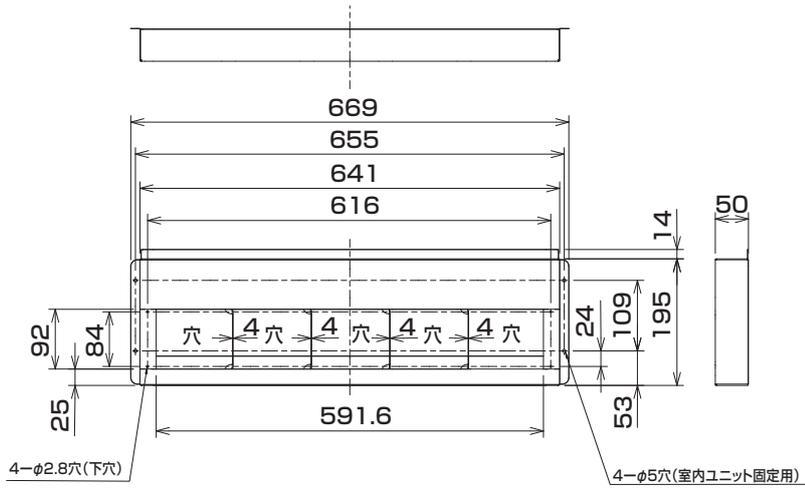


半間幅地袋設置の場合のみ室内機の天板と底板を下図のように入れ替えてください。



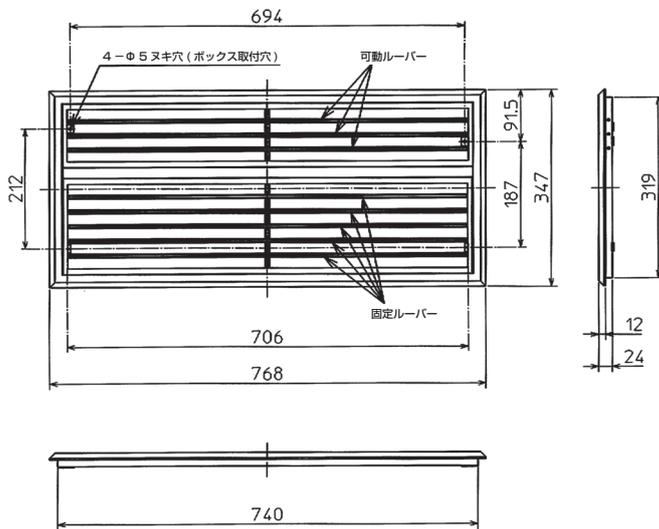
(4) 別売部品 外形図

●吹出チャンバー MAC-500FC



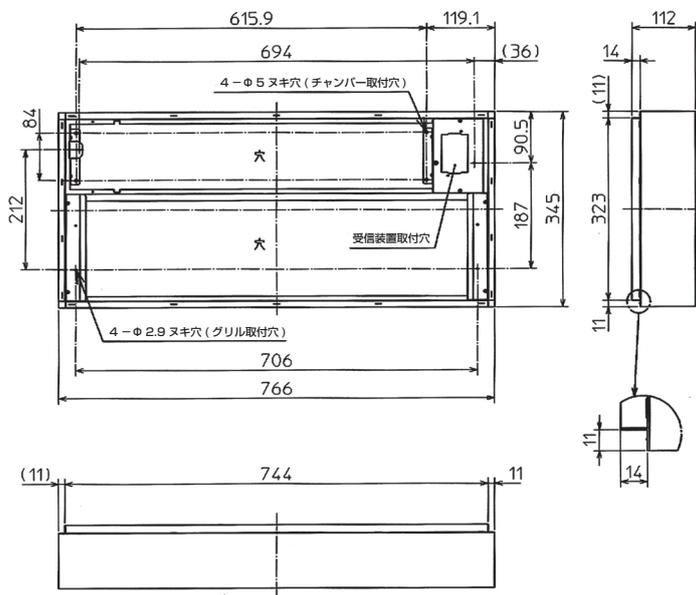
MAC-500FC構成部品	
① 吹出チャンバー	数量
	1
② ①の固定用ネジ	数量
	4
六角頭タッピングネジ 4×12	

●一面グリル MAC-525TG (白木)、MAC-526TG (ホワイト)



MAC-525TG,526TG構成部品			
① 一面グリル (外枠)	数量	④ スパース (両面テープ付)	数量
	1		1
② 一面グリル (内枠)	数量	⑤ ①の固定用ネジ	数量
	1		4
		タッピングネジ 4×10 (黒)	
③ エアフィルター	数量		数量
	1	—	—

●一面グリル用据付ボックス MAC-529TB



MAC-529TB構成部品			
① 一面グリル用据付ボックス	数量	④ シール材	数量
	1		大2・小1
		(黒色)	
② 断熱材 (大・小)	大・小各2	⑤ ①の固定用ネジ	数量
			4
		タッピングネジ 4×12	
③ クッション材	数量	⑥ 受信装置取付用ネジ	数量
	1		2
		タッピングネジ 4×10 (黒)	

9.1.3 <パターンA> <パターンB> 据付要領 (半間幅天袋吊り / 半間幅地袋置き設置 [一面グリル])

1. 室内機点検口と開口穴の設定

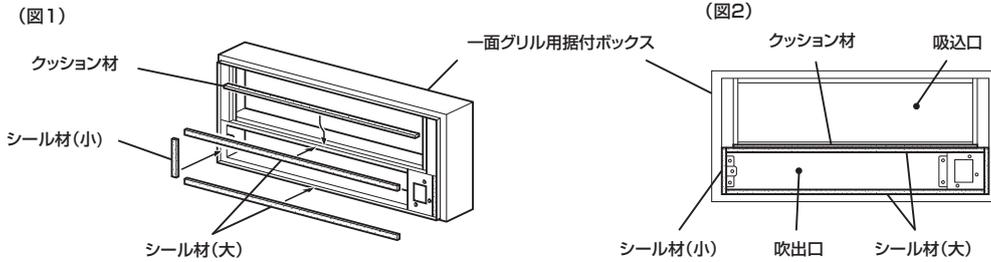
- 室内機点検口と開口穴の寸法は、各設置パターンの設置構成図および設置スペース必要寸法にしたがって設定してください。

2. 取付前の準備

- この一面グリル用据付ボックス (MAC-529TB) は、開梱状態では、『天袋設置』用に組付けられています。

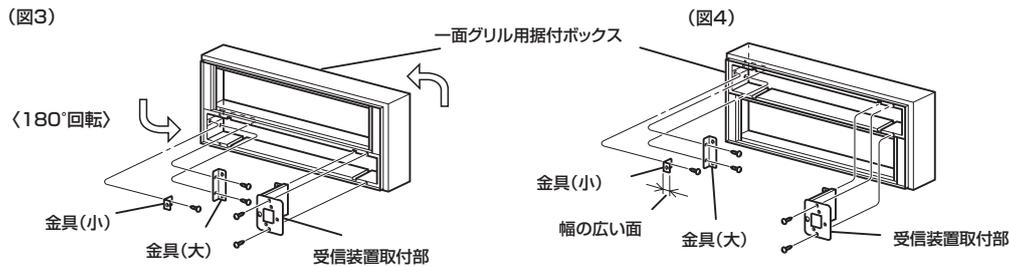
天袋設置の場合

- 一面グリル用据付ボックス (MAC-529TB) の吸込口下の段差部にクッション材を、吹出口周辺の長手方向にシール材 (大) と同じく短手方向にシール材 (小) をそれぞれ貼付けます。(図1, 2参照)

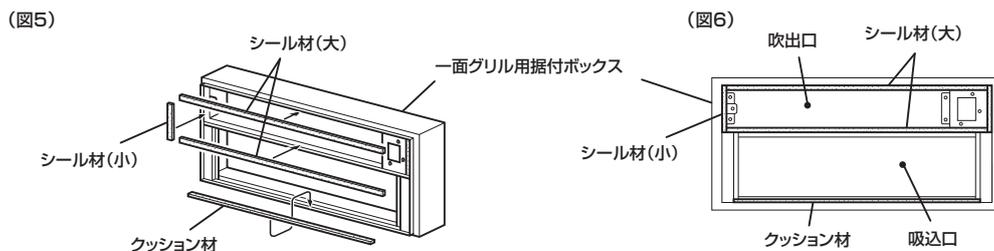


地袋設置の場合

1. 受信装置取付部と反対側の金具 (大) および金具 (小) を取外し、一面グリル用据付ボックス (MAC-529TB) を 180° 回転させます。(図3参照)
2. 受信装置取付部と反対側の金具 (大) および金具 (小) を外した時と逆の要領で取付けます。(図4参照)



3. 一面グリル用据付ボックス (MAC-529TB) の吸込口下の段差部にクッション材を、吹出口周囲の長手方向にシール材 (大) と同じく短手方向にシール材 (小) をそれぞれ貼付けます。(図5, 6参照)

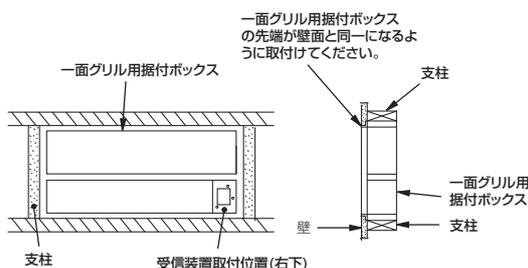


3. 一面グリル用据付ボックスの取付

- 一面グリル用据付ボックス (MAC-529TB) には方向性がありますので取付けの際、ご注意ください。

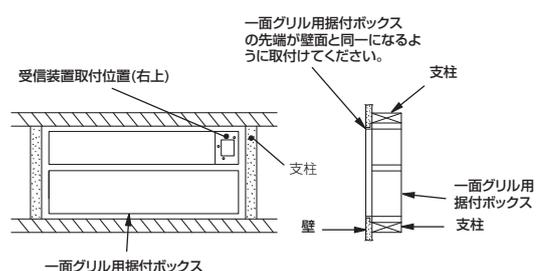
天袋設置の場合

- 受信装置取付位置が部屋から見て右下になるように取付けてください。



地袋設置の場合

- 受信装置取付位置が部屋から見て右上になるように取付けてください。



- 一面グリル用据付ボックス (MAC-529TB) は柱等重量を支える部材に支柱を通して固定してください。
- 各設置パターン別の設置構成図および設置スペース必要寸法と P131 MAC-529TB の据付工事説明書にしたがって取付けてください。

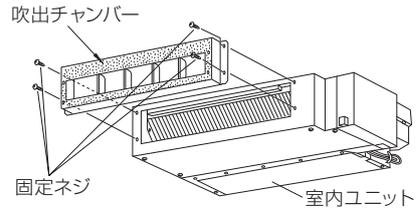
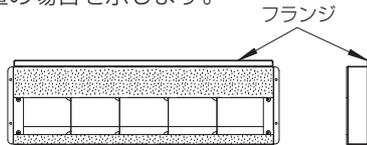
4. 室内機の先行準備

(1) 冷媒配管、内外接続電線、電源電線、ドレン配管工事

- 室内機の各接続部位置は、「7. 据付工事」(P20～)をご覧ください。
設備業者や建築業者とご相談してとりまわしを行ってください。
- ドレン配管は、硬質塩ビパイプ一般管 VP20 が室内機のドレン口と接続できます。
- 内外接続電線や電源電線は、後日のサービスのことも考慮して電気品箱の取り出しが可能なように室内機近傍で余裕をもたせておいてください。

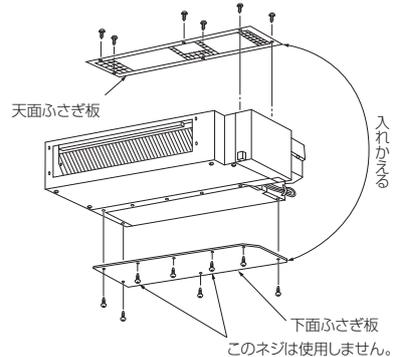
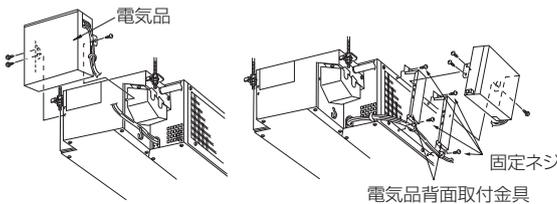
(2) 別売部品 吹出チャンバー (MAC-500FC) の取付

- 吹出チャンバー (MAC-500FC) を室内機の吹出側に取付けます。(固定ネジ 4 本)
吹出チャンバーには、方向性がありますのでご注意ください。
天袋設置の場合は、風向きが下 (フランジが上) になるように取り付けてください。
地袋設置の場合は、風向が上 (フランジが下) になるよう取付けてください。
下図は天袋設置の場合を示します。



(3) 電気品箱の移動：電気品箱を室内機背面に移動します。

- 室内機付属部品の電気品背面取付金具を室内機の背面に 2 個取付けます。
- 電気品箱を室内機側面から取外します。(ネジ 3 本)
- 下図のようにリード線を接続したまま電気品背面固定金具に取付けます。(ネジ 3 本)
- リード線は下図のように室内機と電気品背面固定金具のクランプ (3 カ所) にて固定してください。



(4) 半間幅地袋設置の場合のみ、室内機天面と下面のふさぎ板の入れかえ

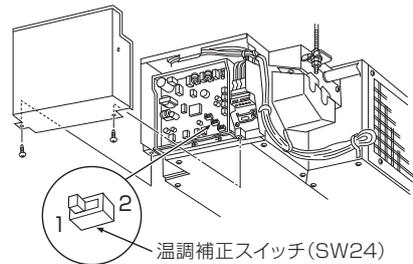
- 天面ふさぎ面と下面ふさぎ面を入れ替えてください。

(5) 温度補正の設定 (地袋設置の場合のみ)

- 温調補正スイッチ (SW24) を 1→2 へ切替えてください。

切換方法

- ① 設定はエアコン用ブレーカーを「切」にしてから行ってください。
- ② 室内ユニットの電気品カバーを外します。
- ③ 右図の位置に温調補正スイッチがありますので、スイッチを操作できる位置まで制御基板を引き下げ、設定を行います。
- ④ 設定が終わりましたら、制御基板を元の位置にもどし、電気品カバーを取付けてください。



静電気による制御基板の破損防止のため、必ず静電気除去を行ってから作業してください。

出荷時の設定は「1」になっています。

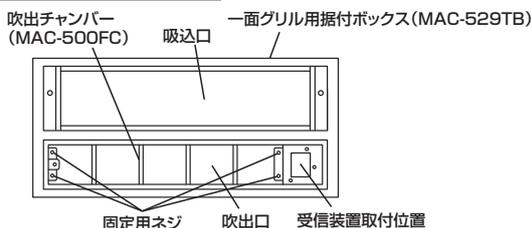
5. 据付工事

P21「7.3 室内機の据付手順」にしたがってください。

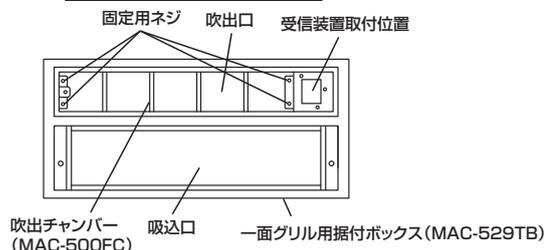
6. 一面グリル用据付ボックス (MAC-529TB) と室内機の固定

- 一面グリル用据付ボックスの吹出口左右各 2ヶ所を、吹出チャンバー (MAC-500FC) に固定用ネジで固定します。
- 次に一面グリル用据付ボックスの吹出口内側の左右面に断熱材 (小) を、内側上下面に断熱材 (大) をそれぞれ貼付けます。

天袋設置の場合

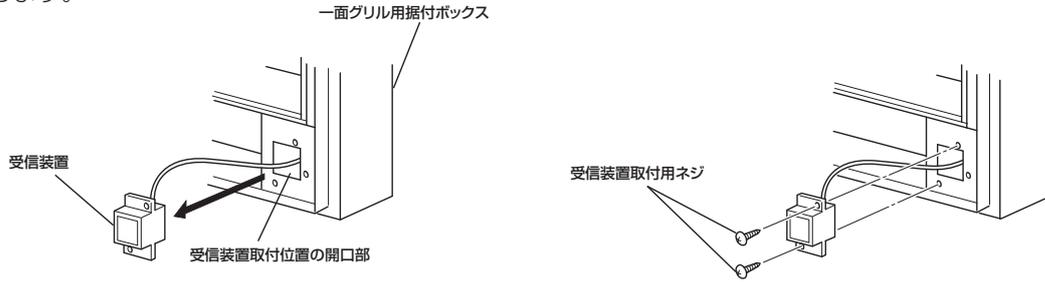


地袋設置の場合



7. 受信装置の取付

- 一面グリル用据付ボックス (MAC-529TB) に取付けます。※天袋設置の場合は右下に、地袋設置の場合は右上になります。
- 受信装置を受信装置取付位置の開口部に通してセットした後、受信装置の上下2カ所を、受信装置取付用ネジで固定します。

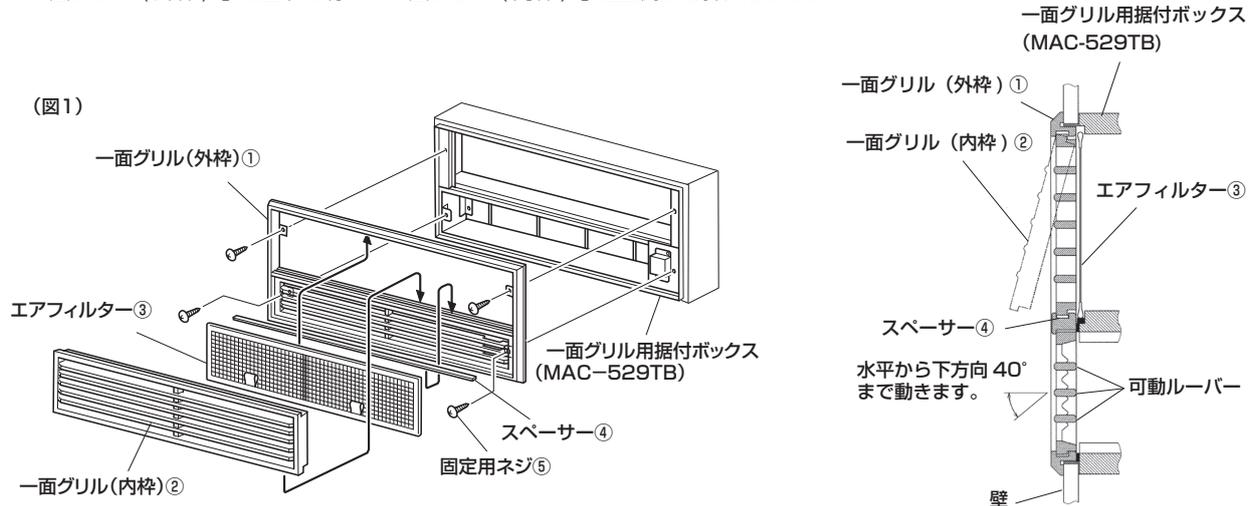


8. 一面グリル (MAC-525TG/526TG) の取付

下記にしたがって取り付けてください。

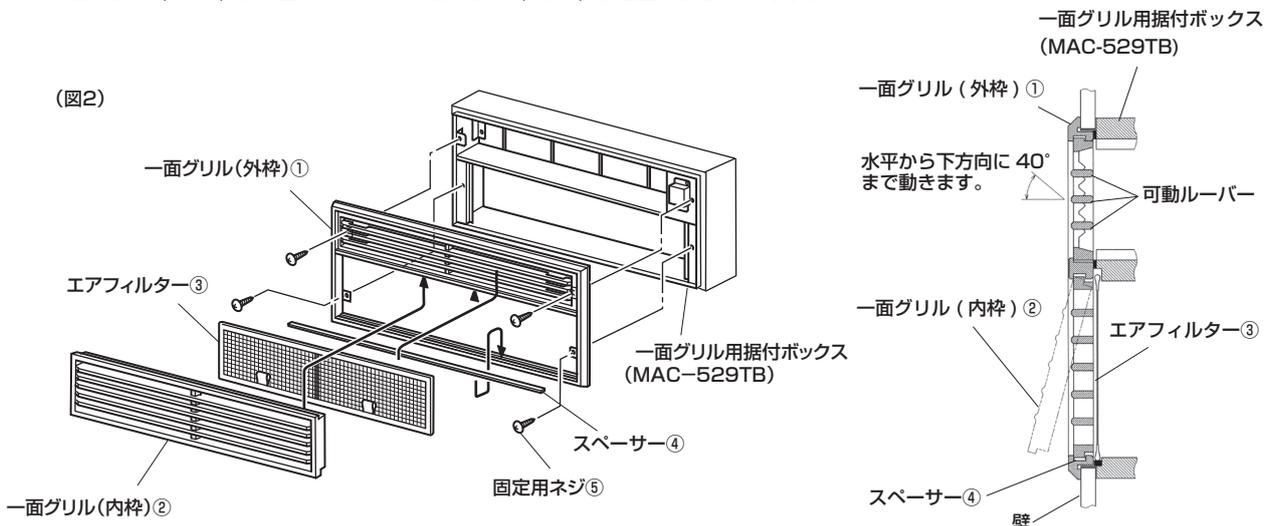
天袋設置の場合

1. 一面グリル (外枠) ①の上下左右4カ所を、固定用ネジ⑤で一面グリル用据付ボックス (MAC-529TB) に固定します。
2. 一面グリル (外枠) ①の下側の溝に、スペーサ④を両面テープで貼り付けます。
3. 一面グリル (外枠) ①と一面グリル用据付ボックスとの間にできた上下の溝に、エアフィルター③を挿入します。
4. 一面グリル (外枠) ①の上下の溝に、一面グリル (内枠) ②を上側から挿入します。



地袋設置の場合

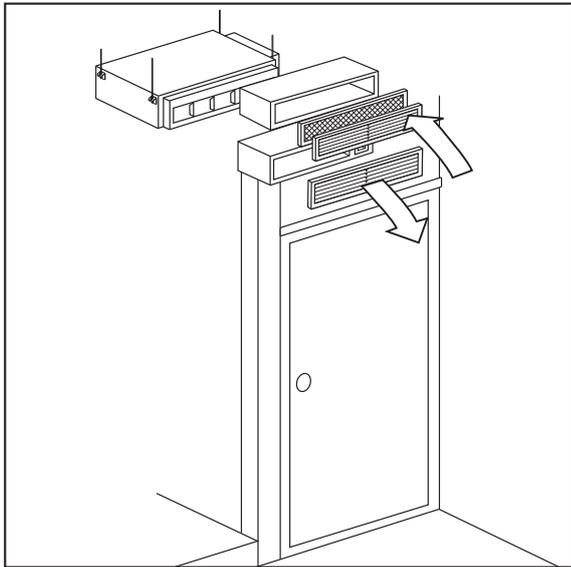
1. 一面グリル (外枠) ①の上下左右4カ所を、固定用ネジ⑤で一面グリル用据付ボックス (MAC-529TB) に固定します。
2. 一面グリル (外枠) ①の下側の溝に、スペーサ④を両面テープで貼り付けます。
3. 一面グリル (外枠) ①と一面グリル用据付ボックスとの間にできた上下の溝に、エアフィルター③を挿入します。
4. 一面グリル (外枠) ①の上下の溝に、一面グリル (内枠) ②を上側から挿入します。



9.2 <パターンC> 半間幅天袋吊り設置 [分離グリル縦置き]

9.2.1 <パターンC> 別売部品と寸法図

(1) 設置イメージ図

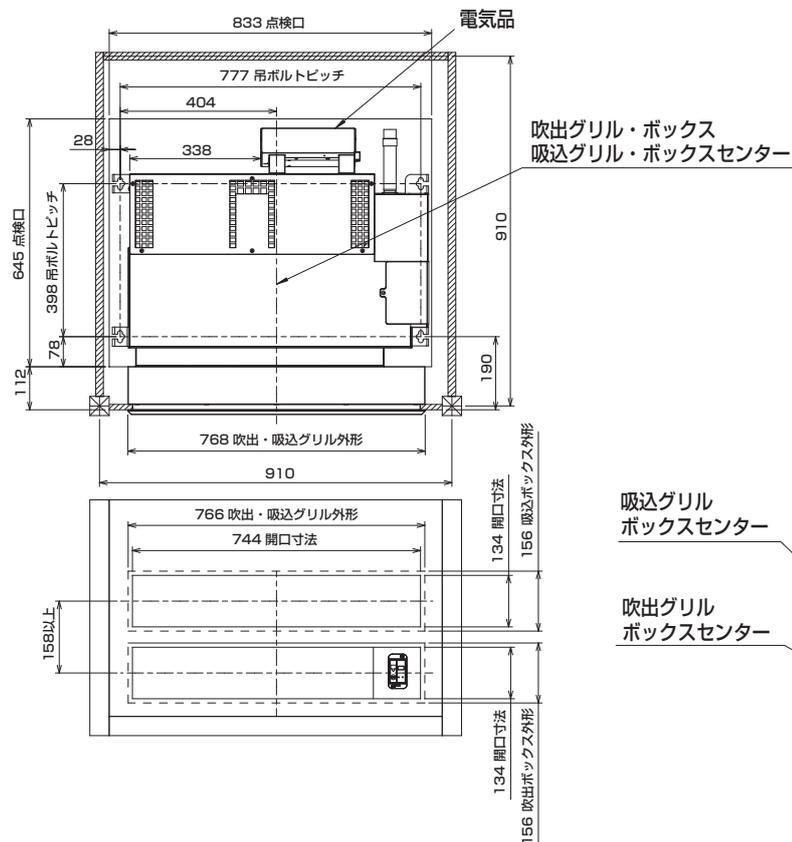


(2) 使用別売部品

品名	形名	備考
吹出チャンバー	MAC-500FC	室内ユニットの先行準備の時点で取付けてください。
吹出グリル (白木)	MAC-501FG	吹出グリルは、いずれかを選定してください。
吹出グリル (ホワイト)	MAC-502FG	
吹出ボックス	MAC-503FB	
吸込グリル (白木)	MAC-504SG	吸込グリルは、いずれかを選定してください。
吸込グリル (ホワイト)	MAC-505SG	
吸込ボックス	MAC-506SB	

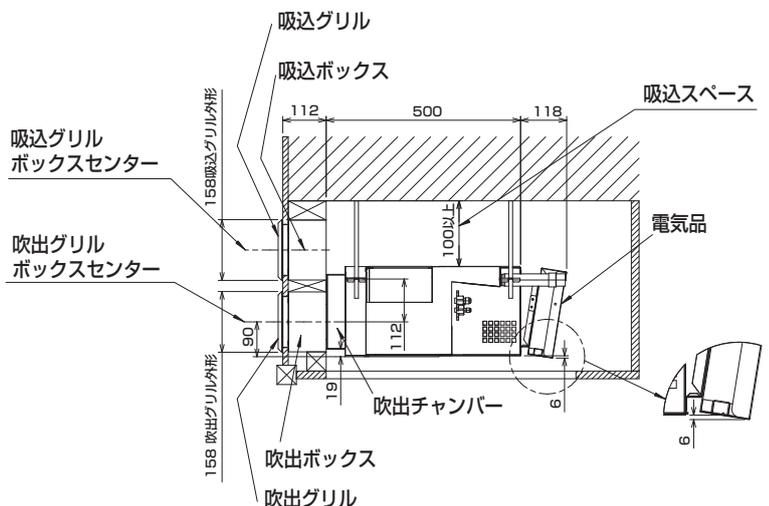
(3) 設置構成図および設置スペース必要寸法 (据付要領につきましては、P43、P44 を参照ください。)

室内機収納室は外部の空気を吸込むことのないように配管貫通部、板の合わせ目などしっかりふさいでください。



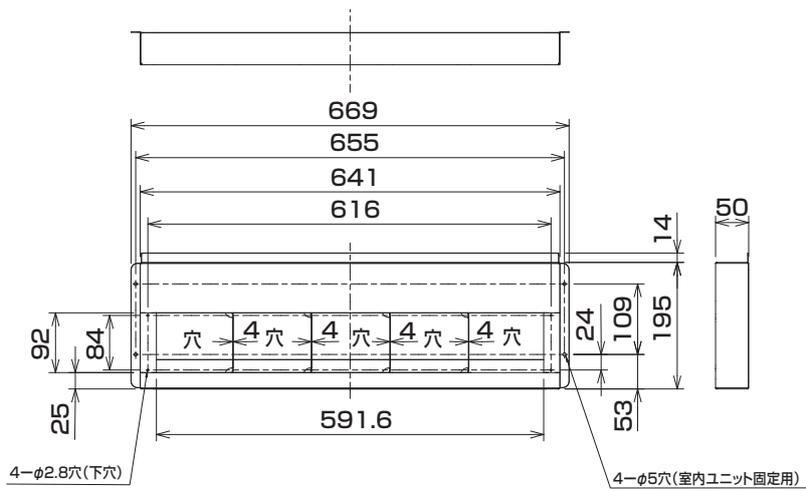
支柱：現地調達

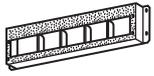
- 据付枠は支柱 (現地調達) などを用いて必ず確実に固定してください。
- 据付枠は必ず水平にセットしてください。
- 室内機の重量により据付枠が傾斜しないよう室内機収納室内の補強を確実に行ってください。
- 点検口は必ず設けてください。
- 室内機の下面に支柱を設ける場合は、室内機の振動が壁面などへ伝わらないようにゴムなど (現地調達) を間にいれてください。



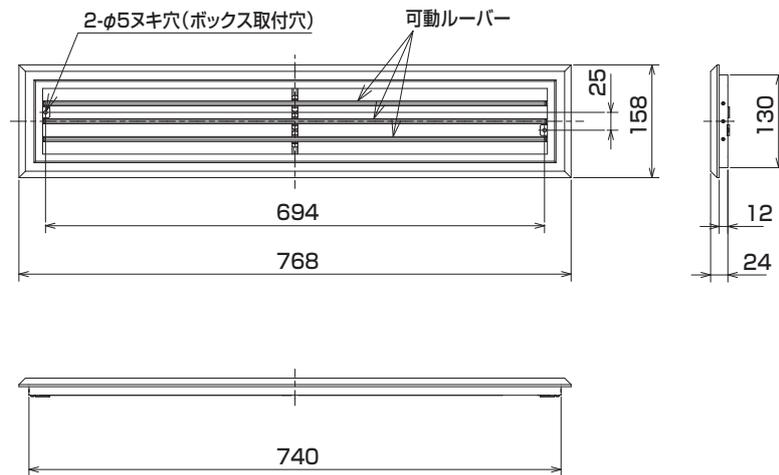
(4) 別売部品 外形図

●吹出チャンバー MAC-500FC



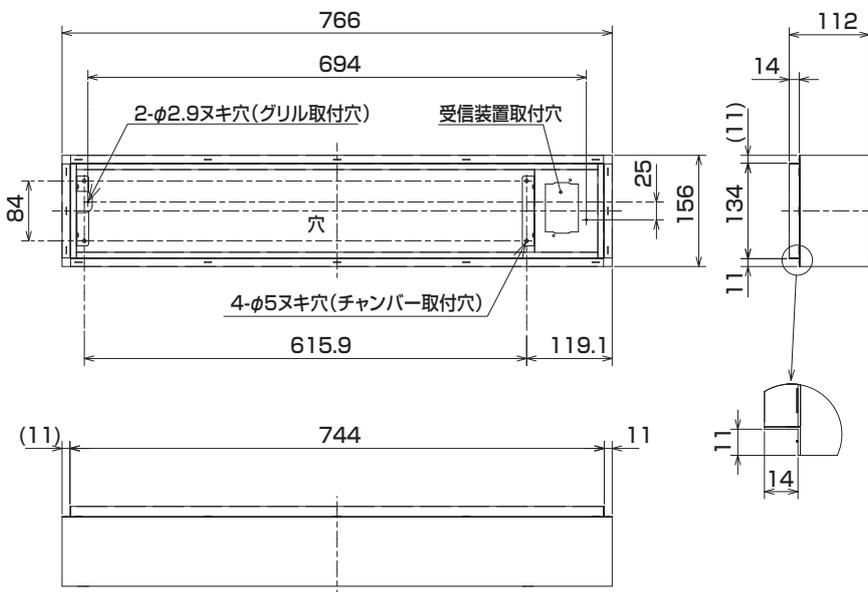
MAC-500FC構成部品	
① 吹出チャンバー	数量
	1
② ①の固定用ネジ	数量
	4
六角頭タッピングネジ 4×12	

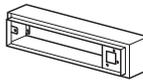
●吹出グリル MAC-501FG (白木)、MAC-502FG (ホワイト)



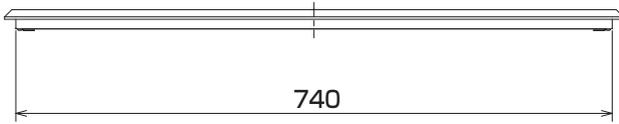
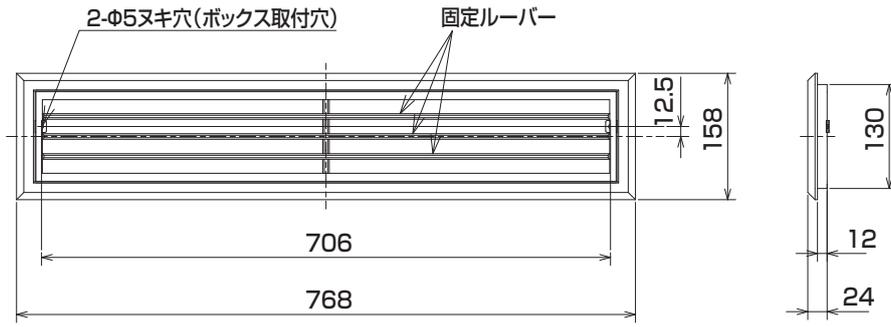
MAC-501FG MAC-502FG 構成部品	
① 吹出グリル	数量
	1
② ①の固定用ネジ	数量
	2
タッピングネジ 4×10(黒)	

●吹出ボックス MAC-503FB



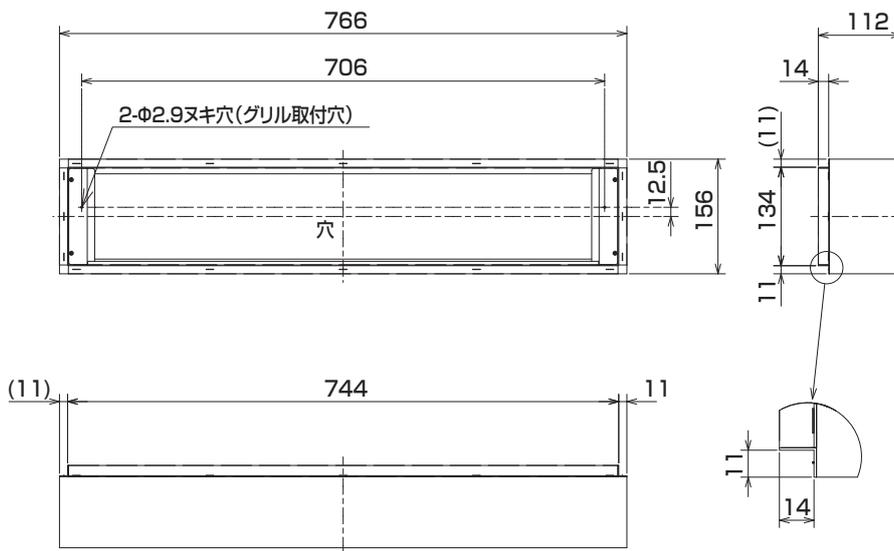
MAC-503FB構成部品			
① 吹出ボックス	数量	③ ①の固定ネジ	数量
	1		4
		タッピングネジ 4×12	
② 断熱材(大・小)	各2	④ 受信装置取付用ネジ	数量
			2
		タッピングネジ 4×10(黒)	

●吸込グリル MAC-504SG (白木)、MAC-505SG (ホワイト)



① 吸込グリル(外枠)	数量	③ エアフィルター	数量
	1		1
② 吸込グリル(内枠)	1	④ ①の固定ネジ	2
		タッピングネジ 4×10(黒)	

●吸込ボックス MAC-506SB



① 吸込ボックス	数量
	1

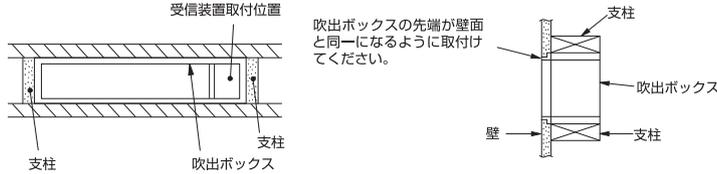
9.2.2 <パターンC> 据付要領 (半間幅天袋吊り設置 [分離グリル縦置き])

1. 室内機点検口と開口穴の設定

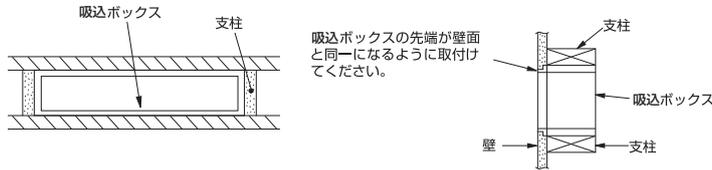
- 室内機点検口と開口穴の寸法は、各設置パターンの設置構成図および設置スペース必要寸法にしたがって設定してください。

2. 吹出ボックス / 吸込ボックスの取付

- 吹出ボックス (MAC-503FB) には方向性がありますのでご注意ください。
吹出ボックス (MAC-503FB) に受信装置を取付けますが、受信装置の取付位置が部屋内から見て右側になるように設置してください。
- 吹出ボックス (MAC-503FB) は柱等重量を支える部材に支柱を通して固定してください。



- 吸込ボックス (MAC-506SB) には方向性がありますのでご注意ください。
「天」の文字が表示されている方を天面側になるように取付けてください。
- 吸込ボックス (MAC-506SB) は柱等重量を支える部材を通して固定してください。



- 各設置パターン別の設置構成図および設置スペース必要寸法と P124 の MAC-503FB、P127 の MAC-506SB の据付工事説明書にしたがって取付けてください。

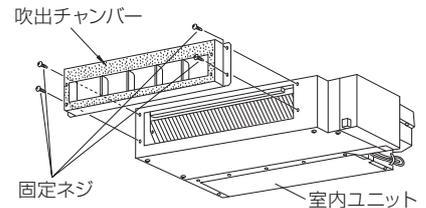
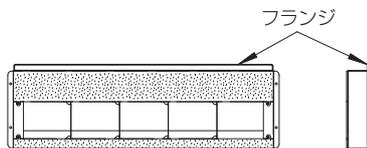
3. 室内機の先行準備

(1) 冷媒配管、内外接続電線、電源電線、ドレン配管工事

- 室内機の各接続部位置は、「7. 据付工事」(P20～)をご覧ください。
設備業者や建築業者とご相談してとりまわしを行ってください。
- ドレン配管は、硬質塩ビパイプ一般管 VP20 が室内機のドレン口と接続できます。
- 内外接続電線や電源電線は、後日のサービスのことも考慮して電気品箱の取り出しが可能なように室内機近傍で余裕をもたせておいてください。

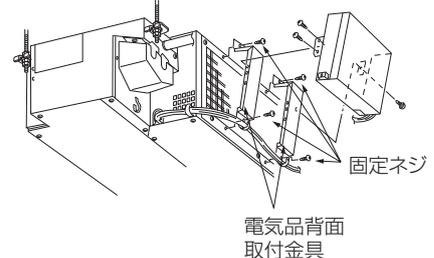
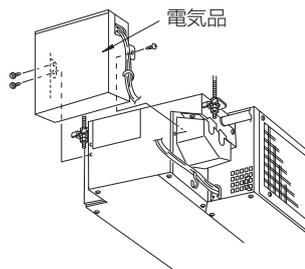
(2) 別売部品 吹出チャンバー (MAC-500FC) の取付

- 吹出チャンバー (MAC-500FC) を室内機の吹出側に取付けます。(固定ネジ 4 本)
吹出チャンバーには、方向性がありますのでご注意ください。
天袋設置の場合は、風向が下(フランジが上)になるよう取付けてください。



(3) 電気品箱の移動：電気品箱を室内機背面に移動します。

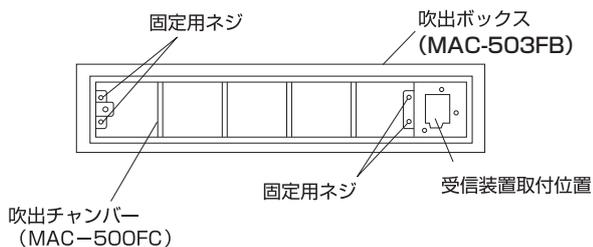
- 室内機付属部品の電気品背面取付金具を室内機の背面に 2 個取付けます
- 電気品箱を室内機側面から取外します。(ネジ 3 本)
- 右図のようにリード線を接続したまま電気品背面固定金具に取付けます。(ネジ 3 本)
- リード線は右図のように室内機と電気品箱背面固定金具のクランプ (3 カ所) にて固定してください。



4. 据付工事

P21「7.3 室内機の据付手順」にしたがってください。

5. 吹出ボックス (MAC-503FB) と室内機の固定

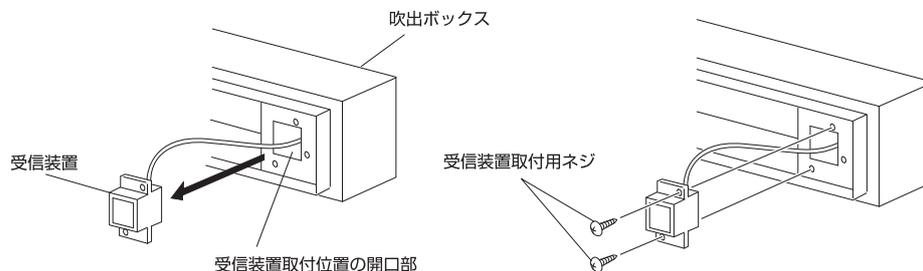


- 吹出ボックスの左右各2カ所を、吹出チャンバー (MAC-500FC) に固定用ネジで固定します。
- 次に吹出ボックスの内側の左右面に断熱材 (小) を、内側の上下面に断熱材 (大) をそれぞれ貼付けます。

受信装置、グリルの取付け前に吹出ボックス (MAC-503FB)、吸込ボックス (MAC-506SB) の取付確認をしてください。

6. 受信装置の取付

- 受信装置は、吹出ボックス (MAC-503FB) の右端に取付けます。
- 受信装置を受信装置取付位置の開口部を通してセットした後、受信装置の上下2カ所を、受信装置取付け用ネジで固定します。



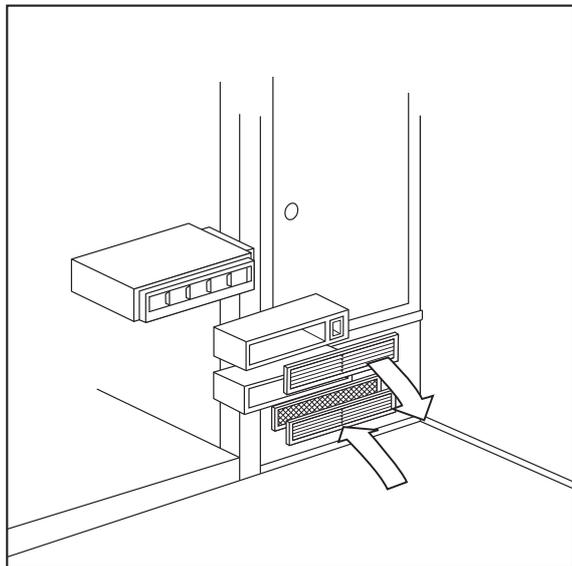
7. 吹出グリル (MAC-501FG/502FG) / 吸込グリル (MAC-504SG/505SG) の取付

- P123、P126 の据付工事説明書にしたがって取付けてください。
- 吹出グリルは、可動ルーバーとなっています。(手動式)

9.3 <パターンD> 半間幅地袋置き設置 [分離グリル縦置き]

9.3.1 <パターンD> 別売部品と寸法図

(1) 設置イメージ図

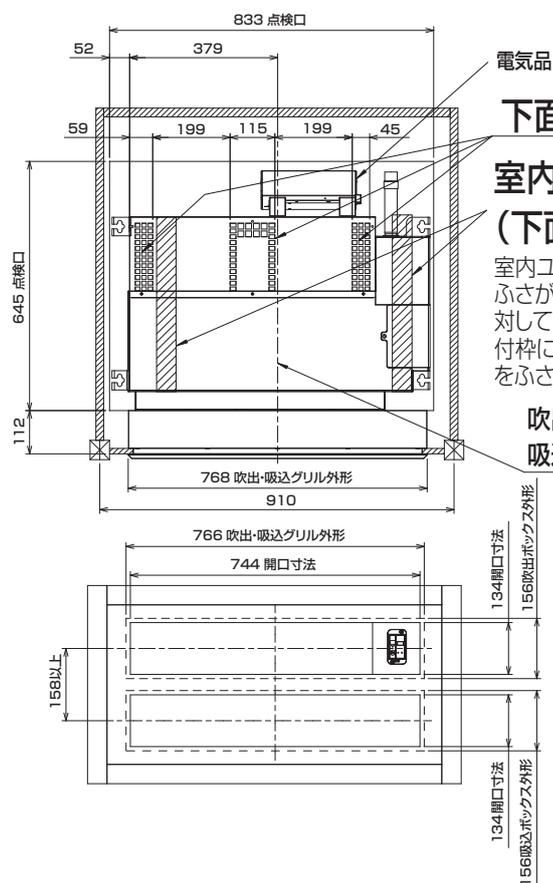


(2) 使用別売部品

品名	形名	備考
吹出チャンバー	MAC-500FC	室内ユニットの先行準備の時点で取付けてください。
吹出グリル (白木)	MAC-501FG	吹出グリルは、いずれかを選定してください。
吹出グリル (ホワイト)	MAC-502FG	
吹出ボックス	MAC-503FB	
吸込グリル (白木)	MAC-504SG	吸込グリルは、いずれかを選定してください。
吸込グリル (ホワイト)	MAC-505SG	
吸込ボックス	MAC-506SB	

(3) 設置構成図および設置スペース必要寸法 (据付要領につきましては、P48、P49 を参照ください。)

室内機収納室は外部の空気を吸込むことのないように配管貫通部、板の合わせ目などしっかりふさいでください。



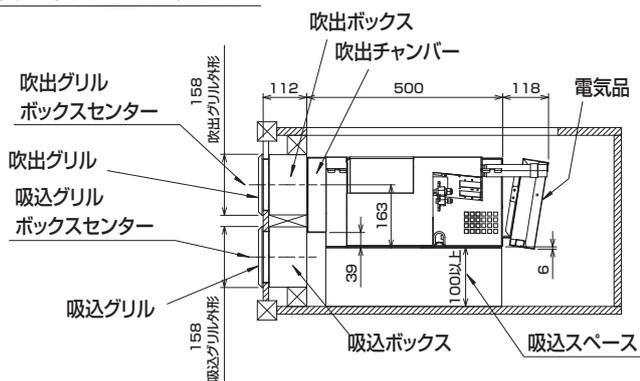
下面吸込口(3カ所)
室内ユニット支柱
(下面)

室内ユニットの支柱は下面の吸込口をふさがないように図の向き(据付枠に対して垂直)に設置してください。据付枠に平行に設置すると、壁面吸込口をふさいでしまいます。

吹出グリル・ボックス
吸込グリル・ボックスセンター

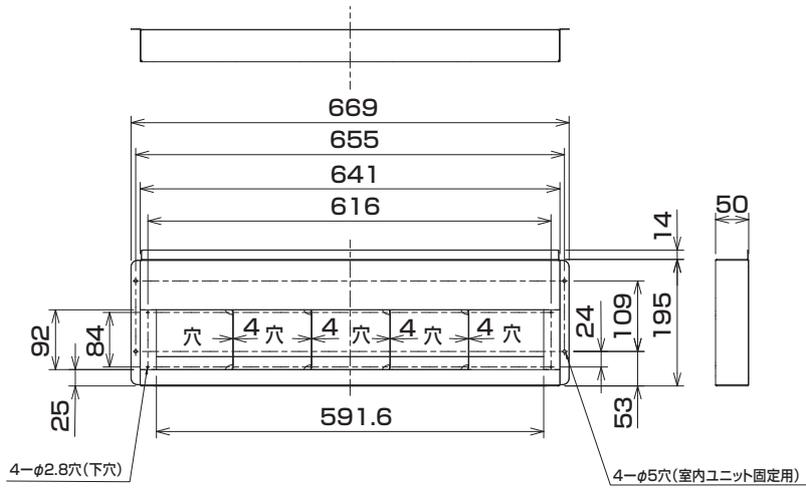
支柱：現地調達

- 据付枠は支柱(現地調達)などを用いて必ず確実に固定してください。
- 据付枠は必ず水平にセットしてください。
- 室内機の重量により据付枠が傾斜しないよう室内機収納室内の補強を確実に行ってください。
- 点検口は必ず設けてください。
- 室内機の下面に支柱を設ける場合は、室内機の振動が壁面などへ伝わらないようにゴムなど(現地調達)を間にいれてください。



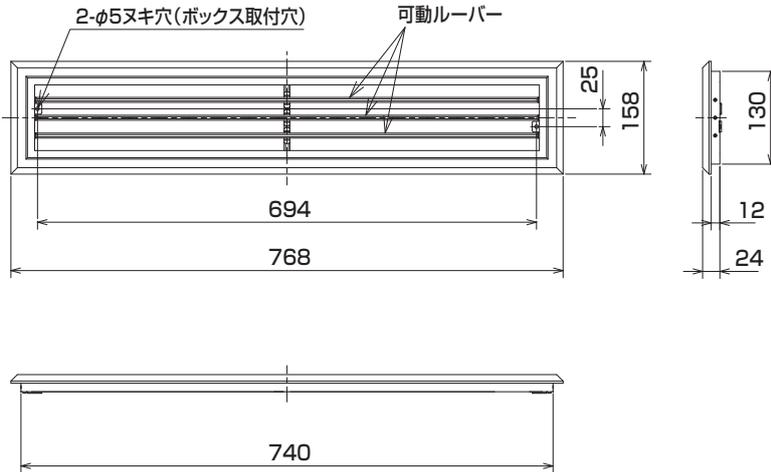
(4) 別売部品 外形図

●吹出チャンバー MAC-500FC



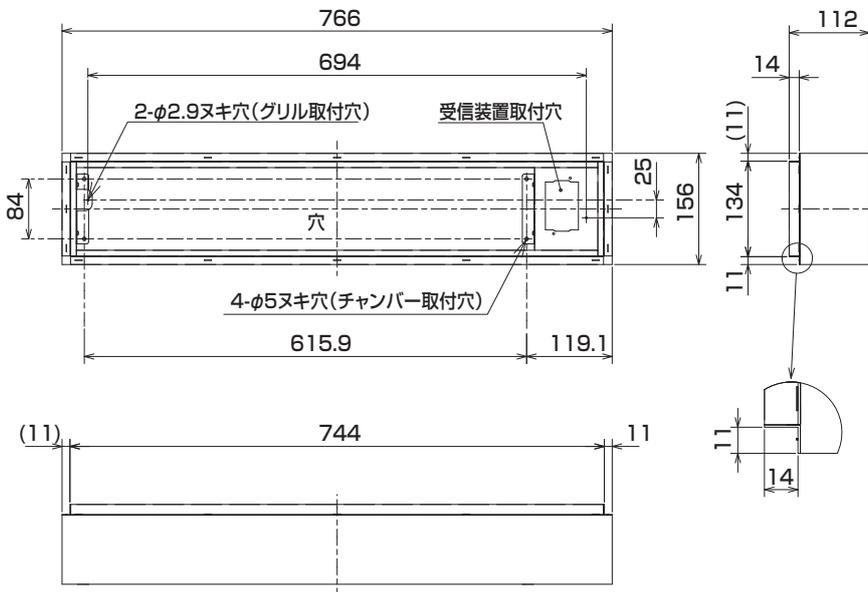
MAC-500FC構成部品	
① 吹出チャンバー	数量
	1
② ①の固定用ネジ	数量
	4
六角頭タッピングネジ 4×12	

●吹出グリル MAC-501FG (白木)、MAC-502FG (ホワイト)



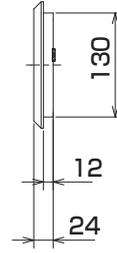
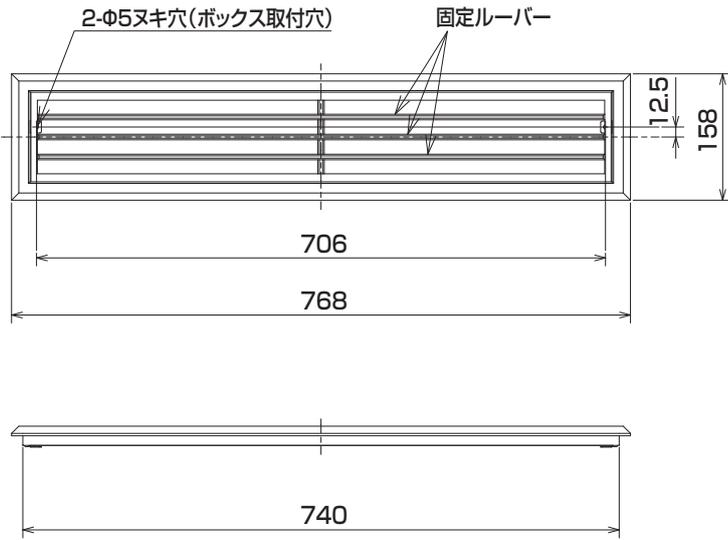
MAC-501FG MAC-502FG構成部品	
① 吹出グリル	数量
	1
② ①の固定用ネジ	数量
	2
タッピングネジ 4×10(黒)	

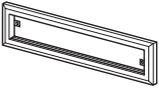
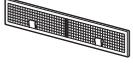
●吹出ボックス MAC-503FB



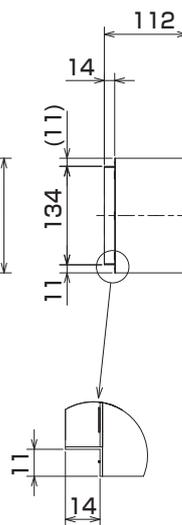
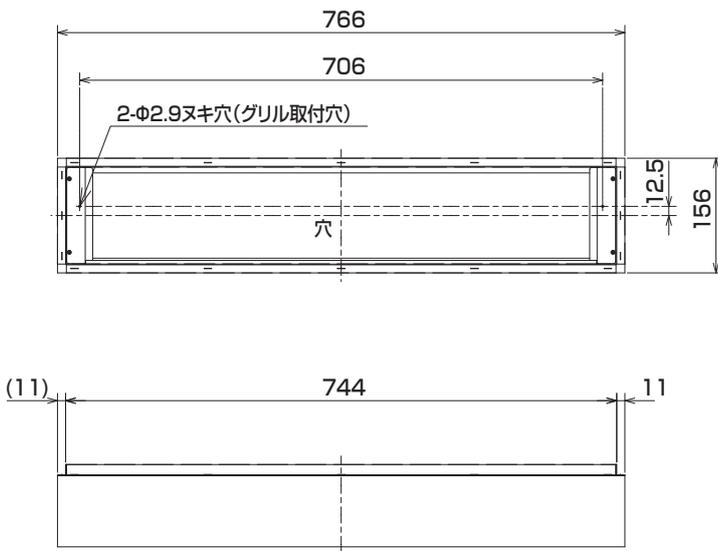
MAC-503FB構成部品			
① 吹出ボックス	数量	③ ①の固定ネジ	数量
	1		4
		タッピングネジ 4×12	
② 断熱材(大小)	数量	④ 受信装置取付用ネジ	数量
	各2		2
		タッピングネジ 4×10(黒)	

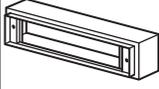
●吸込グリル MAC-504SG (白木)、MAC-505SG (ホワイト)



MAC-504SG MAC-505SG 構成部品			
① 吸込グリル(外枠)	数量	③ エアフィルター	数量
	1		1
② 吸込グリル(内枠)	数量	④ ①の固定ネジ	数量
	1		2
		タッピングネジ 4×10(黒)	

●吸込ボックス MAC-506SB



MAC-506SB構成部品	
① 吸込ボックス	数量
	1

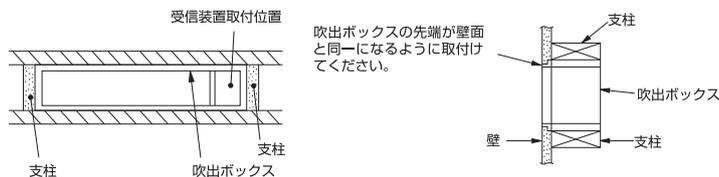
9.3.2 <パターンD> 据付要領 (半間幅地袋置き設置 [分離グリル縦置き])

1. 室内機点検口と開口穴の設定

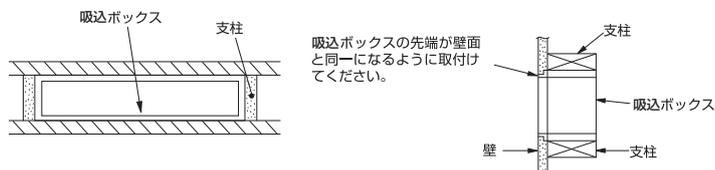
- 室内機点検口と開口穴の寸法は、各設置パターンの設置構成図および設置スペース必要寸法にしたがって設定してください。

2. 吹出ボックス / 吸込ボックスの取付

- 吹出ボックス (MAC-503FB) には方向性がありますのでご注意ください。
吹出ボックス (MAC-503FB) に受信装置を取付けますが、受信装置の取付位置が部屋内から見て右側になるように設置してください。
- 吹出ボックス (MAC-503FB) は柱等重量を支える部材に支柱を通して固定してください。



- 吸込ボックス (MAC-506SB) には方向性がありますのでご注意ください。
「天」の文字が表示されている方を天面側になるように取付けてください。
- 吸込ボックス (MAC-506SB) は柱等重量を支える部材を通して固定してください。



- 各設置パターン別の設置構成図および設置スペース必要寸法と P124 の MAC-503FB、P127 の MAC-506SB の据付工事説明書にしたがって取付けてください。

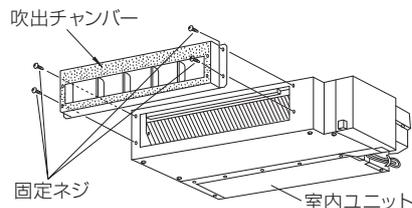
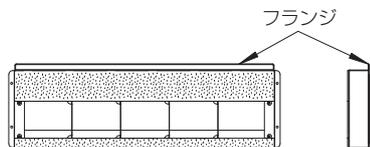
3. 室内機の先行準備

(1) 冷媒配管、内外接続電線、電源電線、ドレン配管工事

- 室内機の各接続部位置は、「7. 据付工事」(P20～)をご覧ください。
設備業者や建築業者とご相談してとりまわしを行ってください。
- ドレン配管は、硬質塩ビパイプ一般管 VP20 が室内機のドレン口と接続できます。
- 内外接続電線や電源電線は、後日のサービスのことも考慮して電気品箱の取り出しが可能なように室内機近傍で余裕をもたせておいてください。

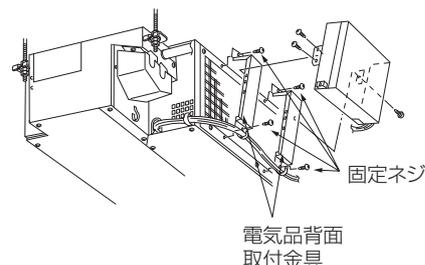
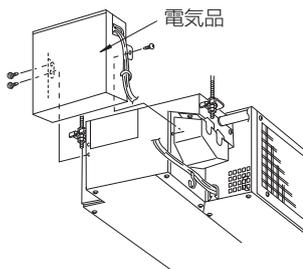
(2) 別売部品 吹出チャンバー (MAC-500FC) の取付

- 吹出チャンバー (MAC-500FC) を室内機の吹出側に取付けます。(固定ネジ 4 本)
吹出チャンバーには、方向性がありますのでご注意ください。
地袋設置の場合は、風向が上 (フランジが下) になるよう取付けてください。



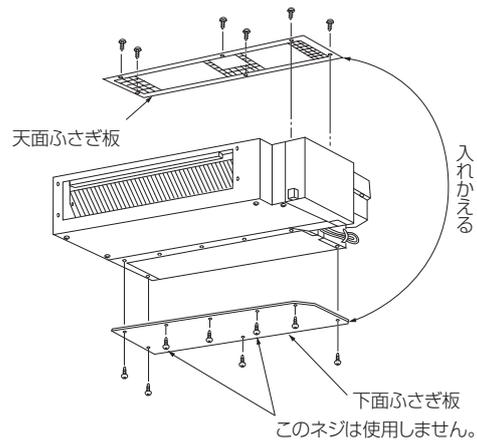
(3) 電気品箱の移動：半間幅設置の場合は、必ず電気箱を移動してください。

- 室内機付属部品の電気品背面取付金具を室内機の背面に 2 個取付けます。
- 電気品箱を室内機側面から取外します。(ネジ 3 本)
- 右図のようにリード線を接続したまま電気品背面固定金具に取付けます。(ネジ 3 本)
- リード線は右図のように室内機と電気品箱背面固定金具のクランプ (3 カ所) にて固定してください。



(4) 半間幅地袋設置の場合のみ、室内機天面と下面のふさぎ板の入れかえ

- 天面ふさぎ面と下面ふさぎ面を入れ替えてください。

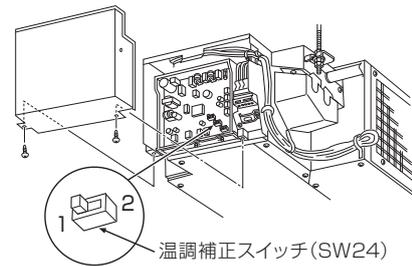


(5) 温度補正の設定

- 温調補正スイッチ (SW24) を1→2へ切替えてください。

切換方法

- ①設定はエアコン用ブレーカーを「切」にしてから行ってください。
- ②室内ユニットの電気品カバーを外します。
- ③右図の位置に温調補正スイッチがありますので、スイッチを操作できる位置まで制御基板を引き下げ、設定を行います。
- ④設定が終わりましたら、制御基板を元の位置にもどし、電気品カバーを取付けてください。



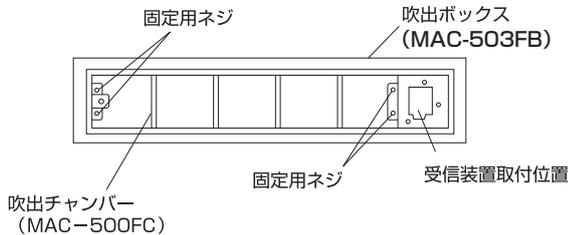
静電気による制御基板の破損防止のため、必ず静電気除去を行ってから作業してください。

出荷時の設定は“1”になっています。

4. 据付工事

P21「7.3 室内機の据付手順」にしたがってください。

5. 吹出ボックス (MAC-503FB) と室内機の固定

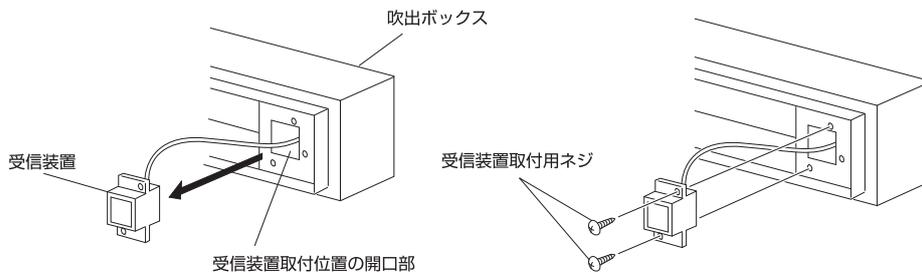


- 吹出ボックスの左右各2カ所を、吹出チャンバー (MAC-500FC) に固定用ネジで固定します。
- 次に吹出ボックスの内側の左右面に断熱材 (小) を、内側の上下面に断熱材 (大) をそれぞれ貼付けます。

受信装置、グリルの取付け前に吹出ボックス (MAC-503FB)、吸込ボックス (MAC-506SB) の取付確認をしてください。

6. 受信装置の取付

- 受信装置は、吹出ボックス (MAC-503FB) の右端に取付けます。
- 受信装置を受信装置取付位置の開口部を通してセットした後、受信装置の上下2カ所を、受信装置取付け用ネジで固定します。



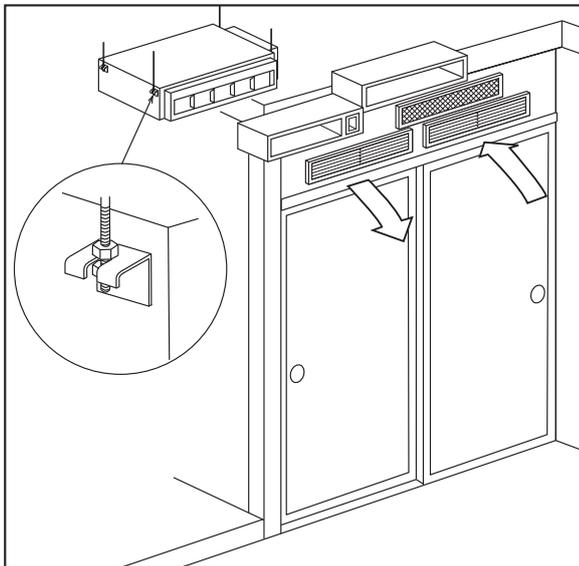
7. 吹出グリル (MAC-501FG/502FG) / 吸込グリル (MAC-504SG/505SG) の取付

- P123、P126の据付工事説明書にしたがって取付けてください。
- 吹出グリルは、可動ルーバーとなっています。(手動式)

9.4 <パターンE> 一間幅天袋吊り設置、 <パターンF> 一間幅天袋置き設置

9.4.1 <パターンE> 別売部品と寸法図

(1) 設置イメージ図

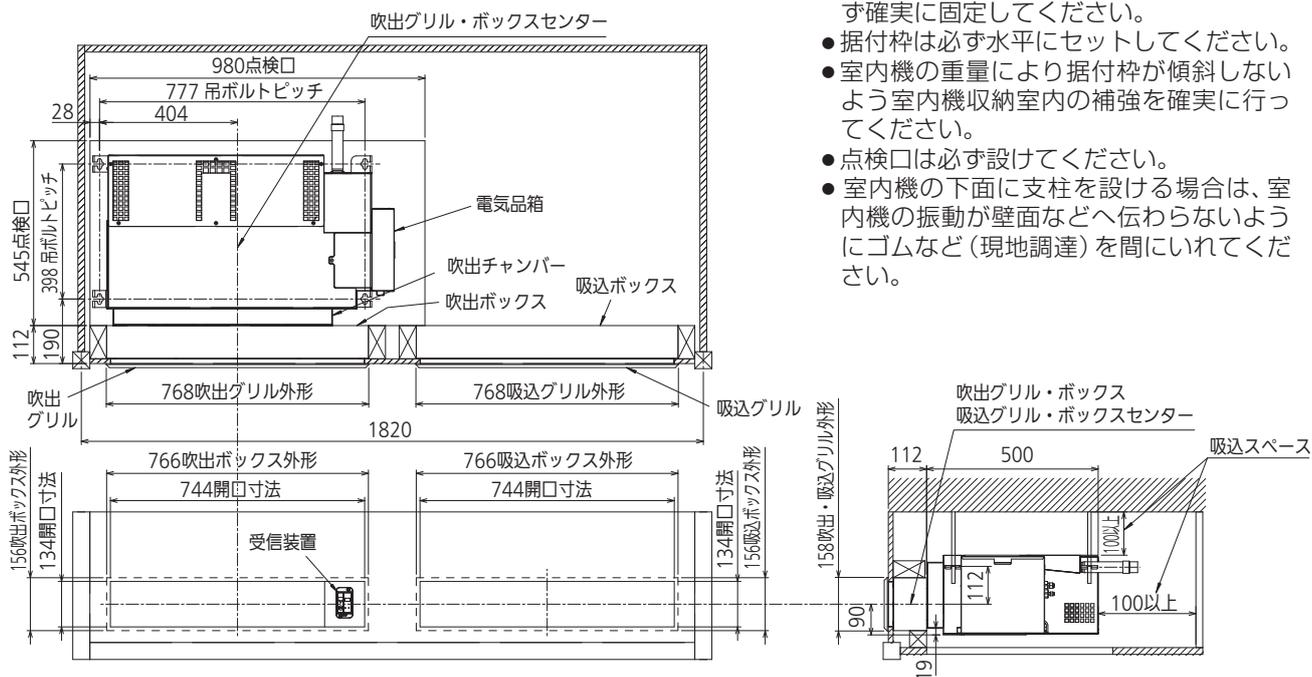


(2) 使用別売部品

品名	形名	備考
吹出チャンバー	MAC-500FC	室内ユニットの先行準備の時点で取付けてください。
吹出グリル (白木)	MAC-501FG	吹出グリルは、いずれかを選定してください。
吹出グリル (ホワイト)	MAC-502FG	
吹出ボックス	MAC-503FB	
吸込グリル (白木)	MAC-504SG	吸込グリルは、いずれかを選定してください。
吸込グリル (ホワイト)	MAC-505SG	
吸込ボックス	MAC-506SB	

(3) 設置構成図および設置スペース必要寸法 (据付要領につきましては、P56、P57を参照ください。)

室内機収納室は外部の空気を吸込むことのないように配管貫通部、板の合わせ目などしっかりふさいでください。

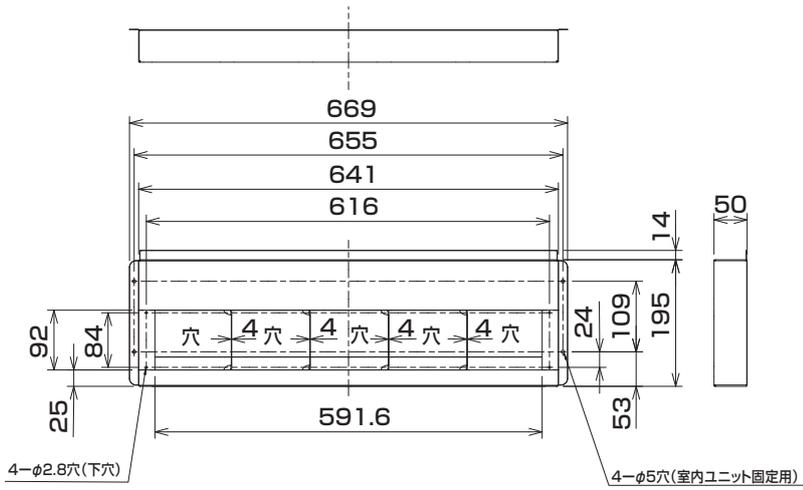


支柱：現地調達

- 据付枠は支柱 (現地調達) などを用いて必ず確実に固定してください。
- 据付枠は必ず水平にセットしてください。
- 室内機の重量により据付枠が傾斜しないよう室内機収納室内の補強を確実に行ってください。
- 点検口は必ず設けてください。
- 室内機の下面に支柱を設ける場合は、室内機の振動が壁面などへ伝わらないようにゴムなど (現地調達) を間にいれてください。

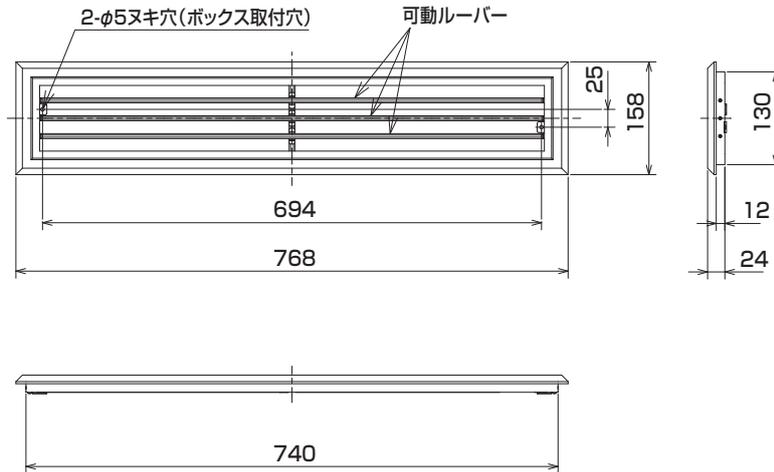
(4) 別売部品 外形図

● 吹出チャンバー MAC-500FC



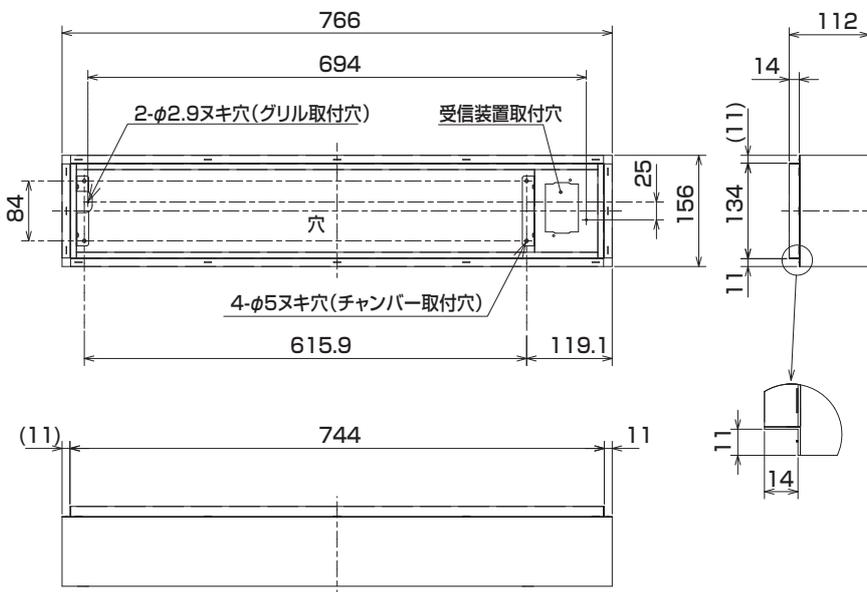
MAC-500FC構成部品	
① 吹出チャンバー	数量
	1
② ①の固定用ネジ	数量
	4
六角頭タッピングネジ 4×12	

● 吹出グリル MAC-501FG (白木)、MAC-502FG (ホワイト)



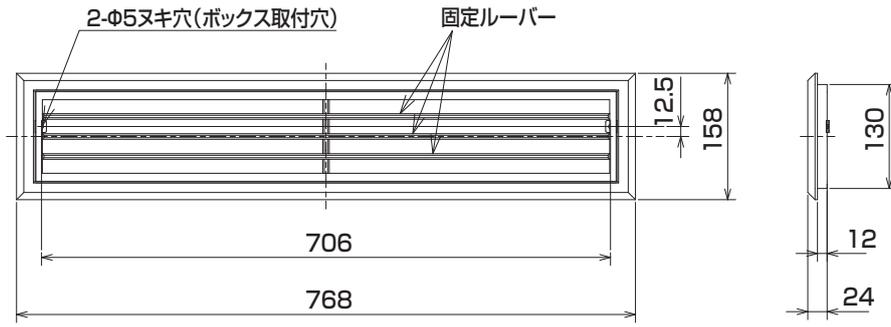
MAC-501FG MAC-502FG 構成部品	
① 吹出グリル	数量
	1
② ①の固定用ネジ	数量
	2
タッピングネジ 4×10(黒)	

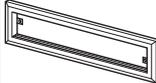
● 吹出ボックス MAC-503FB



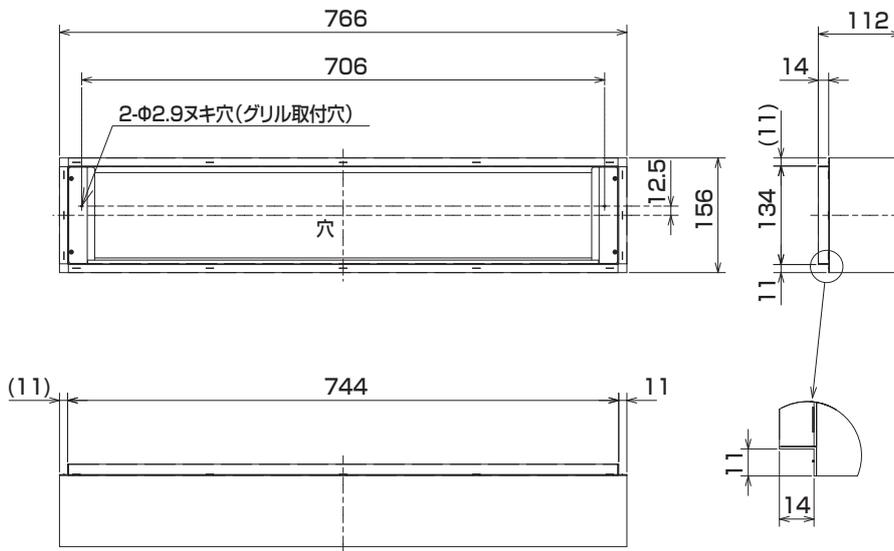
MAC-503FB構成部品			
① 吹出ボックス	数量	③ ①の固定用ネジ	数量
	1		4
		タッピングネジ 4×12	
② 断熱材(大小)	数量	④ 受信装置取付用ネジ	数量
	各2		2
		タッピングネジ 4×10(黒)	

- 吸込グリル MAC-504SG (白木)、MAC-505SG (ホワイト)



MAC-504SG MAC-505SG 構成部品			
① 吸込グリル(外枠)	数量	③ エアフィルター	数量
	1		1
② 吸込グリル(内枠)	1	④ ①の固定ネジ	2
			
		タッピングネジ 4×10(黒)	

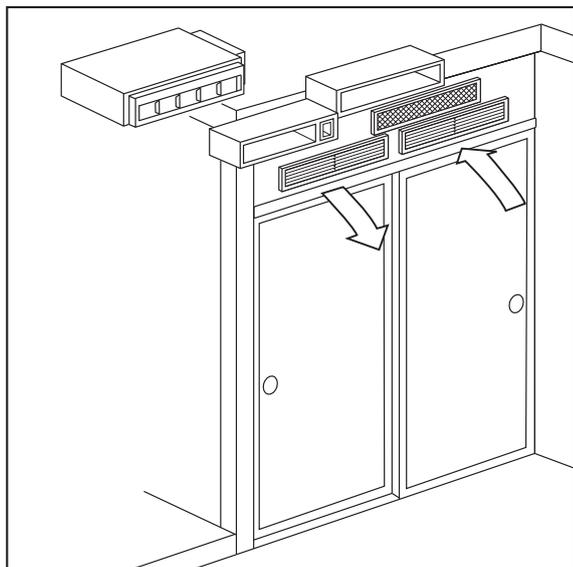
- 吸込ボックス MAC-506SB



MAC-506SB 構成部品	
① 吸込ボックス	数量
	1

9.4.2 <パターンF> 別売部品と寸法図

(1) 設置イメージ図

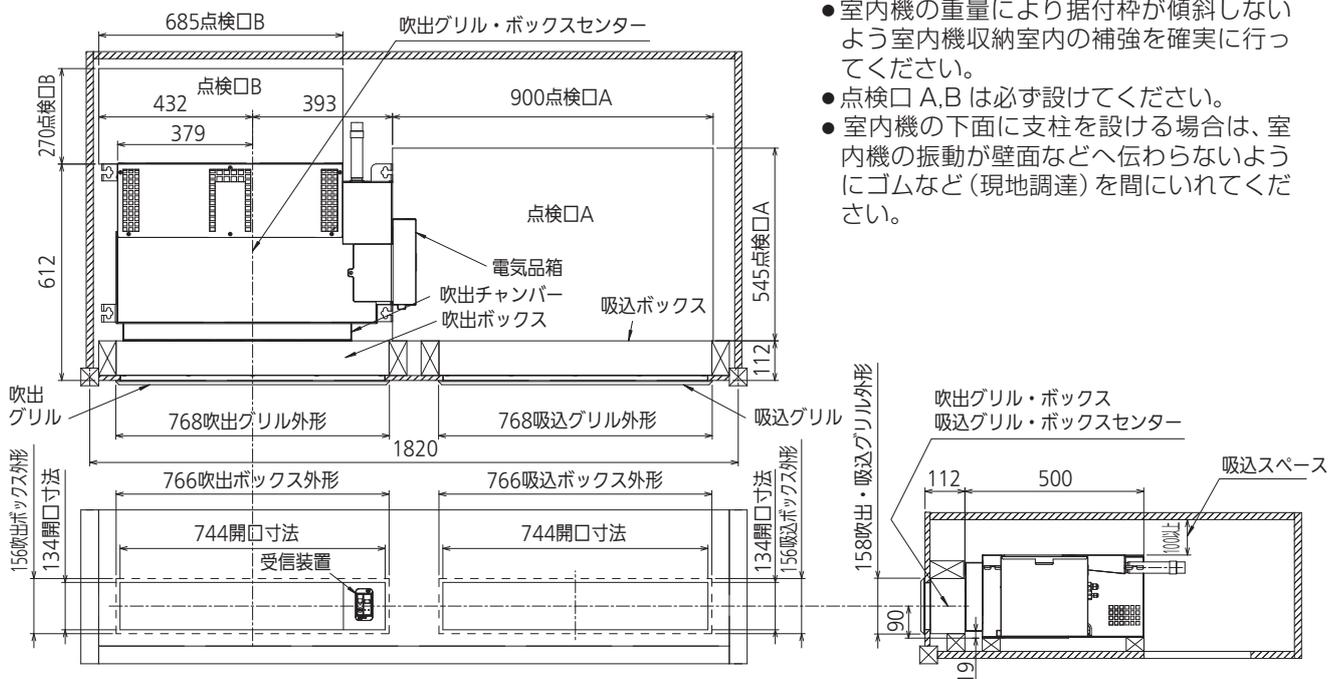


(2) 使用別売部品

品名	形名	備考
吹出チャンバー	MAC-500FC	室内ユニットの先行準備の時点で取付けてください。
吹出グリル (白木)	MAC-501FG	吹出グリルは、いずれかを選定してください。
吹出グリル (ホワイト)	MAC-502FG	
吹出ボックス	MAC-503FB	
吸込グリル (白木)	MAC-504SG	吸込グリルは、いずれかを選定してください。
吸込グリル (ホワイト)	MAC-505SG	
吸込ボックス	MAC-506SB	

(3) 設置構成図および設置スペース必要寸法 (据付要領につきましては、P56、P57を参照ください。)

室内機収納室は外部の空気を吸込むことのないように配管貫通部、板の合わせ目などしっかりふさいでください。

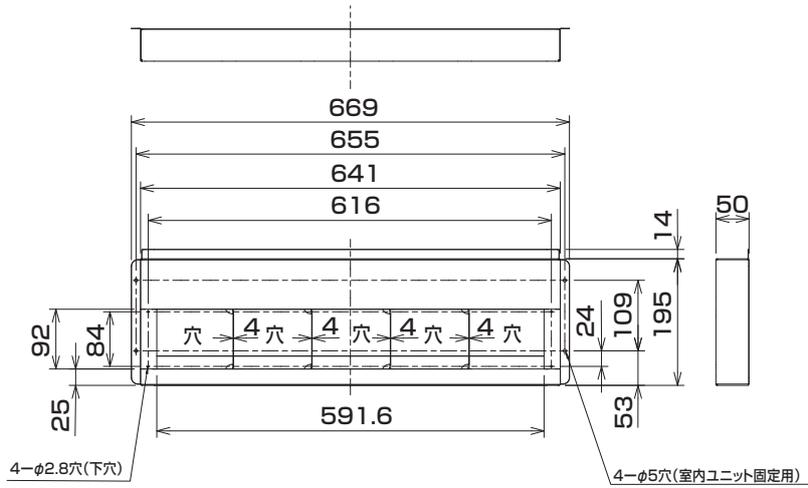


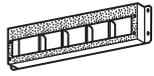
支柱：現地調達

- 据付枠は支柱（現地調達）などを用いて必ず確実に固定してください。
- 据付枠は必ず水平にセットしてください。
- 室内機の重量により据付枠が傾斜しないよう室内機収納室内の補強を確実に行ってください。
- 点検口A、Bは必ず設けてください。
- 室内機の下面に支柱を設ける場合は、室内機の振動が壁面などへ伝わらないようにゴムなど（現地調達）を間にいれてください。

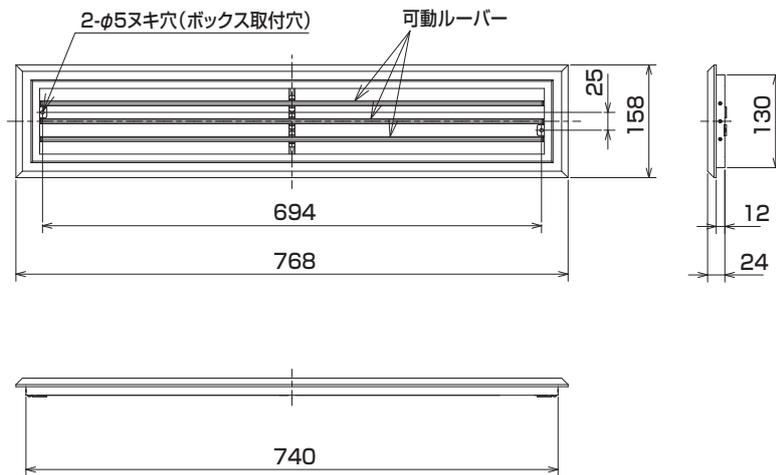
(4) 別売部品 外形図

●吹出チャンバー MAC-500FC



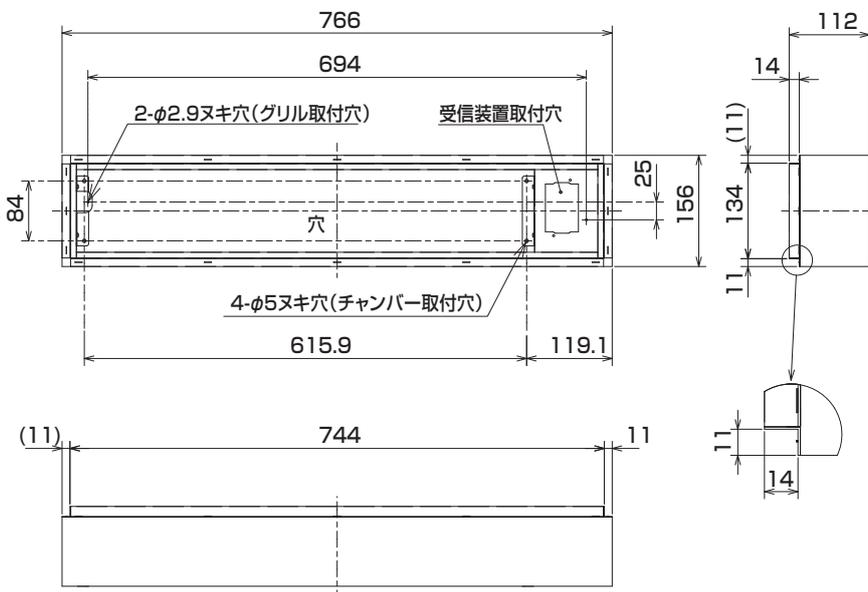
MAC-500FC構成部品	
① 吹出チャンバー	数量
	1
② ①の固定用ネジ	数量
	4
六角頭タッピングネジ 4×12	

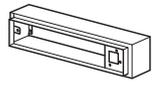
●吹出グリル MAC-501FG (白木)、MAC-502FG (ホワイト)



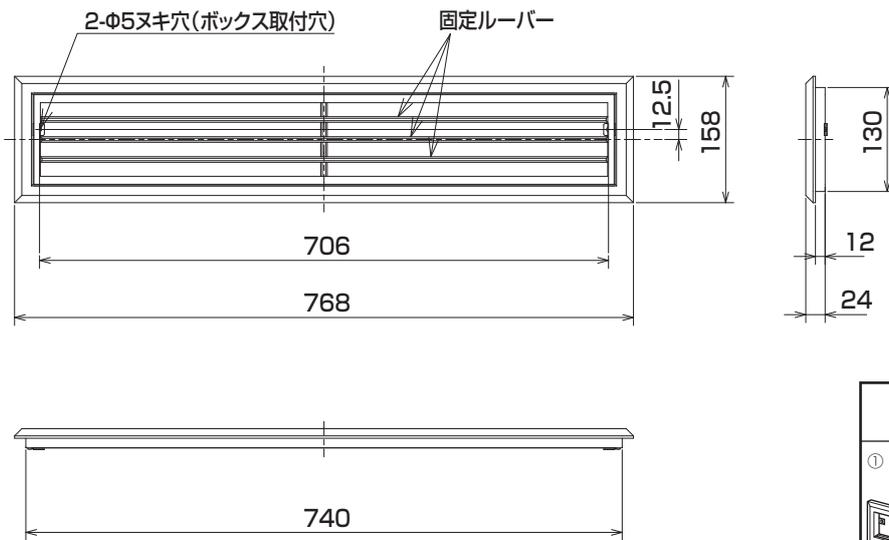
MAC-501FG MAC-502FG 構成部品	
① 吹出グリル	数量
	1
② ①の固定用ネジ	数量
	2
タッピングネジ 4×10(黒)	

●吹出ボックス MAC-503FB



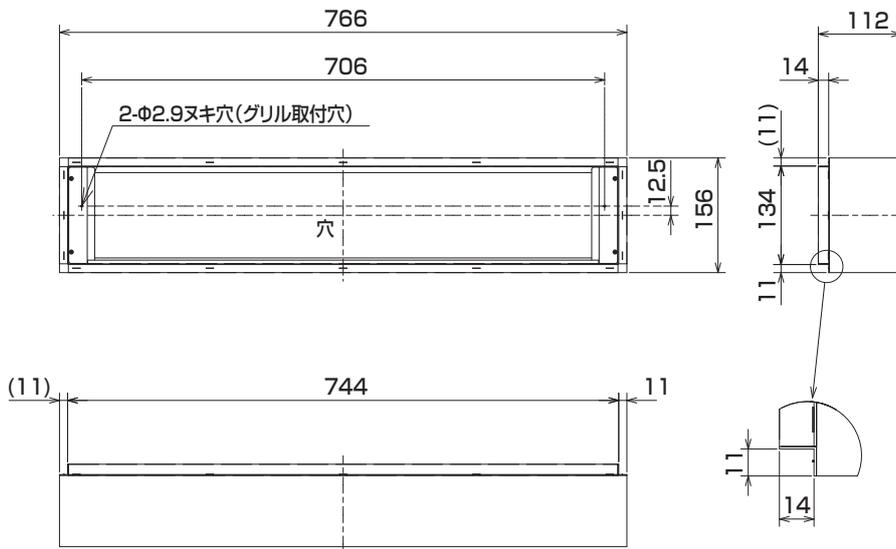
MAC-503FB構成部品			
① 吹出ボックス	数量	③ ①の固定ネジ	数量
	1		4
		タッピングネジ 4×12	
② 断熱材(大・小)	各2	④ 受信装置取付用ネジ	数量
			2
		タッピングネジ 4×10(黒)	

●吸込グリル MAC-504SG (白木)、MAC-505SG (ホワイト)



MAC-504SG MAC-505SG 構成部品			
① 吸込グリル(外枠)	数量	③ エアフィルター	数量
	1		1
② 吸込グリル(内枠)	1	④ ①の固定ネジ	2
		タッピングネジ 4×10(黒)	

●吸込ボックス MAC-506SB



MAC-506SB構成部品	
① 吸込ボックス	数量
	1

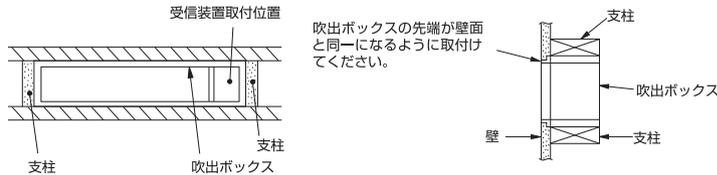
9.4.3 <パターンE> <パターンF> 据付要領 (一間幅天袋吊り / 置き設置)

1. 室内機点検口と開口穴の設定

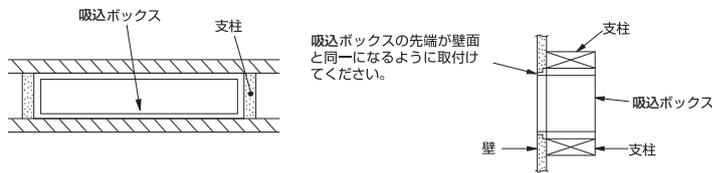
- 室内機点検口と開口穴の寸法は、各設置パターンの設置構成図および設置スペース必要寸法にしたがって設定してください。

2. 吹出ボックス / 吸込ボックスの取付

- 吹出ボックス (MAC-503FB) には方向性がありますのでご注意ください。
吹出ボックス (MAC-503FB) に受信装置を取付けますが、受信装置の取付位置が部屋内から見て右側になるように設置してください。
- 吹出ボックス (MAC-503FB) は柱等重量を支える部材に支柱を通して固定してください。



- 吸込ボックス (MAC-506SB) には方向性がありますのでご注意ください。
「天」の文字が表示されている方を天面側になるように取付けてください。
- 吸込ボックス (MAC-506SB) は柱等重量を支える部材を通して固定してください。



- 各設置パターン別の設置構成図および設置スペース必要寸法と P124 の MAC-503FB、P127 の MAC-506SB の据付工事説明書にしたがって取付けてください。

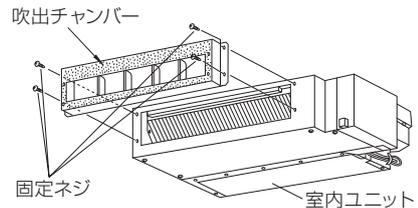
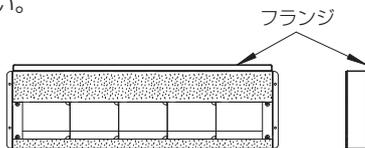
3. 室内機の先行準備

(1) 冷媒配管、内外接続電線、電源電線、ドレン配管工事

- 室内機の各接続部位置は、「7. 据付工事」(P20 ~) をご覧ください。
設備業者や建築業者とご相談してとりまわしを行ってください。
- ドレン配管は、硬質塩ビパイプ一般管 VP20 が室内機のドレン口と接続できます。
- 内外接続電線や電源電線は、後日のサービスのことも考慮して電気品箱の取り出しが可能なように室内機近傍で余裕をもたせておいてください。

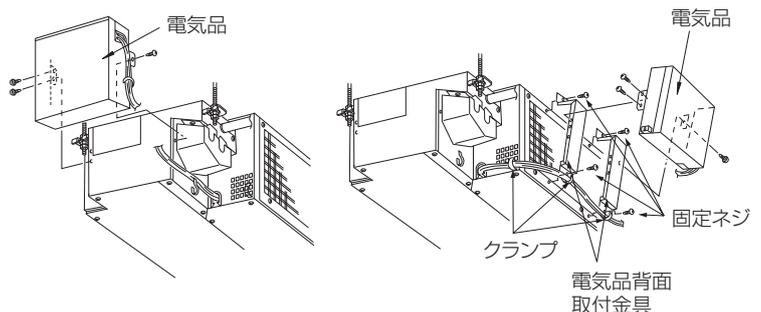
(2) 別売部品 吹出チャンバー (MAC-500FC) の取付

- 吹出チャンバー (MAC-500FC) を室内機の吹出側に取付けます。(固定ネジ 4 本)
吹出チャンバーには、方向性がありますのでご注意ください。
天袋設置の場合は、風向が下(フランジが上)になるよう取付けてください。



(3) 電気品箱の移動：電気品箱を室内機背面に移動したい場合のみ実施してください。

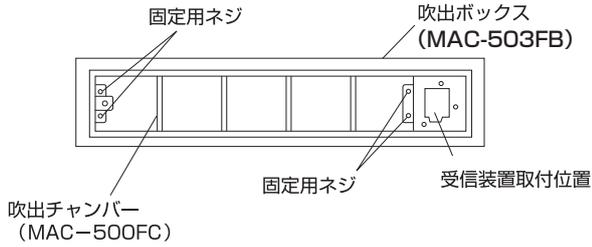
- 室内機付属部品の電気品背面取付金具を室内機の背面に 2 個取付けます
- 電気品箱を室内機側面から取外します。(ネジ 3 本)
- 右図のようにリード線を接続したまま電気品背面固定金具に取付けます。(ネジ 3 本)
- リード線は右図のように室内機と電気品箱背面固定金具のクランプ (3 カ所) にて固定してください。



4. 据付工事

P21「7.3 室内機の据付手順」にしたがってください。

5. 吹出ボックス (MAC-503FB) と室内機の固定

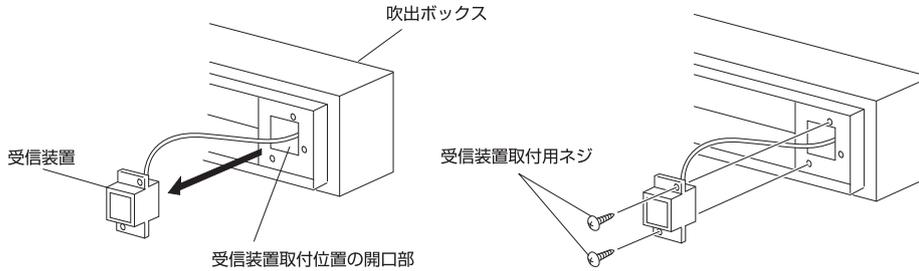


- 吹出ボックスの左右各 2 カ所を、吹出チャンバー (MAC-500FC) に固定用ネジで固定します。
- 次に吹出ボックスの内側の左右面に断熱材 (小) を、内側の上下面に断熱材 (大) をそれぞれ貼付けます。

受信装置、グリルの取付け前に吹出ボックス (MAC-503FB)、吸込ボックス (MAC-506SB) の取付確認をしてください。

6. 受信装置の取付

- 受信装置は、吹出ボックス (MAC-503FB) の右端に取付けます。
- 受信装置を受信装置取付位置の開口部を通してセットした後、受信装置の上下 2 カ所を、受信装置取付け用ネジで固定します。



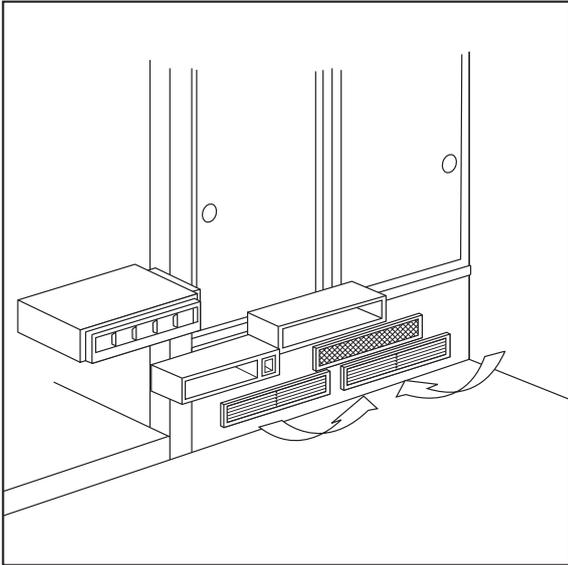
7. 吹出グリル (MAC-501FG/502FG) / 吸込グリル (MAC-504SG/505SG) の取付

- P123、P126 の据付工事説明書にしたがって取付けてください。
- 吹出グリルは、可動ルーバーとなっています。(手動式)

9.5 <パターンG> 一間幅地袋置き設置

9.5.1 <パターンG> 別売部品と寸法図

(1) 設置イメージ図

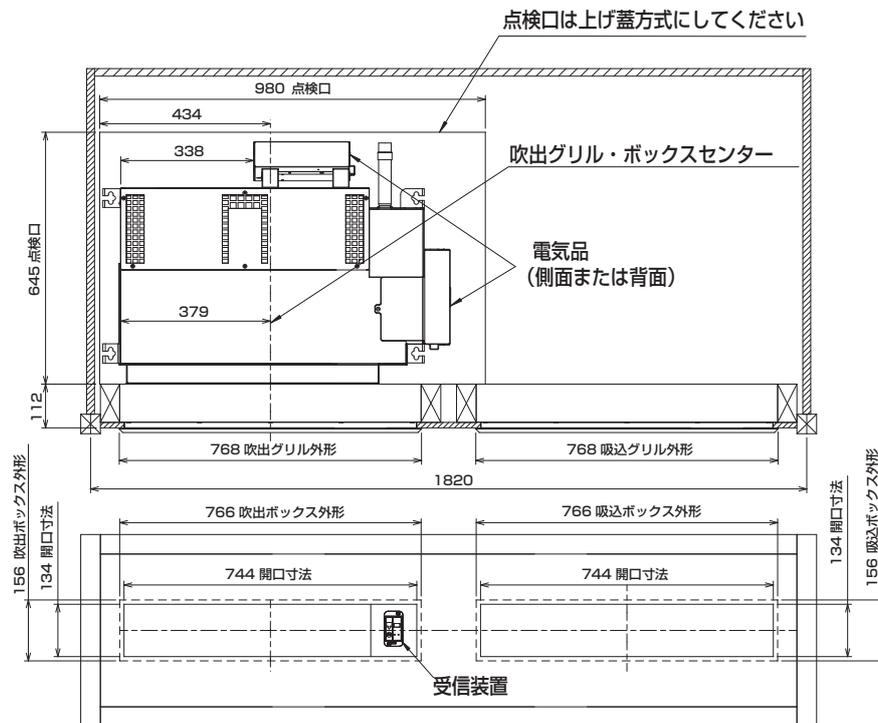


(2) 使用別売部品

品名	形名	備考
吹出チャンバー	MAC-500FC	室内ユニットの先行準備の時点で取付けてください。
吹出グリル (白木)	MAC-501FG	吹出グリルは、いずれかを選定してください。
吹出グリル (ホワイト)	MAC-502FG	
吹出ボックス	MAC-503FB	
吸込グリル (白木)	MAC-504SG	吸込グリルは、いずれかを選定してください。
吸込グリル (ホワイト)	MAC-505SG	
吸込ボックス	MAC-506SB	

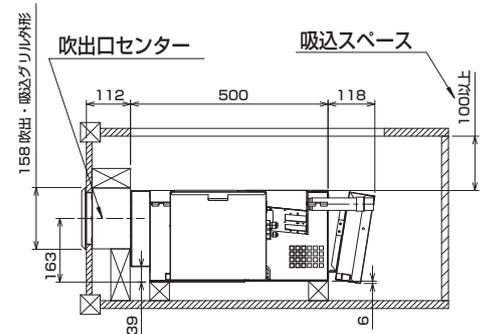
(3) 設置構成図および設置スペース必要寸法 (据付要領につきましては、P61、P62 を参照ください。)

室内機収納室は外部の空気を吸込むことのないように配管貫通部、板の合わせ目などしっかりふさいでください。



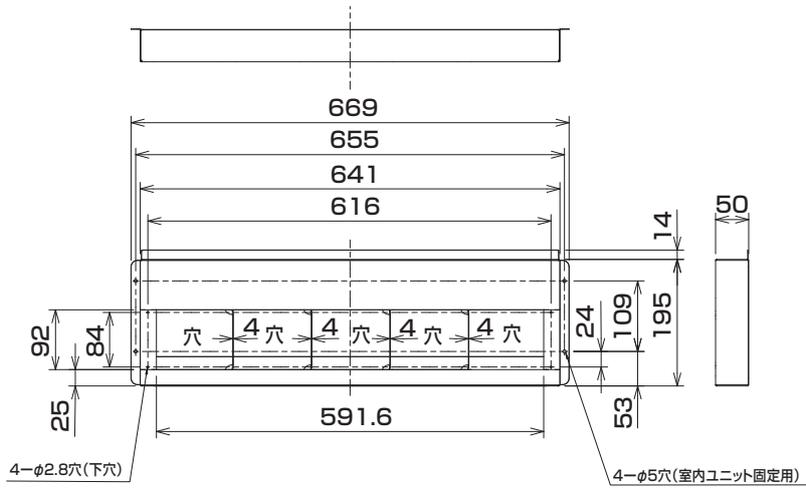
支柱：現地調達

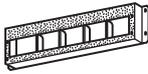
- 据付枠は支柱 (現地調達) などを用いて必ず確実に固定してください。
- 据付枠は必ず水平にセットしてください。
- 室内機の重量により据付枠が傾斜しないよう室内機収納室内の補強を確実に行ってください。
- 点検口は必ず設けてください。
- 室内機の下面に支柱を設ける場合は、室内機の振動が壁面などへ伝わらないようにゴムなど (現地調達) を間にいれてください。



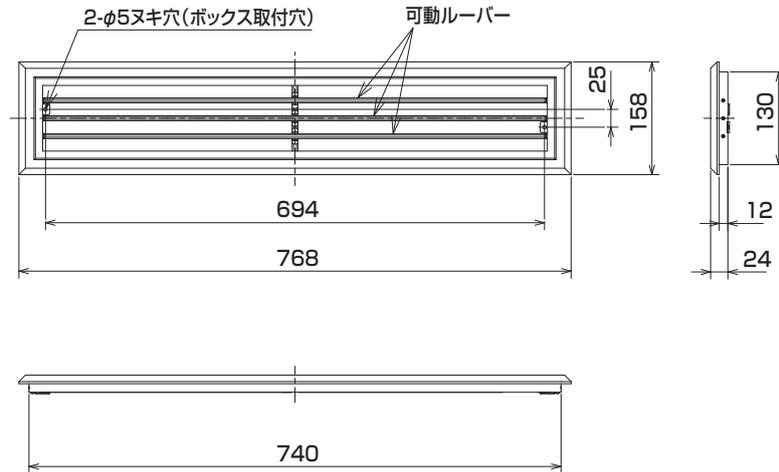
(4) 別売部品 外形図

●吹出チャンバー MAC-500FC



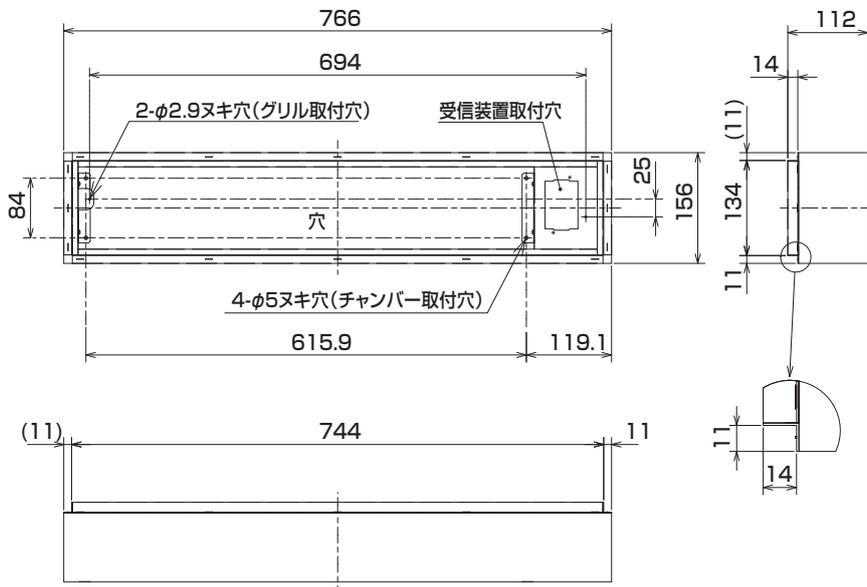
MAC-500FC構成部品	
① 吹出チャンバー	数量
	1
② ①の固定用ネジ	数量
	4
六角頭タッピングネジ 4×12	

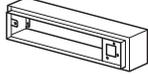
●吹出グリル MAC-501FG (白木)、MAC-502FG (ホワイト)



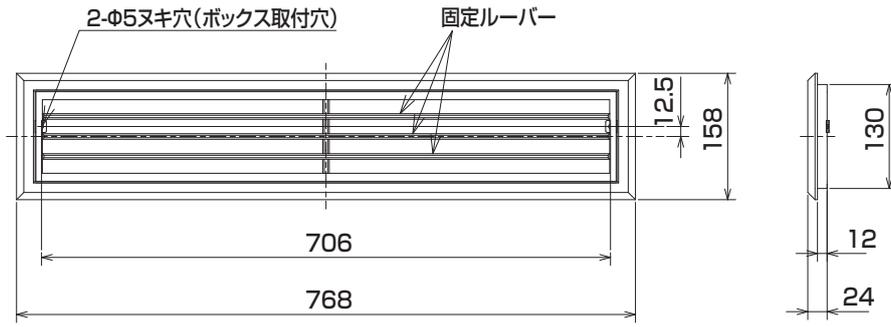
MAC-501FG MAC-502FG構成部品	
① 吹出グリル	数量
	1
② ①の固定用ネジ	数量
	2
タッピングネジ 4×10(黒)	

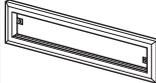
●吹出ボックス MAC-503FB



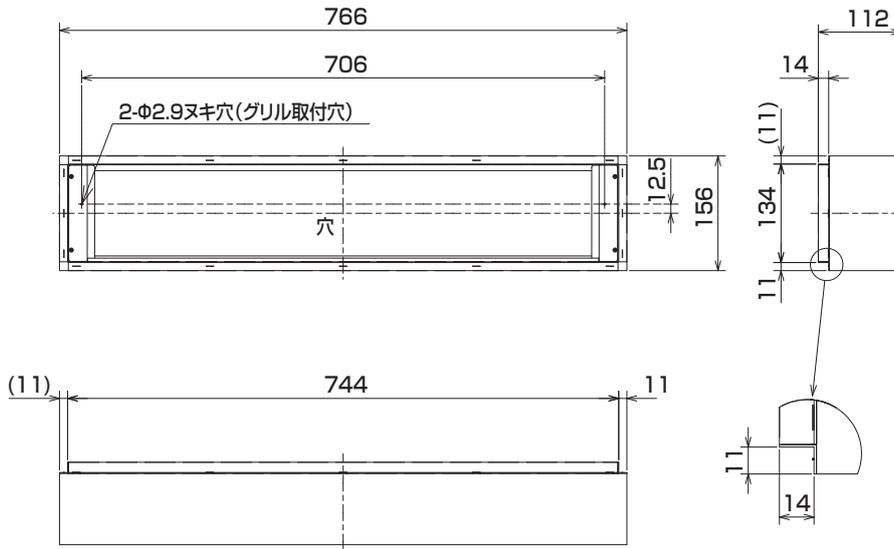
MAC-503FB構成部品			
① 吹出ボックス	数量	③ ①の固定ネジ	数量
	1		4
		タッピングネジ 4×12	
② 断熱材(大・小)	各2	④ 受信装置取付用ネジ	数量
			2
		タッピングネジ 4×10(黒)	

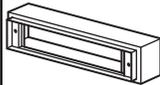
- 吸込グリル MAC-504SG (白木)、MAC-505SG (ホワイト)



MAC-504SG MAC-505SG 構成部品			
① 吸込グリル(外枠)	数量	③ エアフィルター	数量
	1		1
② 吸込グリル(内枠)	1	④ ①の固定ネジ	2
			
		タッピングネジ 4×10(黒)	

- 吸込ボックス MAC-506SB



MAC-506SB 構成部品	
① 吸込ボックス	数量
	1

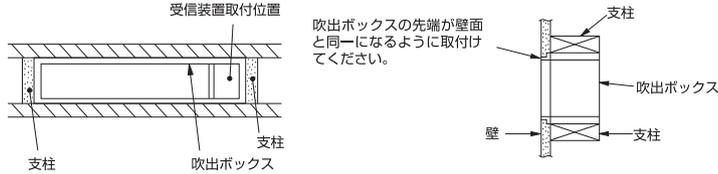
9.5.2 <パターンG> 据付要領 (一間幅地袋置き設置)

1. 室内機点検口と開口穴の設定

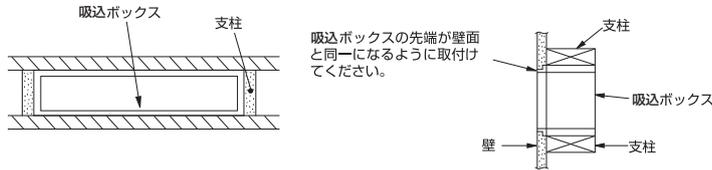
- 室内機点検口と開口穴の寸法は、各設置パターンの設置構成図および設置スペース必要寸法にしたがって設定してください。

2. 吹出ボックス / 吸込ボックスの取付

- 吹出ボックス (MAC-503FB) には方向性がありますのでご注意ください。
吹出ボックス (MAC-503FB) に受信装置を取付けますが、受信装置の取付位置が部屋内から見て右側になるように設置してください。
- 吹出ボックス (MAC-503FB) は柱等重量を支える部材に支柱を通して固定してください。



- 吸込ボックス (MAC-506SB) には方向性がありますのでご注意ください。
「天」の文字が表示されている方を天面側になるように取付けてください。
- 吸込ボックス (MAC-506SB) は柱等重量を支える部材を通して固定してください。



- 各設置パターン別の設置構成図および設置スペース必要寸法と P124 の MAC-503FB、P127 の MAC-506SB の据付工事説明書にしたがって取付けてください。

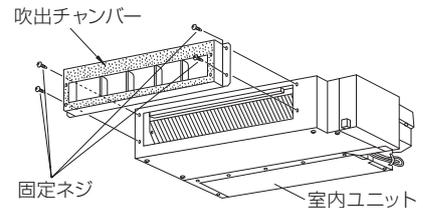
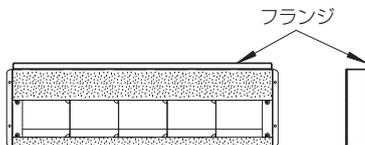
3. 室内機の先行準備

(1) 冷媒配管、内外接続電線、電源電線、ドレン配管工事

- 室内機の各接続部位置は、「7. 据付工事」(P20～)をご覧ください。
設備業者や建築業者とご相談してとりまわしを行ってください。
- ドレン配管は、硬質塩ビパイプ一般管 VP20 が室内機のドレン口と接続できます。
- 内外接続電線や電源電線は、後日のサービスのことも考慮して電気品箱の取り出しが可能なように室内機近傍で余裕をもたせておいてください。

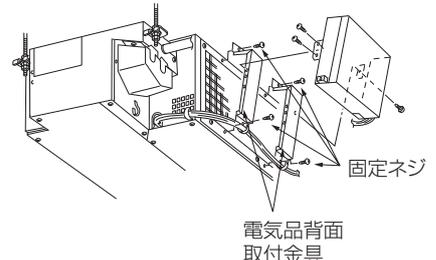
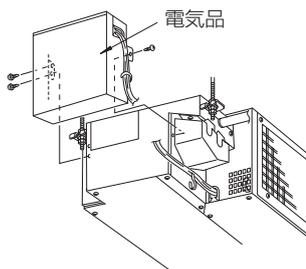
(2) 別売部品 吹出チャンバー (MAC-500FC) の取付

- 吹出チャンバー (MAC-500FC) を室内機の吹出側に取付けます。(固定ネジ 4 本)
吹出チャンバーには、方向性がありますのでご注意ください。
地袋設置の場合は、風向が上(フランジが下)になるよう取付けてください。



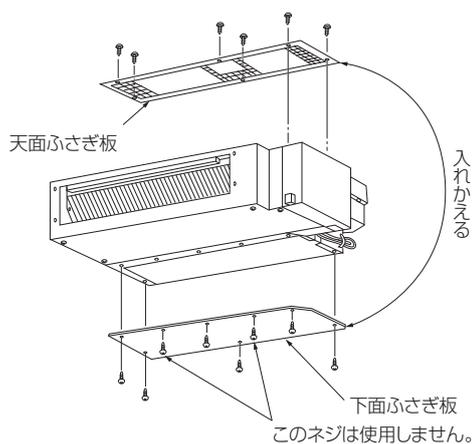
(3) 電気品箱の移動

- 室内機付属部品の電気品背面取付金具を室内機の背面に 2 個取付けます。
- 電気品箱を室内機側面から取外します。(ネジ 3 本)
- 右図のようにリード線を接続したまま電気品背面固定金具に取付けます。(ネジ 3 本)
- リード線は右図のように室内機と電気品箱背面固定金具のクランプ (3カ所) にて固定してください。



(4) 半間幅地袋設置の場合のみ、室内機天面と下面のふさぎ板の入れかえ

- 天面ふさぎ面と下面ふさぎ面を入れ替えてください。

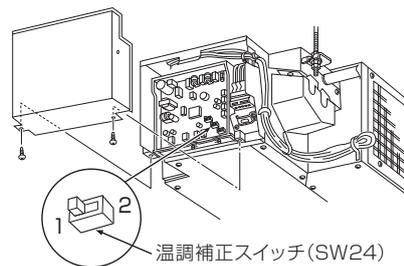


(5) 温度補正の設定

- 温度補正スイッチ (SW24) を1→2へ切替えてください。

切換方法

- ①設定はエアコン用ブレーカーを「切」にしてから行ってください。
- ②室内ユニットの電気品カバーを外します。
- ③右図の位置に温度補正スイッチがありますので、スイッチを操作できる位置まで制御基板を引き下げ、設定を行います。
- ④設定が終わりましたら、制御基板を元の位置にもどし、電気品カバーを取付けてください。



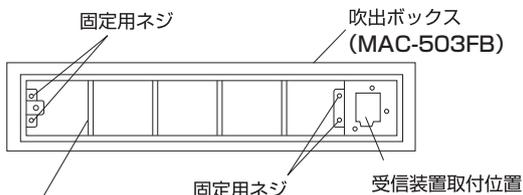
静電気による制御基板の破損防止のため、必ず静電気除去を行ってから作業してください。

出荷時の設定は“1”になっています。

4. 据付工事

P21「7.3 室内機の据付手順」にしたがってください。

5. 吹出ボックス (MAC-503FB) と室内機の固定



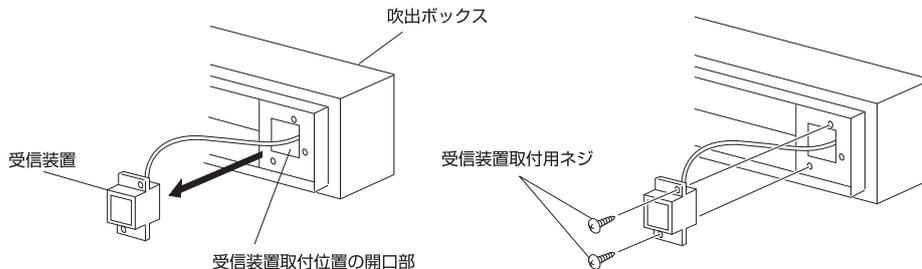
吹出チャンバー (MAC-500FC)

- 吹出ボックスの左右各2カ所を、吹出チャンバー (MAC-500FC) に固定用ネジで固定します。
- 次に吹出ボックスの内側の左右面に断熱材 (小) を、内側の上下面に断熱材 (大) をそれぞれ貼付けます。

受信装置、グリルの取付け前に吹出ボックス (MAC-503FB)、吸込ボックス (MAC-506SB) の取付確認をしてください。

6. 受信装置の取付

- 受信装置は、吹出ボックス (MAC-503FB) の右端に取付けます。
- 受信装置を受信装置取付位置の開口部を通してセットした後、受信装置の上下2カ所を、受信装置取付け用ネジで固定します。



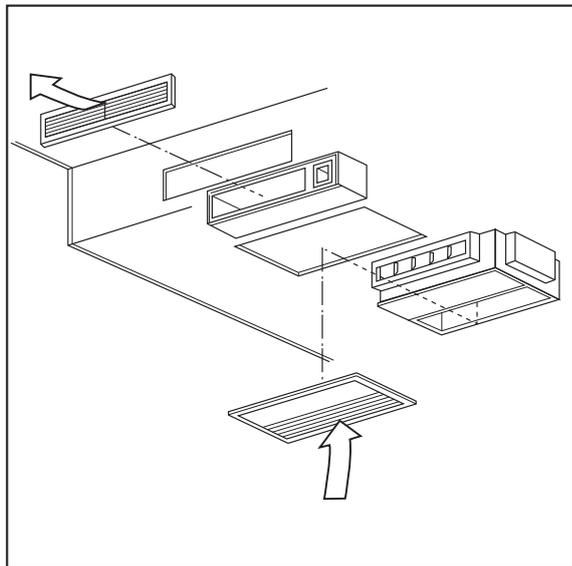
7. 吹出グリル (MAC-501FG/502FG) / 吸込グリル (MAC-504SG/505SG) の取付

- P123、P126の据付工事説明書にしたがって取付けてください。
- 吹出グリルは、可動ルーバーとなっています。(手動式)

9.6 <パターンH> 下がり天井設置 [キャンバスダクトなし / あり]

9.6.1 <パターンH> [キャンバスダクトなし] 別売部品と寸法図

(1) 設置イメージ図

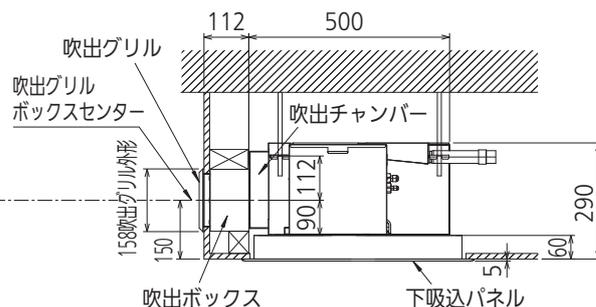
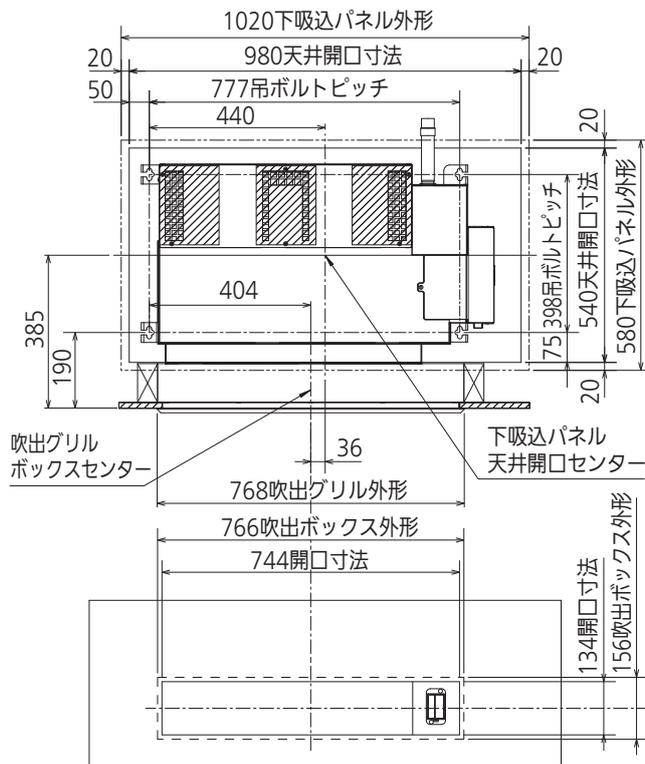


(2) 使用別売部品

品名	形名	備考
吹出チャンバー	MAC-500FC	室内ユニットの先行準備の時点で取付けてください。
吹出グリル (白木)	MAC-501FG	吹出グリルは、いずれかを選定してください。
吹出グリル (ホワイト)	MAC-502FG	
吹出ボックス	MAC-503FB	
下吸込パネル	MAC-530UP	
レシーバー取付具	MAC-523RT	受信装置は吹出ボックスMAC-503FBに取付け可能ですが、それ以外の場所(天井等)に取り付ける場合に使用してください。延長コードの長さ: 10m
レシーバー延長コード	MAC-551RC	

(3) 設置構成図および設置スペース必要寸法 (据付要領につきましては、P70 ~ P73 を参照ください。)

室内機収納室は外部の空気を吸込むことのないように配管貫通部、板の合わせ目などしっかりふさいでください。

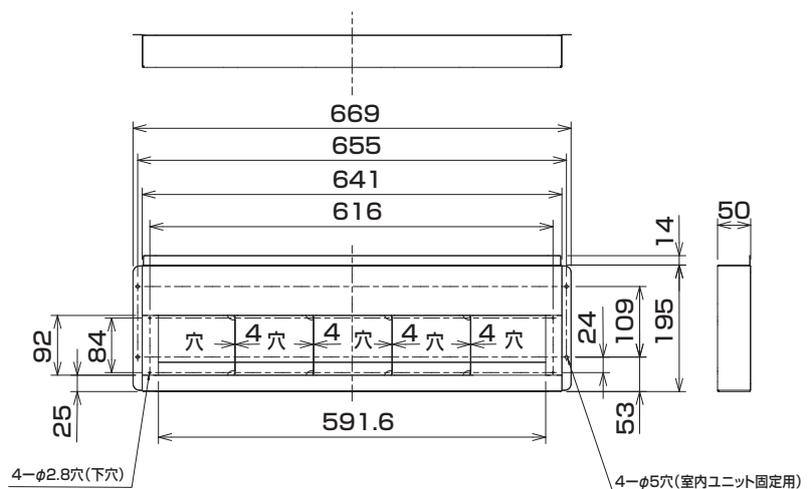


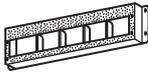
支柱：現地調達

- 据付枠は支柱（現地調達）などを用いて必ず確実に固定してください。
- 据付枠は必ず水平にセットしてください。
- 室内機の重量により据付枠が傾斜しないよう室内機収納室内の補強を確実に行ってください。
- 下吸込パネル取付け用の天井開口が点検口になります。

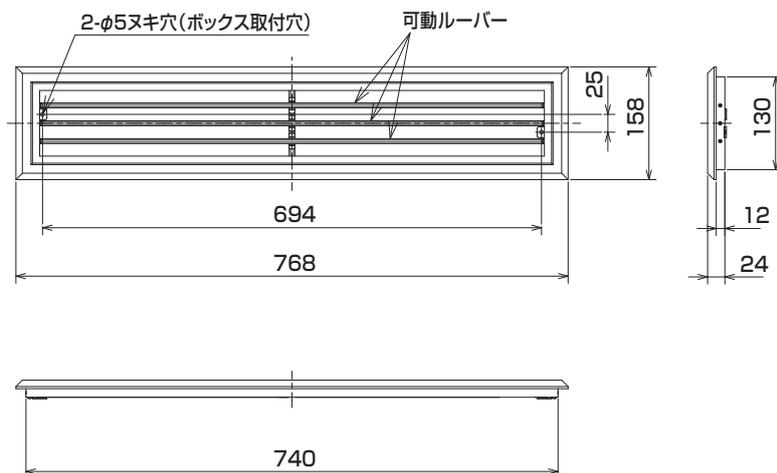
(4) 別売部品 外形図

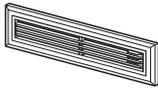
●吹出チャンバー MAC-500FC



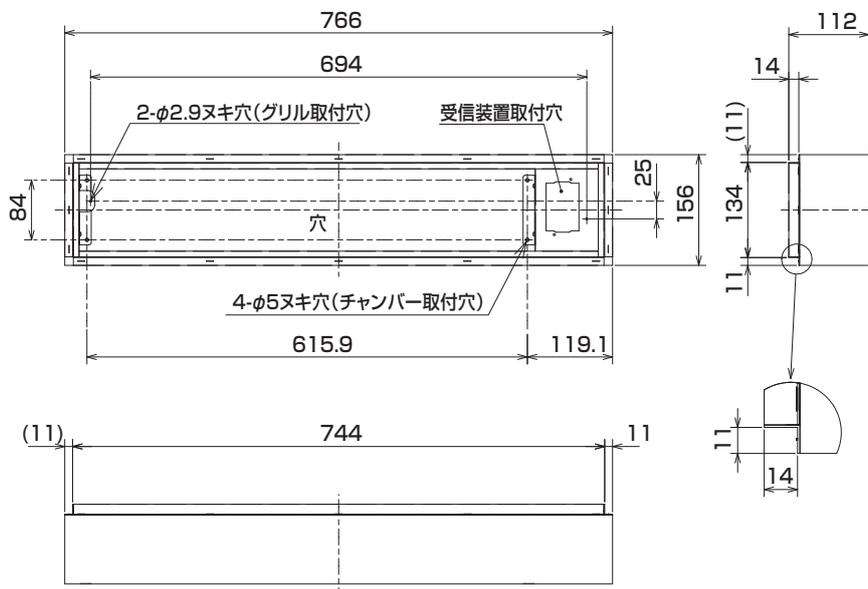
MAC-500FC構成部品	
① 吹出チャンバー	数量
	1
② ①の固定用ネジ	数量
	4
六角頭タッピングネジ 4×12	

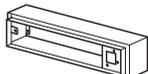
●吹出グリル MAC-501FG (白木)、MAC-502FG (ホワイト)



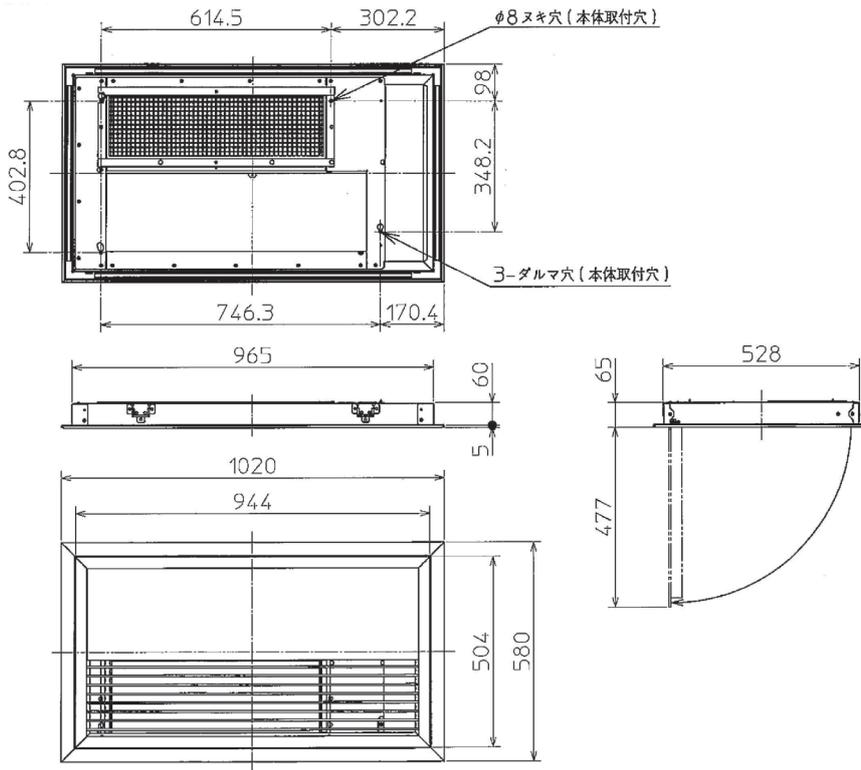
MAC-501FG MAC-502FG 構成部品	
① 吹出グリル	数量
	1
② ①の固定用ネジ	数量
	2
タッピングネジ 4×10(黒)	

●吹出ボックス MAC-503FB



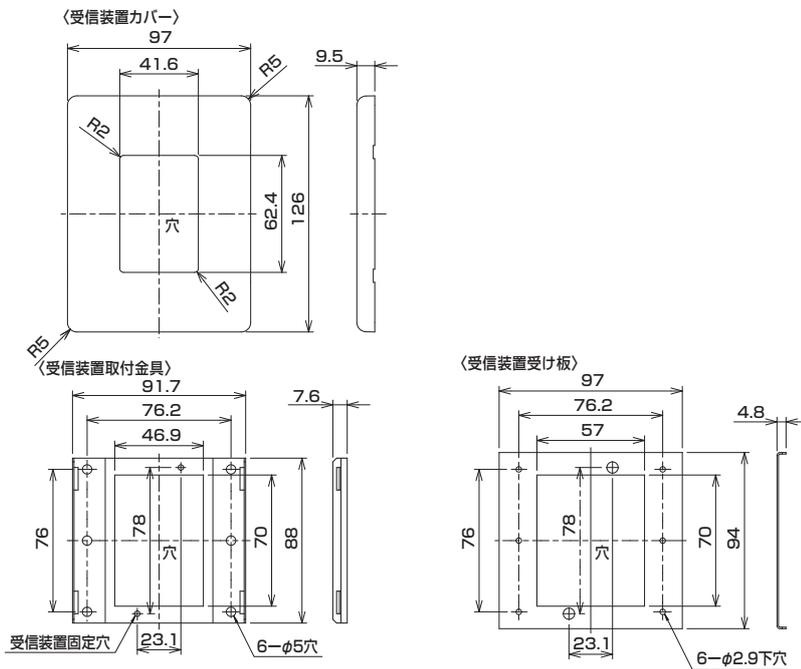
MAC-503FB構成部品			
① 吹出ボックス	数量	③ ①の固定ネジ	数量
	1		4
		タッピングネジ 4×12	
② 断熱材(大小)	各2	④ 受信装置取付用ネジ	数量
			2
		タッピングネジ 4×10(黒)	

●下吸込パネル MAC-530UP



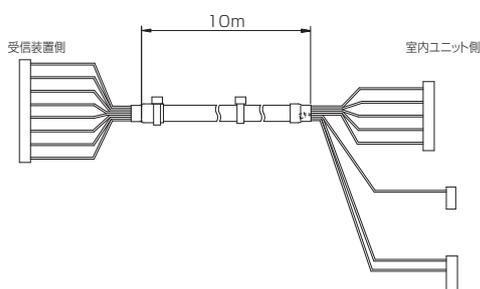
MAC-530UP構成部品	
① 下吸込パネル	数量
	1
② エアフィルター	数量
	1
③ ①の固定用ネジ	数量
	4
M5×30	

●レシーバー取付具 MAC-523RT



MAC-523RT構成部品			
① 受信装置カバー	数量	④ ②の固定ネジ	数量
	1		4
		タッピングネジ 4×20	
② 受信装置取付金具	数量	⑤ 受信装置の固定用ネジ	数量
	1		2
		タッピングネジ 4×10	
③ 受信装置受け板	数量		
	1	—	—

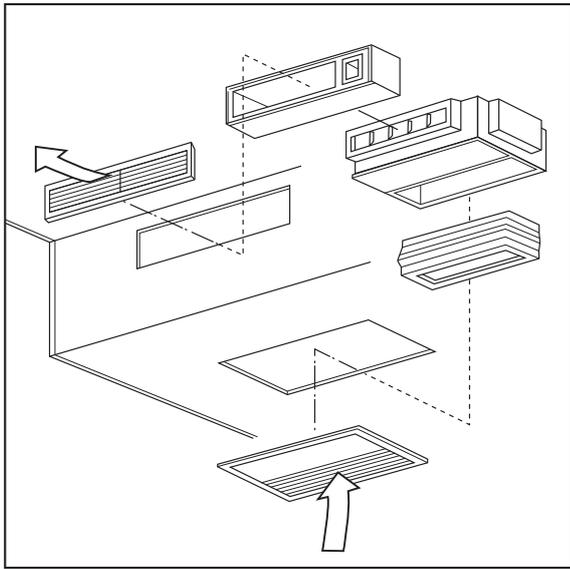
●レシーバー延長コード MAC-551RC



MAC-551RC構成部品	
①	数量
レシーバー 延長コード (10m)	1

9.6.2 <パターンH>[キャンバスダクトあり]別売部品と寸法図

(1) 設置イメージ図



(2) 使用別売部品

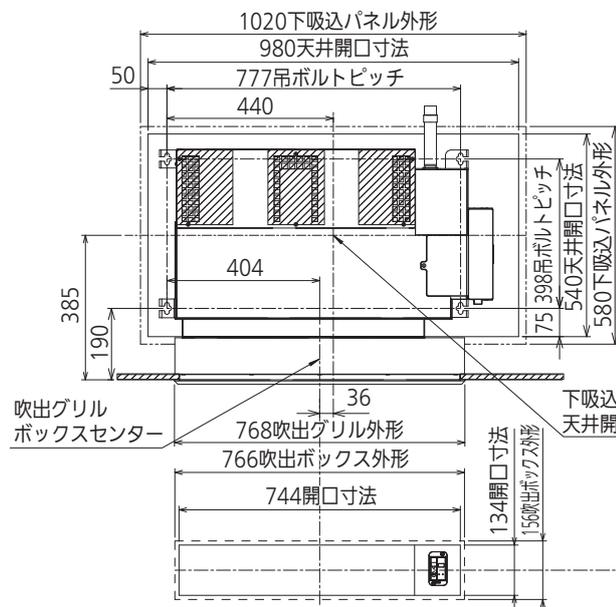
品名	形名	備考
吹出チャンバー	MAC-500FC	室内ユニットの先行準備の時点で取付けてください。
吹出グリル (白木)	MAC-501FG	吹出グリルは、いずれかを選定してください。
吹出グリル (ホホワイト)	MAC-502FG	
吹出ボックス	MAC-503FB	
下吸込パネル	MAC-530UP	
キャンバスダクト	MAC-508CD	室内ユニットの先行準備の時点で取付けてください。
レシーバー取付具	MAC-523RT	受信装置は吹出ボックスMAC-503FBに取り付け可能ですが、それ以外の場所(天井等)に取り付ける場合に使用してください。延長コードの長さ:10m
レシーバー延長コード	MAC-551RC	

(3) 設置構成図および設置スペース必要寸法 (据付要領につきましては、P70～P73を参照ください。)

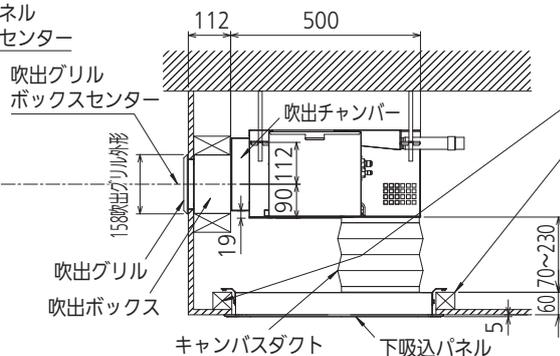
室内機収納室は外部の空気を吸込むことのないように配管貫通部、板の合わせ目などしっかりふさいでください。

支柱：現地調達

- 据付枠は支柱（現地調達）などを用いて必ず確実に固定してください。
- 据付枠は必ず水平にセットしてください。
- 室内機の重量により据付枠が傾斜しないよう室内機収納室内の補強を確実に行ってください。
- 下吸込パネル取付け用の天井開口が点検口になります。

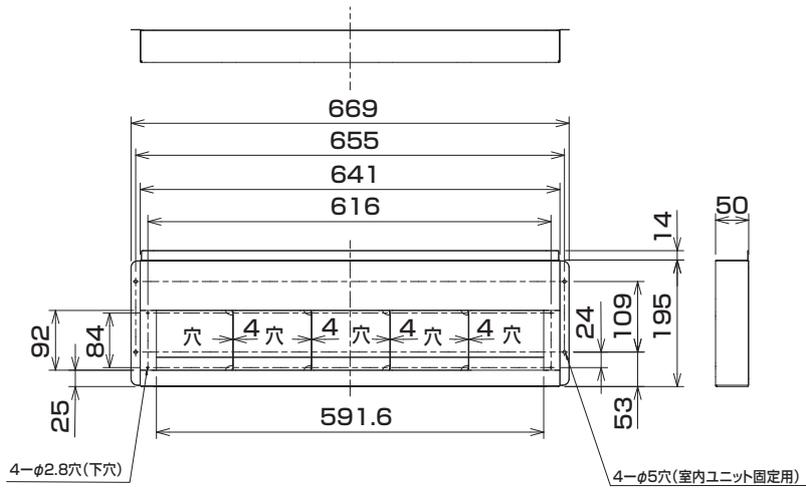


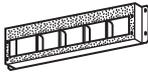
下吸込パネルを天井で支えるため補強を確実に行ってください。



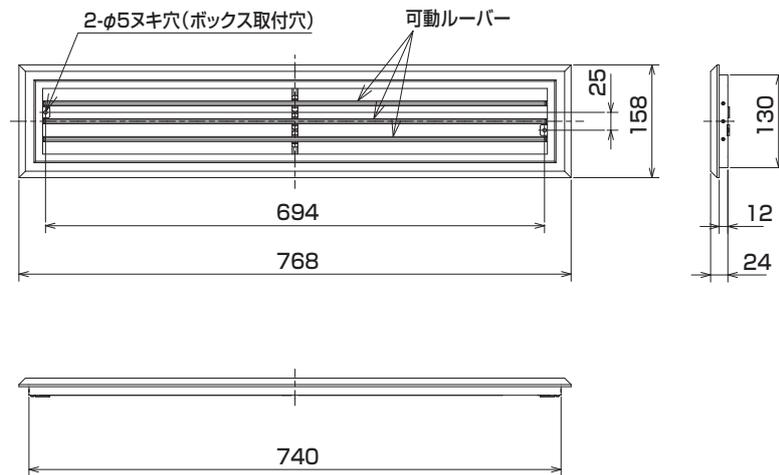
(4) 別売部品 外形図

●吹出チャンバー MAC-500FC



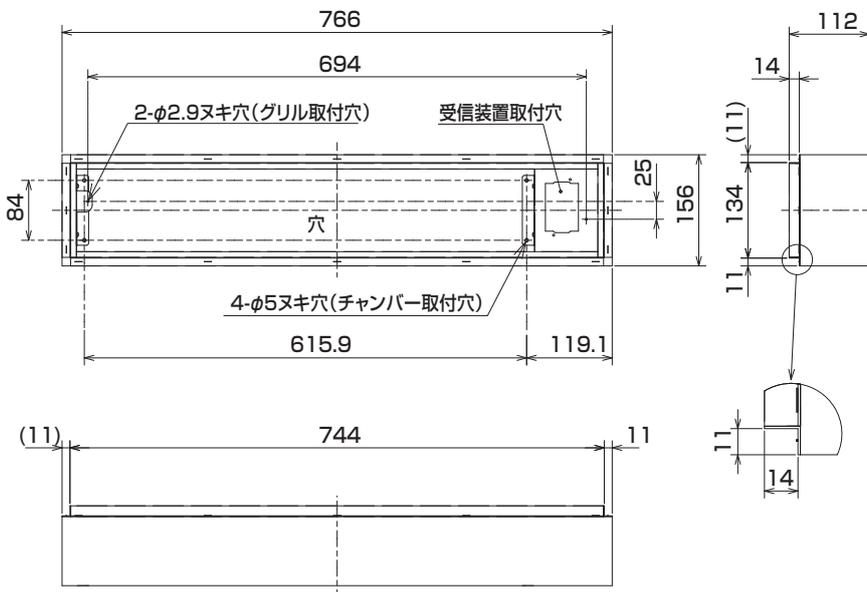
MAC-500FC構成部品	
① 吹出チャンバー	数量
	1
② ①の固定用ネジ	数量
	4
六角頭タッピングネジ 4×12	

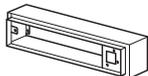
●吹出グリル MAC-501FG (白木)、MAC-502FG (ホワイト)



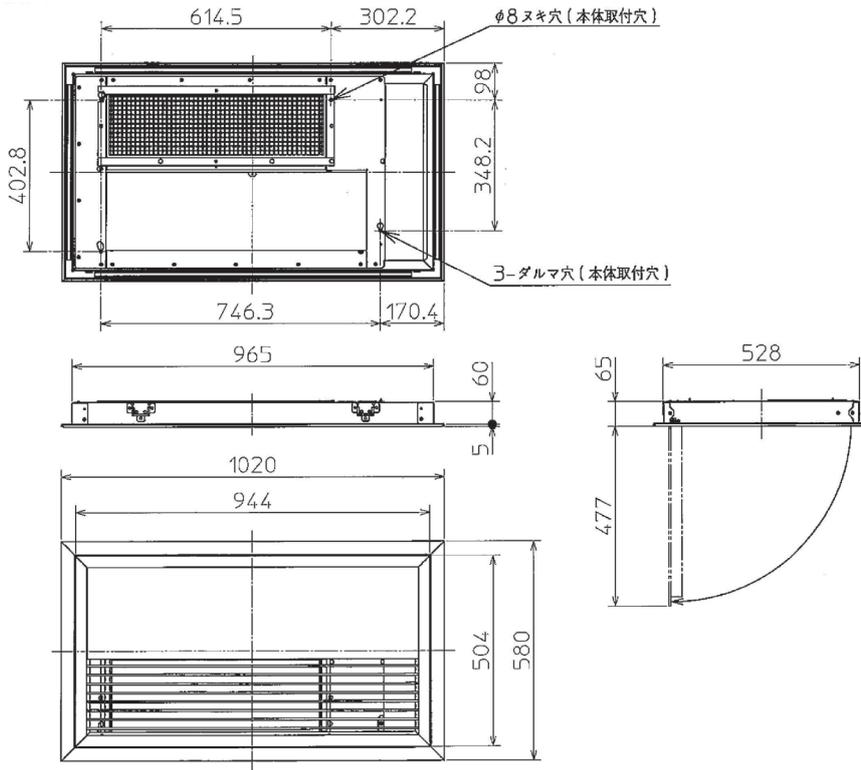
MAC-501FG MAC-502FG構成部品	
① 吹出グリル	数量
	1
② ①の固定用ネジ	数量
	2
タッピングネジ 4×10(黒)	

●吹出ボックス MAC-503FB



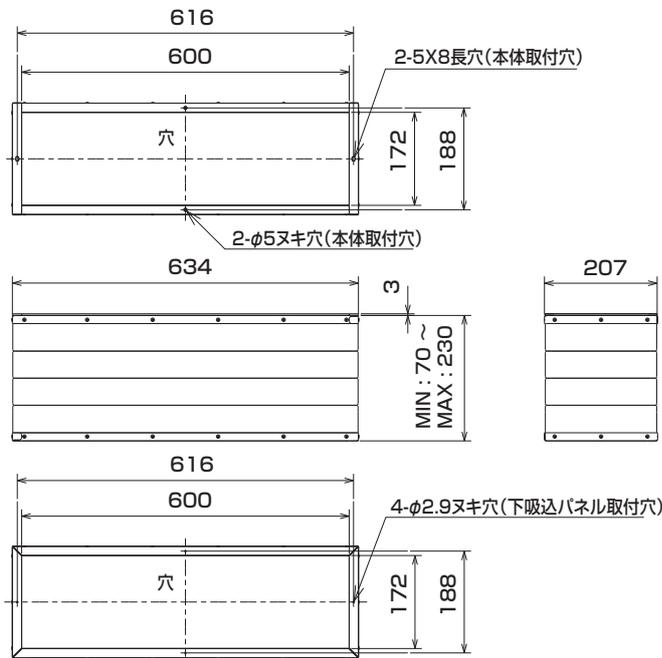
MAC-503FB構成部品			
① 吹出ボックス	数量	③ ①の固定ネジ	数量
	1		4
		タッピングネジ 4×12	
② 断熱材(大・小)	各2	④ 受信装置取付用ネジ	数量
			2
		タッピングネジ 4×10(黒)	

●下吸込パネル MAC-530UP



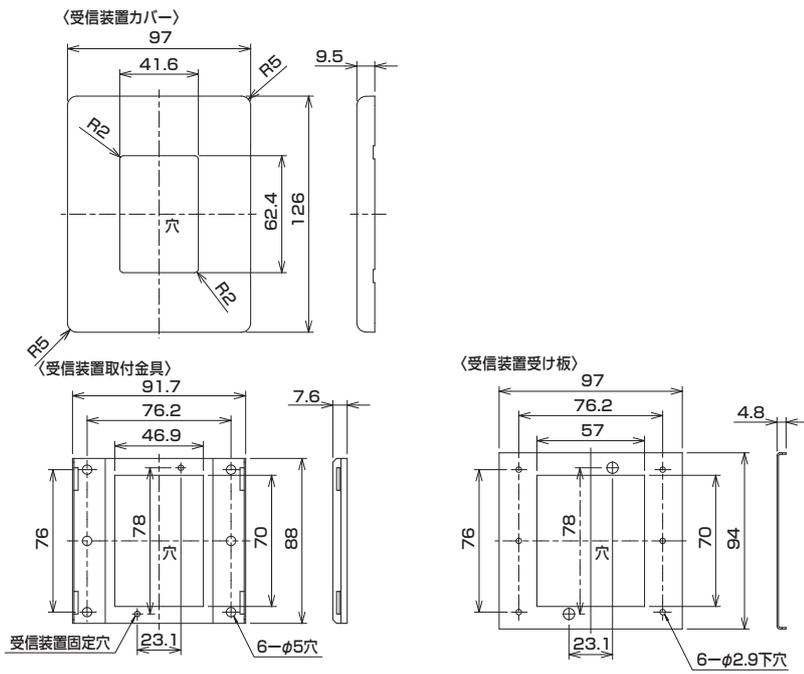
MAC-530UP構成部品	
① 下吸込パネル	数量
	1
② エアフィルター	数量
	1
③ ①の固定用ネジ	数量
 M5×30	4

●キャンバスダクト MAC-508CD



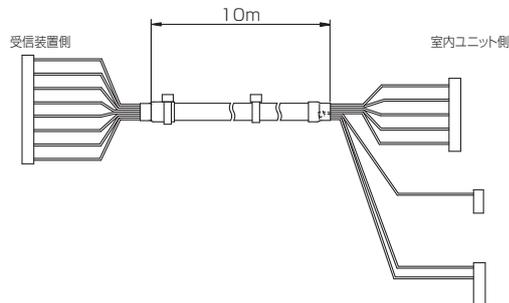
MAC-508CD構成部品			
① キャンバスダクト	数量	④ ①の固定ネジ	数量
	1	 タッピングネジ 4×10	8
② パネルホルダー	数量	⑤ ②の固定ネジ	数量
	4	 M5×10	8
③ ちょうボルト	数量	—	—
 M5×50	4		

● レシーバー取付具 MAC-523RT



MAC-523RT構成部品			
① 受信装置カバー	数量	④ ②の固定ネジ	数量
	1	 タッピングネジ 4×20	4
② 受信装置取付金具	数量	⑤ 受信装置の固定用ネジ	数量
	1	 タッピングネジ 4×10	2
③ 受信装置受け板	数量	—	—
	1	—	—

● レシーバー延長コード MAC-551RC



MAC-551RC構成部品	
①	数量
レシーバー 延長コード (10m)	1

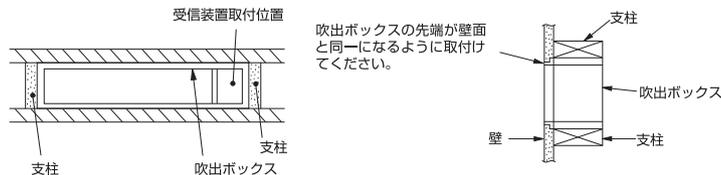
9.6.3 <パターンH> 据付要領 (下がり天井設置 [キャンバスダクトなし / あり])

1. 室内機点検口と開口穴の設定

- 室内機点検口と開口穴の寸法は、各設置パターンの設置構成図および設置スペース必要寸法にしたがって設定してください。

2. 吹出ボックスの取付

- 吹出ボックス (MAC-503FB) には方向性がありますのでご注意ください。
吹出ボックス (MAC-503FB) に受信装置を取付けますが、受信装置の取付位置が部屋内から見て右側になるように設置してください。
- 吹出ボックス (MAC-503FB) は柱等重量を支える部材に支柱を通して固定してください。



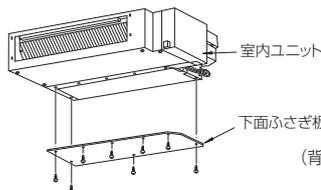
- 各設置パターン別の設置構成図および設置スペース必要寸法と P124 の MAC-503FB の据付工事説明書にしたがって取付けてください。

3. 室内機の先行準備

(1) 冷媒配管、内外接続電線、電源電線、ドレン配管工事

- 室内機の各接続部位置は、「7. 据付工事」(P20～) をご覧ください。
設備業者や建築業者とご相談してとりまわしを行ってください。
- ドレン配管は、硬質塩ビパイプ一般管 VP20 が室内機のドレン口と接続できます。
- 内外接続電線や電源電線は、後日のサービスのことも考慮して電気品箱の取り出しが可能なように室内機近傍で余裕をもたせておいてください。

(2) 室内機の下面ふさぎ板の取り外し

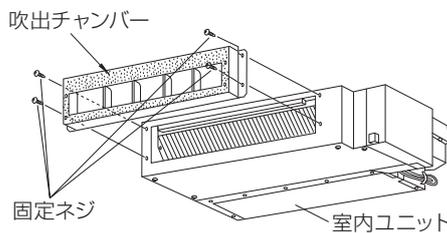
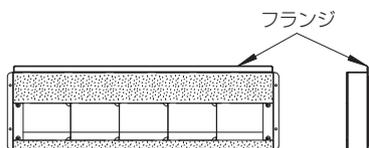
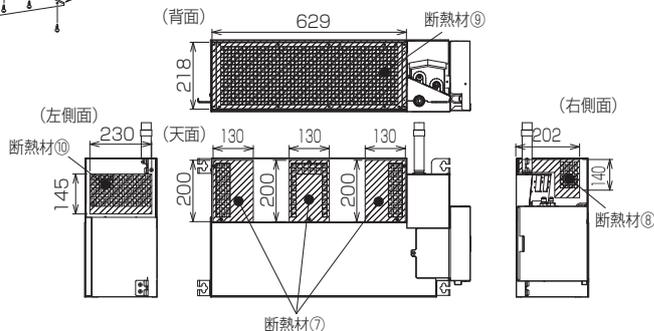


(3) 室内機への断熱材の貼付

- 室内機の天面 (3カ所)、左右側面 (各1カ所)、背面 (1カ所) の吸込口を付属の断熱材⑦～⑩にてふさいでください。(右図参照)

(4) 別売部品 吹出チャンバー (MAC-500FC) の取付

- 吹出チャンバー (MAC-500FC) を室内機の吹出側に取付けます。(固定ネジ4本)
吹出チャンバーには、方向性がありますのでご注意ください。
風向が下 (フランジが上) になるよう取付けてください。

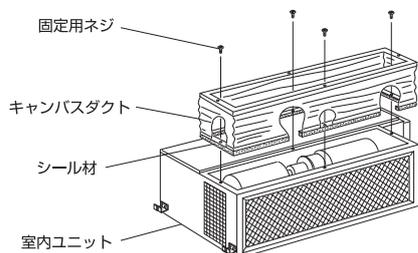


(5) 別売部品 レシーバー延長コード (MAC-551RC) への交換

- 受信装置は吹出ボックス (MAC-503FB) に取付け可能ですが、それ以外の場所 (天井等) に取り付ける場合に使用してください。
- 延長コードの長さ：10m
- P146 の据付工事説明書にしたがって実施してください。

(6) 別売部品キャンバスダクト (MAC-508CD) の取付

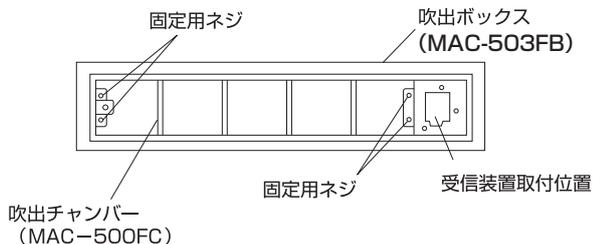
- 室内機を吊り込む前に、キャンバスダクトを室内機に固定用ネジで4カ所固定します。この時、キャンバスダクトのシール材側を室内機に合わせてください。
また、キャンバスダクトと室内機にすき間がないことを確認してください。
(すき間があると、風もれ等の原因となります。)



4. 据付工事

P21「7.3 室内機の据付手順」にしたがってください。

5. 吹出ボックス (MAC-503FB) と室内機の固定

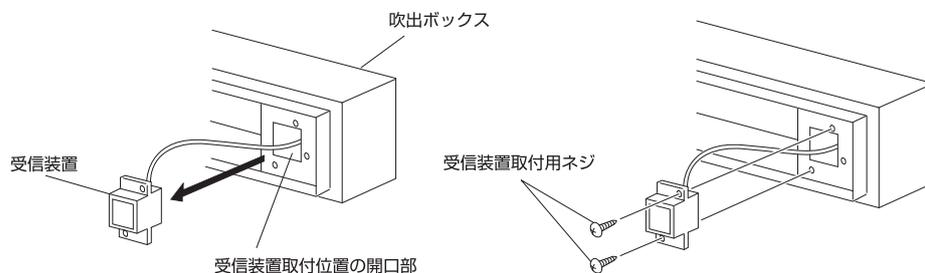


- 吹出ボックスの左右各2カ所を、吹出チャンバー (MAC-500FC) に固定用ネジで固定します。
- 次に吹出ボックスの内側の左右面に断熱材 (小) を、内側の上下面に断熱材 (大) をそれぞれ貼付けます。

受信装置、グリルの取付け前に吹出ボックス (MAC-503FB) の取付確認をしてください。

6. 受信装置の取付

- 受信装置は、吹出ボックス (MAC-503FB) の右端に取付けます。
- 受信装置を受信装置取付位置の開口部を通してセットした後、受信装置の上下2カ所を、受信装置取付け用ネジで固定します。



- レシーバー取付具 (MAC-523RT) に取付ける場合は、P145 の据付工事説明書にしたがってください。

7. 吹出グリル (MAC-501FG/502FG) の取付

- P123 の据付工事説明書にしたがって取付けてください。
- 吹出グリルは、可動ルーバーとなっています。(手動式)

8. 下吸込パネルの取付

(1) 下吸込パネルの取付 (キャンバスタクトを使用しない場合)

1. 下図のように室内機下面の3カ所に、固定用ネジ③を20mm程度すき間をあけて取付けます。
2. 下吸込パネル①の風路内にある左右のツマミを、下図のようにスライドさせて内側パネルを開き、外側パネルのダルマ穴に先程取付けた固定用ネジ③を通してスライドさせます。
これで下吸込パネルが、室内機に仮止めされます。



注意

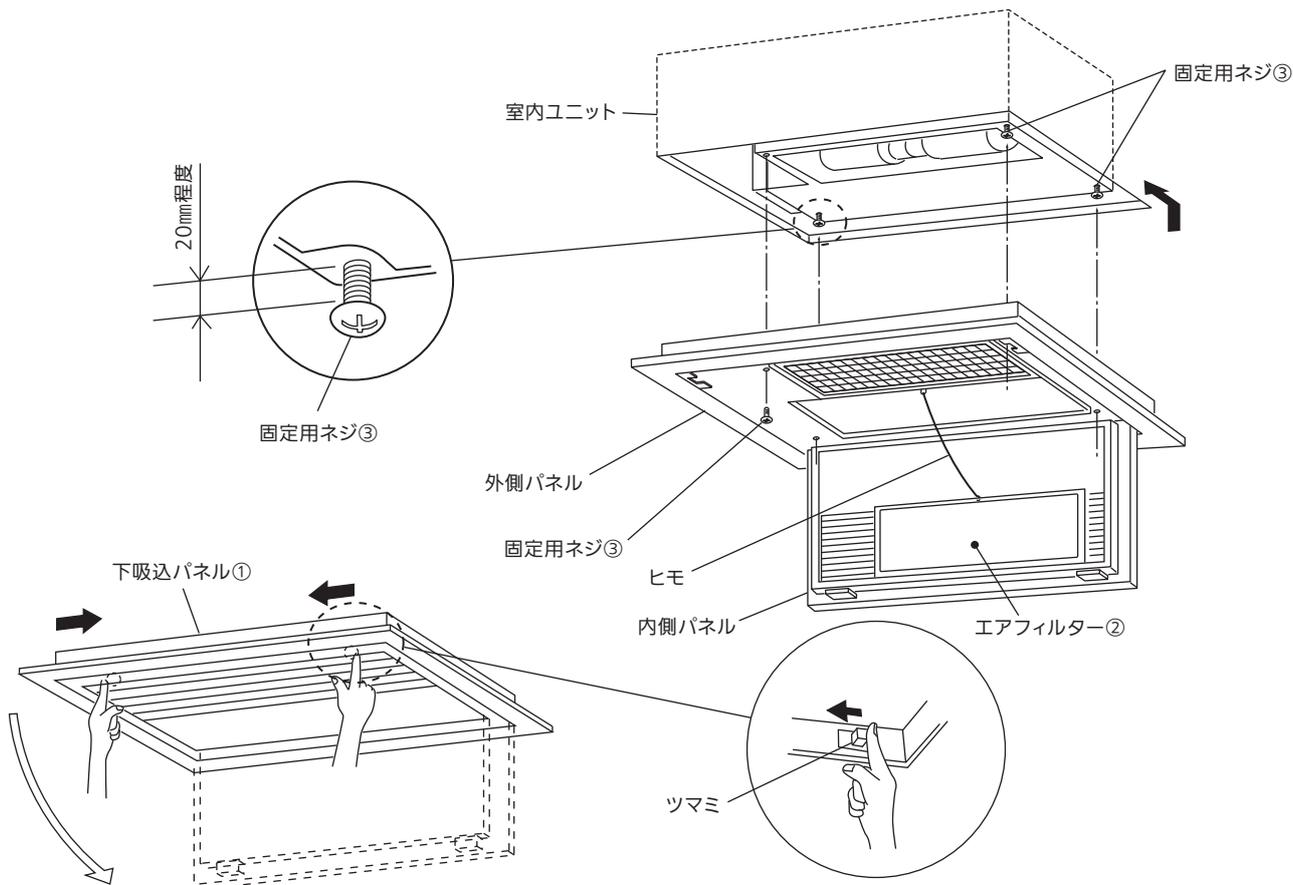
左右のツマミをスライドさせると内側パネルがいきおいよく開いてケガをする可能性がありますので、両手で支えながらゆっくりと開いてください。

3. 次に残りの1カ所を、残りの固定用ネジ③で室内機に少しゆるく取付けます。
4. 最後に下吸込パネル①を天井の目地と合うように調整しながら、4カ所の固定用ネジ③を締め込んでください。
この時、下吸込パネル①と天井面および室内機にすき間がないことを確認してください。
(すき間があると、風もれ等の原因となります。)
5. エアフィルター②が、内側パネルのフィルターレールにしっかりと装着されているか確認してください。
もし、エアフィルター②が、フィルターレールから外れていたら、必ず装着し直してください。
6. 内側パネルを、開いた時と逆の要領で閉じてください。



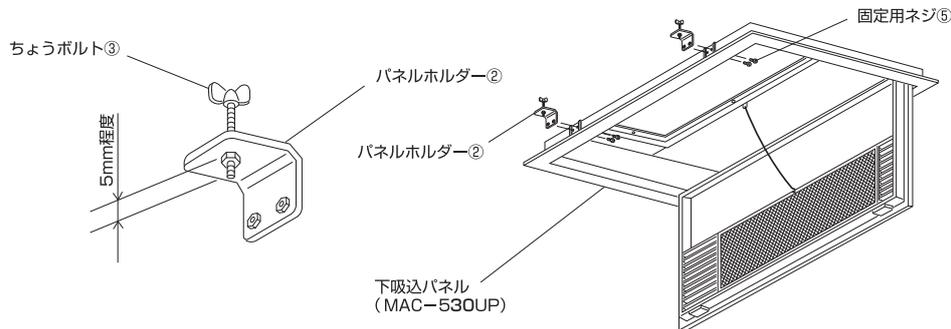
注意

下吸込パネル①に取付けられているヒモは、内側パネル開閉作業の安全のため取外さないでください。

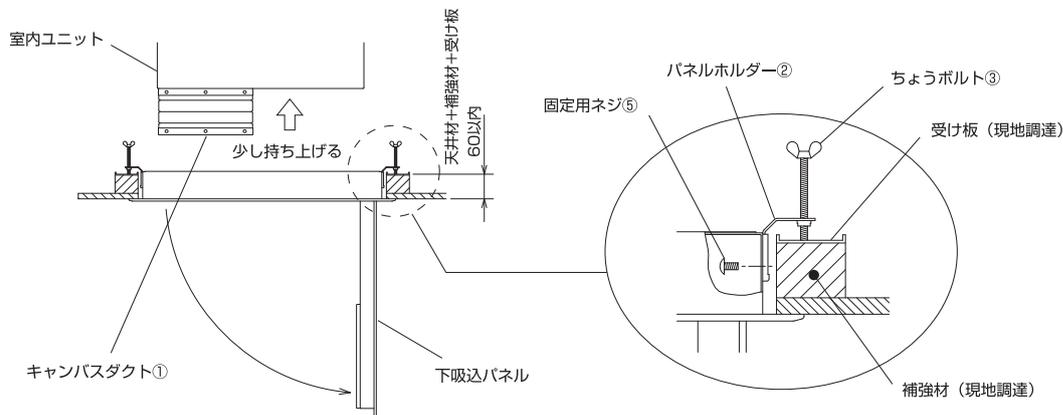


(2) 下吸込パネルの取付 (キャンバスタクトを使用する場合)

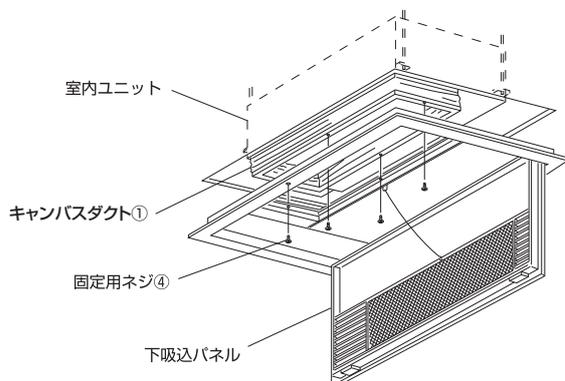
1. 各パネルホルダー②にちょうボルト③を、下から 5mm 程度出るまでねじ込みます。
2. 下吸込パネル (MAC-530UP) のホルダー固定部に、ちょうボルト③をセットしたパネルホルダー②を2カ所 (下図参照) 挿入して、固定用ネジ⑤で内側から固定します。



3. 下吸込パネルを天井にはめ込み、反対側のホルダー固定部にも上記 2. と同様に、残りのパネルホルダー②を2カ所挿入して、固定用ネジ⑤で内側から固定します。
4. ちょうボルト③と天井との間に受け板 (現地調達) および補強材 (現地調達) を挟み込み、下吸込パネルを固定します。この時、キャンバスタクト①が邪魔になる時は、下図のように少し持ち上げて作業してください。



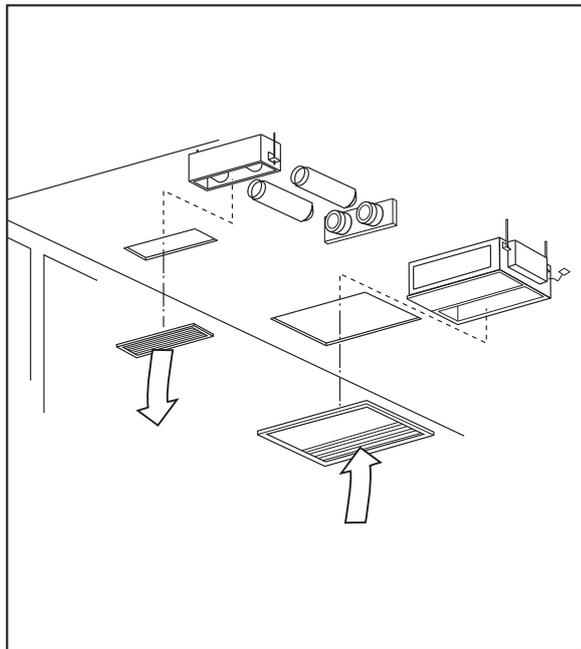
5. 最後に、キャンバスタクト①を下吸込パネルに固定用ネジ④で4カ所固定します。この時、下吸込パネルと天井面およびキャンバスタクト①にすき間がないことを確認してください。(すき間があると、風もれ等の原因となります。)



9.7 <パターンI> 天埋設置下吸込パネルタイプ [1方向吹出・キャンバスダクトなし/あり]、
<パターンJ> 天埋設置下吸込パネルタイプ [2方向吹出・キャンバスダクトなし/あり]

9.7.1 <パターンI> [キャンバスダクトなし] 別売部品と寸法図

(1) 設置イメージ図

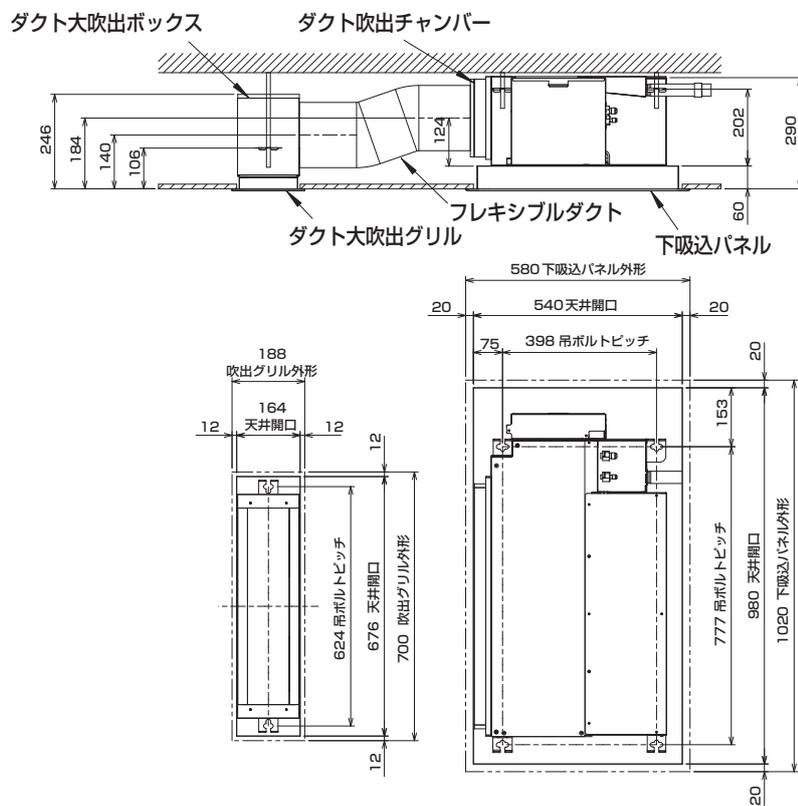


(2) 使用別売部品

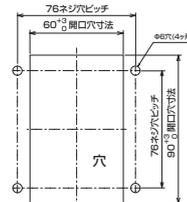
品名	形名	備考
下吸込パネル	MAC-530UP	
ダクト吹出チャンバー	MAC-514FC	室内ユニットの先行準備の時点で取付けてください。
フレキシブルダクト (φ150,1m)	MAC-515FD	
フレキシブルダクト (φ150,2m)	MAC-516FD	
ダクト大吹出ボックス	MAC-517FB	
ダクト大吹出グリル (ホワイト)	MAC-518FG	吹出グリルは、いずれかを选定してください。
ダクト大吹出グリル (ベージュ)	MAC-519FG	
レシーバー取付具	MAC-523RT	
レシーバー延長コード	MAC-551RC	室内ユニットに付属している長さで不足する場合がございます。延長コードの長さ:10m

ドレンポンプは室内機に内蔵しています。

(3) 設置構成図および設置スペース必要寸法 (据付要領につきましては、P92 ~ P98 を参照ください。)



<受信装置の開口穴>
天井または壁に設けます。



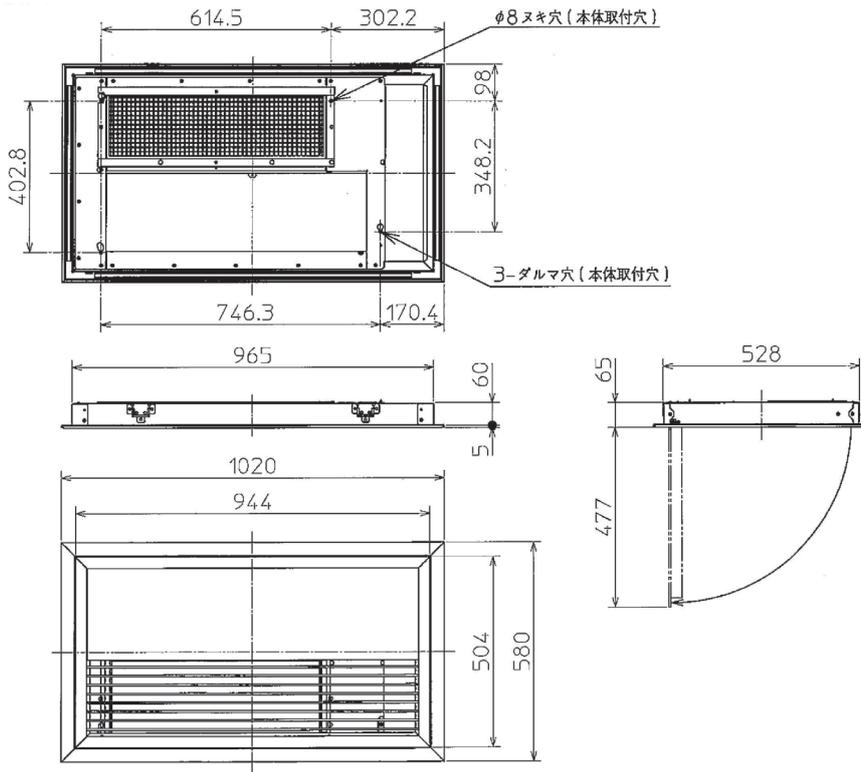
●フレキシブルダクト仕様制限

	許容ダクト長	ダクト曲り部
吹出側ダクト	7m以下	90°以下1カ所

※ダクト長が3mを超える場合は、風量切換スイッチの切換を行ってください。

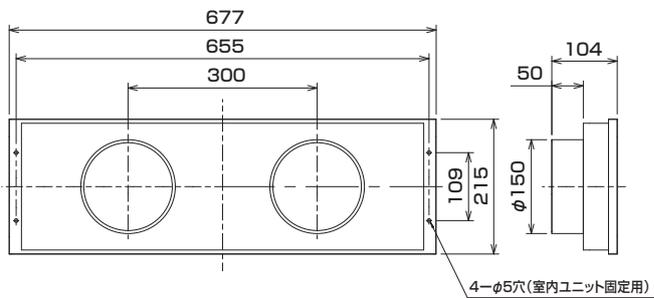
(4) 別売部品 外形図

● 下吸込パネル MAC-530UP



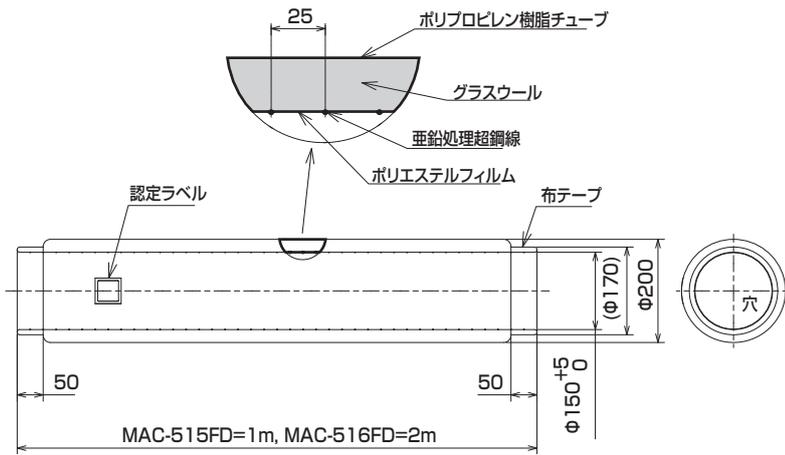
MAC-530UP構成部品	
① 下吸込パネル	数量
	1
② エアフィルター	1
	1
③ ①の固定用ネジ	4
M5×30	

● ダクト吹出チャンバー MAC-514FC



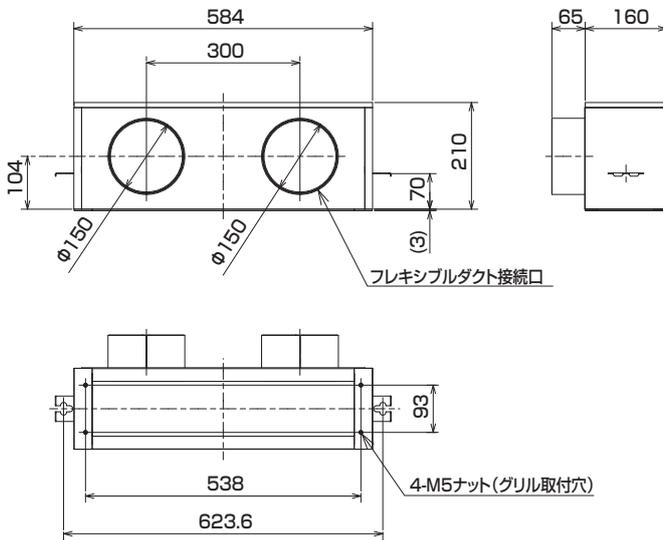
MAC-514FC構成部品	
① ダクト吹出チャンバー	数量
	1
② ①の固定用ネジ	4
タッピングネジ 4×16	

- フレキシブルダクト MAC-515FD(φ150, 1m)、MAC-516FD(φ150, 2m)



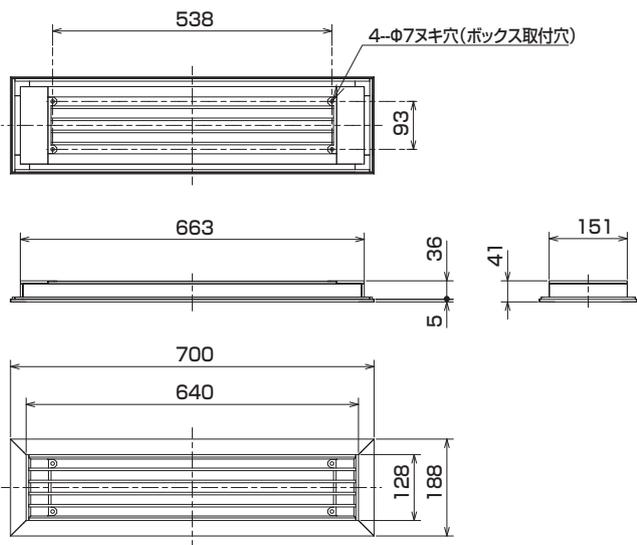
MAC-515FD MAC-516FD 構成部品			
① フレキシブルダクト	数量	④ 断熱材	数量
	1		1
② 継ぎ手	数量	⑤ ビニールテープ	数量
	1		1
③ ハンド	数量		数量
	2	—	—

- ダクト大吹出ボックス MAC-517FB



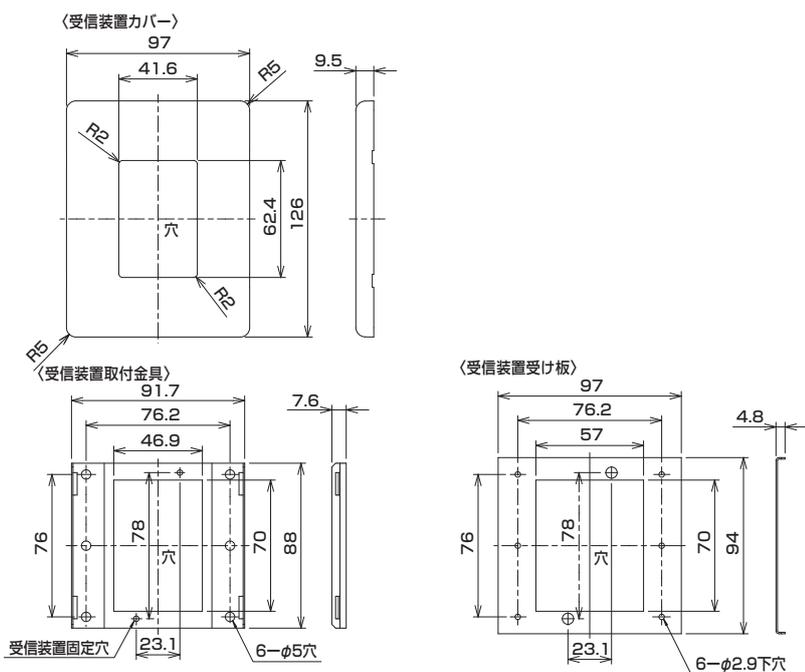
MAC-517FB構成部品	
① ダクト大吹出ボックス	数量
	1

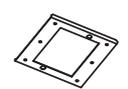
●ダクト大吹出グリル MAC-518FG (ホワイト)、MAC-519FG (ベージュ)



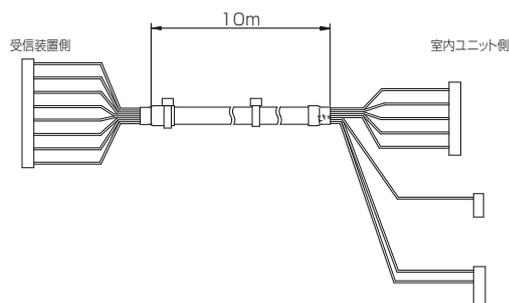
MAC-518FG MAC-519FG 構成部品	
① ダクト大吹出グリル	数量
	1
② ①の固定用ネジ	数量
	4
M5×12	

●レシーバー取付具 MAC-523RT



MAC-523RT構成部品			
① 受信装置カバー	数量	④ ②の固定ネジ	数量
	1		4
		タッピングネジ 4×20	
② 受信装置取付金具	数量	⑤ 受信装置の固定用ネジ	数量
	1		2
		タッピングネジ 4×10	
③ 受信装置受け板	数量		
	1	—	—

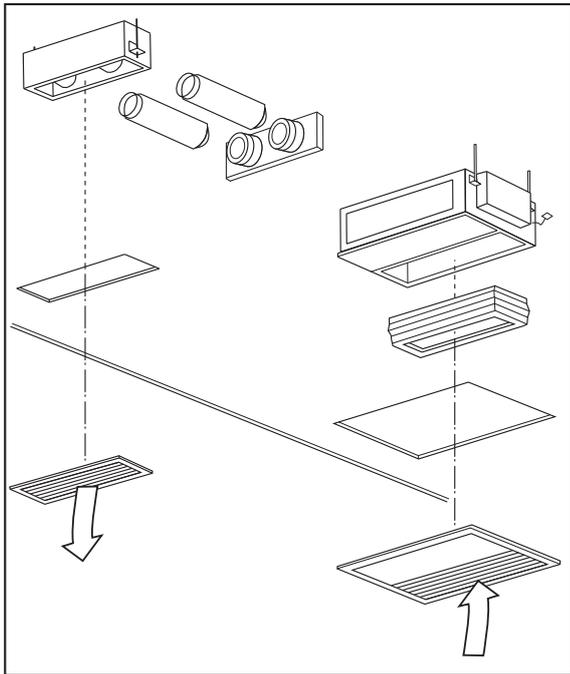
●レシーバー延長コード MAC-551RC



MAC-551RC構成部品	
①	数量
レシーバー 延長コード (10m)	1

9.7.2 <パターン1>[キャンバスダクトあり] 別売部品と寸法図

(1) 設置イメージ図

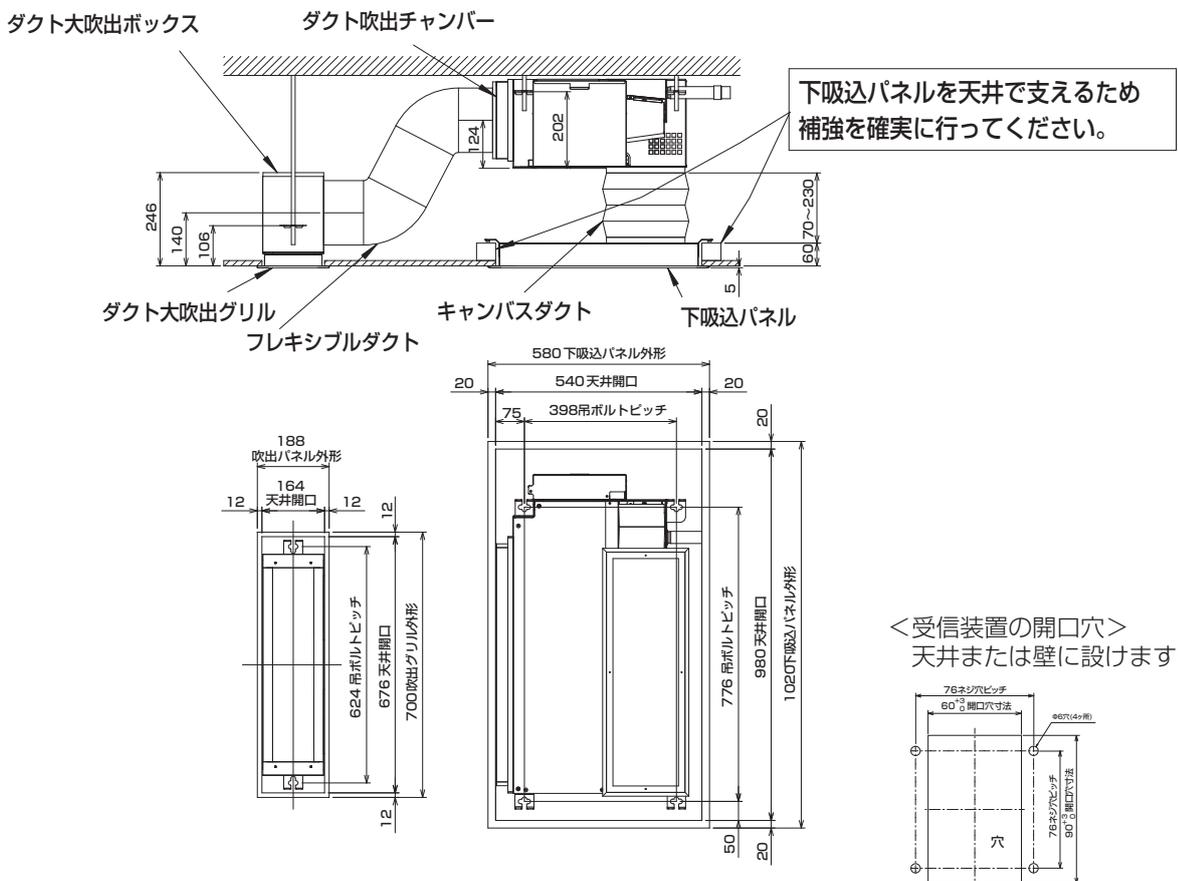


(2) 使用別売部品

品名	形名	備考
下吸込パネル	MAC-530UP	
キャンバスダクト	MAC-508CD	室内ユニットの先行準備の時点で取付けてください。
ダクト吹出チャンバー	MAC-514FC	
フレキシブルダクト (φ150,1m)	MAC-515FD	
フレキシブルダクト (φ150,2m)	MAC-516FD	
ダクト大吹出ボックス	MAC-517FB	
ダクト大吹出グリル (ホワイト)	MAC-518FG	吹出グリルは、いずれかを选定してください。
ダクト大吹出グリル (ベージュ)	MAC-519FG	
レーザー取付具	MAC-523RT	
レーザー延長コード	MAC-551RC	室内ユニットに付属している長さで不足する場合にご使用ください。 延長コードの長さ:10m

ドレンポンプは室内機に内蔵しています。

(3) 設置構成図および設置スペース必要寸法 (据付要領につきましては、P92 ~ P98 を参照ください。)



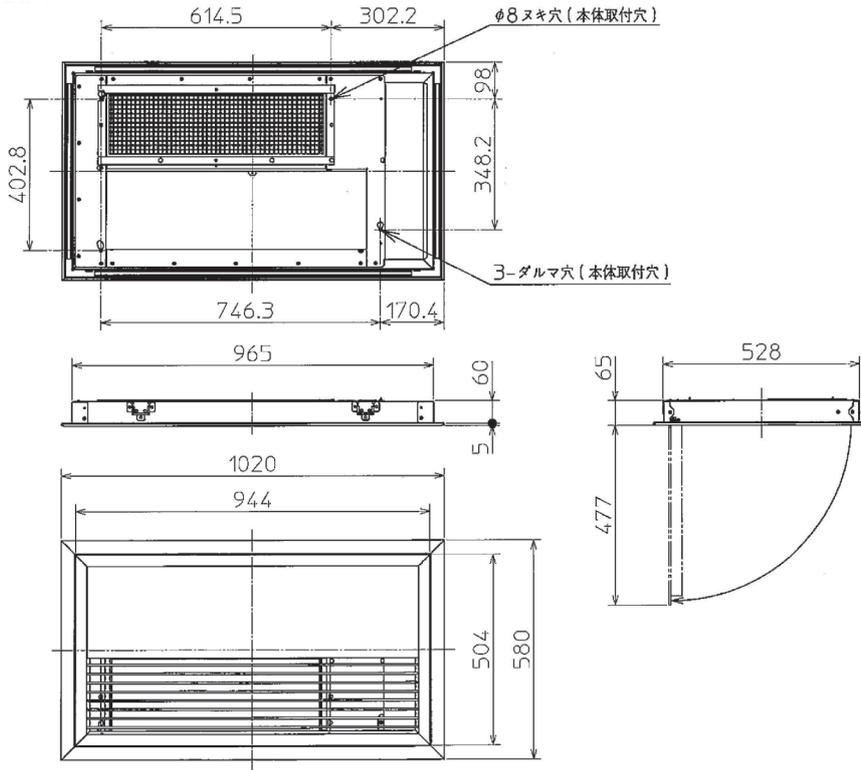
●フレキシブルダクト仕様制限

	許容ダクト長	ダクト曲り部
吹出側ダクト	7m以下	90°以下1カ所

*ダクト長が3mを超える場合は、風量切換スイッチの切換を行ってください。

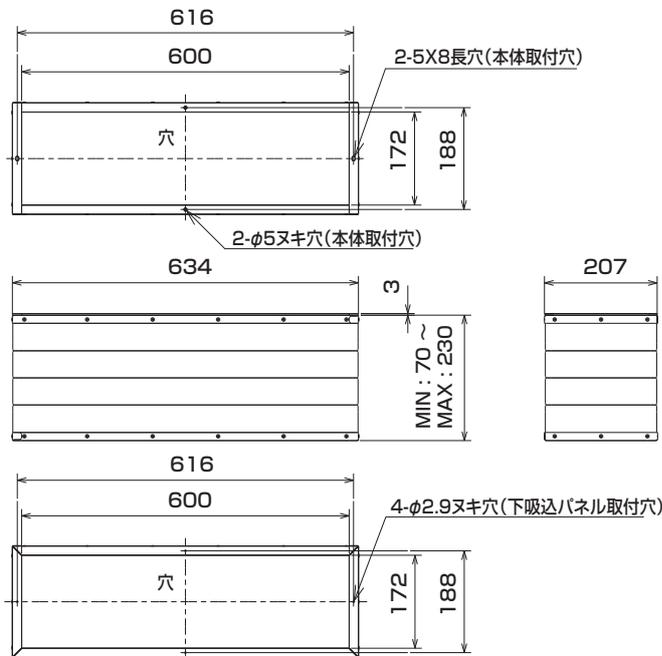
(4) 別売部品 外形図

●下吸込パネル MAC-530UP



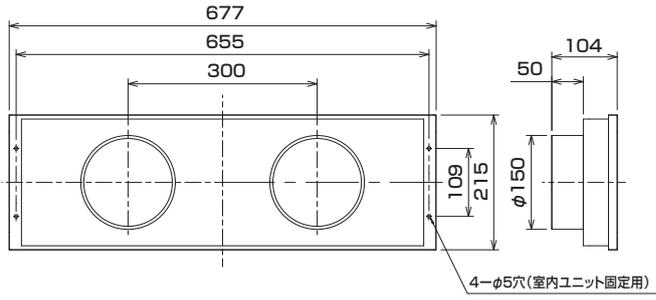
部品名	数量
① 下吸込パネル	1
② エアフィルター	1
③ ①の固定用ネジ M5×30	4

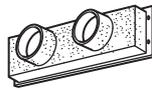
●キャンバスダクト MAC-508CD



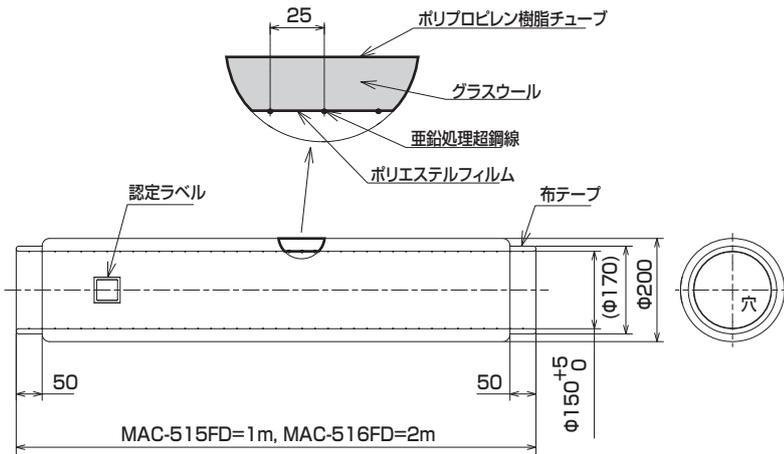
部品名	数量	④ ①の固定ネジ	数量
① キャンバスダクト	1	④ ①の固定ネジ タッピングネジ 4×10	8
② パネルホルダー	4	⑤ ②の固定ネジ M5×10	8
③ ちょうボルト M5×50	4	—	—

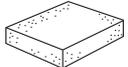
●ダクト吹出チャンバー MAC-514FC



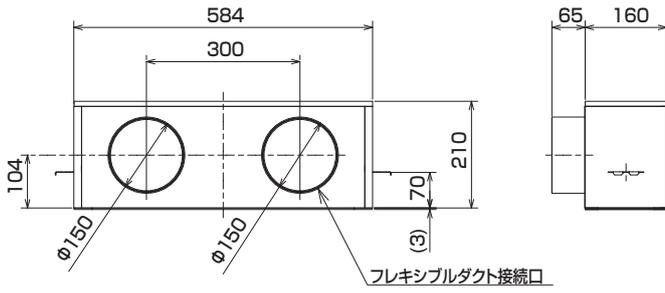
MAC-514FC構成部品	
① ダクト吹出チャンバー	数量
	1
② ①の固定用ネジ	数量
	4
タッピングネジ 4×16	

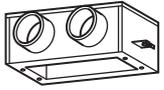
●フレキシブルダクト MAC-515FD(φ150, 1m)、MAC-516FD(φ150, 2m)

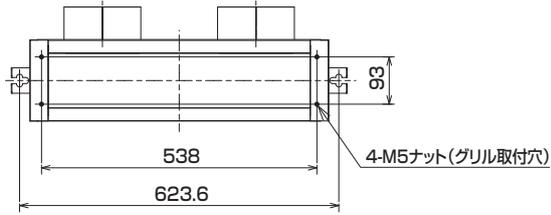


MAC-515FD MAC-516FD 構成部品			
① フレキシブルダクト	数量	④ 断熱材	数量
	1		1
② 継ぎ手	数量	⑤ ビニールテープ	数量
	1		1
③ バンド	数量	—	—
	2		

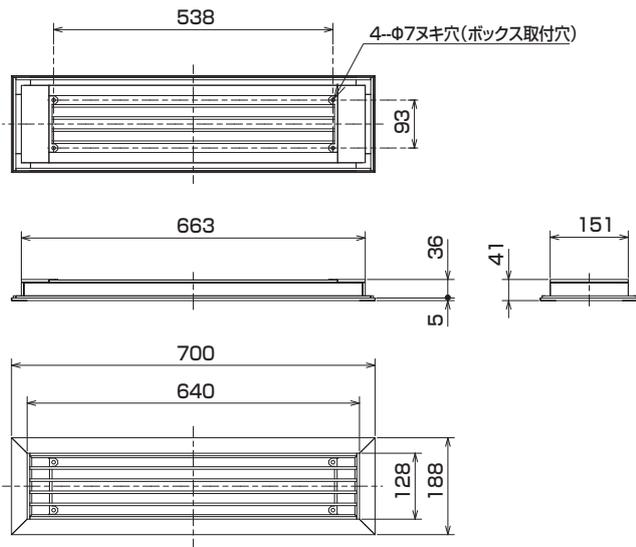
●ダクト大吹出ボックス MAC-517FB



MAC-517FB構成部品	
① ダクト大吹出ボックス	数量
	1

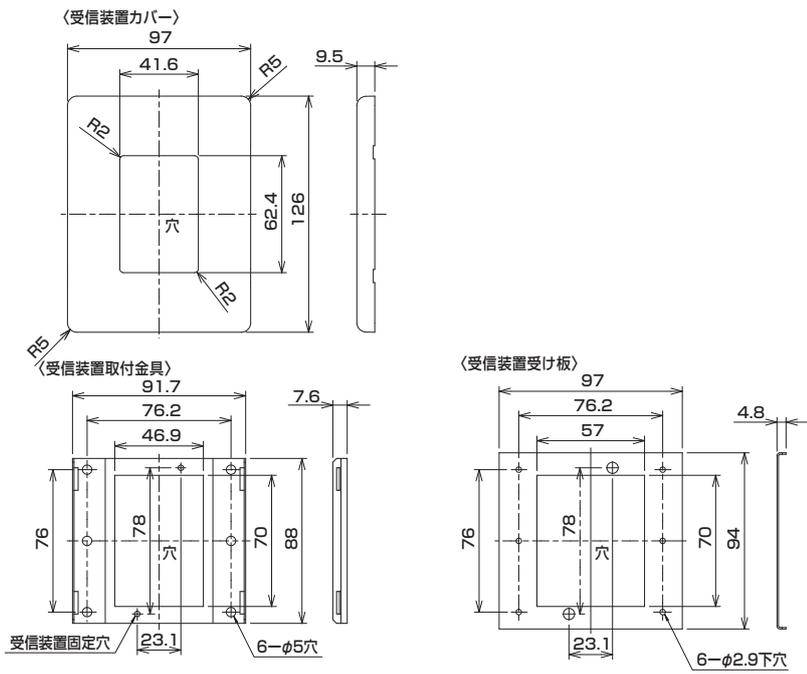


●ダクト大吹出グリル MAC-518FG (ホワイト)、MAC-519FG (ベージュ)



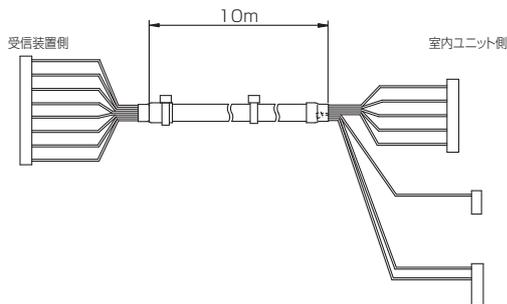
MAC-518FG MAC-519FG構成部品	
① ダクト大吹出グリル	数量
	1
② ①の固定用ネジ	数量
	4
M5×12	

● レシーバー取付具 MAC-523RT



MAC-523RT構成部品			
① 受信装置カバー	数量	④ ②の固定ネジ	数量
	1	 タッピングネジ 4×20	4
② 受信装置取付金具	1	⑤ 受信装置の固定用ネジ タッピングネジ 4×10	2
③ 受信装置受け板	1	—	—

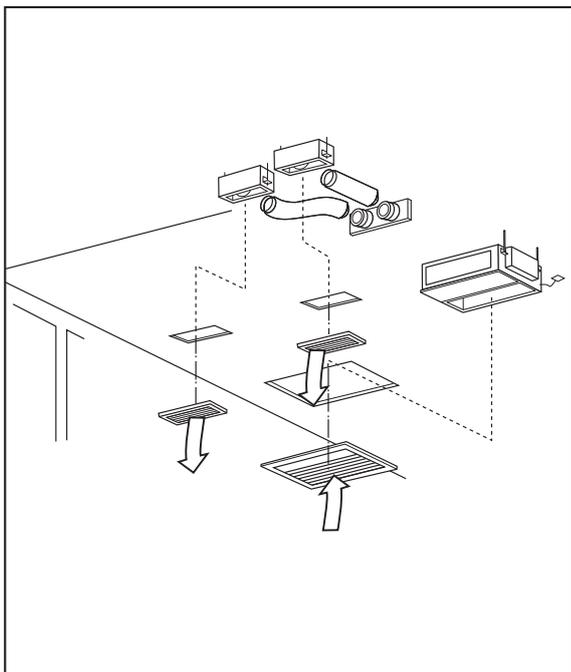
● レシーバー延長コード MAC-551RC



MAC-551RC構成部品	
①	数量
レシーバー 延長コード (10m)	1

9.7.3 <パターンJ>[キャンバスダクトなし] 別売部品と寸法図

(1) 設置イメージ図

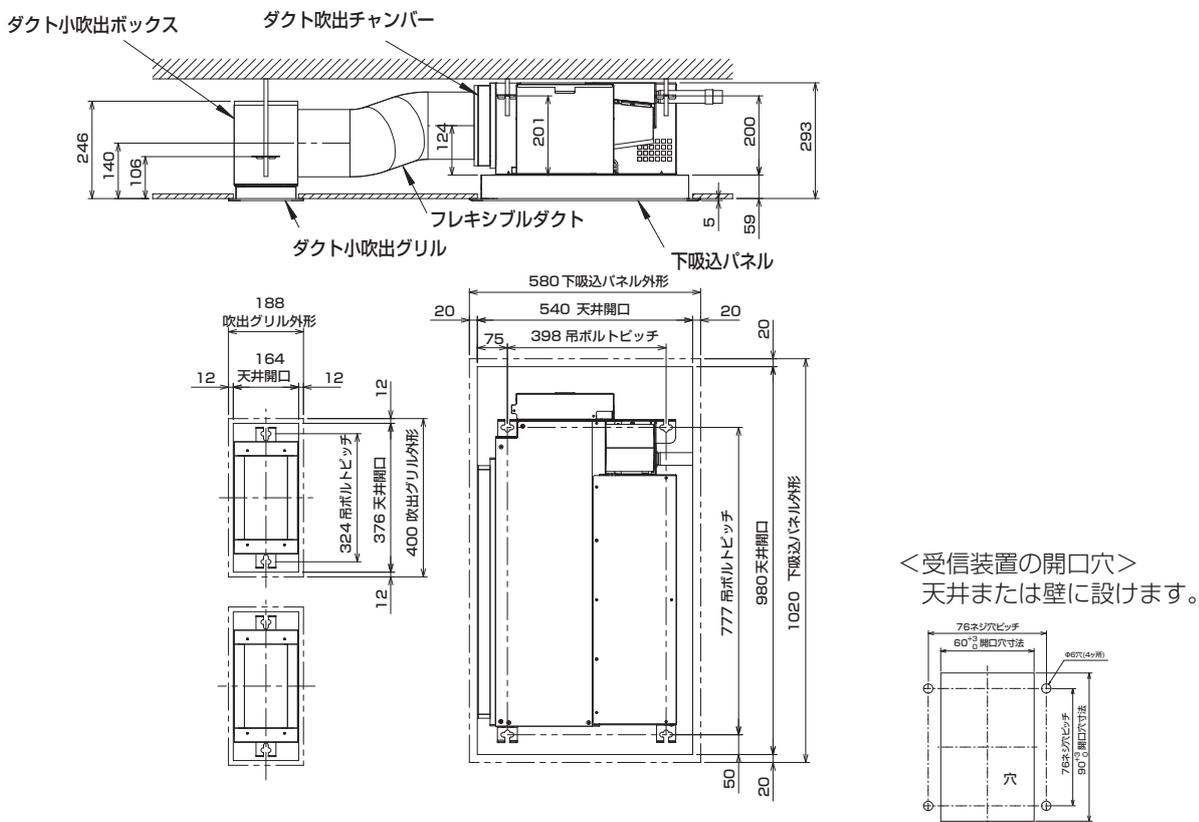


(2) 使用別売部品

品名	形名	備考
下吸込パネル	MAC-530UP	
ダクト吹出チャンバー	MAC-514FC	室内ユニットの先行準備の時点で取付けてください。
フレキシブルダクト (φ150,1m)	MAC-515FD	
フレキシブルダクト (φ150,2m)	MAC-516FD	
ダクト小吹出ボックス	MAC-520FB	
ダクト小吹出グリル (ホワイト)	MAC-521FG	吹出グリルは、いずれかを選定してください。
ダクト小吹出グリル (ベージュ)	MAC-522FG	
レーザー取付具	MAC-523RT	
レーザー延長コード	MAC-551RC	室内ユニットに付属している長さで不足する場合に使用ください。延長コードの長さ:1.0m

ドレンポンプは室内機に内蔵しています。
ダクト小吹出ボックスとダクト小吹出グリルは2セット必要です。

(3) 設置構成図および設置スペース必要寸法 (据付要領につきましては、P92 ~ P98 を参照ください。)



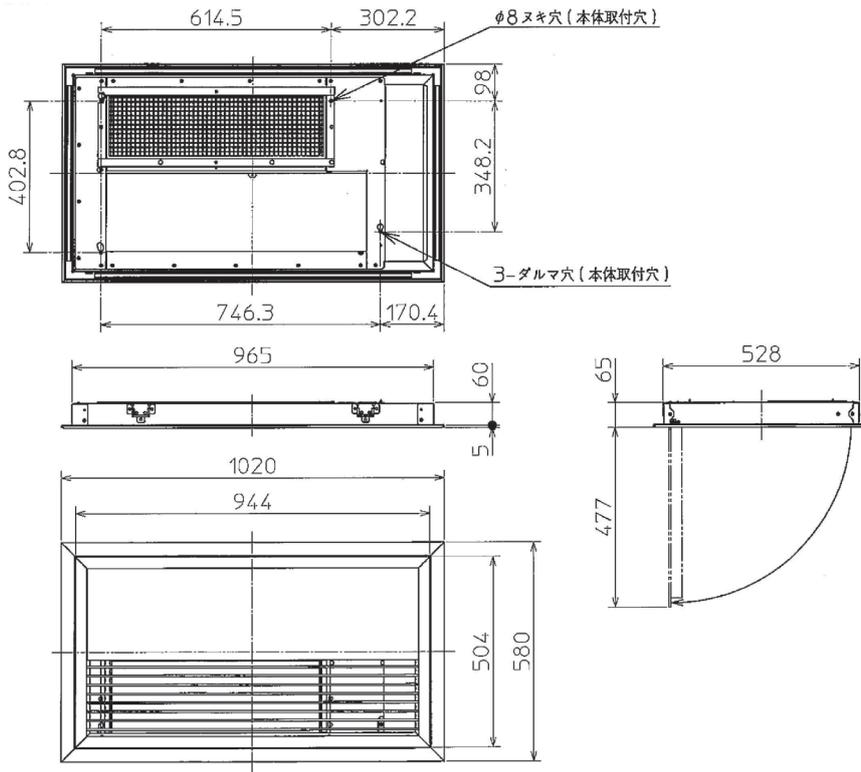
●フレキシブルダクト仕様制限

	許容ダクト長	ダクト曲り部
吹出側ダクト	7m以下	90°以下1カ所

※ダクト長が3mを超える場合は、風量切替スイッチの切替を行ってください。

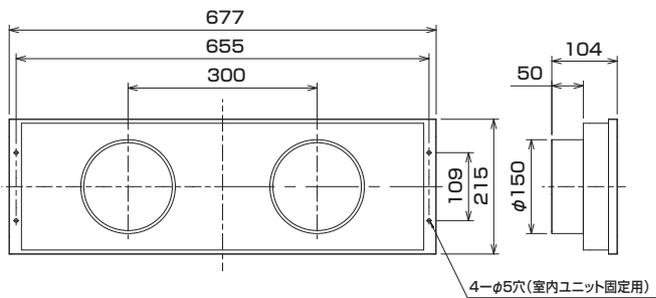
(4) 別売部品 外形図

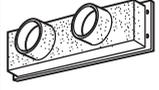
● 下吸込パネル MAC-530UP



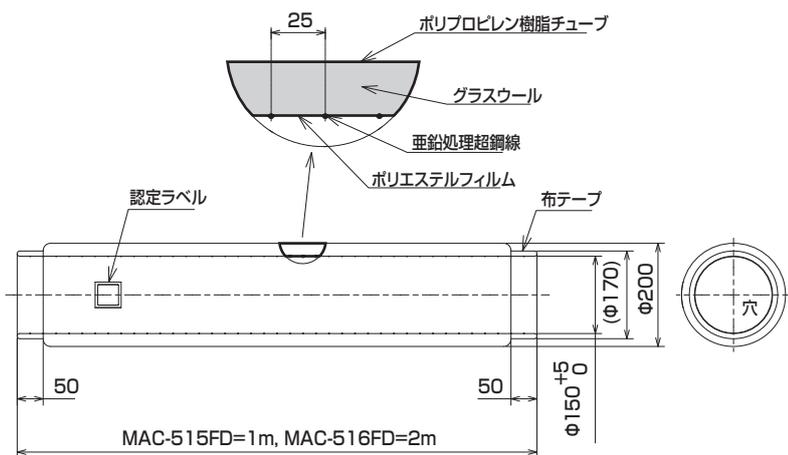
MAC-530UP構成部品	
① 下吸込パネル	数量
	1
② エアフィルター	
	1
③ ①の固定用ネジ	
	4
M5×30	

● ダクト吹出チャンバー MAC-514FC



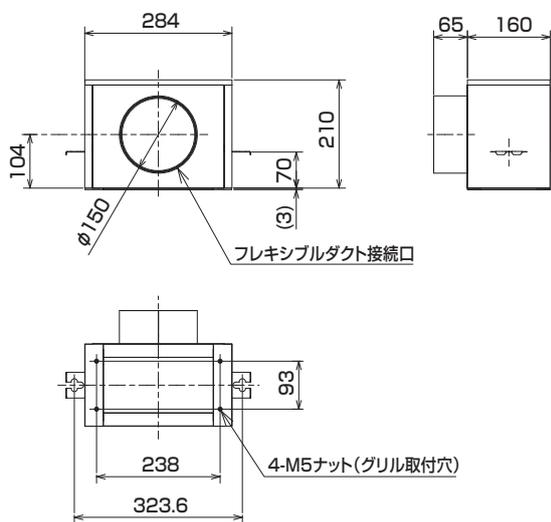
MAC-514FC構成部品	
① ダクト吹出チャンバー	数量
	1
② ①の固定用ネジ	
	4
タッピングネジ 4×16	

- フレキシブルダクト MAC-515FD (φ150, 1m)、MAC-516FD (φ150, 2m)



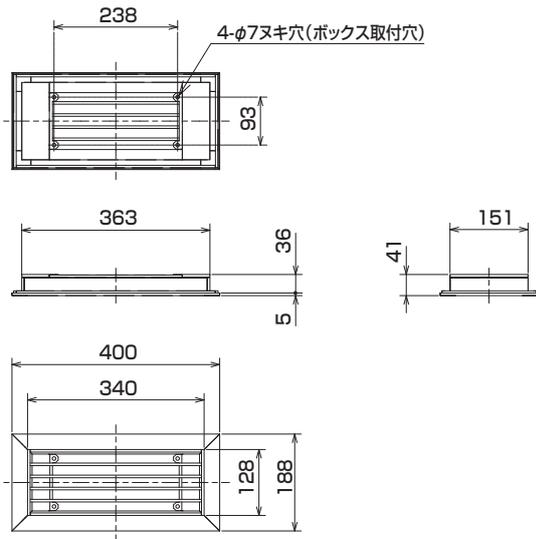
MAC-515FD MAC-516FD 構成部品			
① フレキシブルダクト	数量	④ 断熱材	数量
	1		1
② 継ぎ手	数量	⑤ ビニールテープ	数量
	1		1
③ バンド	数量	—	—
	2		

- ダクト小吹出ボックス MAC-520FB



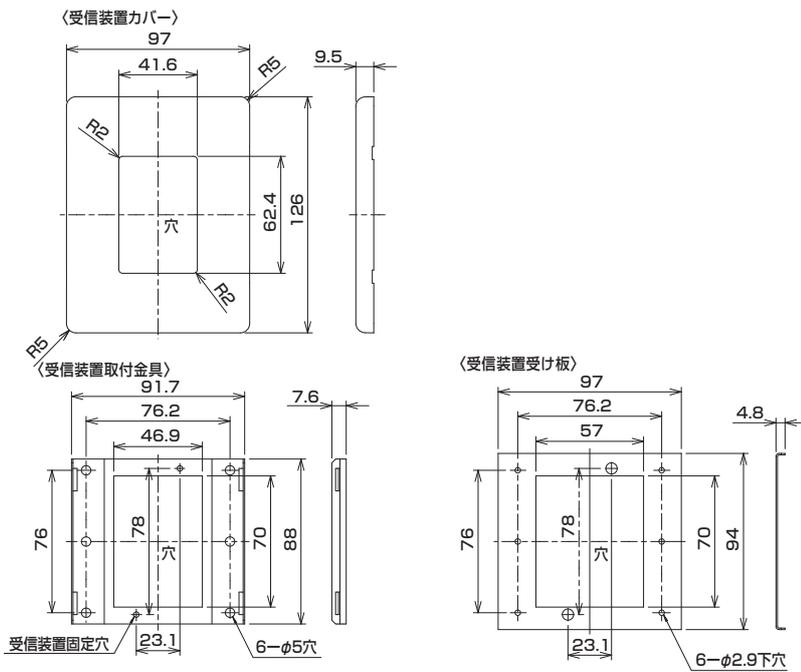
MAC-520FB構成部品	
① ダクト小吹出ボックス	数量
	1

●ダクト小吹出グリル MAC-521FG (ホワイト)、MAC-522FG (ベージュ)



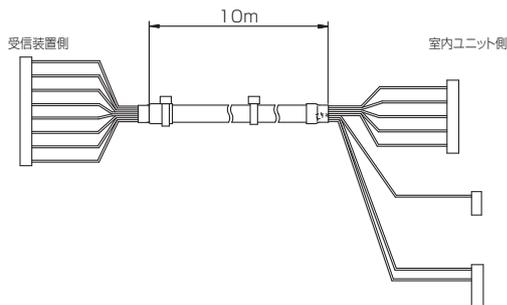
MAC-521FG MAC-522FG 構成部品	
① ダクト小吹出グリル	数量
	1
② ①の固定用ネジ	数量
	4
M5×12	

●レシーバー取付具 MAC-523RT



MAC-523RT 構成部品			
① 受信装置カバー	数量	④ ②の固定ネジ	数量
	1	 タッピングネジ 4×20	4
② 受信装置取付金具	数量	⑤ 受信装置の固定用ネジ	数量
	1	 タッピングネジ 4×10	2
③ 受信装置受け板	数量	—	—
	1		

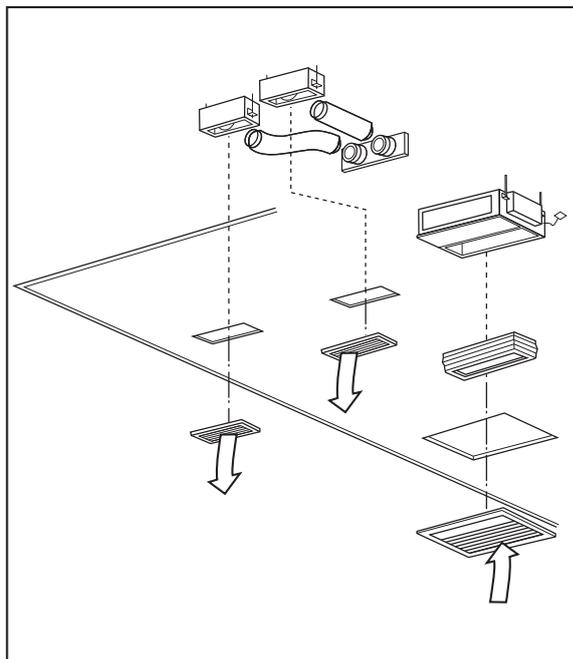
●レシーバー延長コード MAC-551RC



MAC-551RC 構成部品	
①	数量
レシーバー 延長コード (10m)	1

9.7.4 <パターンJ>[キャンバスダクトあり] 別売部品と寸法図

(1) 設置イメージ図

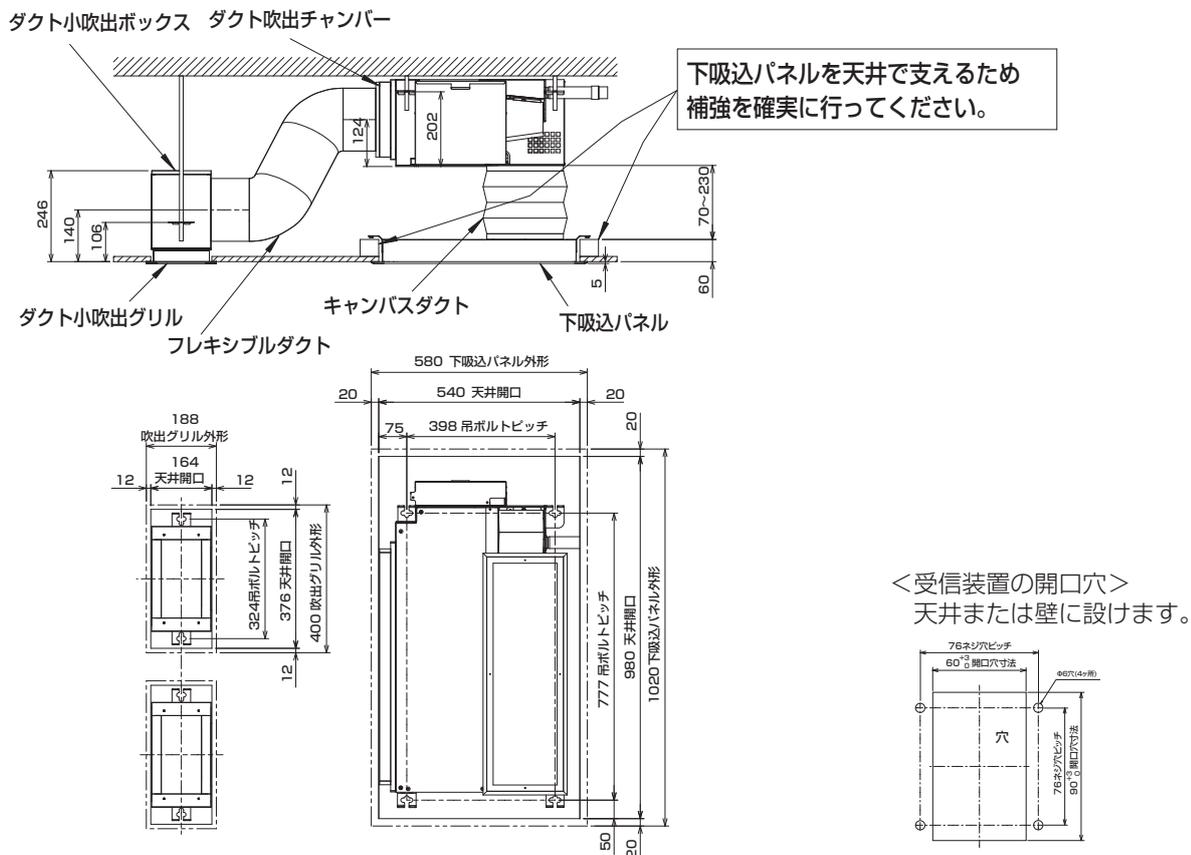


(2) 使用別売部品

品名	形名	備考
下吸込パネル	MAC-530UP	
キャンバスダクト	MAC-508CD	室内ユニットの先行準備の時点で取付けてください。
ダクト吹出チャンバー	MAC-514FC	
フレキシブルダクト (φ150,1m)	MAC-515FD	
フレキシブルダクト (φ150,2m)	MAC-516FD	
ダクト小吹出ボックス	MAC-520FB	
ダクト小吹出グリル (ホワイト)	MAC-521FG	吹出グリルは、いずれかを选定してください。
ダクト小吹出グリル (ベージュ)	MAC-522FG	
レシーバー取付具	MAC-523RT	
レシーバー延長コード	MAC-551RC	室内ユニットに付属している長さで不足する場合がございます。延長コードの長さ:10m

ドレンポンプは室内機に内蔵しています。
ダクト小吹出ボックスとダクト小吹出グリルは2セット必要です。

(3) 設置構成図および設置スペース必要寸法 (据付要領につきましては、P92 ~ P98 を参照ください。)



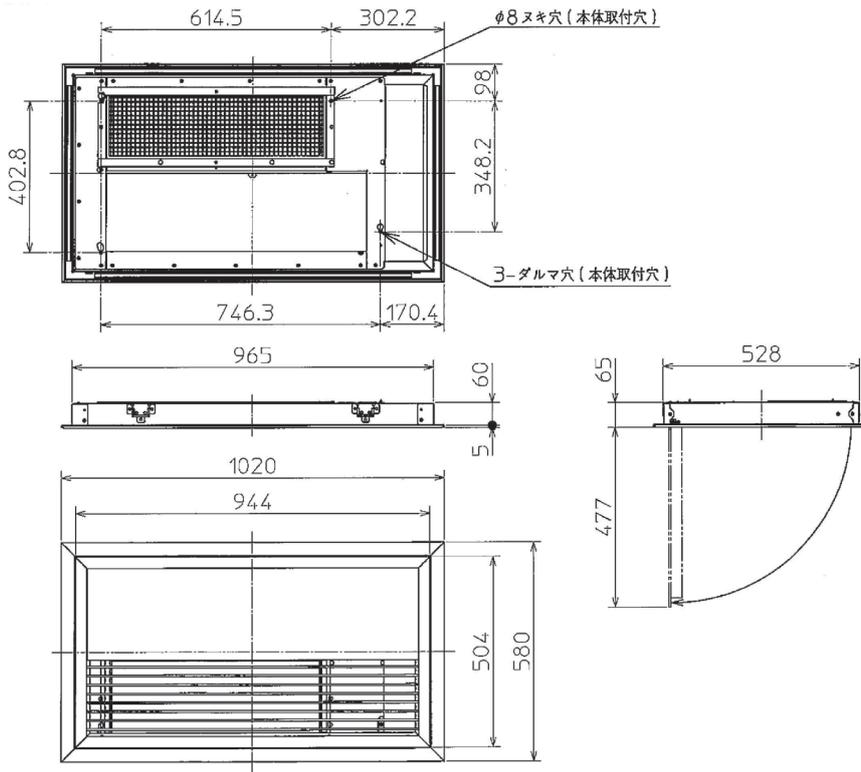
●フレキシブルダクト仕様制限

	許容ダクト長	ダクト曲り部
吹出側ダクト	7m以下	90°以下1カ所

※ダクト長が3mを超える場合は、風量切換スイッチの切換を行ってください。

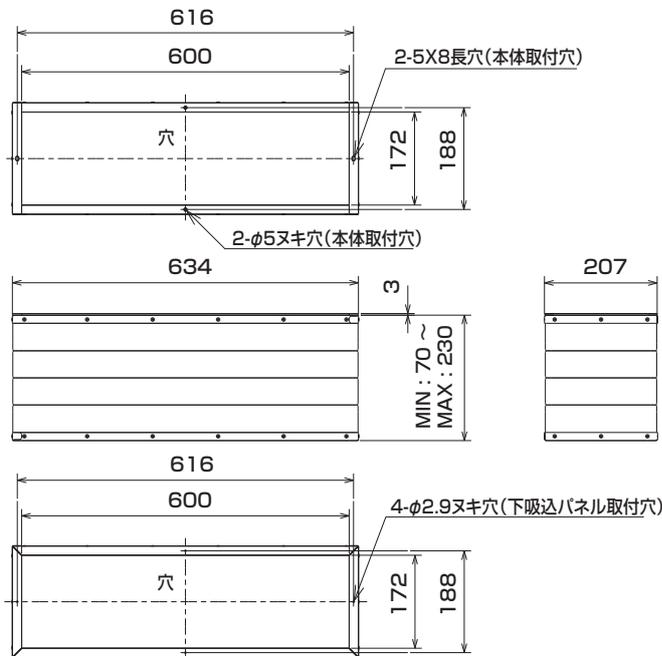
(4) 別売部品 外形図

●下吸込パネル MAC-530UP



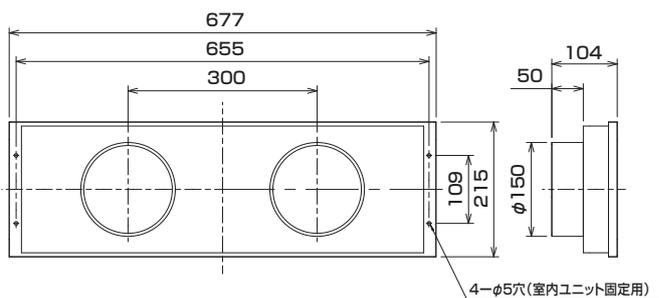
MAC-530UP構成部品	
① 下吸込パネル	数量
	1
② エアフィルター	数量
	1
③ ①の固定用ネジ	数量
 M5×30	4

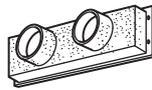
●キャンバスダクト MAC-508CD



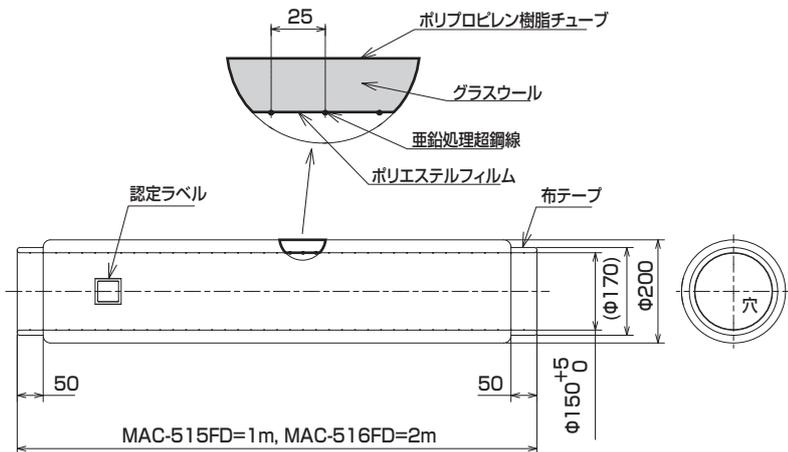
MAC-508CD構成部品			
① キャンバスダクト	数量	④ ①の固定ネジ	数量
	1	 タッピングネジ 4×10	8
② パネルホルダー	数量	⑤ ②の固定ネジ	数量
	4	 M5×10	8
③ ちょうボルト	数量	—	—
 M5×50	4		

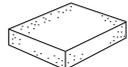
●ダクト吹出チャンバー MAC-514FC



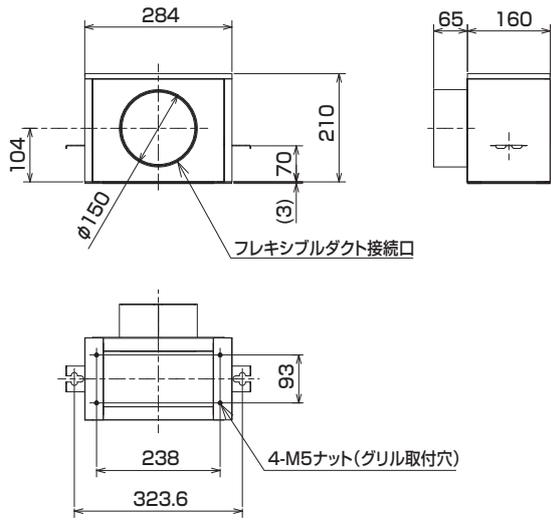
MAC-514FC構成部品	
① ダクト吹出チャンバー	数量
	1
② ①の固定用ネジ	数量
	4
タッピングネジ 4×16	

●フレキシブルダクト MAC-515FD (φ150, 1m)、MAC-516FD (φ150, 2m)



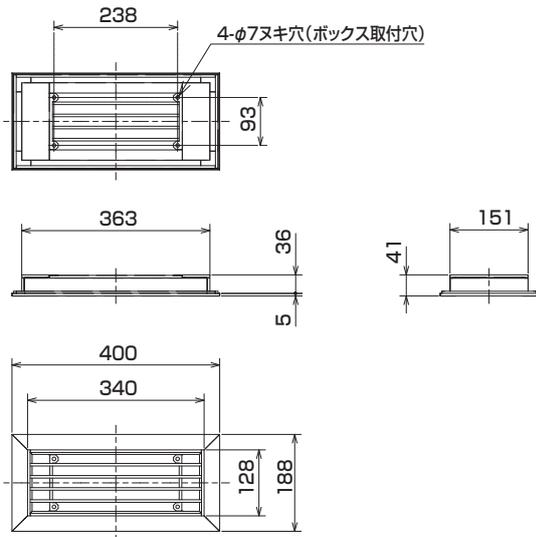
MAC-515FD 構成部品 MAC-516FD			
① フレキシブルダクト	数量	④ 断熱材	数量
	1		1
② 継ぎ手	数量	⑤ ビニールテープ	数量
	1		1
③ バンド	数量	—	—
	2		

●ダクト小吹出ボックス MAC-520FB



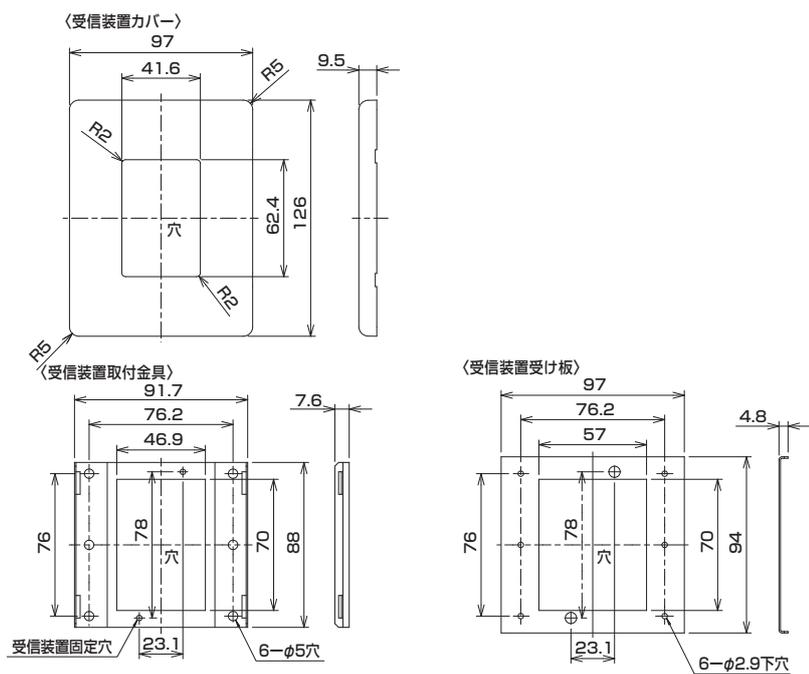
MAC-520FB構成部品	
① ダクト小吹出ボックス	数量
	1

●ダクト小吹出グリル MAC-521FG (ホワイト)、MAC-522FG (ベージュ)



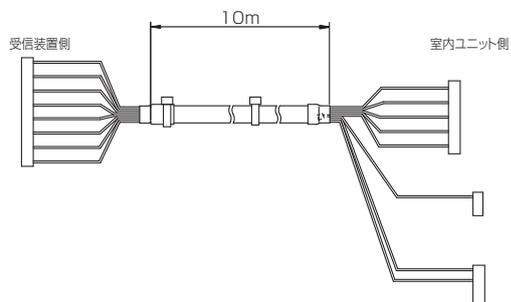
MAC-521FG MAC-522FG構成部品	
① ダクト小吹出グリル	数量
	1
② ①の固定用ネジ	
	4
M5×12	

●レシーバー取付具 MAC-523RT



MAC-523RT構成部品			
① 受信装置カバー	数量	④ ②の固定ネジ	数量
	1	 タッピングネジ 4×20	4
② 受信装置取付金具	1	⑤ 受信装置の固定用ネジ	2
	1	 タッピングネジ 4×10	2
③ 受信装置受け板	1	—	—
	1	—	—

●レシーバー延長コード MAC-551RC



MAC-551RC構成部品	
①	数量
レシーバー 延長コード (10m)	1

9.7.5 <パターンI> <パターンJ> 据付要領

(天埋設置下吸込パネルタイプ) [1方向吹出・キャンバダクトなし / あり]
[2方向吹出・キャンバダクトなし / あり]

1. 室内機点検口と開口穴の設定

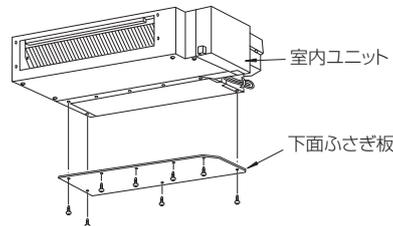
- 室内機点検口と開口穴の寸法は、各設置パターンの設置構成図および設置スペース必要寸法にしたがって設定してください。
- 本据付パターンにおいては、吹出グリル / 吸込グリルに受信装置を取付ける箇所がありません。
別売部品 レシーバー取付具 (MAC-523RT) を使用して取付けます。またこの時に天井または壁に開口部が必要です。
詳細は P145 の据付工事説明書を参照してください。

2. 室内機の先行準備

(1) 冷媒配管、内外接続電線、電源電線、ドレン配管工事

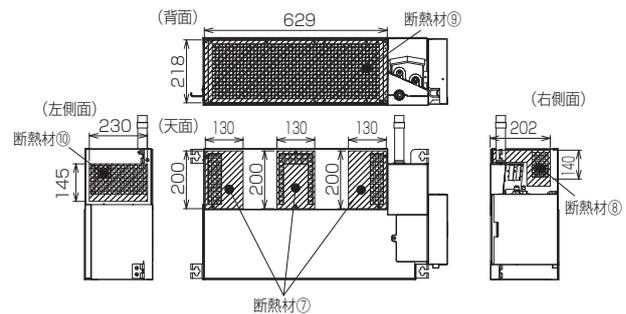
- 室内機の各接続部位置は、「7. 据付工事」(P20 ~) をご覧ください。
設備業者や建築業者とご相談してとりまわしを行ってください。
- ドレン配管は、硬質塩ビパイプ一般管 VP20 が室内機のドレン口と接続できます。
- 内外接続電線や電源電線は、後日のサービスのことも考慮して電気品箱の取り出しが可能なように室内機近傍で余裕をもたせておいてください。

(2) 室内機の下面ふさぎ板の取外し



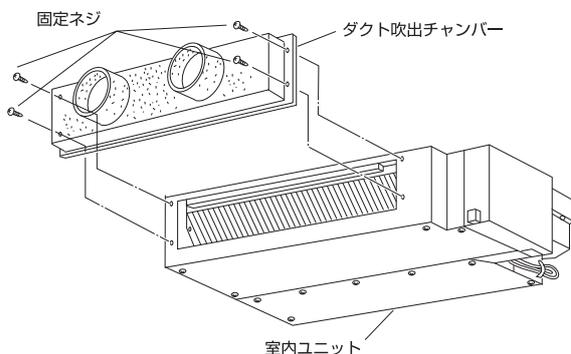
(3) 室内機への断熱材の貼付

- 室内機の天面 (3カ所)、左右側面 (各1カ所)、背面 (1カ所) の吸込口を付属の断熱材⑦~⑩にてふさいでください。
(右図参照)



(4) 別売部品 吹出チャンバー (MAC-514FC) の取付

- ダクト吹出チャンバーを室内機吹出口に取付けます。(固定ネジ4本)



(5) 別売部品 レシーバー延長コードへの交換 (MAC-551RC)

- 室内機付属の長さで不足する場合に行ってください。
- 延長コードの長さ：10m
- P146 の据付工事説明書にしたがって実施してください。

(6) 風量切換スイッチの切換：ダクト長が3mを越える場合に行ってください。

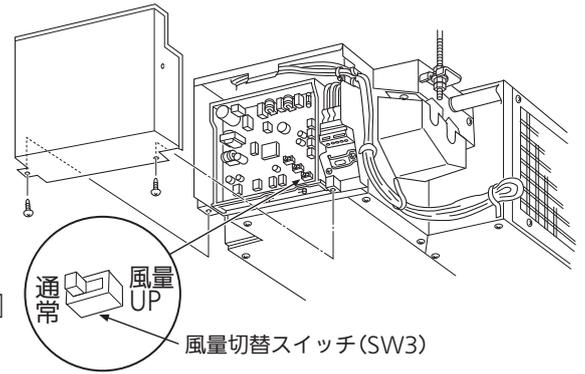
- 風量切替スイッチ (SW3) の切替えは、天井高さ、及びダクト長により通常または風量UPに設定してください。

	通常	風量UP
天井高さ	2.4m以下	2.4mを超え2.7m以下
ダクト長(吸込+吹出)	3m以下	3mを超え7m以下(吸込1m+吹出6m)

- 切換方法
- ①設定はエアコン用ブレーカーを「切」にしてから行ってください。
 - ②室内ユニットの電気品カバーを外します。
 - ③右図の位置に風量切替スイッチがありますので、スイッチを操作できる位置まで制御基板を引き下げ設定を行います。
 - ④設定が終わりましたら、制御基板を元の位置にもどし、電気品カバーを取付けてください。

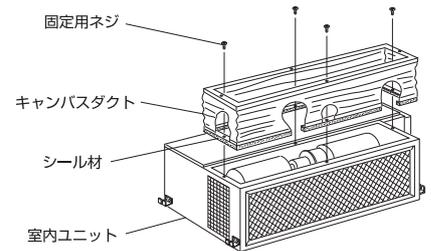
静電気による制御基板の破損防止のため、必ず静電気除去を行ってから作業してください。

出荷時の設定は“通常”になっています。



(7) 別売部品キャンバスダクト (MAC-508CD) の取付

- 室内機を吊り込む前に、キャンバスダクトを室内機に固定用ネジで4カ所固定します。この時、キャンバスダクトのシール材側を室内機に合わせてください。
- また、キャンバスダクトと室内機にすき間がないことを確認してください。(すき間があると、風もれ等の原因となります。)



3. 据付工事

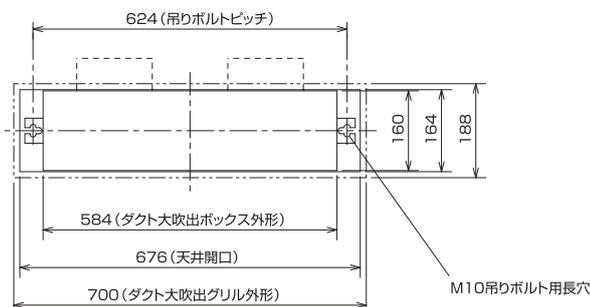
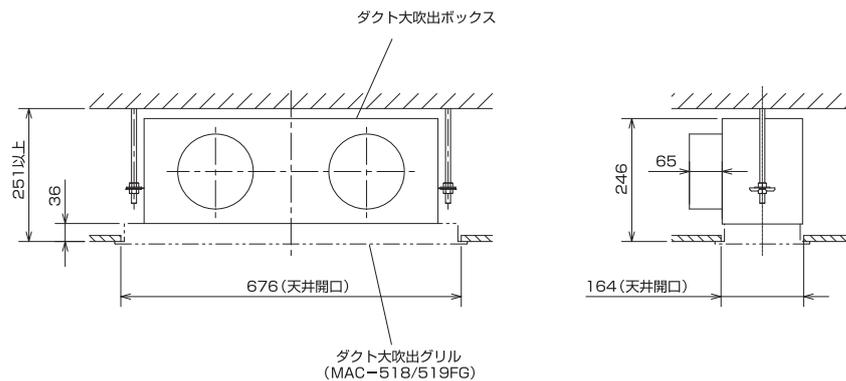
P21「7.3 室内機の据付手順」にしたがってください。

4. ダクト大吹出ボックス (MAC-517FB)/ ダクト小吹出ボックス (MAC-520FB) の取付

(1) ダクト大吹出ボックス (MAC-517FB)

- このダクト大吹出ボックスは、ダクト大吹出グリル (MAC-518/519FG) 用です。
- 天井開口と吊りボルトの位置関係は、下図のようになります。
ダクト大吹出グリル (MAC-518/519FG) を取付けるため、天井面に 164mm × 676mm の開口が必要です。
- 天井開口部の仕上げについては、くわしくは建築、内装業者とご相談ください。

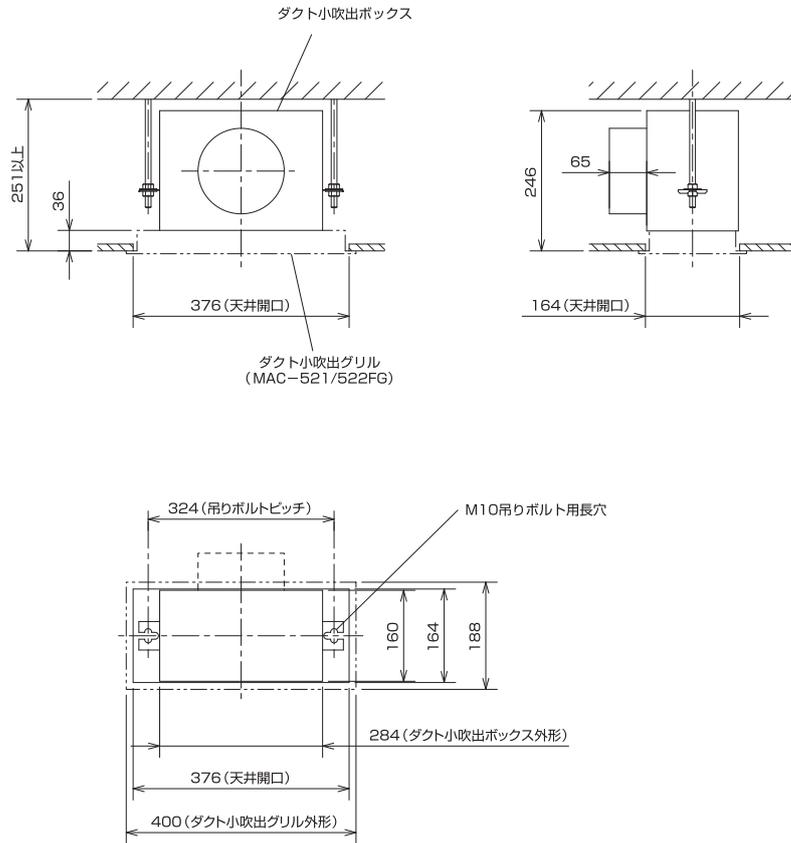
設置スペースと必要寸法



(2) ダクト小吹出ボックス (MAC-520FB)

- このダクト小吹出ボックスは、ダクト小吹出グリル (MAC-521/522FG) 用です。
- 天井開口と吊りボルトの位置関係は、下図のようになります。
ダクト小吹出グリル (MAC-521/522FG) を取付けるため、天井面に 164mm × 376mm の開口が必要です。
- 天井開口部の仕上げについては、くわしくは建築、内装業者とご相談ください。

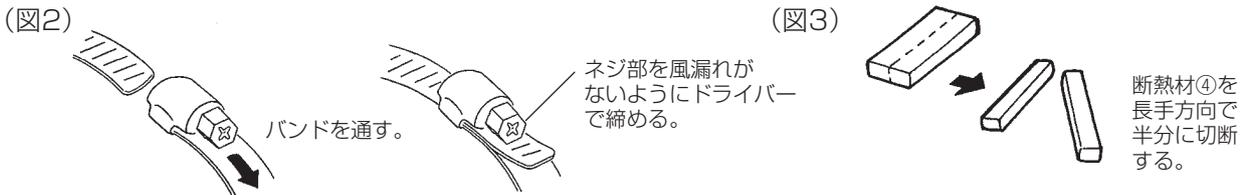
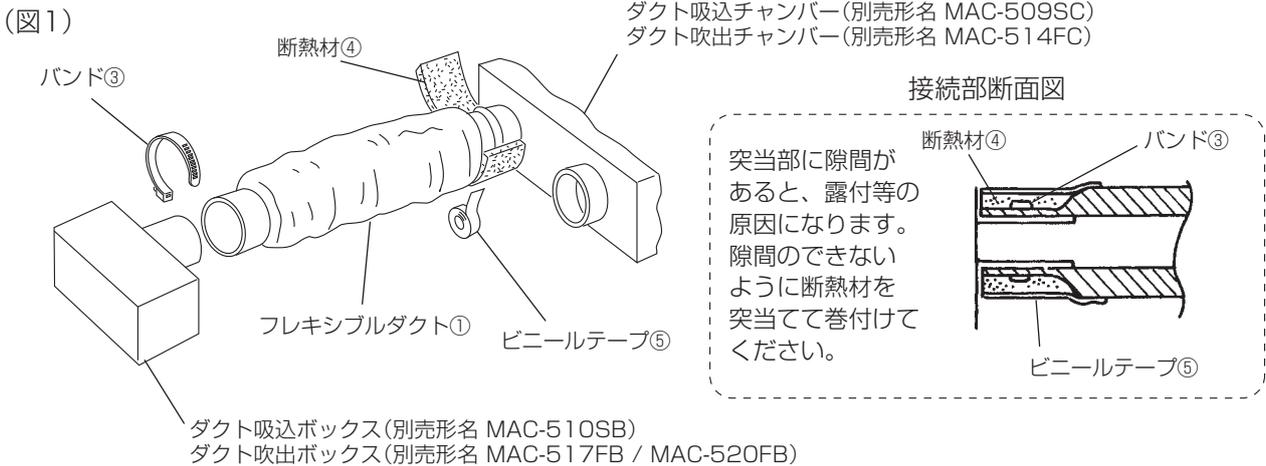
設置スペースと必要寸法



5. フレキシブルダクト (MAC-515FD/516FD) の取付

フレキシブルダクトとダクト吸込チャンバー・ダクト吹出チャンバーおよびダクト吸込ボックス・ダクト吹出ボックスとの接続

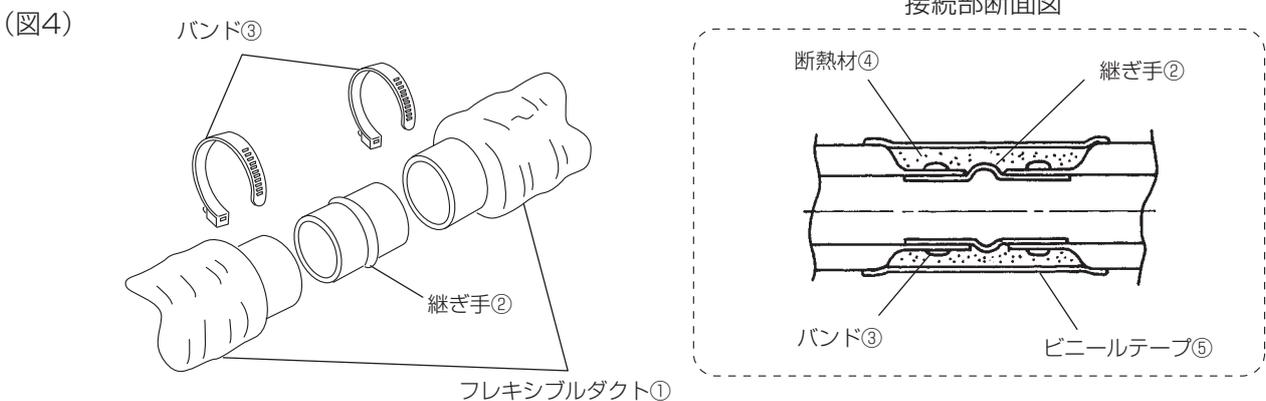
1. フレキシブルダクト①を室内ユニット側に取付けられたダクト吸込チャンバー (別売形名 MAC-509SC)、ダクト吹出チャンバー (別売形名 MAC-514FC) および反対側に取付けられたダクト吸込ボックス (別売形名MAC-510SB)、ダクト大吹出ボックス (別売形名 MAC-517FB)、ダクト小吹出ボックス (別売形名 MAC-520FB) のフランジにそれぞれはめ込んで、バンド③で締付けます。(図1、2参照)
2. 断熱材④で、バンド③を覆うように巻付けます。
この時、断熱材④は長手方向で半分に切断して、ダクト吸込チャンバー・ダクト吹出チャンバー側とダクト吸込ボックス・ダクト吹出ボックス側の両端にそれぞれご使用ください。(図3参照)
3. 断熱材④を覆うように、ビニールテープ⑤で隙間なく巻付けます。



注意 断熱材④は圧縮しますと断熱効果が低下しますので、断熱材④を圧縮しないように巻き付けてください。

フレキシブルダクトどうしの接続

1. 継ぎ手②にフレキシブルダクト①をはめ込み、バンド③で締付けます。(図4参照)
2. 断熱材④でバンド③を覆うように巻付けます。(断熱材④は切断しないでご使用ください)
3. 断熱材④を覆うように、ビニールテープ⑤で隙間なく巻付けます。



注意 断熱材④は圧縮しますと断熱効果が低下しますので、断熱材④を圧縮しないように巻き付けてください。

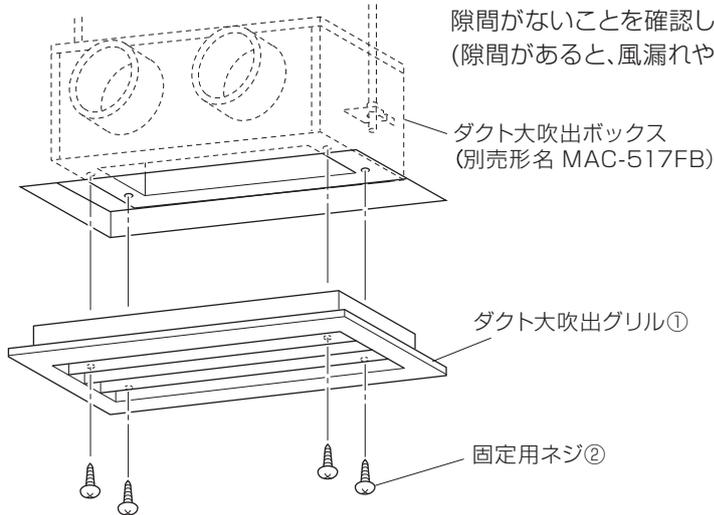
6. 受信装置の取付

- 下吸込パネル / 吹出グリルに受信装置を取付ける箇所がありません。
レシーバー取付具 (MAC-523RT) に取付けます。P145 の据付工事説明書にしたがって実施してください。

7. ダクト大吹出グリル (MAC-518FG/519FG) / ダクト小吹出グリル (MAC-521FG/522FG) の取付

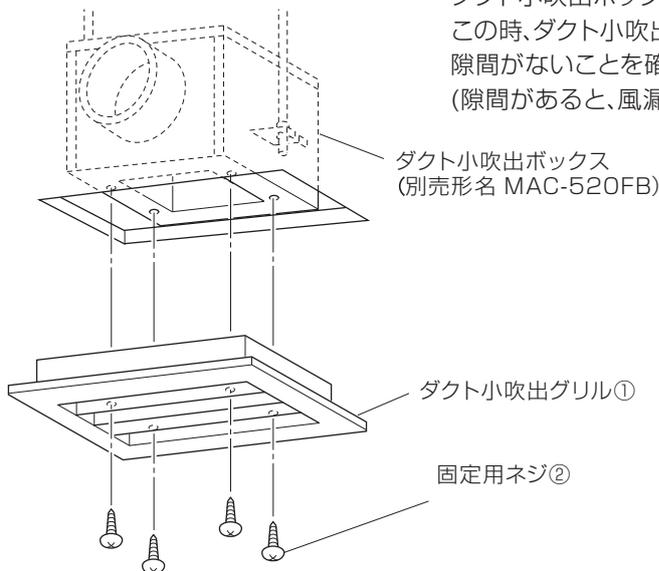
(1) ダクト大吹出グリル (MAC-518FG/519FG)

- ・ダクト大吹出グリル①の前後左右4か所を、固定用ネジ②でダクト大吹出ボックス(別売形名 MAC-517FB)に固定します。この時、ダクト大吹出グリル①と天井面およびダクト大吹出ボックスに隙間がないことを確認してください。(隙間があると、風漏れや露付等の原因になります)



(2) ダクト小吹出グリル (MAC-521FG/522FG)

- ・ダクト小吹出グリル①の前後左右4か所を、固定用ネジ②でダクト小吹出ボックス(別売形名 MAC-520FB)に固定します。この時、ダクト小吹出グリル①と天井面およびダクト小吹出ボックスに隙間がないことを確認してください。(隙間があると、風漏れや露付等の原因となります)



8. 下吸込パネルの取付

(1) 下吸込パネルの取付 (キャンバスタクトを使用しない場合)

1. 下図のように室内機下面の3カ所に、固定用ネジ③を20mm程度すき間をあけて取付けます。
2. 下吸込パネル①の風路内にある左右のツマミを、下図のようにスライドさせて内側パネルを開き、外側パネルのダルマ穴に先程取付けた固定用ネジ③を通してスライドさせます。
これで下吸込パネルが、室内機に仮止めされます。



注意

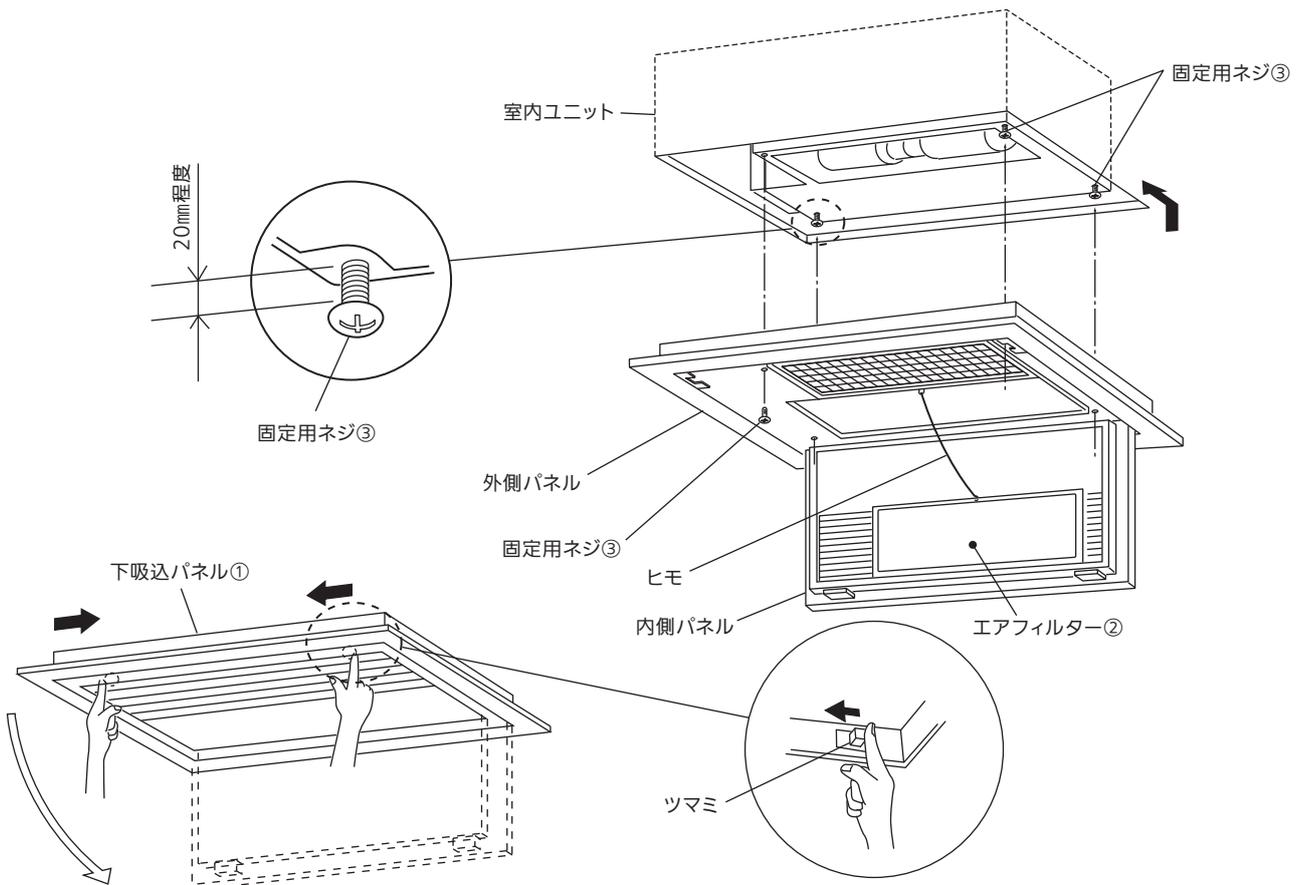
左右のツマミをスライドさせると内側パネルがいきおいよく開いてケガをする可能性がありますので、両手で支えながらゆっくりと開いてください。

3. 次に残りの1カ所を、残りの固定用ネジ③で室内機に少しゆるく取付けます。
4. 最後に下吸込パネル①を天井の目地と合うように調整しながら、4カ所の固定用ネジ③を締め込んでください。
この時、下吸込パネル①と天井面および室内機にすき間がないことを確認してください。
(すき間があると、風もれ等の原因となります。)
5. エアフィルター②が、内側パネルのフィルターレールにしっかりと装着されているか確認してください。
もし、エアフィルター②が、フィルターレールから外れていたら、必ず装着し直してください。
6. 内側パネルを、開いた時と逆の要領で閉じてください。



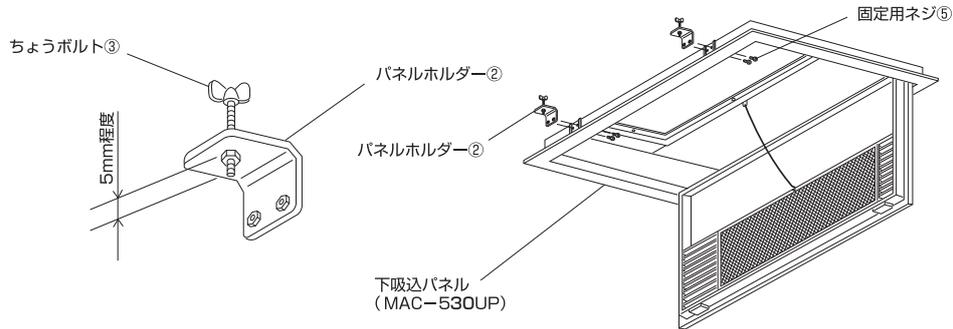
注意

下吸込パネル①に取付けられているヒモは、内側パネル開閉作業の安全のため取外さないでください。

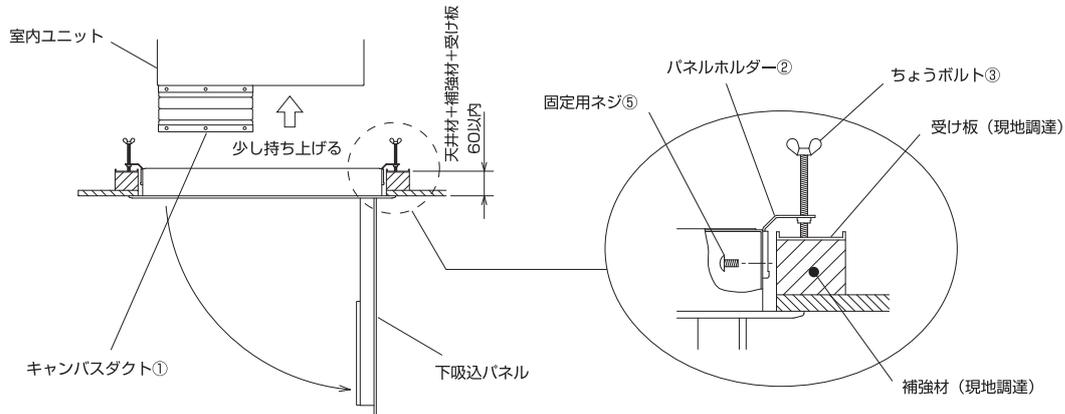


(2) 下吸込パネルの取付 (キャンバスダクトを使用する場合)

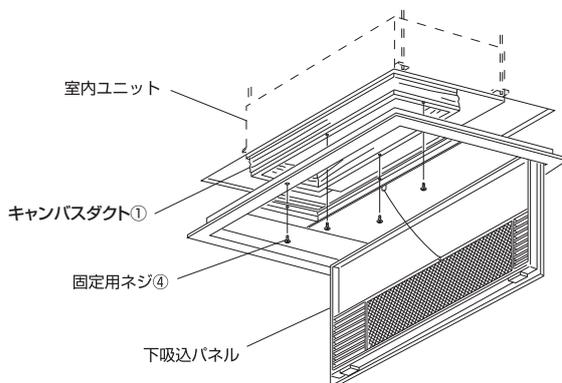
1. 各パネルホルダー②にちょうボルト③を、下から 5mm 程度出までねじ込みます。
2. 下吸込パネル (MAC-530UP) のホルダー固定部に、ちょうボルト③をセットしたパネルホルダー②を2カ所 (下図参照) 挿入して、固定用ネジ⑤で内側から固定します。



3. 下吸込パネルを天井にはめ込み、反対側のホルダー固定部にも上記 2. と同様に、残りのパネルホルダー②を2カ所挿入して、固定用ネジ⑤で内側から固定します。
4. ちょうボルト③と天井との間に受け板 (現地調達) および補強材 (現地調達) を挟み込み、下吸込パネルを固定します。この時、キャンバスダクト①が邪魔になる時は、下図のように少し持ち上げて作業してください。



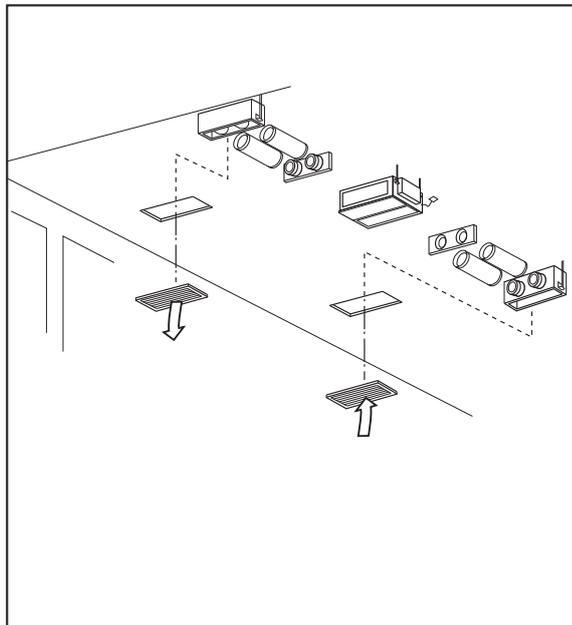
5. 最後に、キャンバスダクト①を下吸込パネルに固定用ネジ④で4カ所固定します。この時、下吸込パネルと天井面およびキャンバスダクト①にすき間がないことを確認してください。(すき間があると、風もれ等の原因となります。)



9.8 <パターンK> 天埋設置吸吹両ダクトタイプ [1方向吹出]、 <パターンL> 天埋設置吸吹両ダクトタイプ [2方向吹出]

9.8.1 <パターンK> 別売部品と寸法図

(1) 設置イメージ図

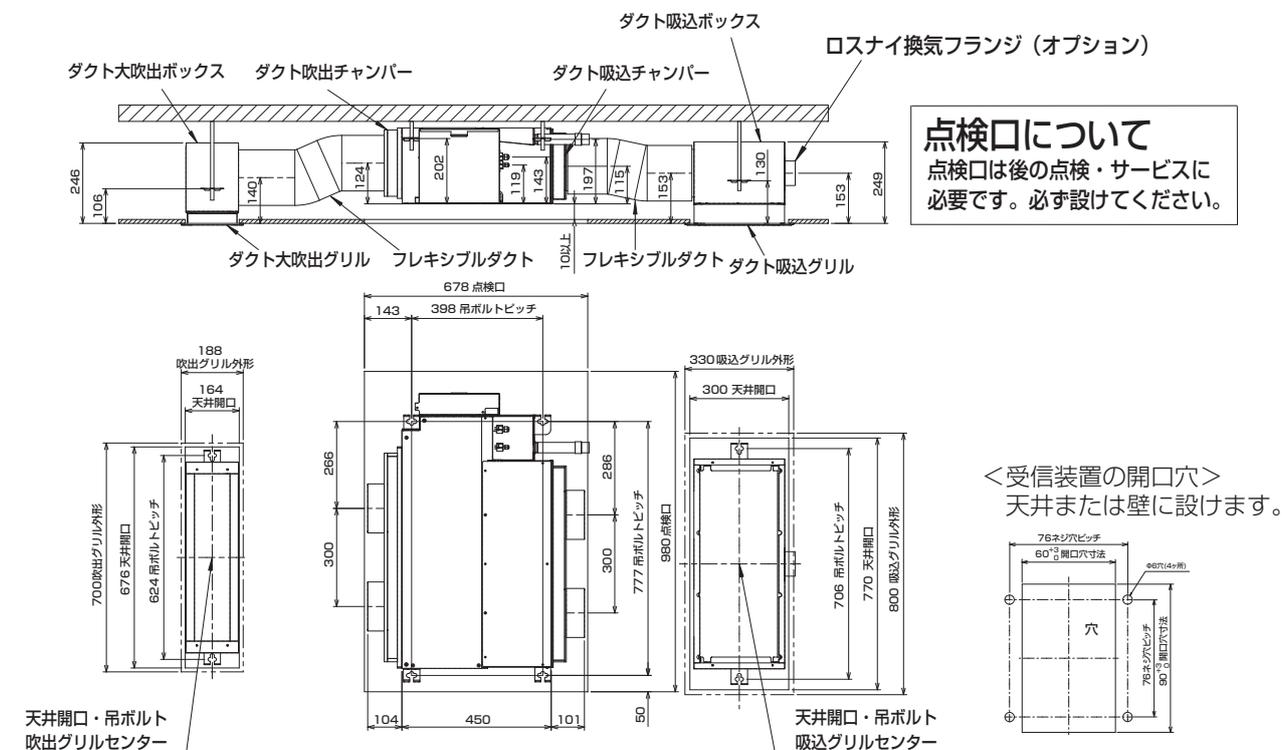


(2) 使用別売部品

品名	形名	備考
ダクト吸込チャンバー	MAC-509SC	室内ユニットの先行準備の時点で取付けてください。
ダクト吸込ボックス	MAC-510SB	
ダクト吸込グリル (ホワイト)	MAC-511SG	吸込グリルは、いずれかを選定してください。
ダクト吸込グリル (ベージュ)	MAC-512SG	
ロスナイ給気フランジ	MAC-513LK	ロスナイ接続時のみ使用してください。
ダクト吹出チャンバー	MAC-514FC	室内ユニットの先行準備の時点で取付けてください。
フレキシブルダクト (φ150,1m)	MAC-515FD	
フレキシブルダクト (φ150,2m)	MAC-516FD	
ダクト大吹出ボックス	MAC-517FB	
ダクト大吹出グリル (ホワイト)	MAC-518FG	吹出グリルは、いずれかを選定してください。
ダクト大吹出グリル (ベージュ)	MAC-519FG	
レシーバー取付具	MAC-523RT	
レシーバー延長コード	MAC-551RC	室内ユニットに付属している長さで不足する場合がございます。延長コードの長さ:10m

ドレンポンプは室内機に内蔵しています。

(3) 設置構成図および設置スペース必要寸法 (据付要領につきましては、P111 ~ P116 を参照ください。)



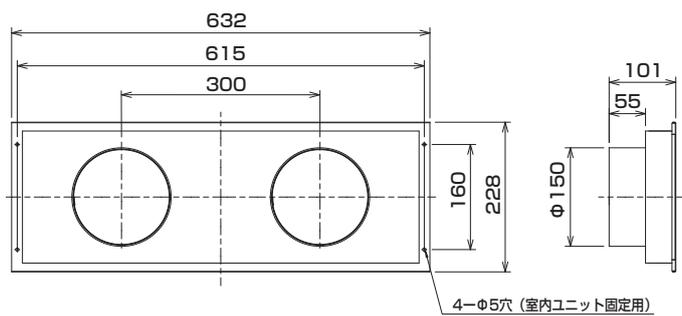
●フレキシブルダクト仕様制限

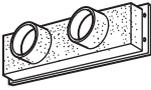
	許容ダクト長	ダクト曲り部
吹出側ダクト	吸込側と合わせて7m以下	90°以下1カ所
吸込側ダクト	1m以下	45°以下1カ所

*ダクト長が3mを超える場合は、風量切換スイッチの切換を行ってください。

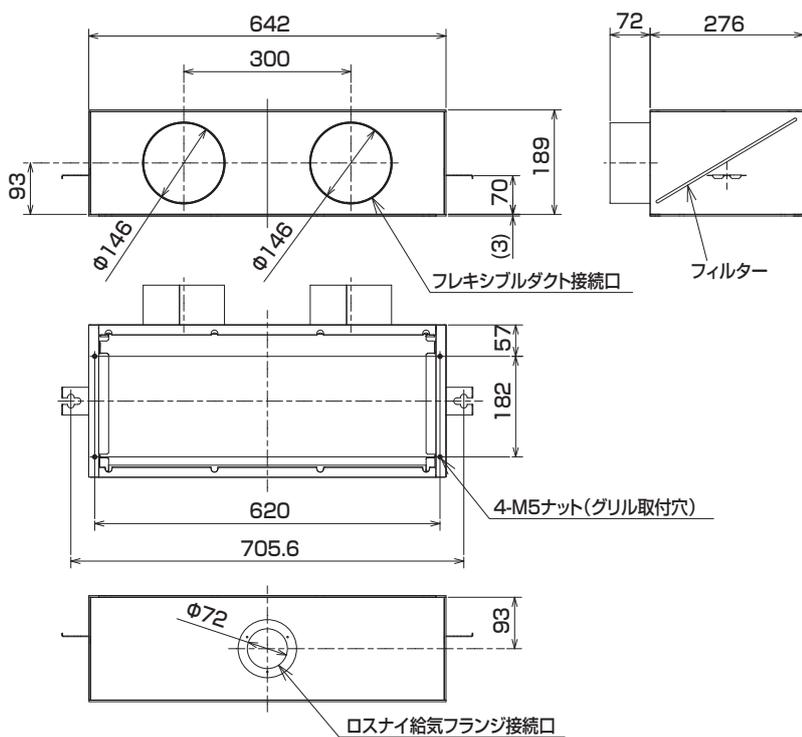
(4) 別売部品 外形図

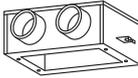
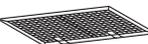
●ダクト吸込チャンバー MAC-509SC



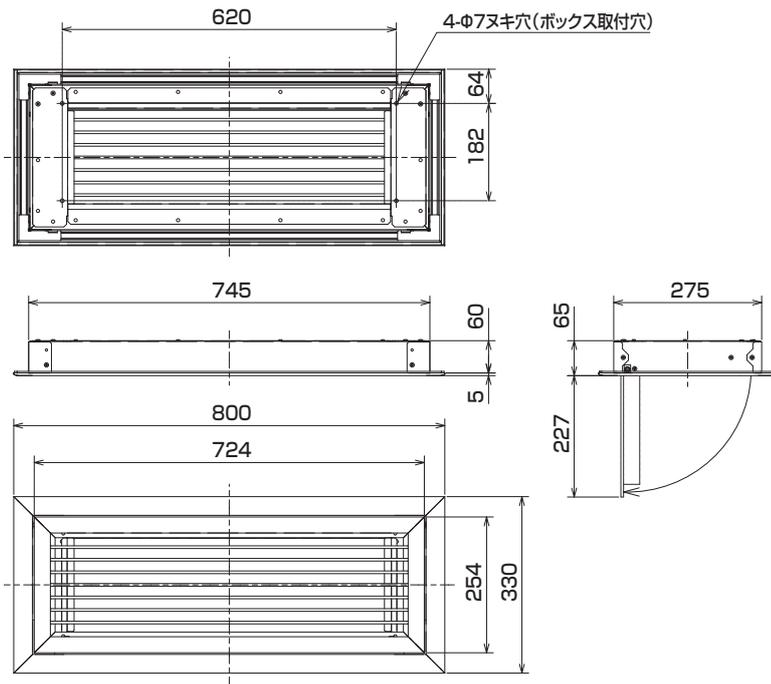
MAC-509SC構成部品	
① ダクト吸込チャンバー	数量
	1
② ①の固定用ネジ	
	4
タッピングネジ 4×16	

●ダクト吸込ボックス MAC-510SB



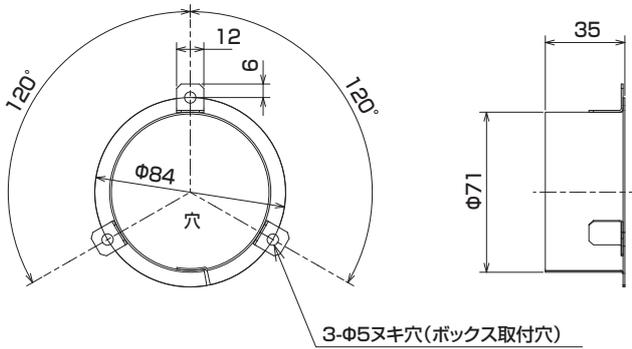
MAC-510SB構成部品	
① ダクト吸込ボックス	数量
	1
② エアフィルター	
	1
③ 断熱材	
	1

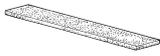
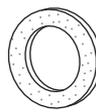
●ダクト吸込グリル MAC-511SG (ホワイト)、MAC-512SG (ベージュ)



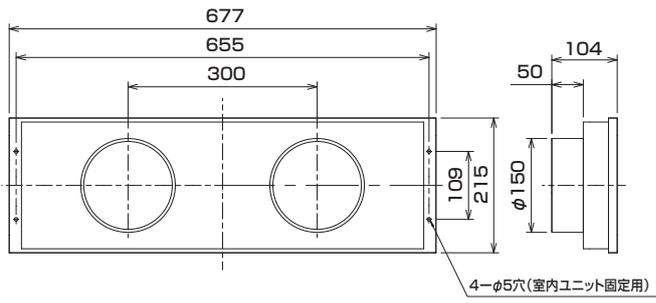
MAC-511SG 構成部品		MAC-512SG	
① ダクト吸込グリル	数量		
	1		
② ①の固定用ネジ	数量		
	4		
		M5×12	

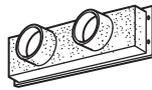
●ロスナイ給気フランジ MAC-513LK



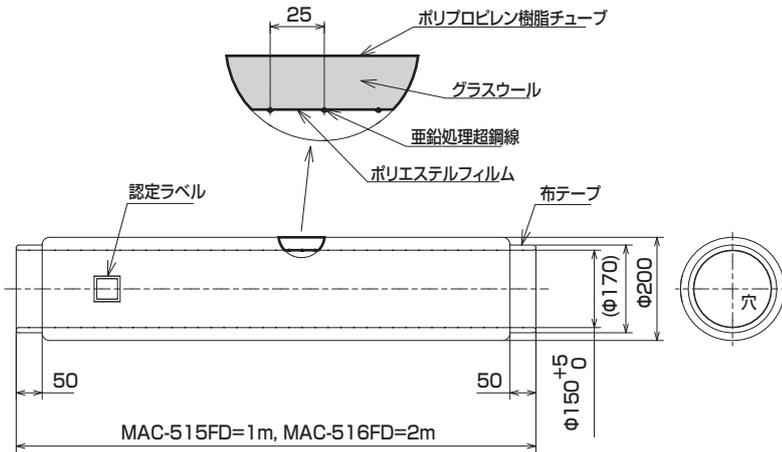
MAC-513LK 構成部品			
① ロスナイ給気フランジ	数量	③ 断熱材B	数量
	1		1
③ 断熱材A	数量	④ ①の固定ネジ	数量
	1		3
		タッピングネジ 4×10	

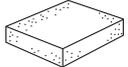
●ダクト吹出チャンバー MAC-514FC



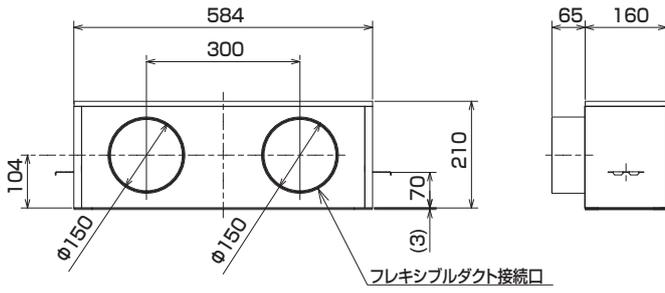
MAC-514FC構成部品	
① ダクト吹出チャンバー	数量
	1
② ①の固定用ネジ	数量
	4
タッピングネジ 4×16	

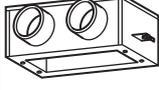
●フレキシブルダクト MAC-515FD (φ150, 1m)、MAC-516FD (φ150, 2m)

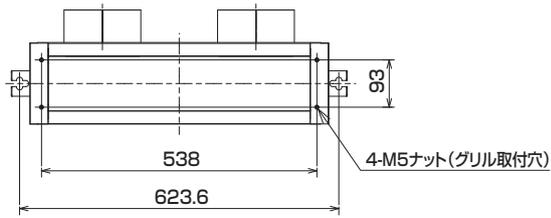


MAC-515FD 構成部品 MAC-516FD			
① フレキシブルダクト	数量	④ 断熱材	数量
	1		1
② 継ぎ手	数量	⑤ ビニールテープ	数量
	1		1
③ バンド	数量	—	—
	2		

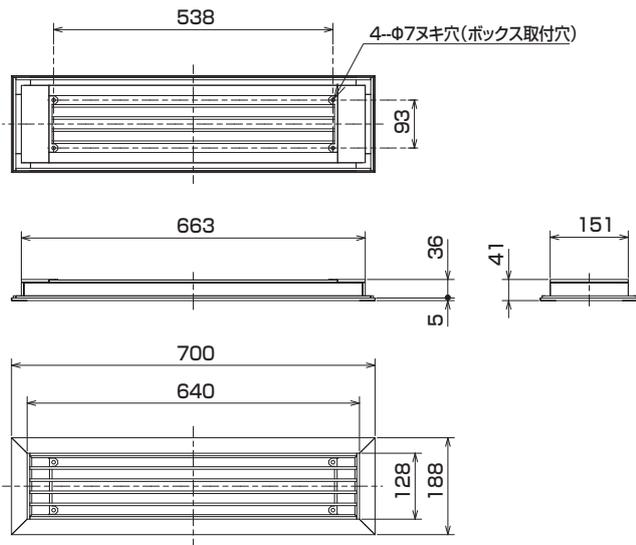
●ダクト大吹出ボックス MAC-517FB



MAC-517FB構成部品	
① ダクト大吹出ボックス	数量
	1

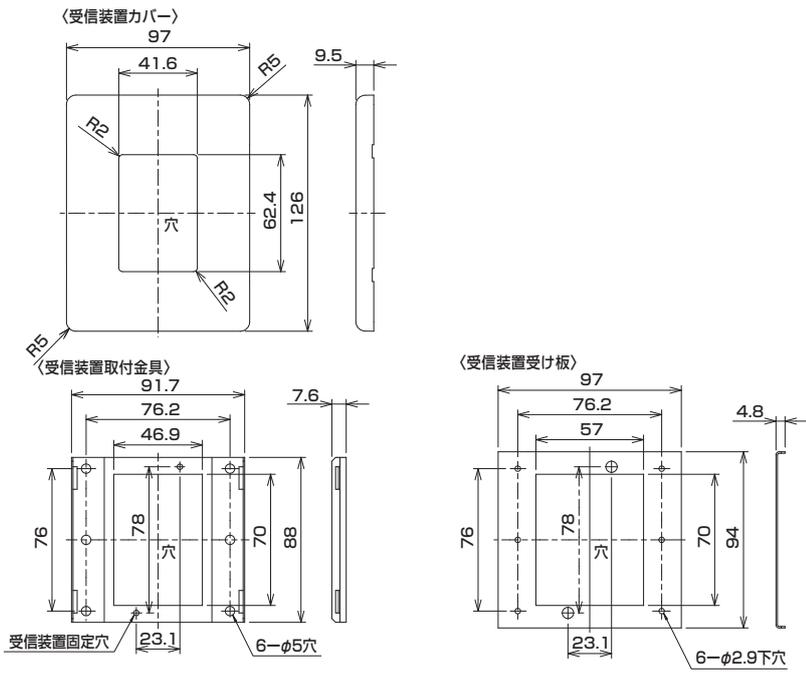


●ダクト大吹出グリル MAC-518FG (ホワイト)、MAC-519FG (ベージュ)



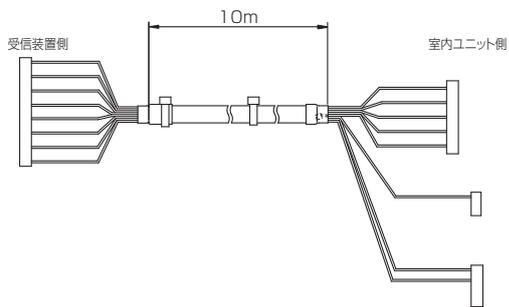
MAC-518FG MAC-519FG構成部品	
① ダクト大吹出グリル	数量
	1
② ①の固定用ネジ	数量
	4
M5×12	

●レシーバー取付具 MAC-523RT



MAC-523RT構成部品			
① 受信装置カバー	数量	④ ②の固定ネジ	数量
	1	 タッピングネジ 4×20	4
② 受信装置取付金具	1	⑤ 受信装置の固定用ネジ	2
		 タッピングネジ 4×10	
③ 受信装置受け板	1	—	—

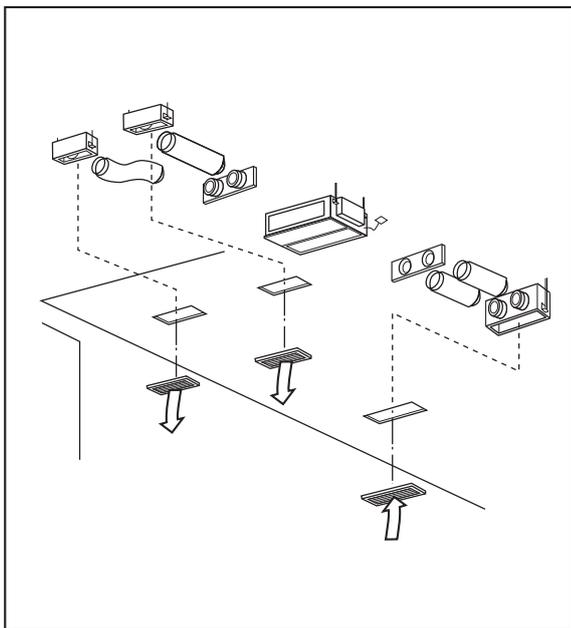
●レシーバー延長コード MAC-551RC



MAC-551RC構成部品	
①	数量
レシーバー 延長コード (10m)	1

9.8.2 <パターンL> 別売部品と寸法図

(1) 設置イメージ図

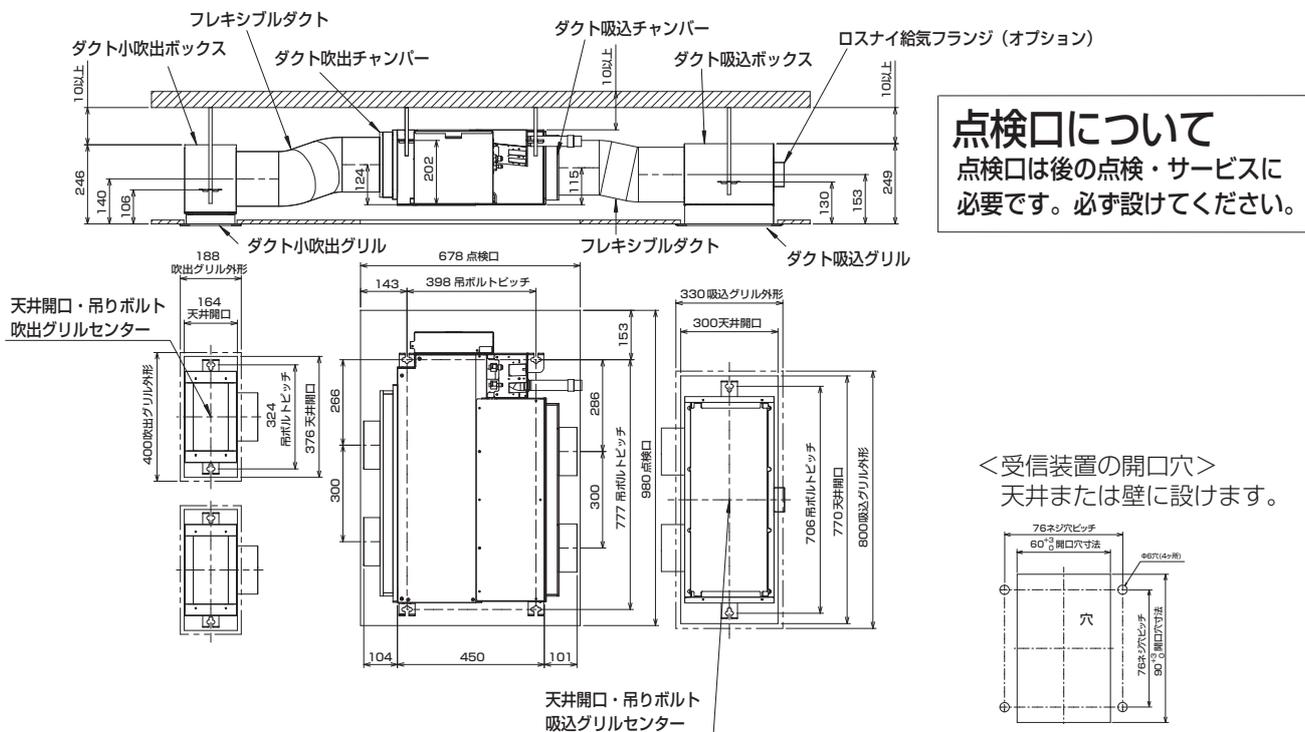


(2) 使用別売部品

品名	形名	備考
ダクト吸込チャンバー	MAC-509SC	室内ユニットの先行準備の時点で取付けてください。
ダクト吸込ボックス	MAC-510SB	
ダクト吸込グリル (ホワイト)	MAC-511SG	吸込グリルは、いずれかを選定してください。
ダクト吸込グリル (ベージュ)	MAC-512SG	
ロスナイ給気フランジ	MAC-513LK	ロスナイ接続時のみ使用してください。
ダクト吹出チャンバー	MAC-514FC	室内ユニットの先行準備の時点で取付けてください。
フレキシブルダクト (φ150,1m)	MAC-515FD	
フレキシブルダクト (φ150,2m)	MAC-516FD	
ダクト小吹出ボックス	MAC-520FB	
ダクト小吹出グリル (ホワイト)	MAC-521FG	吹出グリルは、いずれかを選定してください。
ダクト小吹出グリル (ベージュ)	MAC-522FG	
レシーバー取付具	MAC-523RT	
レシーバー延長コード	MAC-551RC	室内ユニットに付属している長さで不足する場合がございます。延長コードの長さ:10m

ドレンポンプは室内機に内蔵しています。
ダクト小吹出ボックスとダクト小吹出グリルは2セット必要です。

(3) 設置構成図および設置スペース必要寸法 (据付要領につきましては、P111 ~ P116 を参照ください。)



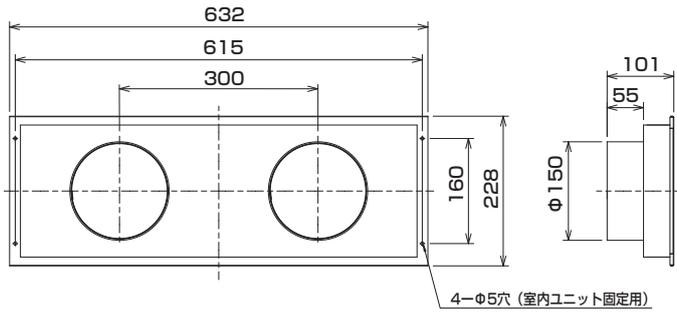
●フレキシブルダクト仕様制限

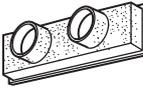
	許容ダクト長	ダクト曲り部
吹出側ダクト	吸込側と合わせて7m以下	90°以下1カ所
吸込側ダクト	1m以下	45°以下1カ所

※ダクト長が3mを超える場合は、風量切換スイッチの切換を行ってください。

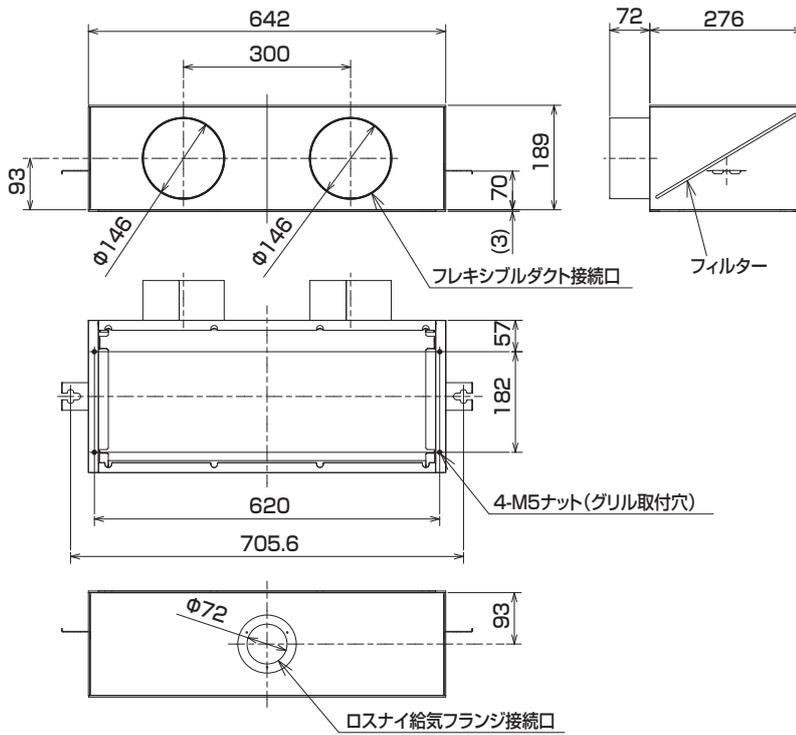
(4) 別売部品 外形図

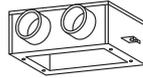
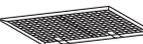
●ダクト吸込チャンバー MAC-509SC



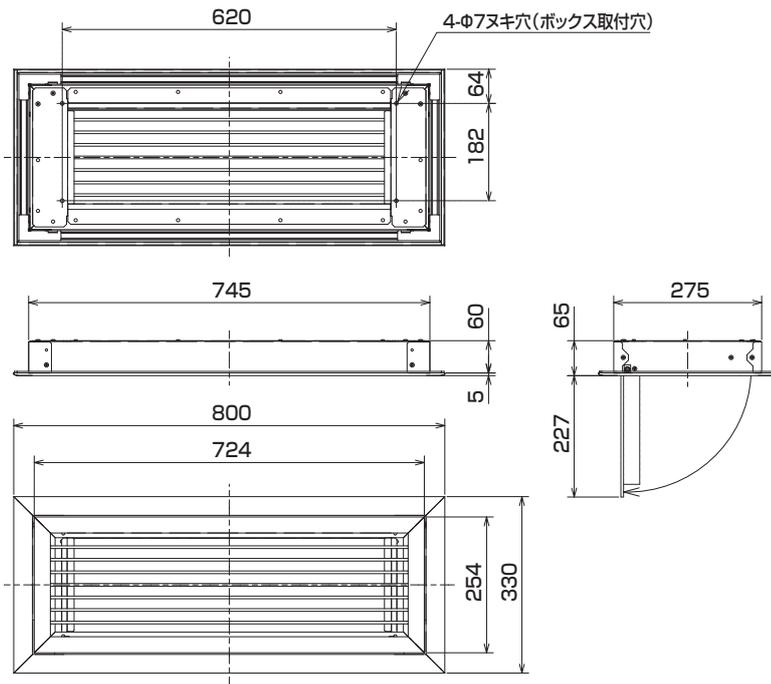
MAC-509SC構成部品	
① ダクト吸込チャンバー	数量
	1
② ①の固定用ネジ	数量
 タッピングネジ 4×16	4

●ダクト吸込ボックス MAC-510SB



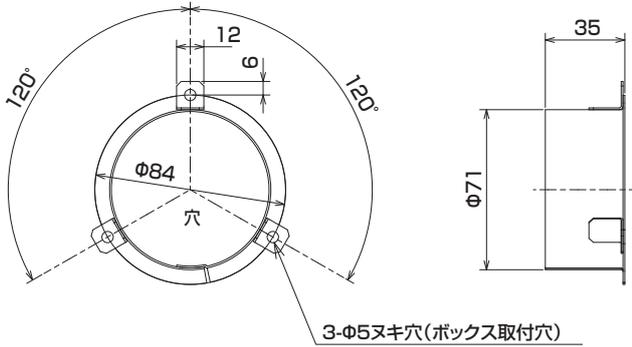
MAC-510SB構成部品	
① ダクト吸込ボックス	数量
	1
② エアフィルター	数量
	1
③ 断熱材	数量
	1

●ダクト吸込グリル MAC-511SG (ホワイト)、MAC-512SG (ベージュ)



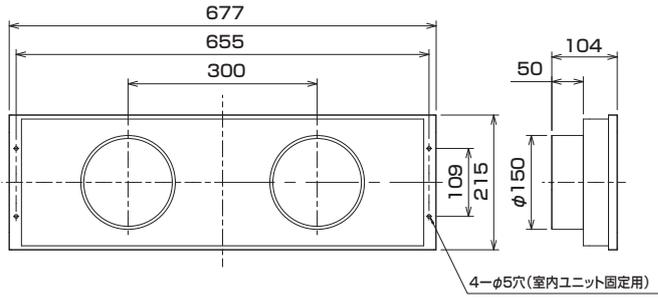
MAC-511SG 構成部品 MAC-512SG	
① ダクト吸込グリル	数量
	1
② ①の固定用ネジ	数量
	4
M5×12	

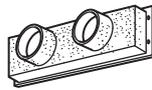
●ロスナイ給気フランジ MAC-513LK



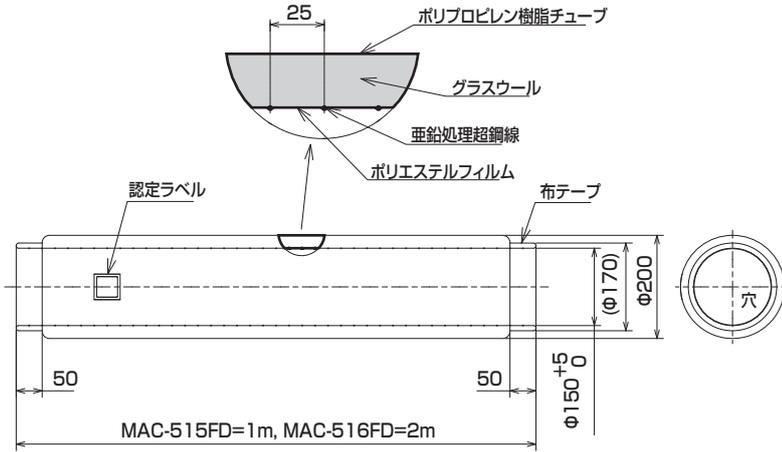
MAC-513LK 構成部品			
① ロスナイ給気フランジ	数量	③ 断熱材B	数量
	1		1
③ 断熱材A	数量	④ ①の固定ネジ	数量
	1		3
		タッピングネジ 4×10	

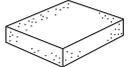
●ダクト吹出チャンバー MAC-514FC



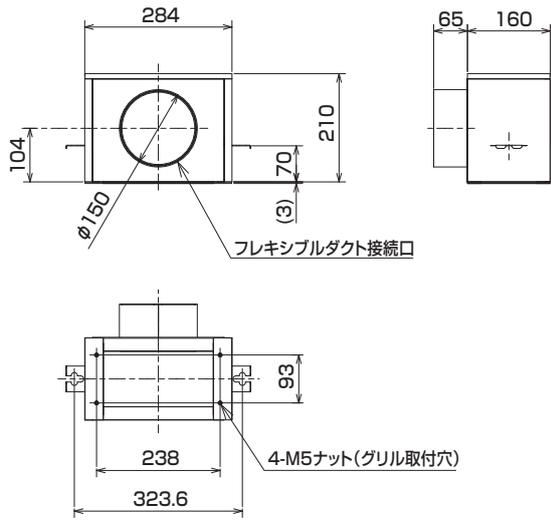
MAC-514FC構成部品	
① ダクト吹出チャンバー	数量
	1
② ①の固定用ネジ	数量
	4
タッピングネジ 4×16	

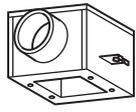
●フレキシブルダクト MAC-515FD (φ150, 1m)、MAC-516FD (φ150, 2m)



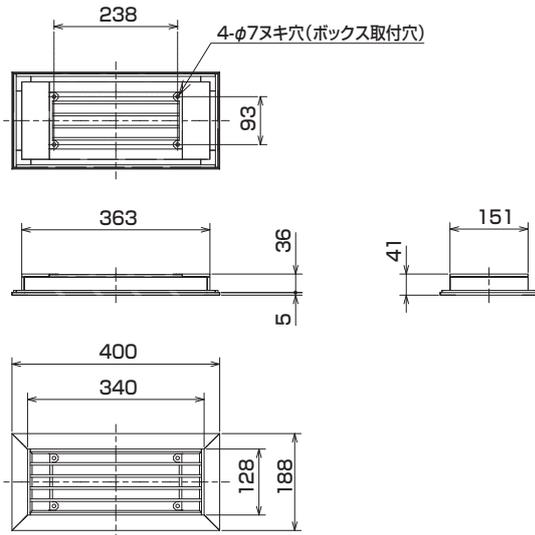
MAC-515FD 構成部品 MAC-516FD			
① フレキシブルダクト	数量	④ 断熱材	数量
	1		1
② 継ぎ手	数量	⑤ ビニールテープ	数量
	1		1
③ バンド	数量	—	—
	2		

●ダクト小吹出ボックス MAC-520FB



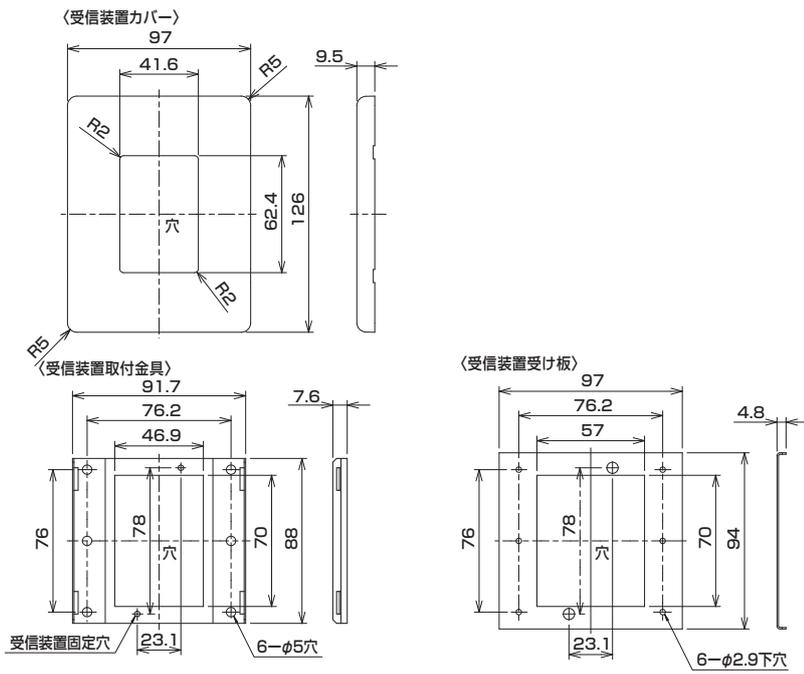
MAC-520FB構成部品	
① ダクト小吹出ボックス	数量
	1

●ダクト小吹出グリル MAC-521FG (ホワイト)、MAC-522FG (ベージュ)



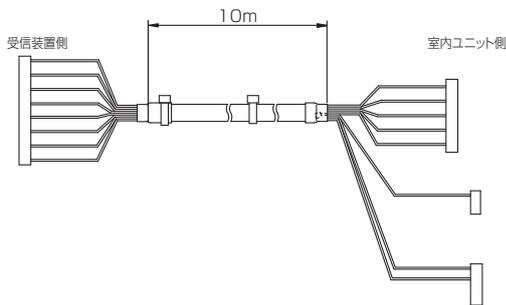
MAC-521FG MAC-522FG構成部品	
① ダクト小吹出グリル	数量
	1
② ①の固定用ネジ	数量
	4
M5×12	

● レシーバー取付具 MAC-523RT



MAC-523RT構成部品			
① 受信装置カバー	数量	④ ②の固定ネジ	数量
	1	 タッピングネジ 4×20	4
② 受信装置取付金具	1	⑤ 受信装置の固定用ネジ タッピングネジ 4×10	2
③ 受信装置受け板	1	—	—

● レシーバー延長コード MAC-551RC



MAC-551RC構成部品	
①	数量
レシーバー 延長コード (10m)	1

9.8.3 <パターンK> <パターンL> 据付要領 (天埋設置吸吹両ダクトタイプ [1方向吹出・2方向吹出])

1. 室内機点検口と開口穴の設定

- 室内機点検口と開口穴の寸法は、各設置パターンの設置構成図および設置スペース必要寸法にしたがって設定してください。
- 本据付パターンにおいては、吹出グリル / 吸込グリルに受信装置を取付ける箇所がありません。
別売部品 レシーバー取付具 (MAC-523RT) を使用して取付けます。またこの時に天井または壁に開口部が必要です。
詳細は P145 の据付工事説明書を参照してください。

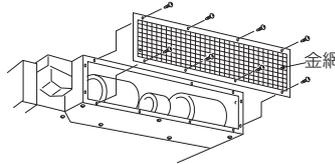
2. 室内機の先行準備

(1) 冷媒配管、内外接続電線、電源電線、ドレン配管工事

- 室内機の各接続部位置は、「7. 据付工事」(P20～) をご覧ください。
設備業者や建築業者とご相談してとりまわしを行ってください。
- ドレン配管は、硬質塩ビパイプ一般管 VP20 が室内機のドレン口と接続できます。
- 内外接続電線や電源電線は、後日のサービスのことも考慮して電気品箱の取り出しが可能なように室内機近傍で余裕をもたせておいてください。

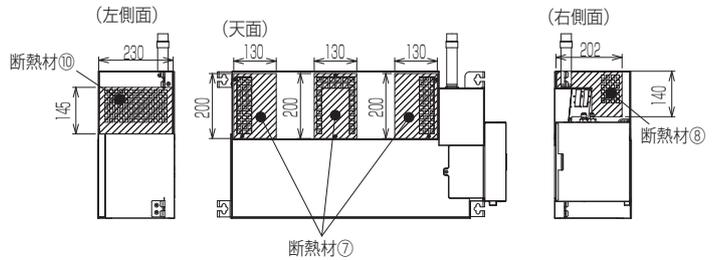
(2) 室内機の背面金網の取外し

- 室内機背面の金網を外します。(ネジ 8 本)

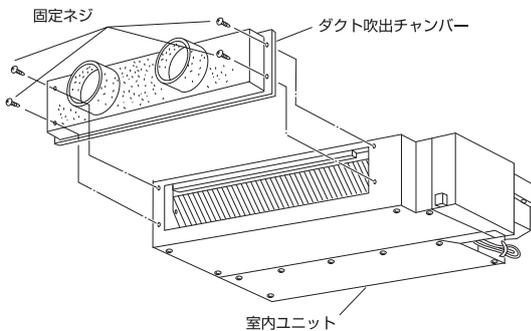


(3) 室内機への断熱材の貼付

- 室内機の天面 (3カ所)、左右側面 (各1カ所) の角穴を付属の断熱材⑦、⑧、⑩でふさぎます。

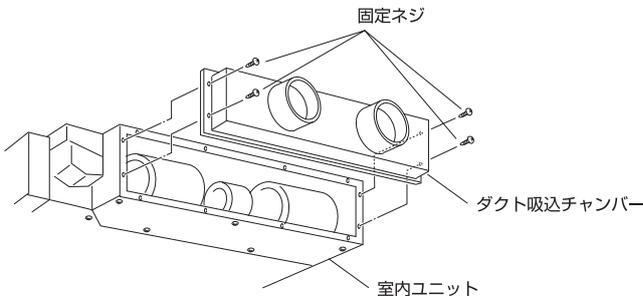


(4) ダクト吹出チャンバー (MAC-514FC) / ダクト吸込チャンバー (MAC-509SC) の取付



- ダクト吹出チャンバーを室内機吹出口に取付けます。(固定ネジ 4 本)

- ダクト吸込チャンバーを室内機背面吸込口に取付けます。(固定ネジ 4 本)



(5) 別売部品 レシーバー延長コード (MAC-551RC) への交換

- 室内機付属の長さで不足する場合に行ってください。
- 延長コードの長さ：10m
- P146 の据付工事説明書にしたがって実施してください。

(6) 風量切換スイッチの切換：ダクト長が3mを越える場合に行ってください。

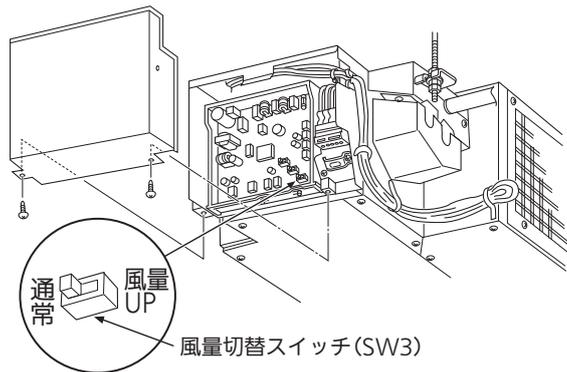
●風量切替スイッチ (SW3) の切替は、天井高さ、及びダクト長により通常または風量UPに設定してください。

	通常	風量UP
天井高さ	2.4m以下	2.4mを超え2.7m以下
ダクト長(吸込+吹出)	3m以下	3mを超え7m以下(吸込1m+吹出6m)

- 切換方法
- ①設定はエアコン用ブレーカーを「切」にしてから行ってください。
 - ②室内ユニットの電気品カバーを外します。
 - ③右図の位置に風量切替スイッチがありますので、スイッチを操作できる位置まで制御基板を引き下げ設定を行います。
 - ④設定が終わりましたら、制御基板を元の位置にもどし、電気品カバーを取付けてください。

静電気による制御基板の破損防止のため、必ず静電気除去を行ってから作業してください。

出荷時の設定は“通常”になっています。



3. 据付工事

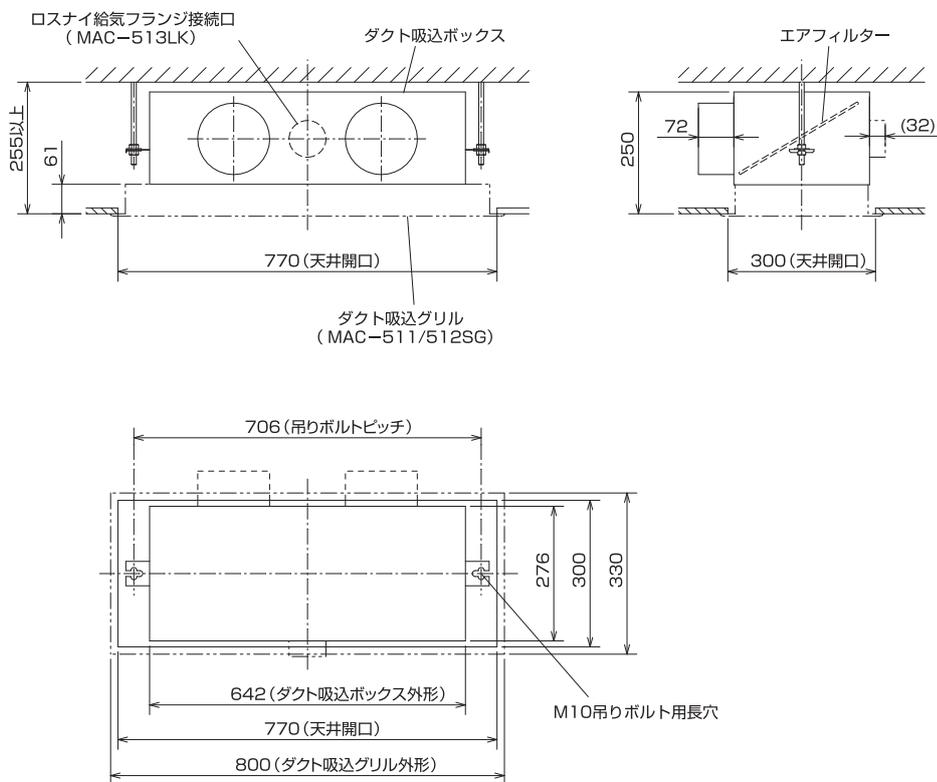
P21「7.3 室内機の据付手順」にしたがってください。

4. ダクト吸込ボックス (MAC-510SB)/ ダクト大吹出ボックス (MAC-517FB)/ ダクト小吹出ボックス (MAC-520FB) の取付

(1) ダクト吸込ボックス (MAC-510SB)

- このダクト吸込ボックスは、ダクト吸込グリル (MAC-511/512SG) 用です。
- 天井開口と吊りボルトの位置関係は、下図のようになります。
ダクト吸込グリル (MAC-511/512SG) を取付けるため、天井面に 300mm × 770mm の開口が必要です。
- 天井開口部の仕上げについては、くわしくは建築、内装業者とご相談ください。

設置スペースと必要寸法

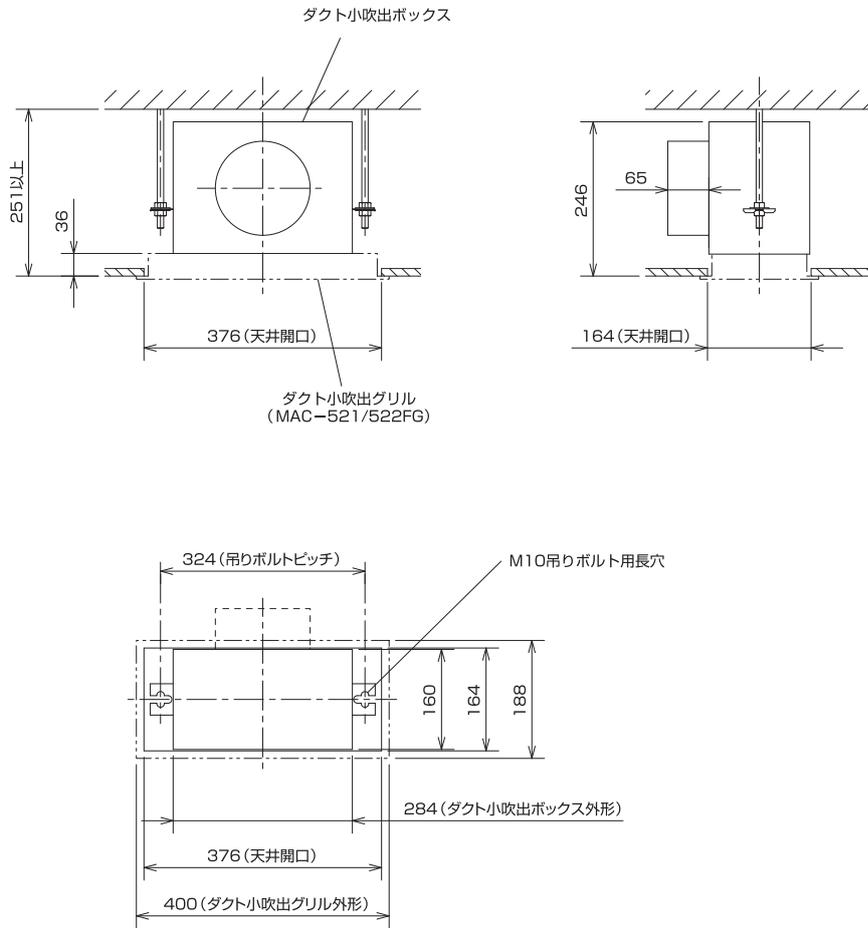


- エアフィルターが、ダクト吸込ボックスのフィルターレールにしっかりと装着されているか確認してください。もし、エアフィルターがフィルターレールから外れていたら、必ず装着し直してください。

(3) ダクト小吹出ボックス (MAC-520FB)

- このダクト小吹出ボックスは、ダクト小吹出グリル (MAC-521/522FG) 用です。
- 天井開口と吊りボルトの位置関係は、下図のようになります。
ダクト小吹出グリル (MAC-521/522FG) を取付けるため、天井面に 164mm × 376mm の開口が必要です。
- 天井開口部の仕上げについては、くわしくは建築、内装業者とご相談ください。

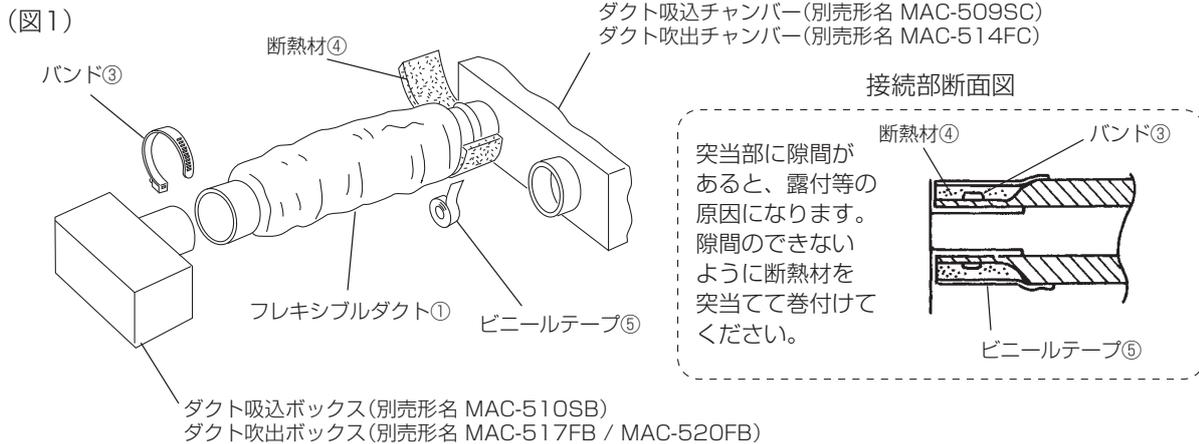
設置スペースと必要寸法



5. フレキシブルダクト (MAC-515FD/516FD) の取付

フレキシブルダクトとダクト吸込チャンパー・ダクト吹出チャンパーおよびダクト吸込ボックス・ダクト吹出ボックスとの接続

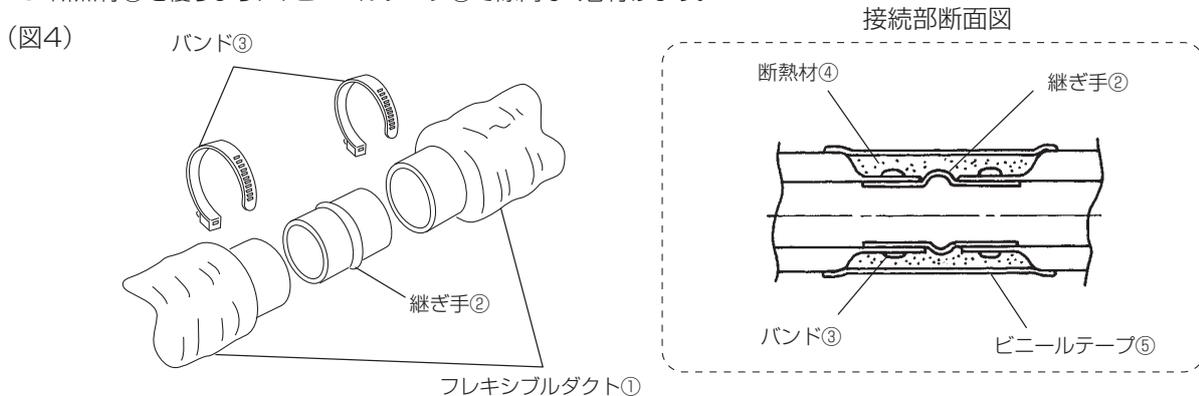
1. フレキシブルダクト①を室内ユニット側に取付けられたダクト吸込チャンパー (別売形名 MAC-509SC)、ダクト吹出チャンパー (別売形名 MAC-514FC) および反対側に取付けられたダクト吸込ボックス (別売形名MAC-510SB)、ダクト大吹出ボックス (別売形名 MAC-517FB)、ダクト小吹出ボックス (別売形名 MAC-520FB) のフランジにそれぞれはめ込んで、バンド③で締付けます。(図1、2参照)
2. 断熱材④で、バンド③を覆うように巻付けます。
この時、断熱材④は長手方向で半分に切断して、ダクト吸込チャンパー・ダクト吹出チャンパー側とダクト吸込ボックス・ダクト吹出ボックス側の両端にそれぞれご使用ください。(図3参照)
3. 断熱材④を覆うように、ビニールテープ⑤で隙間なく巻付けます。



注意 断熱材④は圧縮しますと断熱効果が低下しますので、断熱材④を圧縮しないように巻き付けてください。

フレキシブルダクトどうしの接続

1. 継ぎ手②にフレキシブルダクト①をはめ込み、バンド③で締付けます。(図4参照)
2. 断熱材④でバンド③を覆うように巻付けます。(断熱材④は切断しないでご使用ください)
3. 断熱材④を覆うように、ビニールテープ⑤で隙間なく巻付けます。



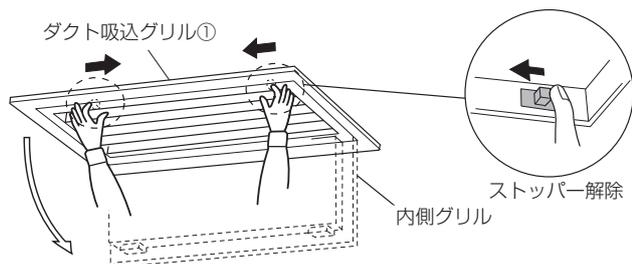
注意 断熱材④は圧縮しますと断熱効果が低下しますので、断熱材④を圧縮しないように巻き付けてください。

6. 受信装置の取付

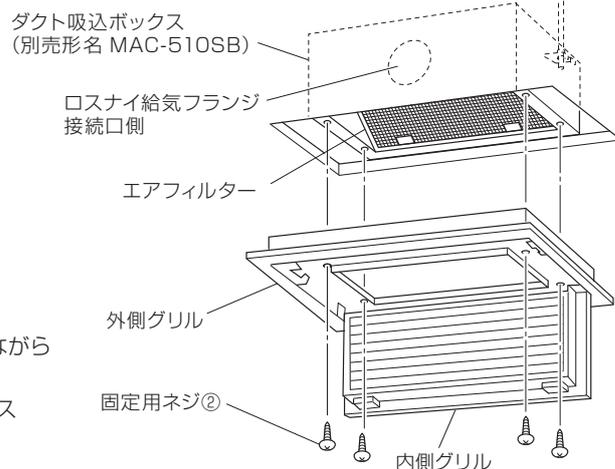
- 吸込グリル / 吹出グリルに受信装置を取付ける箇所がありません。
レシーバー取付具 (MAC-523RT) に取付けます。P145の据付工事説明書にしたがって実施してください。

7. ダクト吸込グリル (MAC-511/512SG)/ ダクト大吹出グリル (MAC-518FG/519FG)/
ダクト小吹出グリル (MAC-521FG/522FG) の取付

(1) ダクト吸込グリル (MAC-511SG/512SG)

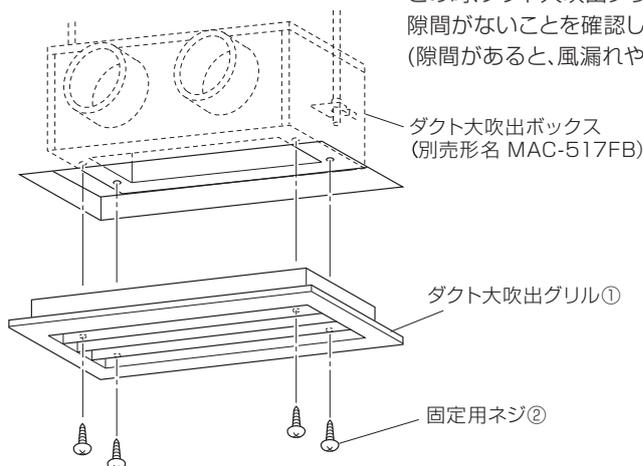


1. ダクト吸込グリル①の風路内にあるストッパー (2か所) を解除しながら内側グリルを開きます。
2. ダクト吸込グリル①の4か所を、固定用ネジ②でダクト吸込ボックス (別売形名 MAC-510SB) に右図のような配置で固定します。この時、ダクト吸込グリル①と天井面およびダクト吸込ボックスに隙間がないことを確認してください。
(隙間があると、風漏れの原因になります)
3. 内側グリルを、開いた時と逆の要領で閉じてください。



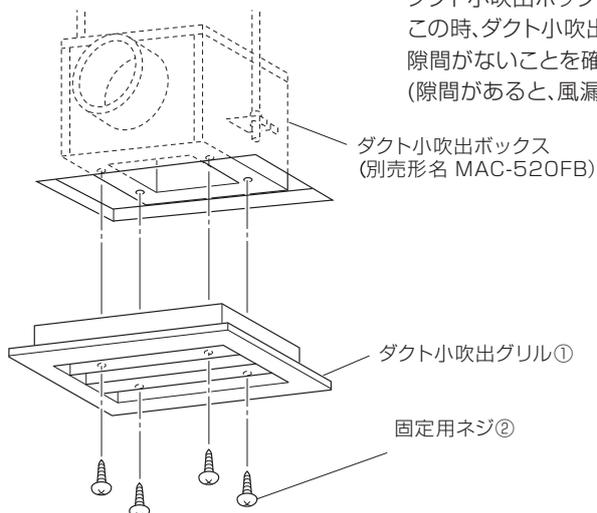
(2) ダクト大吹出グリル (MAC-518FG/519FG)

- ・ダクト大吹出グリル①の前後左右4か所を、固定用ネジ②でダクト大吹出ボックス (別売形名 MAC-517FB) に固定します。この時、ダクト大吹出グリル①と天井面およびダクト大吹出ボックスに隙間がないことを確認してください。
(隙間があると、風漏れや露付等の原因になります)



(2) ダクト小吹出グリル (MAC-521FG/522FG)

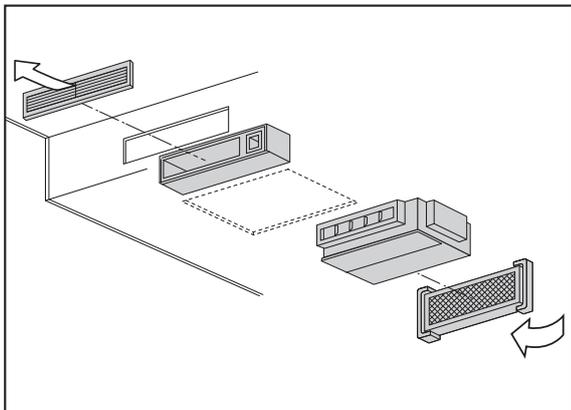
- ・ダクト小吹出グリル①の前後左右4か所を、固定用ネジ②でダクト小吹出ボックス (別売形名 MAC-520FB) に固定します。この時、ダクト小吹出グリル①と天井面およびダクト小吹出ボックスに隙間がないことを確認してください。
(隙間があると、風漏れや露付等の原因となります)



9.9 <パターンM> 下がり天井タイプ [直付レール・フィルターセット利用]

9.9.1 <パターンM> 別売部品と寸法図

(1) 設置イメージ図

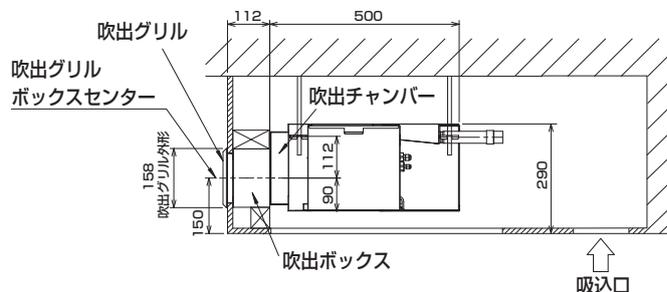
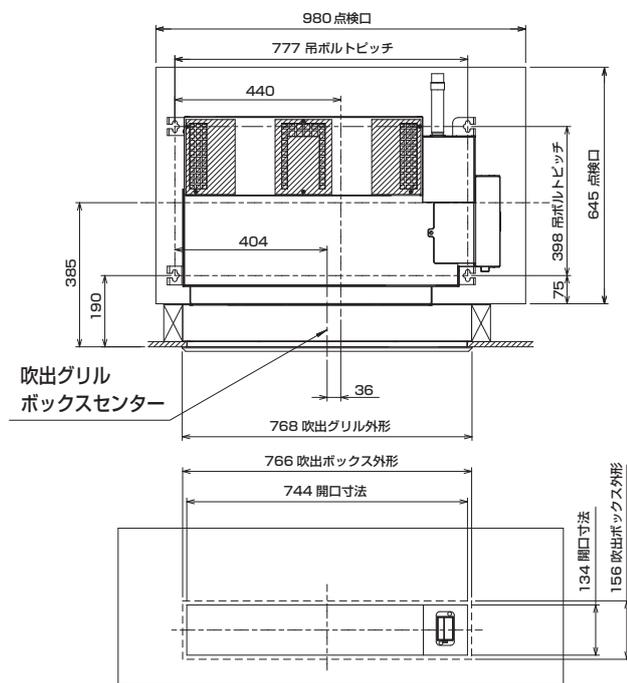


(2) 使用別売部品

品名	形名	備考
吹出チャンバー	MAC-500FC	室内ユニットの先行準備の時点で取付けてください。
吹出グリル (白木)	MAC-501FG	吹出グリルは、いずれかを選定してください。
吹出グリル (ホワイト)	MAC-502FG	
吹出ボックス	MAC-503FB	
直付レール・フィルターセット	MAC-552HR	MAC-546HF+MAC-545HR

(3) 設置構成図および設置スペース必要寸法 (据付要領につきましては、P120、P121 を参照ください。)

設置場所に合わせて吸込口開口寸法は、**590mm × 210mm 以上**確保してください。

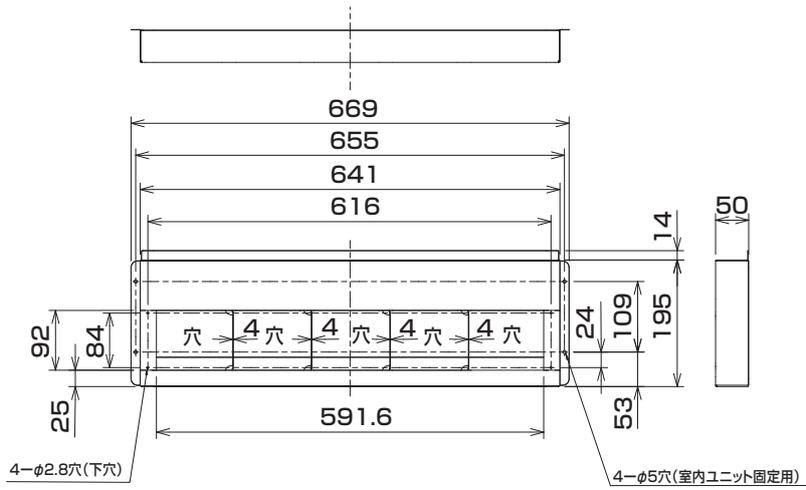


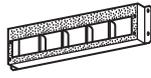
支柱：現地調達

- 据付枠は支柱 (現地調達) 等を用いて必ず確実に固定してください。
- 据付枠は必ず水平にセットしてください。
- 室内機の重量により据付枠が傾斜しないよう室内機収納室内の補強を確実に行ってください。

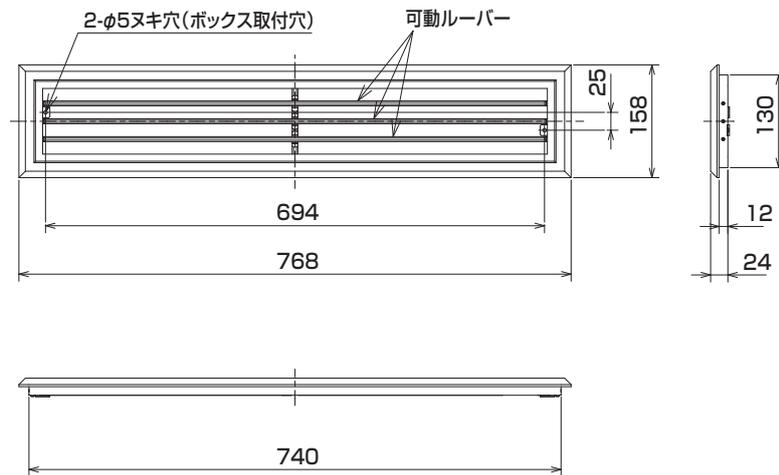
(4) 別売部品 外形図

●吹出チャンバー MAC-500FC



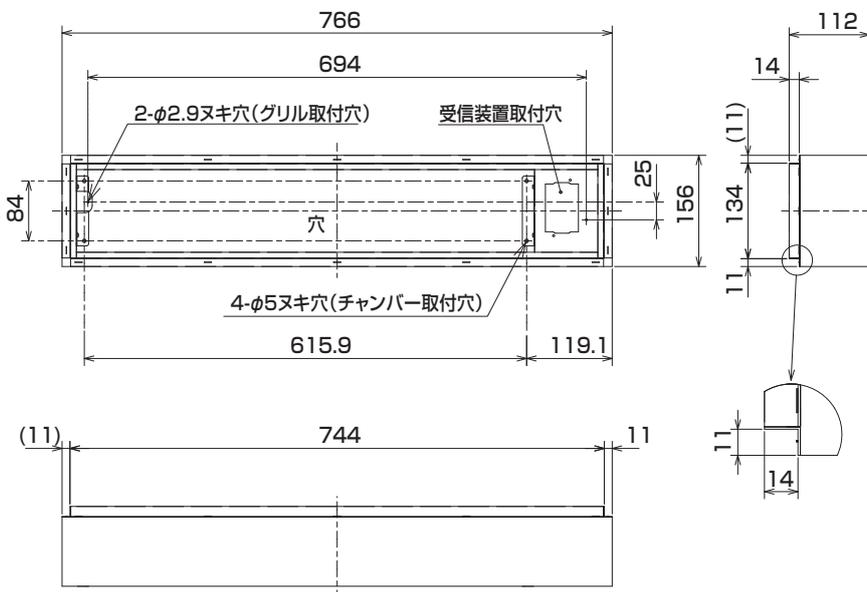
MAC-500FC構成部品	
① 吹出チャンバー	数量
	1
② ①の固定用ネジ	数量
	4
六角頭タッピングネジ 4×12	

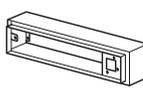
●吹出グリル MAC-501FG (白木)、MAC-502FG (ホワイト)



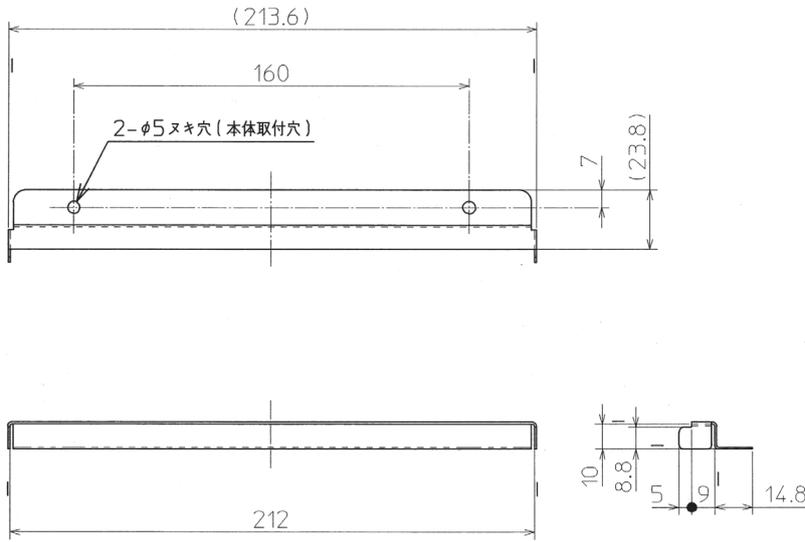
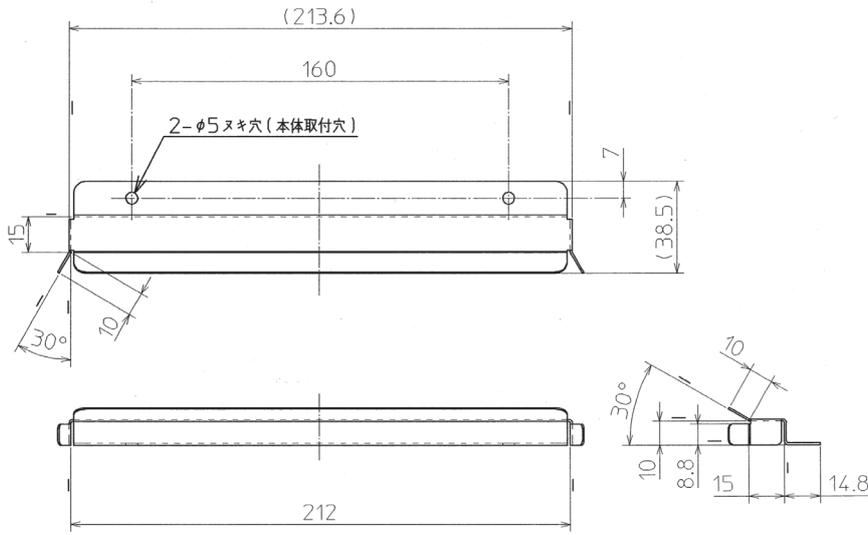
MAC-501FG 構成部品	
① 吹出グリル	数量
	1
② ①の固定用ネジ	数量
	2
タッピングネジ 4×10(黒)	

●吹出ボックス MAC-503FB

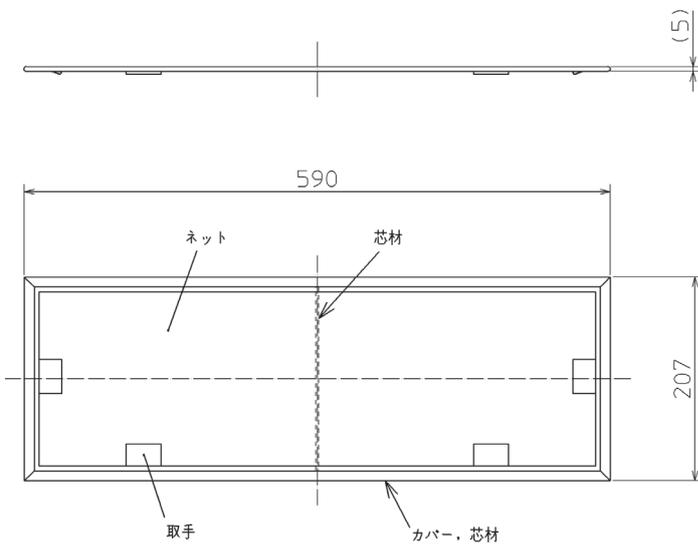


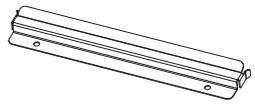
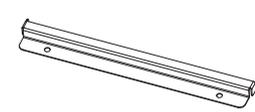
MAC-503FB構成部品			
① 吹出ボックス	数量	③ ①の固定ネジ	数量
	1		4
		タッピングネジ 4×12	
② 断熱材(大小)	各2	④ 受信装置取付用ネジ	数量
			2
		タッピングネジ 4×10(黒)	

●本体フィルター設置レール MAC-545HR



●本体用フィルター MAC-546HF



MAC-545HR 構成部品	
① 本体フィルター設置レールA 	数量 1
② 本体フィルター設置レールB 	数量 1
③ ①、②の固定用ネジ  タッピングネジ4×10	数量 4

MAC-546HF 構成部品	
① 本体用エアフィルター 	数量 1

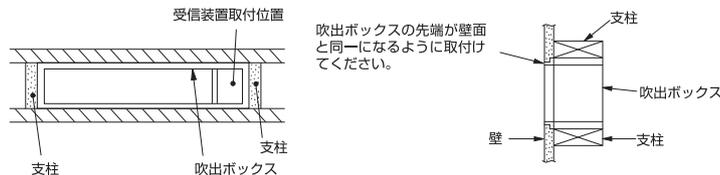
9.9.2 <パターンM> 据付要領（下がり天井タイプ [直付レール・フィルターセット利用]）

1. 室内機点検口と開口穴の設定

- 室内機点検口と開口穴の寸法は、各設置パターンの設置構成図および設置スペース必要寸法にしたがって設定してください。

2. 吹出ボックスの取付

- 吹出ボックス（MAC-503FB）には方向性がありますのでご注意ください。
吹出ボックス（MAC-503FB）に受信装置を取付けますが、受信装置の取付位置が部屋内から見て右側になるように設置してください。
- 吹出ボックス（MAC-503FB）は柱等重量を支える部材に支柱を通して固定してください。



- 各設置パターン別の設置構成図および設置スペース必要寸法と P124 の MAC-503FB の据付工事説明書にしたがって取付けてください。

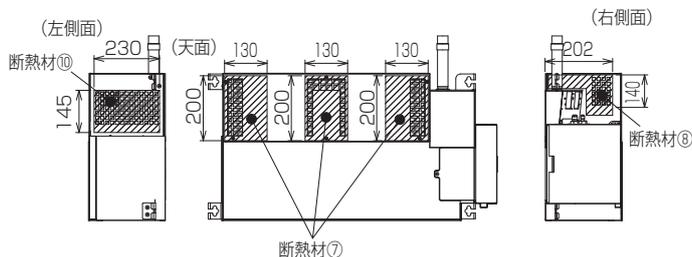
3. 室内機の先行準備

(1) 冷媒配管、内外接続電線、電源電線、ドレン配管工事

- 室内機の各接続部位置は、「7. 据付工事」(P20～)をご覧ください。
設備業者や建築業者とご相談してとりまわしを行ってください。
- ドレン配管は、硬質塩ビパイプ一般管 VP20 が室内機のドレン口と接続できます。
- 内外接続電線や電源電線は、後日のサービスのことも考慮して電気品箱の取り出しが可能なように室内機近傍で余裕をもたせておいてください。

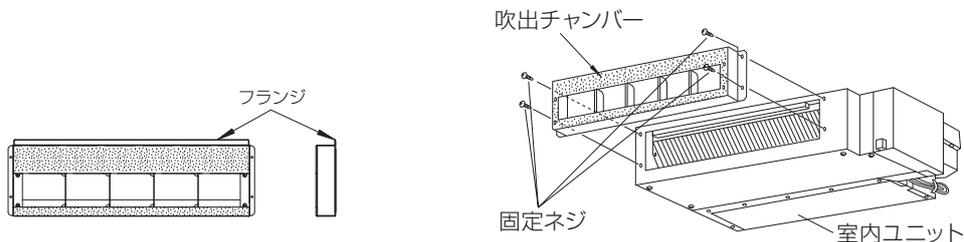
(2) 室内機への断熱材の貼付

- 室内機の天面（3カ所）、左右側面（各1カ所）、背面（1カ所）の吸込口を付属の断熱材⑦、⑧、⑩にてふさいでください。（右図参照）



(3) 別売部品 吹出チャンバー（MAC-500FC）の取付

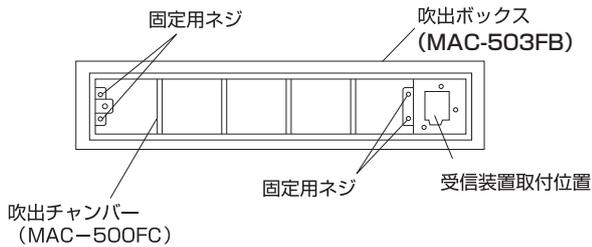
- 吹出チャンバー（MAC-500FC）を室内機の吹出側に取付けます。（固定ネジ 4 本）
吹出チャンバーには、方向性がありますのでご注意ください。
風向が下（フランジが上）になるよう取付けてください。



4. 据付工事

P21「7.3 室内機の据付手順」にしたがってください。

5. 吹出ボックス (MAC-503FB) と室内機の固定

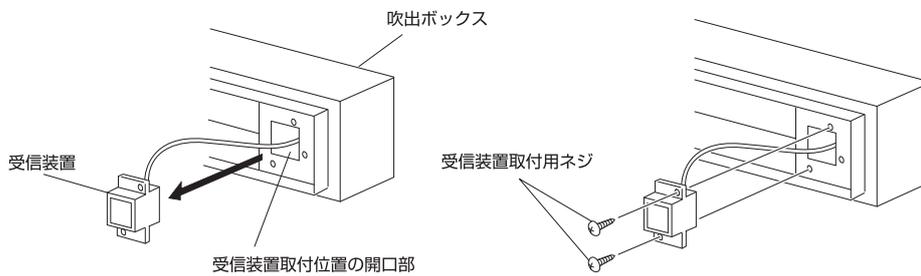


- 吹出ボックスの左右各2カ所を、吹出チャンバー (MAC-500FC) に固定用ネジで固定します。
- 次に吹出ボックスの内側の左右面に断熱材 (小) を、内側の上下面に断熱材 (大) をそれぞれ貼付けます。

受信装置、グリルの取付け前に吹出ボックス (MAC-503FB) の取付確認をしてください。

6. 受信装置の取付

- 受信装置は、吹出ボックス (MAC-503FB) の右端に取付けます。
- 受信装置を受信装置取付位置の開口部を通してセットした後、受信装置の上下2カ所を、受信装置取付け用ネジで固定します。

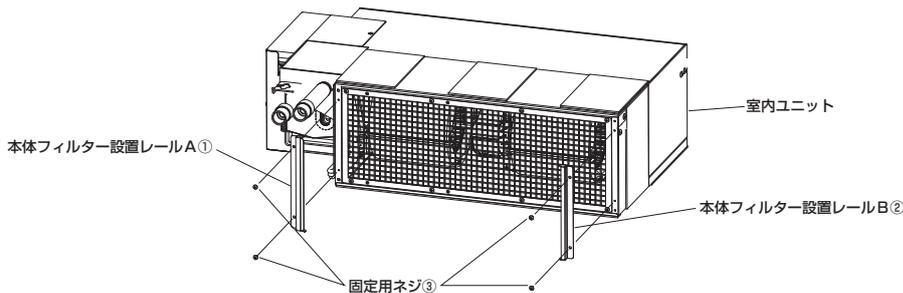


7. 吹出グリル (MAC-501FG/502FG) の取付

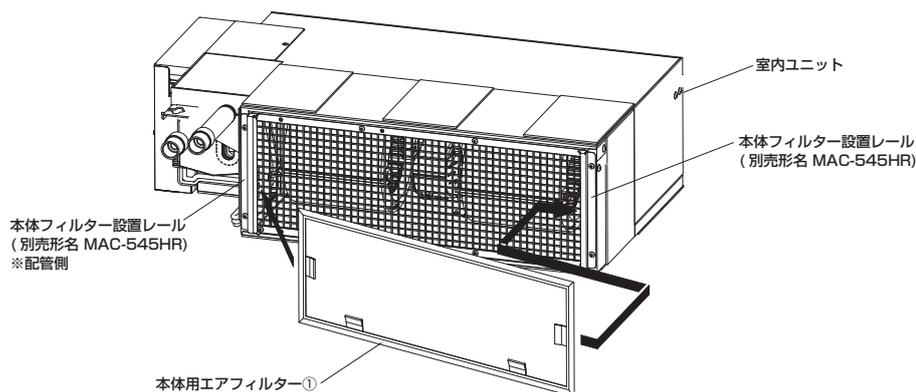
- P123の据付工事説明書にしたがって取付けてください。
- 吹出グリルは、可動ルーバーとなっています。(手動式)

8. 本体フィルター設置レール (MAC-545HR) と本体用エアフィルター (MAC-546HF) の取付

- 室内機の準備 (天井埋込の場合) を参考に、断熱材により天面および左右側面の吸込口をふさいでください。
- 本体フィルター設置レール①、②を固定用ネジ③で室内ユニット背面吸込口に取付ます。



- 本体フィルター設置レール (別売形名 MAC-545HR) に合わせて、本体用エアフィルター①を配管側から順に取付けます。



10. 別売部品据付要領

SG79J984H02



三菱ハウジングエアコン 別売 吹出チャンバー 形名 MAC-500FC 据付工事説明書

販売店・工事店さま用

この製品の性能・機能を十分に発揮させ、また安全を確保するために、正しい据付工事が必要です。
据付工事の前に、この説明書と室内機の据付工事説明書を必ずお読みください。

安全のために必ずお守りください

- ご使用前に、この「安全のために必ずお守りください」をよくお読みのうえ据付けてください。
- ここに示した注意事項は、安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。
- 据付工事終了後、この据付工事説明書をお客さまにお渡しください。



警告

(誤った取扱いをしたときに、死亡や重傷などの重大な結果に結びつく可能性があるもの)

■“図記号”の意味は次のとおりです。



■据付けは、お買上げの販売店または専門業者に依頼する。
据付けには専門の知識と技術が必要です。お客さま自身で据付工事をされ不備があると、水漏れや感電・火災・ユニットの落下によるケガの原因になります。



■据付けは、据付工事説明書に従って確実に行う。
据付けに不備があると、水漏れ・感電・火災・ユニットの落下によるケガの原因になります。



■据付時、安全のため、適切な保護具・工具を使用する。
ケガの原因になります。

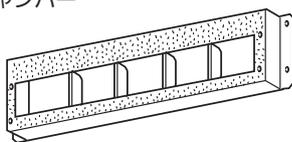


■据付けは、重量に十分耐える所に確実に行う。
強度の不十分な所に据付けると、ユニットが落下し、ケガなどの原因になります。



■据付工事部品は、必ず当社付属部品および指定の部品を使用する。
当社指定部品を使用しないと、水漏れ・感電・火災・ユニットの落下によるケガの原因になります。

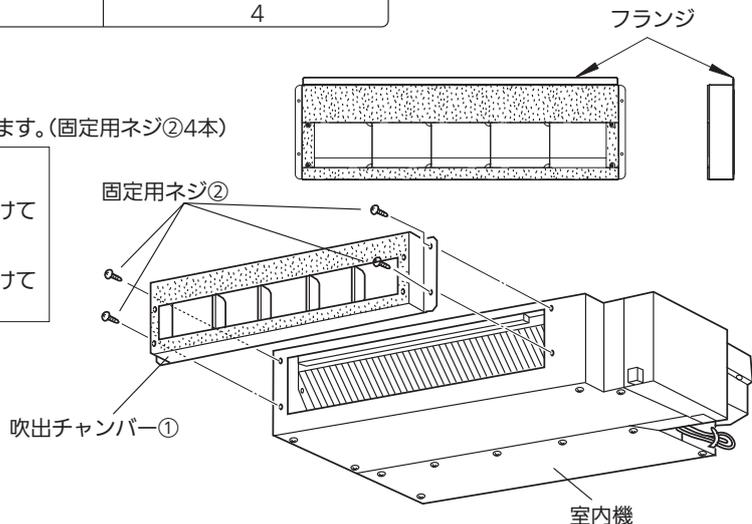
1 使用部品

	①	②
部品	吹出チャンバー 	①の固定用ネジ  六角頭タッピングネジ4×12
個数	1	4

2 吹出チャンバーの取付

- 吹出チャンバー①を室内機吹出口に取付けます。(固定用ネジ②4本)

吹出チャンバーには方向性があります。
 <天袋設置の場合>
 風向が下(フランジが上)になるように取付けてください。
 <地袋設置の場合>
 風向が上(フランジが下)になるように取付けてください。





三菱ハウジングエアコン 別売 吹出グリル (白木・ホワイト)
 形名 MAC-501FG・502FG

据付工事説明書

販売店・工事店さま用

この製品の性能・機能を十分に発揮させ、また安全を確保するために、正しい据付工事が必要です。
 据付工事の前に、この説明書と室内機の据付工事説明書を必ずお読みください。

安全のために必ずお守りください

- ご使用の前に、この「安全のために必ずお守りください」をよくお読みの上据付けてください。
- ここに示した注意事項は、安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。
- 据付工事終了後、この据付工事説明書をお客さまにお渡しください。



警告

■ 誤った取扱いをしたときに、死亡や重傷などの重大な結果につながる可能性があります。

■ 「図記号」の意味は次のとおりです。

① 指し示す

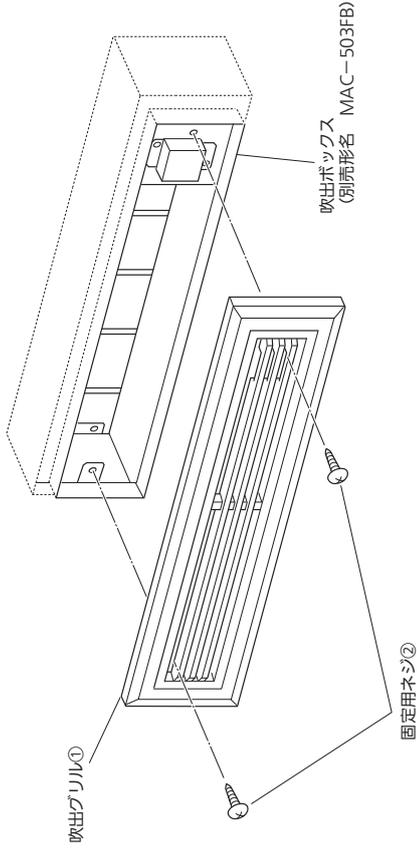
- **据付けは、お買上げの販売店または専門業者**に依頼する。
 据付けには専門の知識と技術が必要です。お客さま自身で据付工事をされ、不備があると、水漏れや感電・火災・ユニットの落下によるケガの原因になります。
- **据付けは、重量に十分耐える所に確実に**行う。
 強度の十分な所に据付けると、ユニットが落下し、ケガなどの原因になります。
- **据付けは、お買上げの販売店または専門業者**に依頼する。
 据付けは、据付工事説明書に従って確実に行う。据付けに不備があると、水漏れ・感電・火災・ユニットの落下によるケガの原因になります。
- **据付時、安全のため、適切な保護具・工具を使用する。**
 ケガの原因になります。
- **据付工事は、必ず当社付属部品および指定の部品を使用する。**
 当社指定部品を使用しないと、水漏れ・感電・火災・ユニットの落下によるケガの原因になります。

1 使用部品

吹出グリル	①	②
部品	①の固定用ネジ	②
個数	1	2
	タッピングネジ 4×10 (黒)	

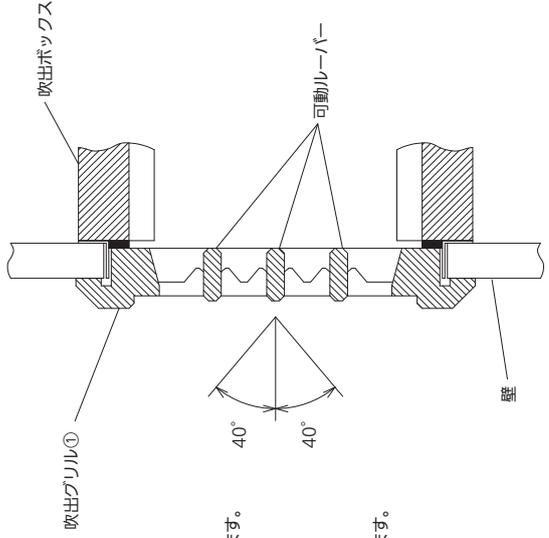
2 吹出グリルの取付

・吹出グリル①の左右2か所を、固定用ネジ②で吹出ボックス (別売形名 MAC-503FB) に固定します。



3 天袋・地袋設置について

・吹出グリルの可動ルーバーは3枚別々に手で動かすことができます。



地袋設置の場合

水平から上方向に40°まで動きます。

天袋設置の場合

水平から下方向に40°まで動きます。



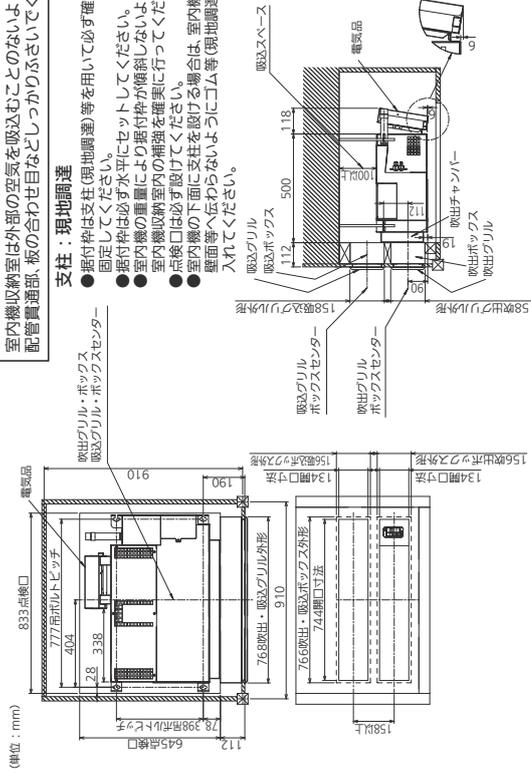
2 吹出ボックスの取付 つつき

半間幅天袋設置(グリル縦置き)の場合

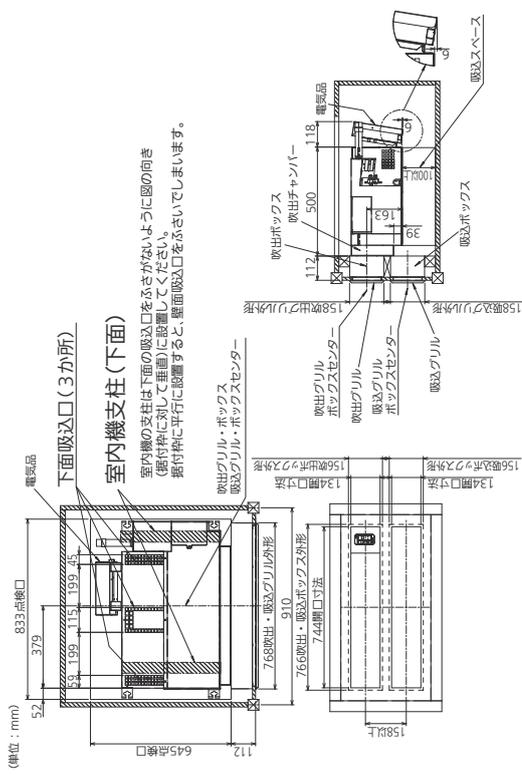
室内機収納室は外部の空気を吸込むことのないように配管貫通部、板の合わせ目などしっかりとふさいでください。

支柱：現地調達

- 据付枠は支柱(現地調達)等を用いて必ず確実に固定してください。
- 据付枠は必ず水平にセットしてください。
- 室内機の重量により据付枠が傾斜しないよう室内機収納室内の補強を確実に行ってください。
- 点検口は必ず据付け用天井開口が点検口になります。
- 室内機の下面に支柱を据ける場合は、室内機の振動が壁面等へ伝わらないようにゴム等(現地調達)を間にに入れてください。



半間幅地袋設置(グリル縦置き)の場合



室内機支柱(3か所)

室内機の支柱は下面の吸込口をふさがないように図の向き(据付枠に対して垂直)に設置してください。据付枠に平行に設置すると、壁面吸込口をふさいでしまいます。

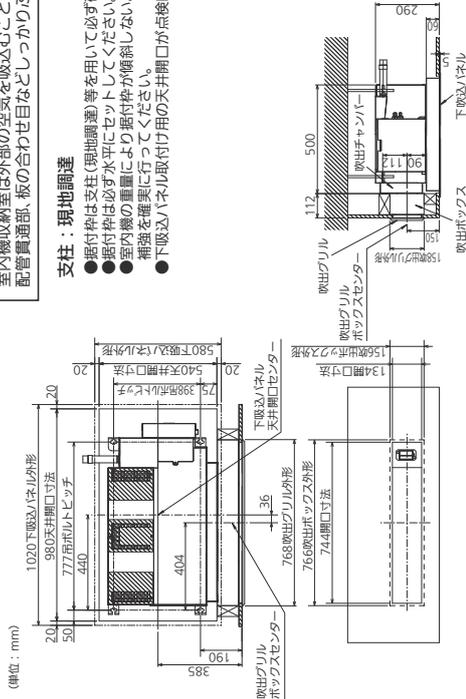
2 吹出ボックスの取付 つつき

下り天井設置(キャンパンバスタクトなし)の場合

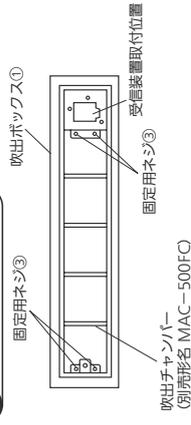
室内機収納室は外部の空気を吸込むことのないように配管貫通部、板の合わせ目などしっかりとふさいでください。

支柱：現地調達

- 据付枠は支柱(現地調達)等を用いて必ず確実に固定してください。
- 据付枠は必ず水平にセットしてください。
- 室内機の重量により据付枠が傾斜しないよう室内機収納室内の補強を確実に行ってください。
- 下吸込パネル取付け用の天井開口が点検口になります。



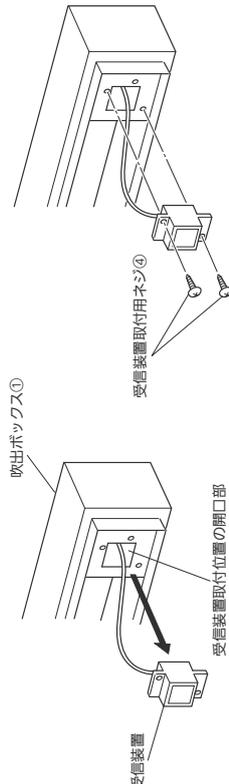
3 室内機への固定



- 吹出ボックス①の左右各2か所を、吹出キャンパンバー(別称形名 MAC-500FC)に固定用ネジ③で固定します。
- 次に吹出ボックス①の内側の左右面に断熱材(①)②を、内側上下面に断熱材(①)②をそれぞれ取付けます。

4 受信装置の取付

- 吹出ボックス①の右側に取付けます。
- 受信装置を受信装置取付位置の開口部を通してセットした後、受信装置の上下2か所を、受信装置取付用ネジ④で固定します。



SG79J996H02



三菱ハウジングエアコン 別売 吸込グリル(白木・ホワイト)
形名 MAC-504SG・505SG

据付工事説明書

販売店・工事店さま用

この製品の性能・機能を十分に発揮させ、また安全を確保するために、正しい据付工事が必要です。
据付工事の前に、この説明書と室内機の据付工事説明書を必ずお読みください。

安全のために必ずお守りください

- ご使用の前に、この「安全のために必ずお守りください」をよくお読みのうえ据付けてください。
- ここに示した注意事項は、安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。
- 据付工事終了後、この据付工事説明書をお客さまにお渡しください。



警告

(誤った取扱いをしたときに、死亡や重傷などの重大な結果に結びつく可能性があります)

- **据付けは、お買上げの販売店または専門業者に依頼する。**
据付けには専門の知識と技術が必要です。お客さま自身で据付工事をされず、水漏れや感電、火災、ユニットの落下によるケガの原因になります。
- **据付けは、重量に十分耐える所に据付けを行う。**
強度の不足が原因で据付けると、ユニットが落下し、ケガなどの原因になります。
- **据付けは、据付工事説明書に従って據製を行う。**
据付けの不備があると、水漏れ・感電・火災・ユニットの落下によるケガの原因になります。
- **据付時、安全のため、適切な保護具・工具を使用する。**
ケガの原因になります。
- **据付工事は、必ず当社付属部品および指定の部品を使用する。**
当社指定部品を使用しないと、水漏れ・感電・火災・ユニットの落下によるケガの原因になります。

■ 図記号の意味は次のとおりです。

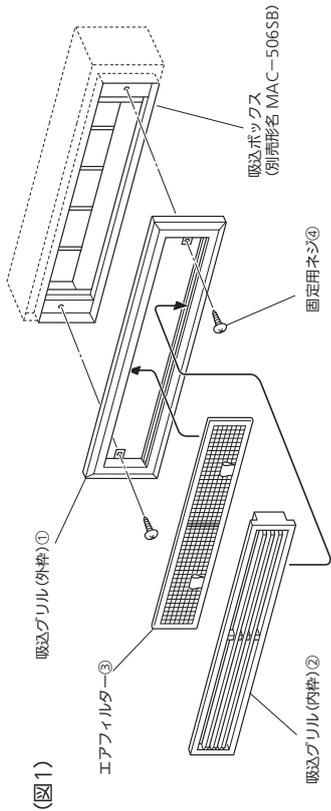
- ① 部品を守る

1 使用部品

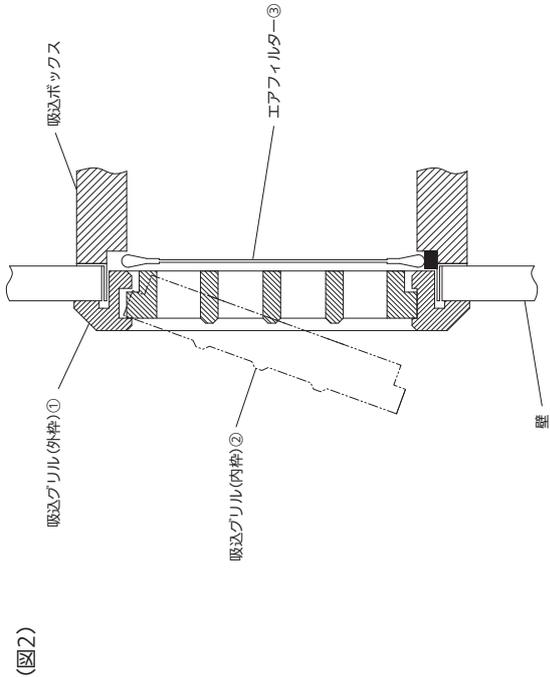
部品	① 吸込グリル(外枠)	② 吸込グリル(内枠)	③ エアフィルター	④ ①の固定用ネジ
個数	1	1	1	2
				タップングネジ 4×10(黒)

2 吸込グリルとエアフィルターの取付

1. 吸込グリル(外枠)①の左右2か所を、固定用ネジ④で吸込ボックス(別売形名 MAC-506SB)に固定します。(図1参照)
2. 吸込グリル(外枠)①と吸込ボックスとの間にできた上下の溝に、エアフィルター③を挿入します。(図2参照)
3. 吸込グリル(外枠)①の上下の溝に、吸込グリル(内枠)②を上側から挿入します。(図2参照)



(図1)



(図2)



三菱ハウジングエアコン 別売 吸込ボックス
 形名 MAC-506SB

据付工事説明書

販売店・工事店さま用

この製品の性能・機能を十分に発揮させ、また安全を確保するために、正しい据付工事が必要です。
 据付工事の前に、この説明書と室内機の据付工事説明書を必ずお読みください。

安全のために必ずお守りください

- ご使用の前に、この「安全のために必ずお守りください」をよくお読みのうえ据付けてください。
- ここに示した注意事項は、安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。
- 据付工事終了後、この据付工事説明書をお客さまにお渡しください。



警告

(脚つた取扱いをしたときに、死亡や重傷などの重大な結果に結びつく可能性があるもの)

- 据付けは、お買上げの販売店または専門業者に依頼する。
 据付けには専門の知識と技術が必要です。お客さま自身で据付工事を行なうと、水漏れや感電、火災、ユニットの落下によるケガの原因になります。
- 据付けは、重量に十分耐える所に据付けると、ユニットが落下し、ケガなどの原因になります。



「図記号」の意味は次のとおりです。
 ① 指示を守る

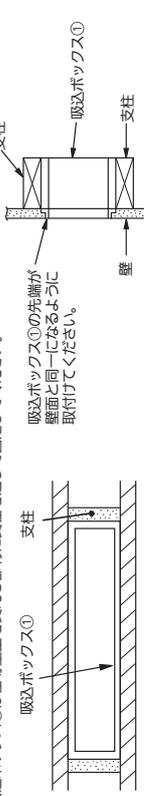
- 据付けは、据付工事説明書に従って確実に行う。
 据付けに不備があると、水漏れ、感電、火災、ユニットの落下によるケガの原因になります。
- 据付け時、安全のため、適切な保護具・工具を使用する。
 ケガの原因になります。
- 据付工事は、必ず当社付属部品および指定の部品を使用する。
 当社指定部品を使用しないと、水漏れ、感電、火災、ユニットの落下によるケガの原因になります。

1 使用部品

① 吸込ボックス	1
部品	
個数	

2 吸込ボックスの取付

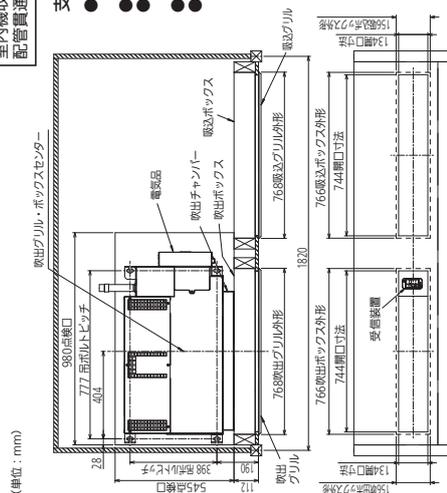
- この吸込ボックスは、吸込グリル(MAC-504/505SG)用です。
- 「吸込ボックス①」には方向性がありますので取付けの際、ご注意ください。(矢印の文字が表示されている方を天面側になるように取付けてください)
- 「吸込ボックス①」は柱等重量を支える部材に支柱を通して固定してください。



2 吸込ボックスの取付 つつき

・下図の据付設置スペースの必要寸法を参考に支柱(現地調達)を取付けてください。

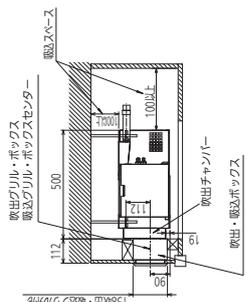
一間天袋設置(吊り)の場合



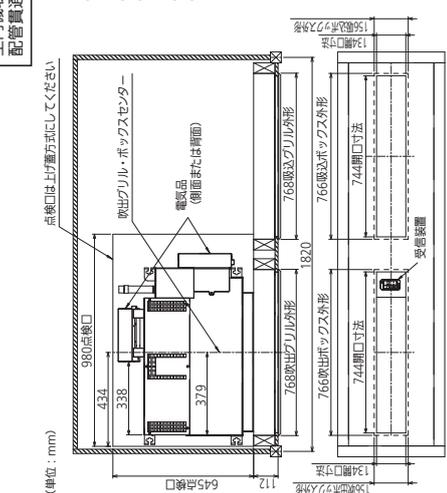
室内機収納室は外部の空気を吸込むことのないように、配管貫通部、板の合わせ目などしっかりとふさいでください。

支柱: 現地調達

- 据付枠は支柱(現地調達)等を用いて必ず確実に固定してください。
- 据付枠は必ず水平にセッティングしてください。
- 室内機の重量により据付枠が傾斜しないよう、室内機収納室内の補強を確実に行ってください。
- 点検口は必ず閉めてください。
- 室内機の下面に支柱を設ける場合は、室内機の振動が壁面等へ伝わらないようにゴム等(現地調達)を間にいれてください。



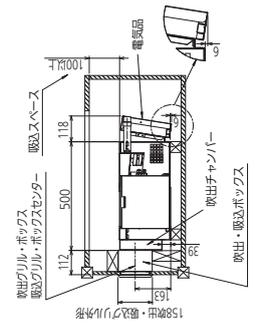
一間幅地袋設置の場合



室内機収納室は外部の空気を吸込むことのないように、配管貫通部、板の合わせ目などしっかりとふさいでください。

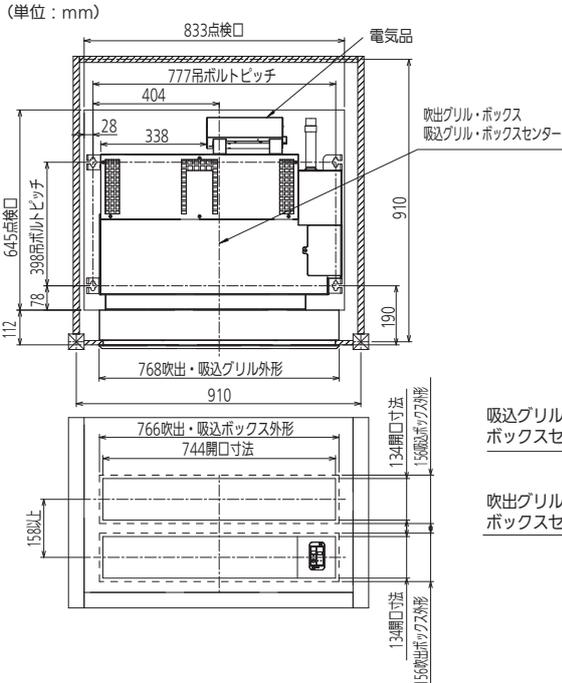
支柱: 現地調達

- 据付枠は支柱(現地調達)等を用いて必ず確実に固定してください。
- 据付枠は必ず水平にセッティングしてください。
- 室内機の重量により据付枠が傾斜しないよう、室内機収納室内の補強を確実に行ってください。
- 点検口は必ず閉めてください。
- 室内機の下面に支柱を設ける場合は、室内機の振動が壁面等へ伝わらないようにゴム等(現地調達)を間にいれてください。



2 吹込ボックスの取付 つづき

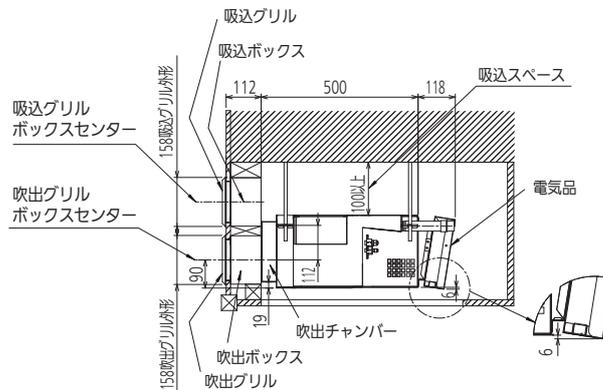
半間幅天袋設置(グリル縦置き)の場合



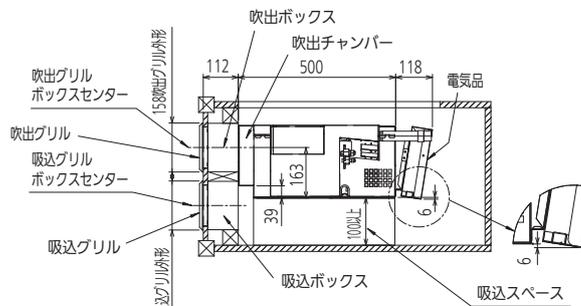
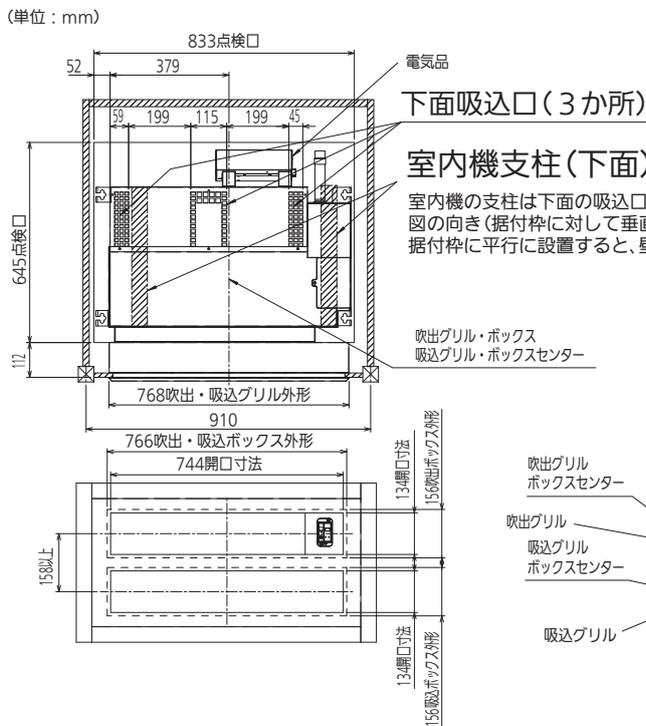
室内機収納室は外部の空気を吸込むことのないように配管貫通部、板の合わせ目などしっかりふさいでください。

支柱: 現地調達

- 据付枠は支柱(現地調達)等を用いて必ず確実に固定してください。
- 据付枠は必ず水平にセットしてください。
- 室内機の重量により据付枠が傾斜しないよう室内機収納室内の補強を確実に行ってください。
- 点検口は必ず設けてください。
- 室内機の下面に支柱を設ける場合は、室内機の振動が壁面等へ伝わらないようにゴム等(現地調達)を間に入れてください。



半間幅地袋設置(グリル縦置き)の場合





三菱ハウジングエアコン 別売 一面グリル(白木・ホワイト)
形名 MAC-525TG・526TG

据付工事説明書

販売店・工事店さま用

この製品の性能・機能を十分に発揮させ、また安全を確保するために、正しい据付工事が必要です。
据付工事の前に、この説明書と室内機の据付工事説明書を必ずお読みください。

安全のために必ずお守りください

- ご使用前の前に、この「安全のために必ずお守りください」をよくお読みのうえ据付けてください。
- ここに示した注意事項は、安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。
- 据付工事終了後、この据付工事説明書をお客さまにお渡しください。

警告 (誤った取扱いをしたときに、死亡や重傷などの重大な結果に陥りつく可能性があります)

- **据付けは、お買上げの販売店または専門業者に依頼する。**
据付けには専門の知識と技術が必要です。
お客さま自身で据付工事をされ不備があると、水漏れや感電・火災・ユニットの落下によるケガの原因になります。
- **据付けは、重畳に十分漏える所に確実に行う。**
強度の不十分な所に据付けると、ユニットが落下し、ケガなどの原因になります。
- **据付けは、必ず当社付属部品および指定の部品を使用する。**
当社指定部品を使用しないと、水漏れ・感電・火災・ユニットの落下によるケガの原因になります。

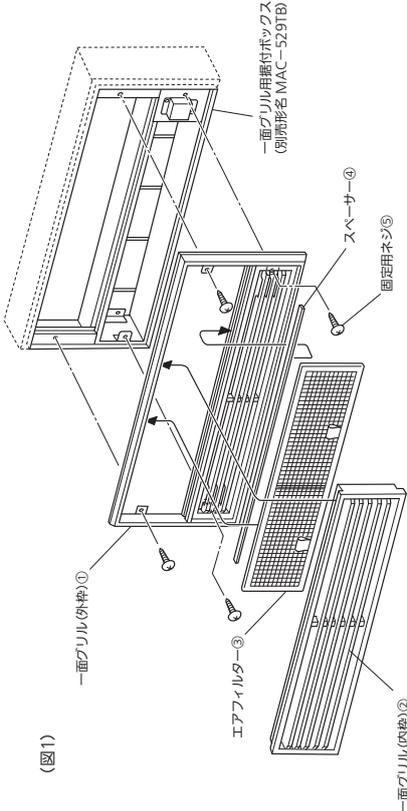
1 使用部品

部品	① 一面グリル(外枠)	② 一面グリル(内枠)	③ エアフィルター
個数	1	1	1
部品	④ スペーサー(両面テープ付)	⑤ ①の固定用ネジ	
個数	1	4	4

2 一面グリルとエアフィルターの取付

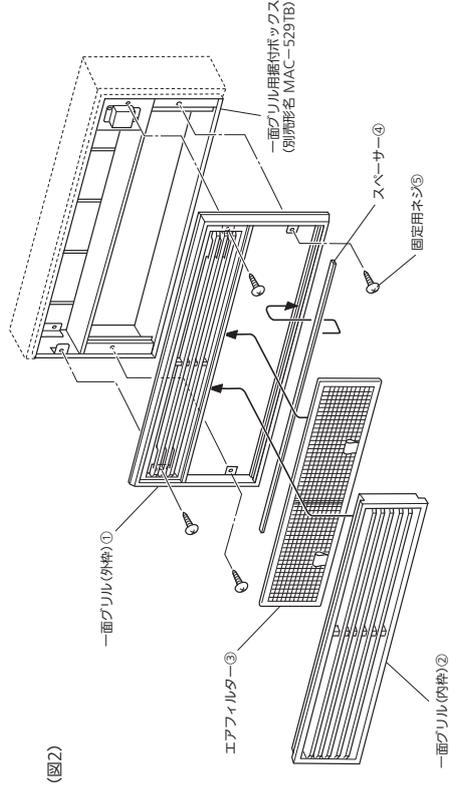
天袋設置の場合 (図1参照)

1. 一面グリル(外枠)①の上下左右4か所を、固定用ネジ⑤で一面グリル用据付ボックス(別売形名 MAC-529TB)に固定します。
2. 一面グリル(外枠)①の下側の溝に、スペーサー④を両面テープで貼付けます。
3. 一面グリル(外枠)①と一面グリル用据付ボックスとの間にできた上下の溝に、エアフィルター③を挿入します。
4. 一面グリル(外枠)①の上下の溝に、一面グリル(内枠)②を上側から挿入します。



地袋設置の場合 (図2参照)

1. 一面グリル(外枠)①の上下左右4か所を、固定用ネジ⑤で一面グリル用据付ボックス(別売形名 MAC-529TB)に固定します。
2. 一面グリル(外枠)①の下側の溝に、スペーサー④を両面テープで貼付けます。
3. 一面グリル(外枠)①と一面グリル用据付ボックスとの間にできた上下の溝に、エアフィルター③を挿入します。
4. 一面グリル(外枠)①の上下の溝に、一面グリル(内枠)②を上側から挿入します。

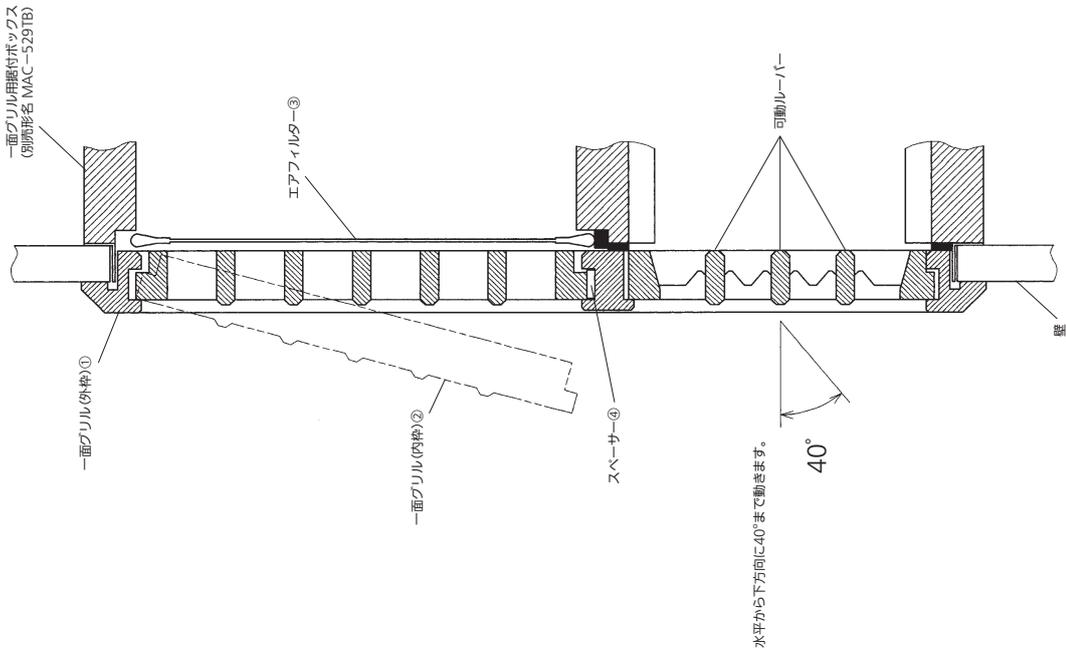


SG79N078H03

3 天袋・地袋設置について

・吹出グリルの可動ルーバーは3枚別々に手で動かすことができます。

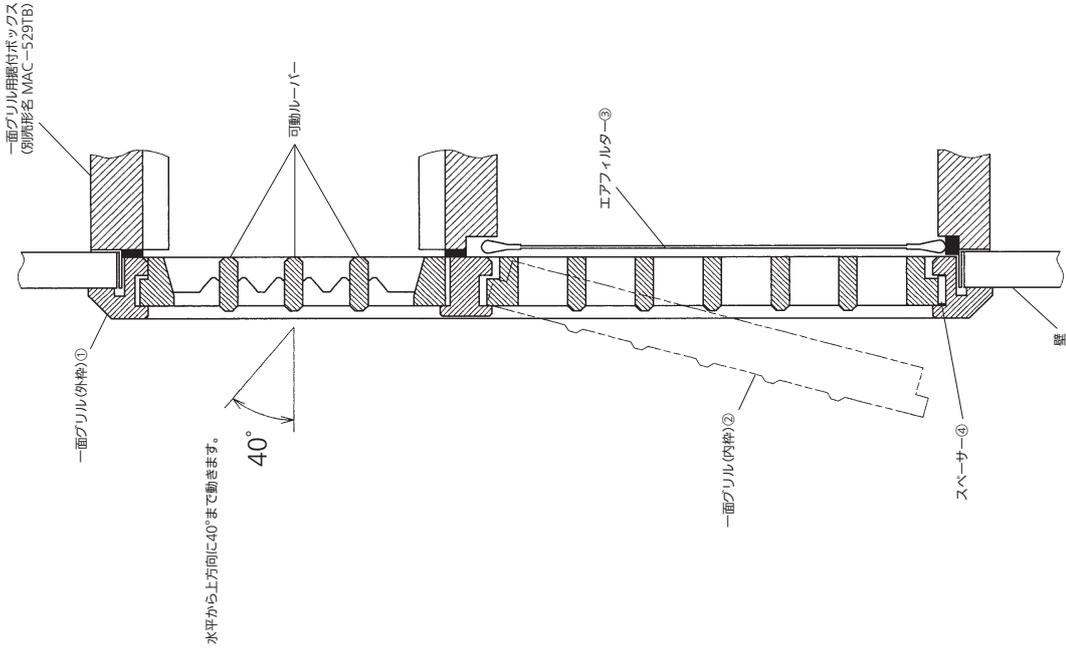
天袋設置の場合



3 天袋・地袋設置について

つっき

地袋設置の場合





三菱ハウジングエアコン 別売 一面グリル用据付ボックス 形名 MAC-529TB

据付工事説明書

販売店・工事店さま用

この製品の性能・機能を十分に發揮させ、また安全を確保するために、正しい据付工事が必要です。
据付工事の前に、この説明書と室内機の据付工事説明書を必ずお読みください。

安全のために必ずお守りください

- ご使用の前に、この「安全のために必ずお守りください」をよくお読みの上据付けてください。
- ここに示した注意事項は、安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。
- 据付工事終了後、この据付工事説明書をお客さまにお渡しください。



警告

■ 誤った取扱いをしたときに、死亡や重傷などの重大な結果に結びつく可能性があります。



■ 据付けは、お買上げの販売店または専門業者に依頼する。
据付けには専門の知識と技術が必要です。
お客さま自身で据付工事をされ不備があると、
水漏れや感電・火災、ユニットの落下によるケガの
原因になります。



■ 据付けは、重量に十分耐える所に確実に行う。
強度の不十分な所に据付けると、ユニットが落下し、
ケガなどの原因になります。



■ 据付工事は、必ず当社付属部品および指定の部品
を使用する。
当社指定部品を使用しないと、水漏れ・感電・火災・
ユニットの落下によるケガの原因になります。

■ 図記号の意味は次のとおりです。
① 指示を守る

■ 据付けは、据付工事説明書に従って確実に行う。
据付けに不備があると、水漏れ・感電・火災・
ユニットの落下によるケガの原因になります。

■ 据付け時、安全のため、適切な保護具・工具を使用する。
ケガの原因になります。

1 使用部品

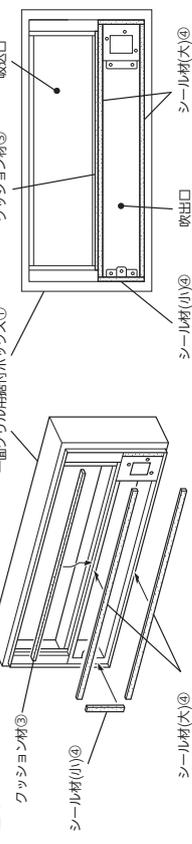
部品	①	②	③	④	⑤	⑥
一面グリル用据付ボックス	断熱材(大・小)	クッション材	シール材	①の固定用ネジ	受信装置 取付用ネジ	
個数	1	大・小各2 (灰色)	1 (灰色)	1 (黒色)	タッピングネジ 4×12 4×10(黒)	2 4×10(黒)

2 取付前の準備

※この一面グリル用据付ボックスは、開箱状態で「天袋設置」用に据付けられています。

天袋設置の場合

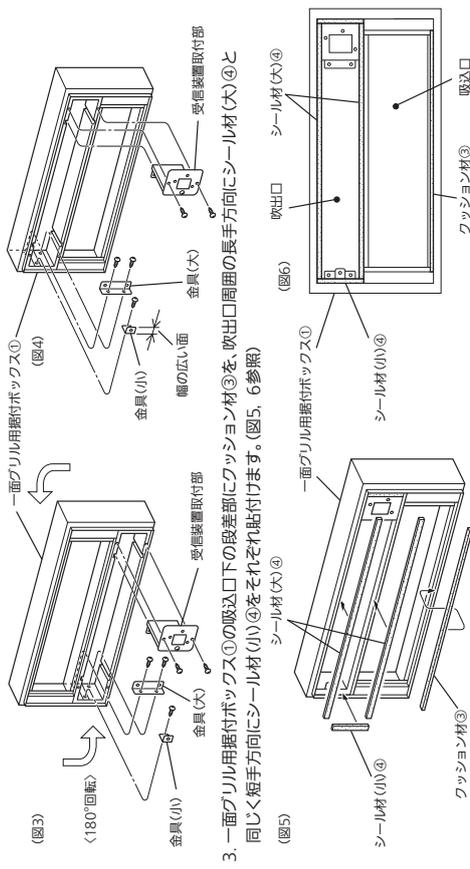
- ・一面グリル用据付ボックス①の吸込口下の設置部にクッション材③を、吹出口周囲の長手方向にシール材(大)④と同じく短手方向にシール材(小)⑤をそれぞれ貼付けます。(図1、2参照)



2 取付前の準備 つづき

天袋設置の場合

1. 受信装置取付部と反対側の金具(小)および金具(大)を取外し、一面グリル用据付ボックス①を180°回転させます。(図3参照)
 2. 受信装置取付部と反対側の金具(大)および金具(小)を取外した時と逆の要領で取付けます。(図4参照)
- ※この時、金具(小)の取付方向に注意(幅の広い面が正面を向くように)してください。

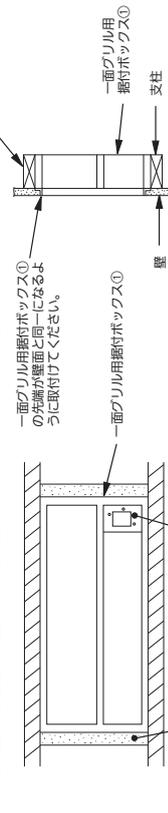


3 一面グリル用据付ボックスの取付

- ・この一面グリル用据付ボックスは、一面グリル(MAC-S25/526TG)用です。
- ・一面グリル用据付ボックス①には方向性がありますので取付けの際、ご注意ください。
- ・一面グリル用据付ボックス①は柱等重量を支える部材に支柱を通して固定してください。

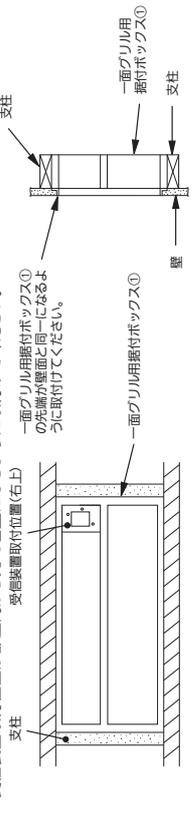
天袋設置の場合

・受信装置取付位置が部屋内から見ると右下のように取付けてください。



地袋設置の場合

・受信装置取付位置が部屋内から見ると右上のように取付けてください。

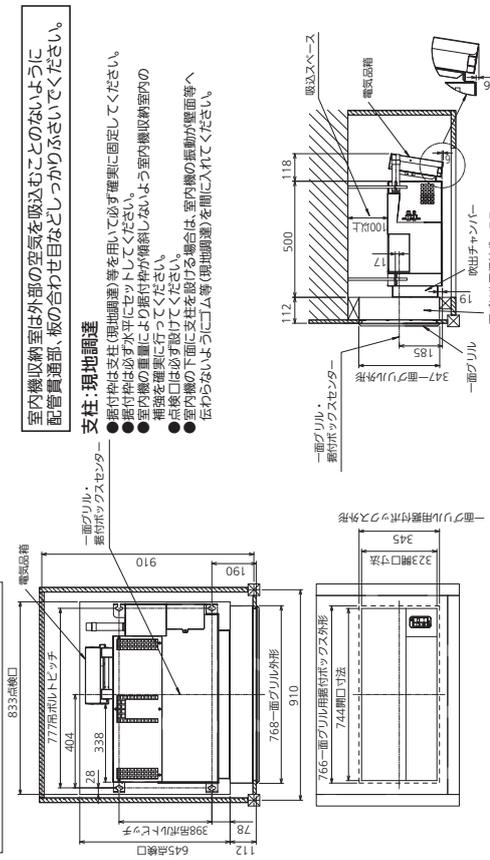


SG79ND079H03

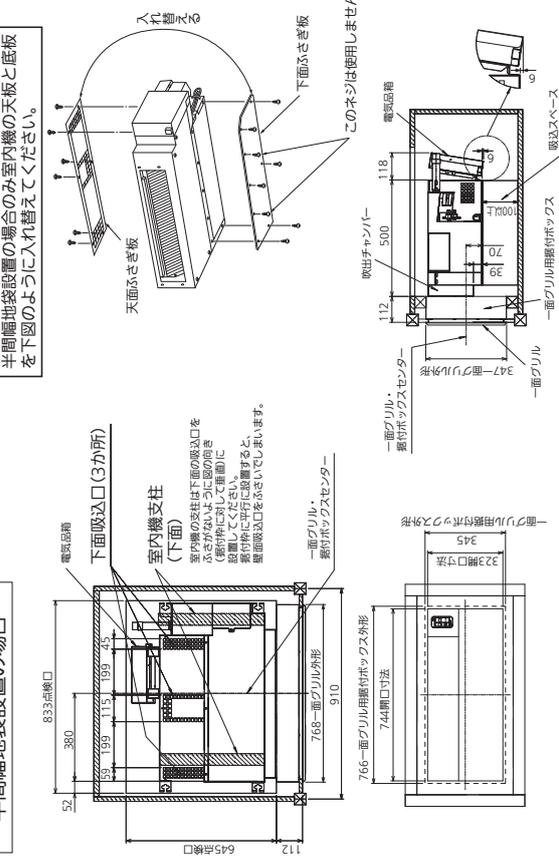
3 一面グリル用据付ボックスの取付 つづき

- ・下図の据付設置スペースの必要寸法を参考に支柱(現地調達)を取付けてください。
- ・一面幅設置の場合の点検口寸法および室内機の先行準備については、室内機の据付工事説明書(「一面幅設置」)を参照してください。

半間幅天袋設置の場合



半間幅地袋設置の場合



室内機収納室は外部の空気を吸込むことのないように配管貫通部、板の合わせ目などしっかりとふさいでください。

支柱：現地調達

- 据付枠は支柱(現地調達)等を用いて必ず確実に固定してください。
- 据付枠は必ず水平にセットしてください。
- 室内機の重量により据付枠が傾斜しないよう室内機収納室内の補強を確実に行ってください。
- 点検口は必ず閉めてください。
- 室内機の下面に支柱を設ける場合は、室内機の振動が壁面等へ伝わらないようコンクリート等(現地調達)を間に入れてください。

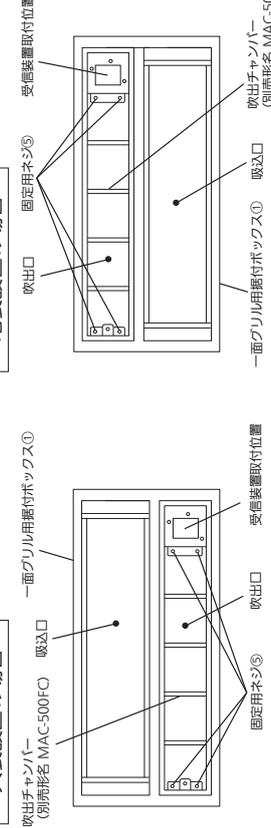
半間幅地袋設置の場合のみ室内機の天板と底板を下図のように入れ替えてください。



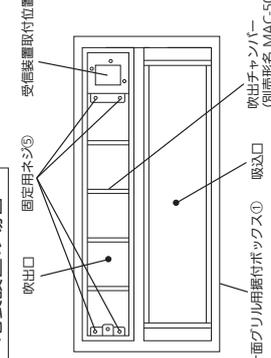
4 室内機への固定

1. 一面グリル用据付ボックス①の吹出口左右各2か所を、吹出チャンバー(別売形名 MAC-500FC)に固定用ネジ⑤で固定します。
2. 次に一面グリル用据付ボックス①の吹出口内側の左右面に断熱材(リ)②を、内側の上下面に断熱材(大)③をそれぞれ貼付けます。

天袋設置の場合

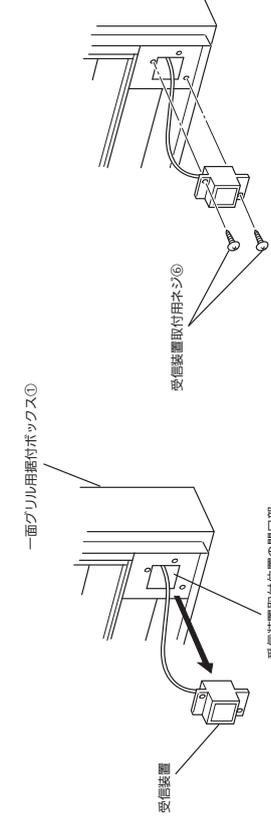


地袋設置の場合



5 受信装置の取付

- ・一面グリル用据付ボックス①に取付けます。
- ・天袋設置の場合は右下に、地袋設置の場合は右上になります。
- ・受信装置を受信装置取付位置の開口部に通してセットした後、受信装置の上下2か所を、受信装置取付用ネジ⑥で固定します。



SG79ND079H03



三菱ハウジングエアコン 別売 下吸込パネル
形名 MAC-530UP

据付工事説明書

販売店・工事店さま用

この製品の性能・機能を十分に発揮させ、また安全を確保するために、正しい据付工事が必要です。据付工事の前に、この説明書と室内機の据付工事説明書を必ずお読みください。

安全のために必ずお守りください

- 使用前の前に、この「安全のために必ずお守りください」をよくお読みください。
- ここに示した注意事項は、安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。
- 据付工終了後、④「据付後の確認」を必ず確認し、この据付工事説明書をお客さまにお渡しください。

警告

- ⚠ 内側パネルと外側パネルに付いているヒモは外さない。
内側パネルが落下し、ケガの原因になります。
- ⚠ 据付けには専門の知識と技術が必要です。
お客さま自身で据付工事を行わず、必ず専門業者にご相談ください。
- ⚠ 据付けは、お買上げの販売店または専門業者に依頼する。
お客さま自身で据付工事を行わず、必ず専門業者にご相談ください。
- ⚠ 据付けは、据付工事説明書に依って確実に行う。
据付けに不備があると、水漏れ・感電・火災・ユニットの落下によるケガの原因になります。
- ⚠ 据付けは、重量に十分耐える所に確実に行う。
強度の不足が原因で据付けると、ユニットが落下し、ケガなどの原因になります。

1 使用部品

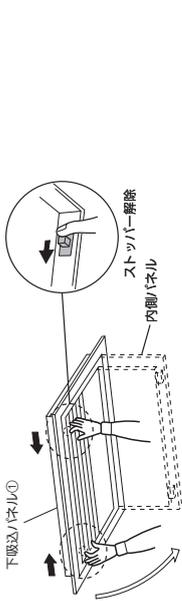
部品	①	②	③
下吸込パネル	エアフィルター	エアフィルター	①の固定用ネジ
個数	1	1	4

2 設置スペースと必要寸法

- 設置スペースと必要寸法および室内機の先行準備については、室内機の据付工事説明書「室内機の設置パターン(下がり天井設置)」を参照してください。
- 天井開口寸法(540mm×980mm)は、点検口となり、アフターサービス用としても必要となります。
- 天井開口部の仕口げについては、くわしくは建築、内装業者とご相談ください。

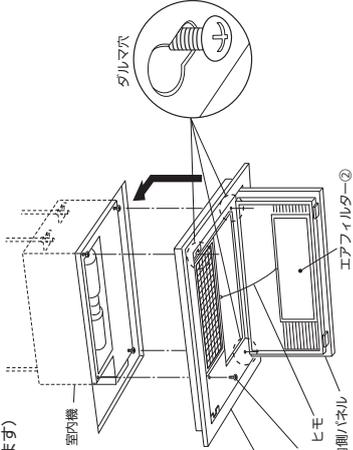
3 下吸込パネルの取付け

1. 室内機下面の3か所に、固定用ネジ③を2.0mm程度隙間をあけて取付けます。
2. 下吸込パネル①の風路内にあるストッパー(2か所)を解除しながら内側パネルを開きます。



警告

- ⚠ 下吸込パネルの開閉時は、内側パネルを手で支えながらストッパーを解除する。
内側パネルが勢いよく開き、ケガの原因になります。
- 3. 外側パネルのダルマホ3か所に固定用ネジ③を通しスライドさせ、下吸込パネル①を仮止めます。残りの1か所を固定用ネジ③で取付け、下吸込パネル①の天井の目地と合うように調整しながら4か所を締め込んでください。この時、下吸込パネル①の天井面および室内機に隙間がないことを確認してください。
(隙間があると、風漏れの原因になります)



警告

- ⚠ 内側パネルと外側パネルに付いているヒモは外さない。
内側パネルが落下し、ケガの原因になります。
- 4. エアフィルター②が、内側パネルのフィルターレールにしっかりと装着されているか確認してください。もし、エアフィルター②がフィルターレールから外れていたら、必ず装着し直してください。
- 5. 内側パネルを開いた時と逆の要領で閉じてください。

4 据付工事後の確認

- の中にV印をいれて確認してください。
確認後、この据付工事説明書をお客さまにお渡しください。
- 下吸込パネル①の天井面および室内機に隙間がありませんか？(隙間があると、風漏れの原因になります)
- エアフィルター②が、下吸込パネル①のフィルターレールにしっかりと装着されていますか？
もし、エアフィルター②がフィルターレールから外れていたら、必ず装着し直してください。

三菱電機株式会社

静岡製作所 〒422-8528 静岡市駿河区小畑3-18-1

SG791N004H02



三菱ハウジングエアコン 別売 キャンバスダクト
形名 MAC-508CD

据付工事説明書

販売店・工事店さま用

この製品の性能・機能を十分に発揮させ、また安全を確保するために、正しい据付工事が必要です。
据付工事の前に、この説明書と室内機の据付工事説明書をお読みください。

安全のために必ずお守りください

- ご使用の前に、この「安全のために必ずお守りください」をよくお読みの上据付けてください。
- ここに示した注意事項は、安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。
- 据付工事終了後、「据付後の確認」を必ず確認し、この据付工事説明書をお客さまにお渡しください。

警告

- ⚠ **据付けは、お買上げの販売店または専門業者に依頼する。**
据付けには専門の知識と技術が必要です。
お客さま自身で据付工事をされ、不備があると、
水漏れや感電・火災・ユニットの落下によるケガの
原因になります。
- ⚠ **据付けは、重量に十分耐える所に確実に行う。**
強度の不十分な所に据付けると、ユニットが落下し、
ケガなどの原因になります。
- ⚠ **据付けは、据付工事部品は、必ず当社付属部品および指定の部品を使用する。**
当社指定部品を使用しないと、水漏れ・感電・火災・
ユニットの落下によるケガの原因になります。

■「図記号」の意味は次のとおりです。
① 押さえる

■「図記号」の意味は次のとおりです。
① 押さえる

1 使用部品

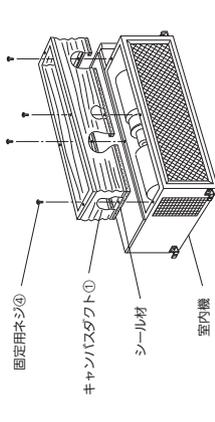
部品	①	②	③	④	⑤
キャンバスダクト	1	4	4	8	8
個数					

2 設置スペースと必要寸法

- ・設置スペースと必要寸法および室内機の先行準備については、室内機の据付工事説明書(下り天井設置の場合)を参照してください。
- ・天井開口寸法(540mm×980mm)は点検口となり、アフターサービス用としても必要となります。
- ・天井開口部の仕上げについては、くわしくは建築・内装業者とご相談ください。

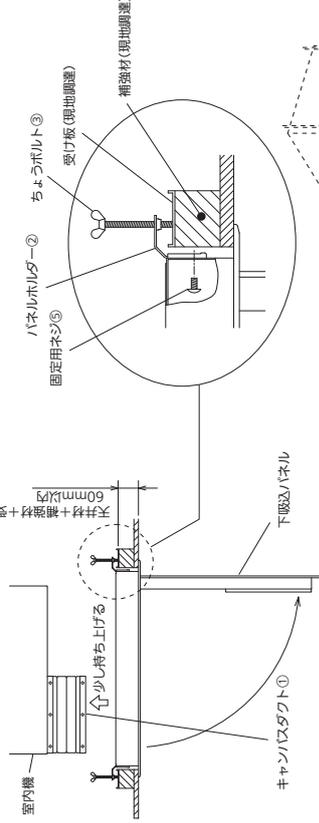
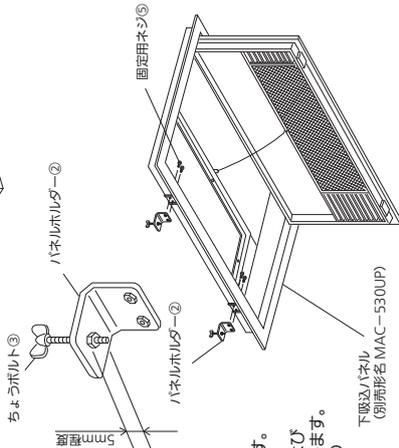
3 キャンバスダクトの取付

- ・室内機を吊り込み前、キャンバスダクト①を室内機に固定用ネジ④で4か所固定します。
この時、キャンバスダクト①のシール材側を室内機に合わせてください。
また、キャンバスダクト①と室内機に隙間がないことを確認してください。
(隙間があると、風漏れ等の原因になります)



4 下吸込パネルの取付

1. 各パネルホルダー②にちょうボルト③を、下から5mm程度出るまでねじ込みます。
2. 下吸込パネル(別売形名 MAC-530UP)のホルダー固定部に、ちょうボルト③をセットしたパネルホルダー②を2か所(右図参照)挿入して、固定用ネジ⑤で内側から固定します。
3. 下吸込パネルを天井にはめ込み、反対側のホルダー固定部にも上記2と同様に、残りのパネルホルダー②を2か所挿入して、固定用ネジ⑤で内側から固定します。
4. ちょうボルト③と天井との間に受け板(現地調達)および補強材(現地調達)を挟み込み、下吸込パネルを固定します。
この時、キャンバスダクト①が邪魔になる時は、下図のように少し持ち上げて作業してください。



- 5 最後にキャンバスダクト①を下吸込パネルに固定用ネジ④で4か所固定します。この時、下吸込パネルと天井面およびキャンバスダクト①に隙間がないことを確認してください。
(隙間があると、風漏れ等の原因になります)

5 据付後の確認

- の中に、印をいれて確認してください。
- 確認後、この据付工事説明書をお客さまにお渡しください。
- キャンバスダクト①と室内機に隙間がありませんか。
- 隙間があると、風漏れ等の原因になります。
- 下吸込パネルと天井面およびキャンバスダクト①に隙間がありませんか。
- 隙間があると、風漏れ等の原因になります。



三菱ハウジングエアコン 別売 ダクト吸込チャンバー
形名 MAC-509SC

据付工事説明書

販売店・工事店さま用

この製品の性能・機能を十分に発揮させ、また安全を確保するために、正しい据付工事が必要です。据付工事の前に、この説明書と室内機の据付工事説明書をお読みください。

安全のために必ずお守りください

- ご使用の前に、この「安全のために必ずお守りください」をよくお読みのうえ据付けてください。
- ここに示した注意事項は、安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。
- 据付工事終了後、この据付工事説明書をお客さまにお渡しください。



警告

(誤った取扱いをしたときに死亡や重傷などの重大な結果に結びつく可能性があるもの)



■据付けは、お買上げの販売店または専門業者に依頼する。据付けには専門の知識と技術が必要です。お客さま自身で据付工事を行なうと、水漏れや感電・火災、ユニットの落下によるケガの原因になります。



■据付けは、重量に十分耐える所に確実に行う。強度の不十分なお所に据付けると、ユニットが落下し、ケガなどの原因になります。



■据付作業は、必ず当社付属部品および指定の部品を使用する。当社指定部品を使用しないと、水漏れ・感電・火災・ユニットの落下によるケガの原因になります。

- 図配号の意味は次のとおりです。
- ① 部を守る

■据付けは、据付工事説明書に従って確実に行う。据付けに不備があると、水漏れ・感電・火災・ユニットの落下によるケガの原因になります。

■据付時、安全のため、適切な保護具・工具を使用する。ケガの原因になります。

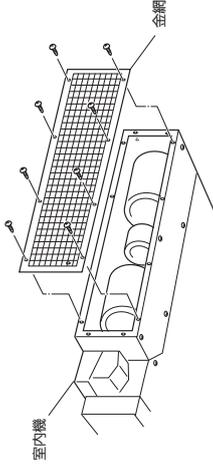
■据付工事は、必ず当社付属部品および指定の部品を使用する。当社指定部品を使用しないと、水漏れ・感電・火災・ユニットの落下によるケガの原因になります。

① 使用部品

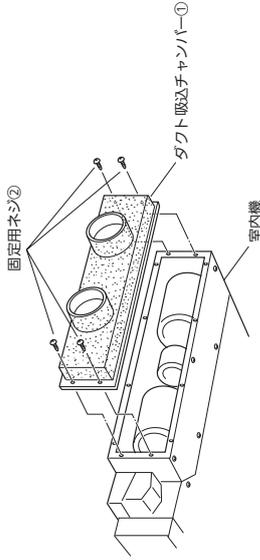
部品	①	②
ダクト吸込チャンバー	①の固定用ネジ	
		①の固定用ネジ
タッピングネジ	4×10	4
個数	1	4

② ダクト吸込チャンバーの取付け

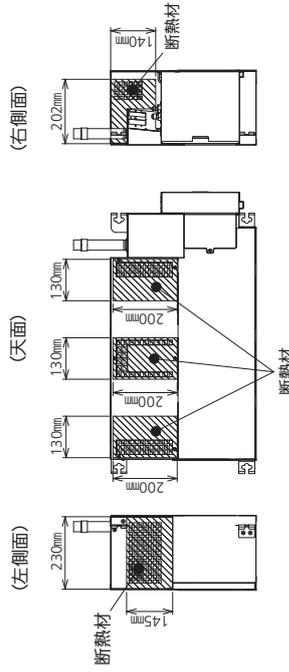
1.室内機背面吸込口の金網を取外します。(取外したネジおよび金網は使用しません)



2.ダクト吸込チャンバー①を室内機背面吸込口に取付けます。(固定用ネジ②4本)



3.室内機天面、左右側面の吸込口を室内機付属の断熱材を貼付けていただきます。



SG79J989H02



三菱ハウジングエアコン 別売 ダクト 吸込ボックス 形名 MAC-510SB

据付工事説明書

販売店・工事店さま用

この製品の性能・機能を十分に発揮させ、また安全を確保するために、正しい据付工事が必要です。据付工事の前に、この説明書と室内機の据付工事説明書を必ずお読みください。

安全のために必ずお守りください

- 使用前に、この「安全のために必ずお守りください」をよくお読みの上、据付けてください。
- ここに示した注意事項は、安全に関する重要な内容をお知らせしていますので、必ず守ってください。
- 据付工事終了後、④「据付後の確認」を必ず確認し、この据付工事説明書をお客さまにお渡しくください。

警告

■ 警告記号の意味は次のとおりです。



① 指示を守る

■ 据付けは、お渡しの販売店または専門業者に依頼する。

■ 据付けは、据付工事説明書に従って慎重に行う。据付けに不備がある場合、水漏れ、感電・火災、ユニットの落下によるケガの原因になります。

■ 据付けは、重量に十分耐える所に確実に行う。

■ 据付けは、安全のため、適切な保護具・工具を使用する。ケガの原因になります。

■ 据付けは、強度の十分な所に据付けると、ユニットが落下し、ケガなどの原因になります。

■ 据付工事は、必ず当社付属部品および指定の部品を使用する。当社指定部品を使用しないと、水漏れ、感電・火災、ユニットの落下によるケガの原因になります。

1 使用部品

部品	① ダクト吸込ボックス	② エアフィルター	③ 断熱材
個数	1	1	1

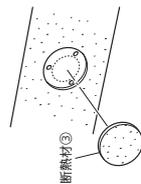
2 取付前の準備

ロスナイセントラルを併設しない場合

・ダクト吸込ボックス①側面のロスナイ給気フランジ接続口に断熱材③を貼付けてください。

ロスナイセントラルを併設する場合

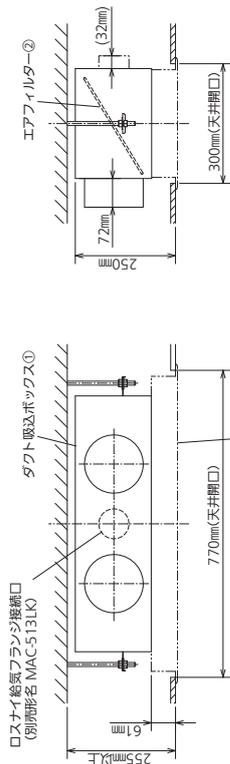
・ロスナイセントラルシリーズを併設する場合は、ロスナイ給気フランジ(別売形名 MAC-513LK)を別途お買い求めください。
・取付方法については、ロスナイ給気フランジ(別売形名 MAC-513LK)に付属の据付工事説明書を参照してください。



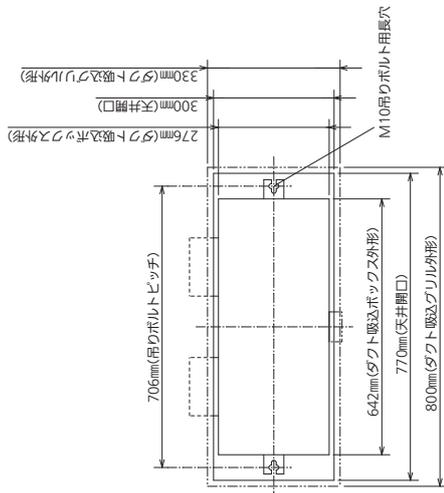
3 ダクト吸込ボックスの取付け

- ・このダクト吸込ボックスは、ダクト吸込グリル(別売形名 MAC-511SG / MAC-512SG)用です。
- ・天井開口と吊りボルトの位置関係は、下図のようになります。
- ・ダクト吸込グリルを取付けるため、天井面に300mm×770mmの開口が必要で、ダクト吸込グリル開口の仕上げについては、くわしくは建築、内装業者とご相談ください。

設置スペースと必要寸法



ダクト吸込グリル
(別売形名 MAC-511SG / MAC-512SG)



4 据付後の確認

- の中に✓印を入れて確認してください。
- 確認後、この据付工事説明書をお客さまにお渡しください。
- エアフィルター②が、ダクト吸込ボックス①のフィルターレーンにしっかりと装着されていますか？
もし、エアフィルター②がフィルターレーンから外れていたら、必ず装着し直してください。

三菱電機株式会社

静岡製作所 〒422-8528 静岡市駿河区小瀬3-18-1



三菱ハウジングエアコン 別売 ダクト吸込グリル(ホワイト/ベージュ) 形名 MAC-511SG / MAC-512SG 据付工事説明書

販売店・工事店さま用

この製品の性能・機能を十分に発揮させ、また安全を確保するために、正しい据付工事が必要です。
据付工事の前に、この説明書と室内機の据付工事説明書を必ずお読みください。

安全のために必ずお守りください

- ご使用の前に、この「安全のために必ずお守りください」をよくお読みのうえ据付けてください。
- ここに示した注意事項は、安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。
- 据付工事終了後、③「据付後の確認」を必ず確認し、この据付工事説明書をお客さまにお渡しください。



警告

(誤った取扱いをしたときに、死亡や重傷などの重大な結果に結びつく可能性があるもの)

■“図記号”の意味は次のとおりです。



指示を守る



■据付けは、お買上げの販売店または専門業者に依頼する。
据付けには専門の知識と技術が必要です。お客さま自身で据付工事をされ不備があると、水漏れや感電・火災・ユニットの落下によるケガの原因になります。



■据付時、安全のため、適切な保護具・工具を使用する。
ケガの原因になります。



■据付けは、重量に十分耐える所に確実に行う。
強度の不十分な所に据付けると、ユニットが落下し、ケガなどの原因になります。



■据付工事は、必ず当社付属部品および指定の部品を使用する。
当社指定部品を使用しないと、水漏れ・感電・火災・ユニットの落下によるケガの原因になります。



■据付けは、据付工事説明書に従って確実に進行。
据付けに不備があると、水漏れ・感電・火災・ユニットの落下によるケガの原因になります。



■ダクト吸込グリルの開閉時は、内側グリルを手で支えながらストッパーを解除する。
内側グリルが勢いよく開き、ケガの原因になります。

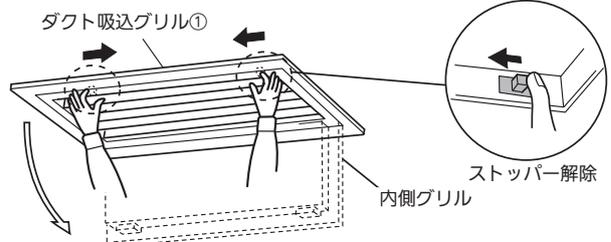
1 使用部品

	①	②
部品	ダクト吸込グリル	①の固定用ネジ
個数	1	4



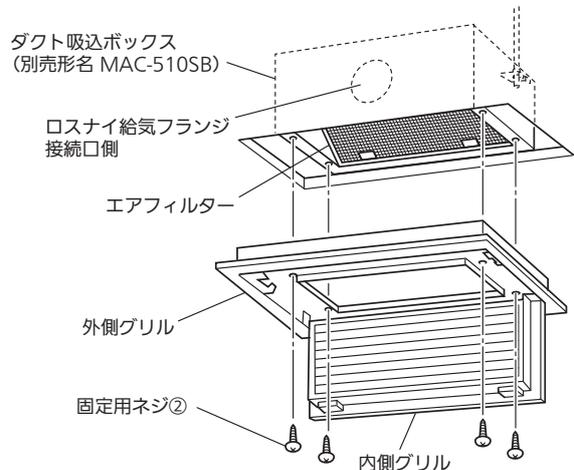
警告

ダクト吸込グリルの開閉時は、内側グリルを手で支えながらストッパーを解除する。
内側グリルが勢いよく開き、ケガの原因になります。



2 ダクト吸込グリルの取付け

- 1.ダクト吸込グリル①の風路内にあるストッパー(2か所)を解除しながら内側グリルを開きます。
- 2.ダクト吸込グリル①の4か所を、固定用ネジ②でダクト吸込ボックス(別売形名 MAC-510SB)に右図のような配置で固定します。
この時、ダクト吸込グリル①と天井面およびダクト吸込ボックスに隙間がないことを確認してください。
(隙間があると、風漏れの原因になります)
- 3.内側グリルを、開いた時と逆の要領で閉じてください。



3 据付工事後の確認

□の中に✓印をいれて確認してください。

確認後、この据付工事説明書をお客さまにお渡しください。

□ダクト吸込グリル①と天井下面およびダクト吸込ボックスに隙間がありませんか？
(隙間があると、風漏れの原因になります)

□ダクト吸込ボックス(別売部品 MAC-510SG)のエアフィルターが、フィルターレールにしっかりと装着されていますか？
もし、エアフィルターがフィルターレールから外れていたら、必ず装着し直してください。

三菱電機株式会社 静岡製作所 〒422-8528 静岡市駿河区小鹿3-18-1



三菱ハウジングエアコン 別売 ロスナイ給気フランジ 形名 MAC-513LK 据付工事説明書

販売店・工事店さま用

この製品の性能・機能を十分に発揮させ、また安全を確保するために、正しい据付工事が必要です。据付工事の前に、この説明書と室内機の据付工事説明書を必ずお読みください。

安全のために必ずお守りください

- ご使用前に、この「安全のために必ずお守りください」をよくお読みのうえ据付けてください。
- ここに示した注意事項は、安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。
- 据付工事終了後、この据付工事説明書をお客さまにお渡しください。



警告

(誤った取扱いをしたときに、死亡や重傷などの重大な結果に結びつく可能性があるもの)

■「図記号」の意味は次のとおりです。



■据付けは、お買上げの販売店または専門業者に依頼する。据付けには専門の知識と技術が必要です。お客さま自身で据付工事をされ不備があると、水漏れや感電・火災・ユニットの落下によるケガの原因になります。



■据付けは、重量に十分耐える所に確実に。強度の不十分な所に据付けると、ユニットが落下し、ケガなどの原因になります。



■据付けは、据付工事説明書に従って確実に行う。据付けに不備があると、水漏れ・感電・火災・ユニットの落下によるケガの原因になります。



■据付時、安全のため、適切な保護具・工具を使用する。ケガの原因になります。



■据付工事部品は、必ず当社付属部品および指定の部品を使用する。当社指定部品を使用しないと、水漏れ・感電・火災・ユニットの落下によるケガの原因になります。

1 使用部品

部品	①	②	③	④
	ロスナイ給気フランジ 	断熱材A 	断熱材B 	①の固定用ネジ タッピングネジ 4×10
個数	1	1	1	3

・このロスナイ給気フランジは、ロスナイセントラルシリーズとフリービルトイン形エアコン(MBZシリーズ)との併設の際、ロスナイ専用給気グリルを設置しなくても、フリービルトイン形エアコン用別売部品のダクト吸込グリル(別売形名 MAC-511SG / MAC-512SG)から給気を可能にします。

お願い

- ・ロスナイセントラルを使用せずに直接外気導入には絶対使用しないでください。
- ・風量は50m³/h以下としてください。

2 ロスナイ給気フランジの取付け

- 1.ダクト吸込ボックス(別売形名 MAC-510SB)の断熱材をミシン目に沿って切取ります。
- 2.ロスナイ給気フランジ①をダクト吸込ボックスに固定用ネジ④で3か所固定します。(図1参照)
- 3.断熱材A②および断熱材B③を、ロスナイ給気フランジ①に貼付けます。(図2参照)

図1

ダクト吸込ボックス
(別売形名 MAC-510SB)

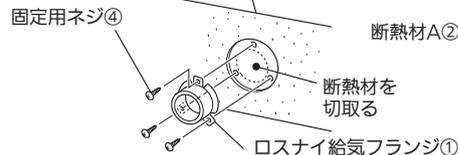


図2

断熱材B③

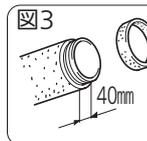
断熱材A②

断熱材を切取る

ロスナイ給気フランジ①

3 ロスナイ給気フランジと小口径ダクト断熱あり(φ75)との接続

- 1.小口径ダクト断熱あり(φ75)の断熱部分のみを40mm切断します。(図3参照)
- 2.ロスナイ給気フランジ①に小口径ダクト断熱あり(φ75)を差込みます。
- 3.ロスナイ給気フランジ①と小口径ダクト断熱あり(φ75)の合わせ部全周をアルミテープで風漏れのないように確実に巻き付けます。(2周以上)



アルミテープ
(市販品)

小口径ダクト
断熱あり(φ75)

お願い

システムの選定、機器配置、小口径ダクト断熱あり(φ75)の仕様はロスナイセントラル換気システム技術マニュアルを参照してください。



三菱ハウジングエアコン 別売 ダクト吹出チャンバー 形名 MAC-514FC 据付工事説明書

販売店・工事店さま用

この製品の性能・機能を十分に発揮させ、また安全を確保するために、正しい据付工事が必要です。据付工事の前に、この説明書と室内機の据付工事説明書を必ずお読みください。

安全のために必ずお守りください

- ご使用前に、この「安全のために必ずお守りください」をよくお読みのうえ据付けてください。
- ここに示した注意事項は、安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。
- 据付工事終了後、この据付工事説明書をお客さまにお渡しください。



警告

(誤った取扱いをしたときに、死亡や重傷などの重大な結果に結びつく可能性があるもの)

■“図記号”の意味は次のとおりです。



■据付けは、お買上げの販売店または専門業者に依頼する。据付けには専門の知識と技術が必要です。お客さま自身で据付工事をされ不備があると、水漏れや感電・火災・ユニットの落下によるケガの原因になります。



■据付けは、据付工事説明書に従って確実にを行う。据付けに不備があると、水漏れ・感電・火災・ユニットの落下によるケガの原因になります。



■据付けは、重量に十分耐える所に確実にを行う。強度の不十分な所に据付けると、ユニットが落下し、ケガなどの原因になります。

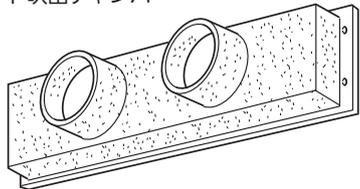


■据付時、安全のため、適切な保護具・工具を使用する。ケガの原因になります。



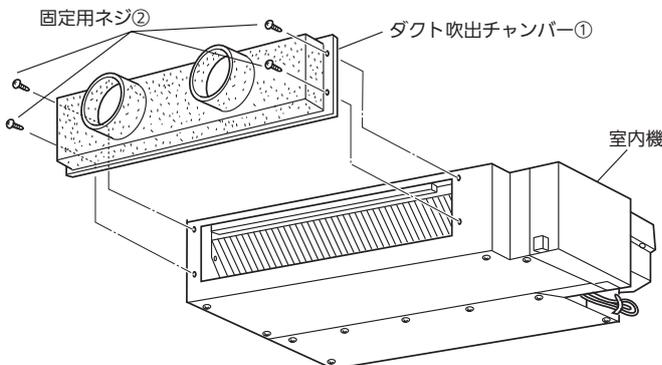
■据付工事部品は、必ず当社付属部品および指定の部品を使用する。当社指定部品を使用しないと、水漏れ・感電・火災・ユニットの落下によるケガの原因になります。

1 使用部品

	①	②
部品	ダクト吹出チャンバー 	①の固定用ネジ 
個数	1	4 タッピングネジ4×16

2 ダクト吹出チャンバーの取付け

- ・ダクト吹出チャンバー①を室内機吹出口に取付けます。(固定用ネジ②4本)



SG79N020H03



三菱ハウジングエアコン 別売 フレキシブルダクト (φ150、1m・2m)
 形名 MAC-515FD・516FD

据付工事説明書

販売店・工事店さま用

この製品の性能・機能を十分に発揮させ、また安全を確保するために、正しい据付工事が必要です。
 据付工事の前に、この説明書と室内機の据付工事説明書を必ずお読みください。

安全のために必ずお守りください

- ご使用前に、この「安全のために必ずお守りください」をよくお読みのうえ据付けてください。
- ここに示した注意事項は、安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。
- 据付工事終了後、この据付工事説明書をお客さまにお渡しください。

警告

⚠ 誤った取扱いをしたと、または、死にや重傷などの重大な結果に結びつく可能性があります。

- 据付けは、お買上げの販売店または専門業者に依頼する。
 据付けには専門の知識と技術が必要です。
 お客さま自身で据付工事をされれば、水漏れや感電・火災の原因になります。
- 据付けは、重量に十分耐える所に確実に行う。
 強度の不足が原因で据付けると、ユニットが落下し、ケガなどの原因になります。
- 据付けは、据付工事説明書に従って確実に行う。
 据付けに不備があると、水漏れ・感電・火災・ユニットの落下によるケガの原因になります。
- 据付時、安全のため、適切な保護具・工具を使用する。
 ケガの原因になります。
- 据付工事部品は、必ず当社付属部品および指定の部品を使用する。
 当社指定部品を使用しないと、水漏れ・感電・火災・ユニットの落下によるケガの原因になります。

1 使用部品

部品	①	②	③	④	⑤
フレキシブルダクト					
個数	1	1	2	1	1

ⓘ 高温多湿の場合は、断熱材(エーテル系ポリウレタン 比重0.063、肉厚20mm以上相当品)をフレキシブルダクトに必ず巻付けてください。

裏面へつづく

2 フレキシブルダクトの取付

フレキシブルダクトとダクト吸込・吹出チャンパーおよびダクト吸込・吹出ボックスとの接続

1. フレキシブルダクト①を室内機側に取付けられたダクト吸込・吹出チャンパー(別売形名 MAC-509SC・514FC)および反対側に取付けられたダクト吸込・吹出ボックス(別売形名 M/A-C-510SB・517/520FB)のフランジにそれぞれはめ込んで、バンド③で締付けます。(図1、2参照)
2. 断熱材④で、バンド③を覆うように巻付けます。
 この時、断熱材④は長手方向で半分を切断して、ダクト吸込・吹出チャンパー側とダクト吸込・吹出ボックス側の両端にそれぞれご使用ください。(図3参照)
3. 断熱材④を覆うように、ビニールテープ⑤で隙間なく巻付けます。

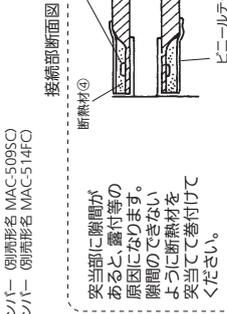
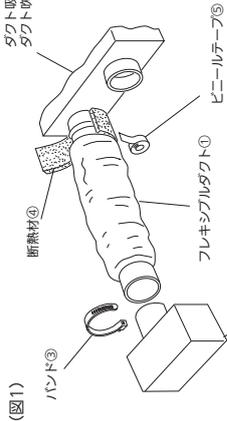


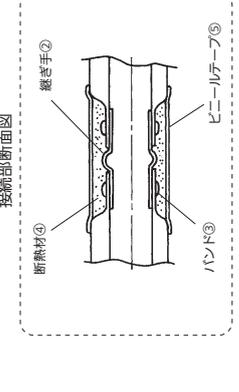
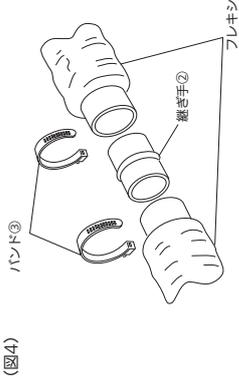
図1) 断熱材④を室内機側に取付けられたダクト吸込・吹出チャンパー(別売形名 MAC-509SC・514FC)および反対側に取付けられたダクト吸込・吹出ボックス(別売形名 M/A-C-510SB・517/520FB)のフランジにそれぞれはめ込んで、バンド③で締付けます。



ⓘ 断熱材④は圧縮しますと断熱効果が低下しますので、断熱材④を圧縮しないように巻付けてください。

フレキシブルダクトどうし接続

1. 継ぎ手②にフレキシブルダクト①をはめ込み、バンド③で締付けます。(図4参照)
2. 断熱材④でバンド③を覆うように巻付けます。(断熱材④は切断しないでご使用ください)
3. 断熱材④を覆うように、ビニールテープ⑤で隙間なく巻付けます。



ⓘ 断熱材④は圧縮しますと断熱効果が低下しますので、断熱材④を圧縮しないように巻付けてください。



三菱ハウジングエアコン 別売 ダクト大吹出ボックス
形名 MAC-517FB

据付工事説明書

販売店・工事店さま用

この製品の性能・機能を十分に発揮させ、また安全を確保するために、正しい据付工事が必要です。
据付工事の前に、この説明書と室内機の据付工事説明書を必ずお読みください。

安全のために必ずお守りください

- 使用前の前に、この「安全のために必ずお守りください」をよくお読みください。
- ここに示した注意事項は、安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。
- 据付工事終了後、この据付工事説明書をお客さまにお渡しください。

警告 (誤った取扱いをしたときに死亡や重傷などの重大な結果に結びつく可能性のあるもの)

- **据付けは、お買上げの販売店または専門業者に依頼する。**
据付けには専門の知識と技術が必要です。
お客さま自身で据付工事をされれば、水漏れ・感電・火災・ユニットの落下によるケガの原因になります。
- **据付けは、重量に十分耐える所に確実に行う。**
強度の十分でない所に据付けると、ユニットが落下し、ケガなどの原因になります。
- **据付けは、必ず当社付属部品および指定の部品を使用する。**
当社指定部品を使用しないと、水漏れ・感電・火災・ユニットの落下によるケガの原因になります。

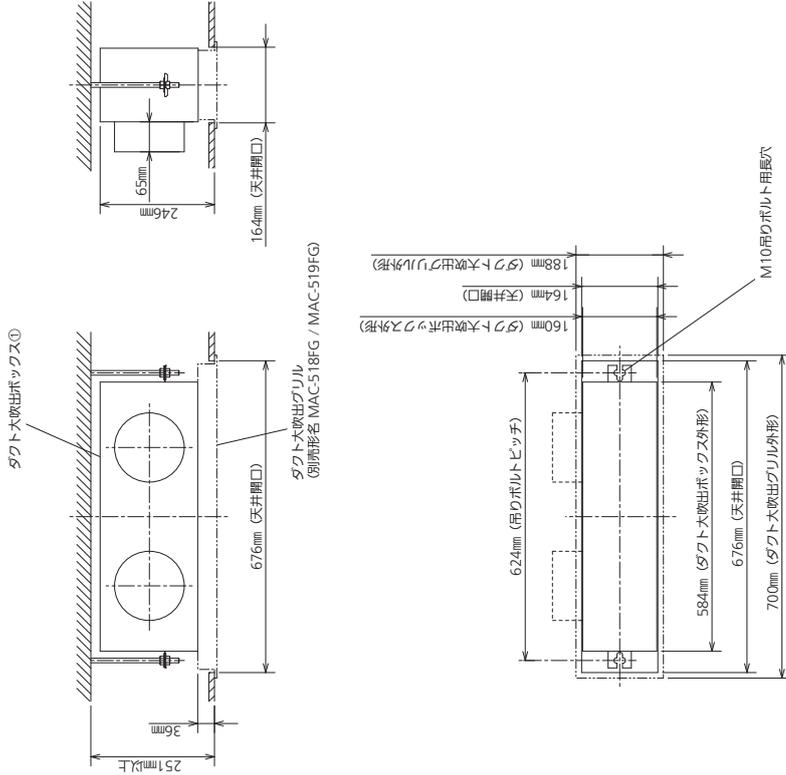
1 使用部品

部品	①	1
ダクト大吹出ボックス		
個数		

2 ダクト大吹出ボックスの取付け

- このダクト大吹出ボックスは、ダクト大吹出グリル(別売形名 MAC-518FG / MAC-519FG)用です。
- 天井開口と吊りボルトの位置関係は、下図のようになります。
- ダクト大吹出グリルを取付けるため、天井面に164mm×676mmの開口が必要です。
- 天井開口部の仕上げについては、くわしくは建築、内装業者とご相談ください。

設置スペースと必要寸法





三菱ハウジングエアコン 別売 ダクト大吹出グリル(ホワイト/ベージュ) 形名 MAC-518FG / MAC-519FG 据付工事説明書

販売店・工事店さま用

この製品の性能・機能を十分に発揮させ、また安全を確保するために、正しい据付工事が必要です。
据付工事の前に、この説明書と室内機の据付工事説明書を必ずお読みください。

安全のために必ずお守りください

- ご使用前に、この「安全のために必ずお守りください」をよくお読みのうえ据付けてください。
- ここに示した注意事項は、安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。
- 据付工事終了後、③「据付後の確認」を必ず確認し、この据付工事説明書をお客さまにお渡しください。



警告

(誤った取扱いをしたときに死亡や重傷などの重大な結果に結びつく可能性があるもの)

■“図記号”の意味は次のとおりです。



指示を守る



■据付けは、お買上げの販売店または専門業者に依頼する。
据付けには専門の知識と技術が必要です。お客さま自身で据付工事をされ不備があると、水漏れや感電・火災・ユニットの落下によるケガの原因になります。



■据付けは、重量に十分耐える所に確実に行う。
強度の不十分な所に据付けると、ユニットが落下し、ケガなどの原因になります。



■据付けは、据付工事説明書に従って確実にを行う。
据付けに不備があると、水漏れ・感電・火災・ユニットの落下によるケガの原因になります。



■据付時、安全のため、適切な保護具・工具を使用する。
ケガの原因になります。



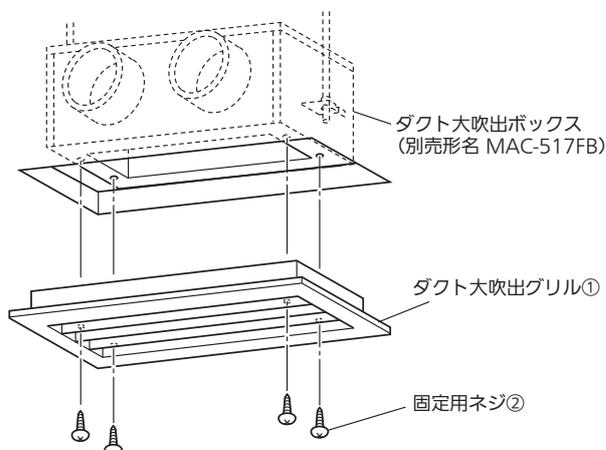
■据付工事部品は、必ず当社付属部品および指定の部品を使用する。
当社指定部品を使用しないと、水漏れ・感電・火災・ユニットの落下によるケガの原因になります。

1 使用部品

	①	②
部品	ダクト大吹出グリル 	①の固定用ネジ  M5×12
個数	1	4

2 ダクト大吹出グリルの取付け

- ・ダクト大吹出グリル①の前後左右4か所を、固定用ネジ②でダクト大吹出ボックス(別売形名 MAC-517FB)に固定します。
この時、ダクト大吹出グリル①と天井面およびダクト大吹出ボックスに隙間がないことを確認してください。
(隙間があると、風漏れや露付等の原因になります)



3 据付後の確認

□の中に✓印をいれて確認してください。

確認後、この据付工事説明書をお客さまにお渡しください。

- ダクト大吹出グリル①と天井面およびダクト大吹出ボックスに隙間がありませんか？
(隙間があると、風漏れや露付等の原因になります)

三菱電機株式会社 静岡製作所 〒422-8528 静岡市駿河区小鹿3-18-1



三菱ハウジングエアコン 別売 ダクト小吹出ボックス
 形名 MAC-520FB
据付工事説明書

販売店・工事店さま用

この製品の性能・機能を十分に発揮させ、また安全を確保するために、正しい据付工事が必要です。
 据付工事の前に、この説明書と室内機の据付工事説明書を必ずお読みください。

安全のために必ずお守りください

- 使用前の前に、この「安全のために必ずお守りください」をよくお読みください。
- ここに示した注意事項は、安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。
- 据付工事終了後、この据付工事説明書をお客さまにお渡しください。

警告 (読んだ取扱いをしたとき、または死亡や重傷などの重大な結果に結びつく可能性があるもの)

- **据付けは、お買上げの販売店または専門業者に依頼する。**
 据付けには専門の知識と技術が必要です。
 お客さま自身で据付工事をされ、不備があると、水漏れや感電・火災・ユニットの落下によるケガの原因になります。
- **据付けは、お買上げの販売店または専門業者に依頼する。**
 据付けは、据付工事説明書に従って確率に行う。
 据付けに不備があると、水漏れ、感電・火災、ユニットの落下によるケガの原因になります。
- **据付時、安全のため、適切な保護具、工具を使用する。**
 ケガの原因になります。
- **据付工事は、必ず当社付属部品および指定の部品を使用する。**
 当社指定部品を使用しないと、水漏れ、感電・火災、ユニットの落下によるケガの原因になります。

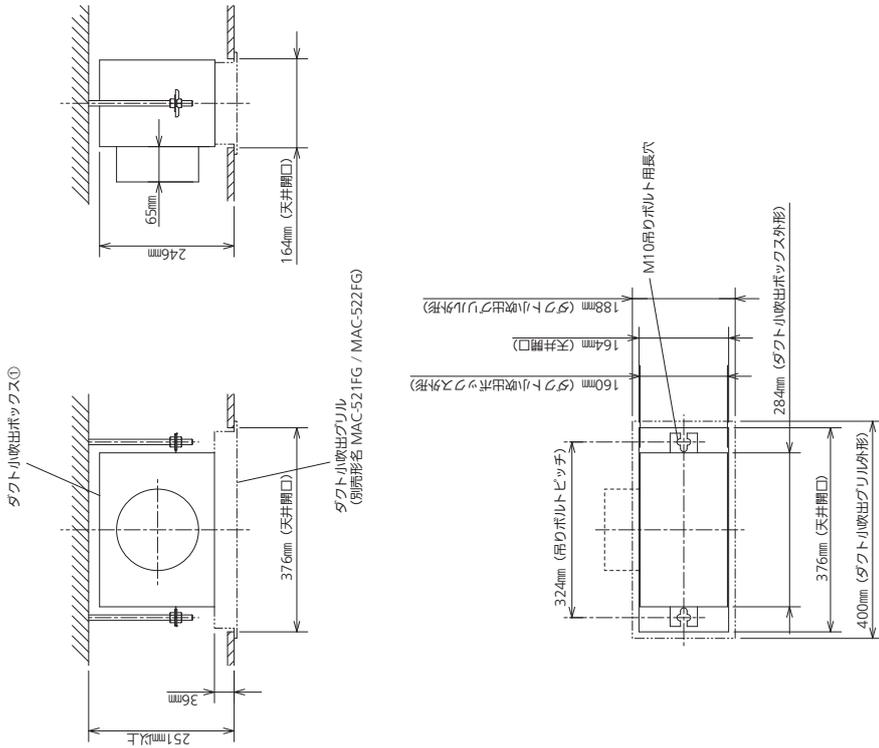
1 使用部品

部品	ダクト小吹出ボックス	①
個数		1

2 ダクト小吹出ボックスの取付け

- このダクト小吹出ボックスは、ダクト小吹出グリル(別売形名 MAC-521FG / MAC-522FG)用です。
- 天井開口と吊りボルトの位置関係は、下図のようになります。
- ダクト小吹出グリルを取付けるため、天井面に164mm×376mmの開口が必要です。
- 天井開口部の仕上げについては、くわしくは建築、内装業者とご相談ください。

設置スペースと必要寸法





三菱ハウジングエアコン 別売 ダクト小吹出グリル(ホワイト/ベージュ)
形名 MAC-521FG / MAC-522FG

据付工事説明書

販売店・工事店さま用

この製品の性能・機能を十分に発揮させ、また安全を確保するために、正しい据付工事が必要です。
据付工事の前に、この説明書と室内機の据付工事説明書を必ずお読みください。

安全のために必ずお守りください

- ご使用前に、この「安全のために必ずお守りください」をよくお読みのうえ据付けてください。
- ここに示した注意事項は、安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。
- 据付工事終了後、③「据付後の確認」を必ず確認して、この据付工事説明書をお客さまにお渡しください。



警告

(誤った取扱いをしたときに、死亡や重傷などの重大な結果に結びつく可能性があるもの)

■「図記号」の意味は次のとおりです。



■据付けは、お買上げの販売店または専門業者に依頼する。
据付けには専門の知識と技術が必要です。お客さま自身で据付工事をされ不備があると、水漏れや感電・火災・ユニットの落下によるケガの原因になります。



■据付けは、重量に十分耐える所に確実に行う。
強度の不十分な所に据付けると、ユニットが落下し、ケガなどの原因になります。



■据付けは、据付工事説明書に従って確実に進行。
据付けに不備があると、水漏れ・感電・火災・ユニットの落下によるケガの原因になります。

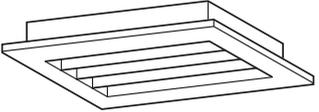


■据付時、安全のため、適切な保護具・工具を使用する。
ケガの原因になります。



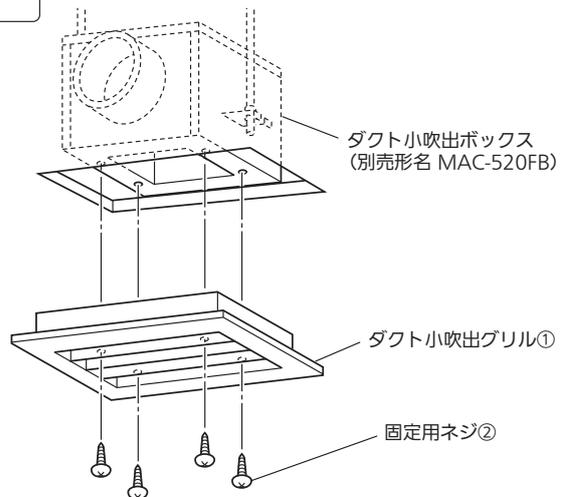
■据付工事部品は、必ず当社付属部品および指定の部品を使用する。
当社指定部品を使用しないと、水漏れ・感電・火災・ユニットの落下によるケガの原因になります。

1 使用部品

	①	②
部品	ダクト小吹出グリル 	①の固定用ネジ  M5×12
個数	1	4

2 ダクト小吹出グリルの取付け

- ・ダクト小吹出グリル①の前後左右4か所を、固定用ネジ②でダクト小吹出ボックス(別売形名 MAC-520FB)に固定します。この時、ダクト小吹出グリル①と天井面およびダクト小吹出ボックスに隙間がないことを確認してください。(隙間があると、風漏れや露付等の原因となります)



3 据付後の確認

- の中に✓印をいれて確認してください。
- 確認後、この据付工事説明書をお客さまにお渡しください。
- ダクト小吹出グリル①と天井面およびダクト小吹出ボックスに隙間がありませんか？(隙間があると、風漏れや露付等の原因となります)



三菱ハウジングエアコン
別売 レシーバー(リモコン受光部) 取付具
形名 MAC-523RT
据付工事説明書

販売店・工事店さま用

用語集

品名	呼称
レシーバー (リモコン受光部) 取付具	受信装置 取付具

この製品の性能・機能を十分に発揮させ、また安全を確保するために、正しい据付工事が必要です。
据付工事の前に、この説明書と室内機の据付工事説明書を必ずお読みください。

安全のために必ずお守りください

- ご使用の前に、この「安全のために必ずお守りください」をよくお読みのうえ、お守りください。
- ここに示した注意事項は、安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。
- 据付工終了後、この据付工事説明書をお客さまにお渡しください。

警告 (誤った取扱いをしたときに死にや重傷などの重大な結果に結びつく可能性があるもの)

- **据付けは、お買上げの販売店または専門業者に依頼する。**
据付けには専門の知識と技術が必要です。
お客さま自身で据付工事をされ、不備があると、
水漏れや感電・火災、ユニットの落下によるケガの
原因になります。
- **据付けは、重量に十分耐える所に確実に行う。**
強度の不十分な所に据付けると、ユニットが落下し、
ケガなどの原因になります。
- **据付けは、必ず当社付属部品および指定の部品を使用する。**
当社指定部品を使用しないと、水漏れ・感電・火災・
ユニットの落下によるケガの原因になります。

■ 記号の意味は次のとおりです。
① 指示表参照

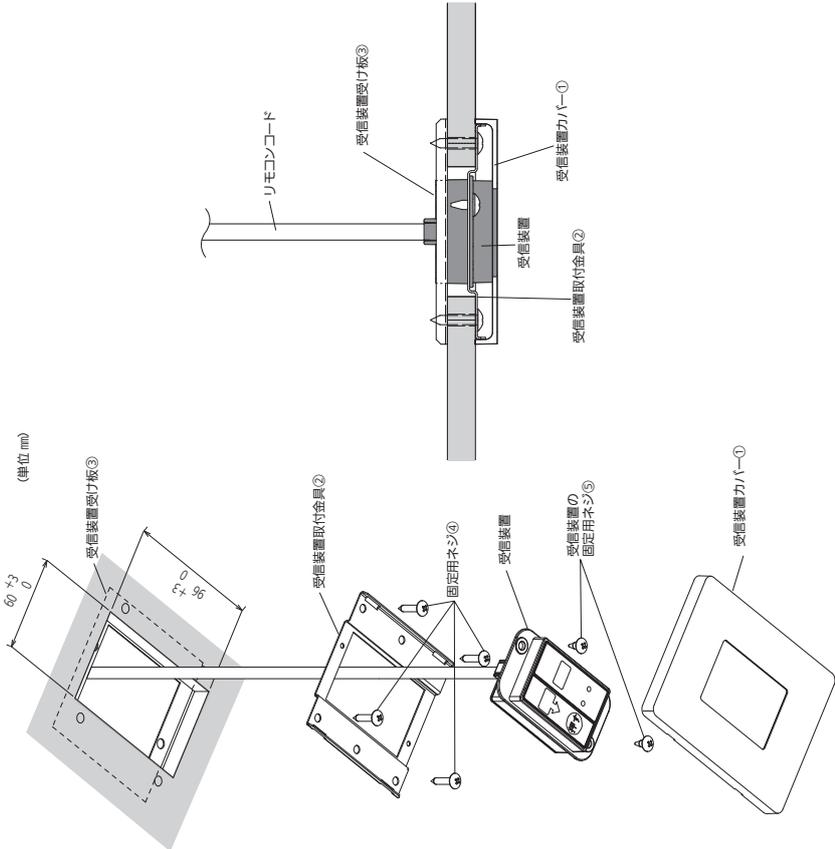
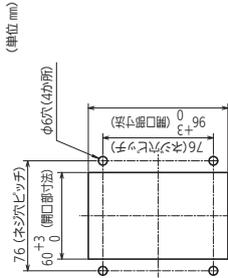
- **据付けは、据付工事説明書に従って確実に行う。**
据付けに不備があると、水漏れ・感電・火災、
ユニットの落下によるケガの原因になります。
- **据付時、安全のため、適切な保護具・工具を使用する。**
ケガの原因になります。

1 使用部品

受信装置カバー	①	1	受信装置取付金具	②	1	受信装置受け板	③	1	受信装置の固定用ネジ	⑤	2
部品			受信装置取付金具			受信装置受け板			受信装置の固定用ネジ		
個数			固定用ネジ④		4	受信装置			受信装置取付金具②		
			受信装置のカバー①			受信装置			受信装置のカバー①		
			受信装置のカバー①			受信装置			受信装置のカバー①		

2 受信装置の取付け

- 天井または壁に開口部を設けます。
- 受信装置受け板③を開口部を通して天井裏へ置き、受信装置取付金具②と天井のネジ穴を合わせます。
3. 下図のように開口部より受信装置を取り出し、受信装置取付金具②の開口を通します。
- 受信装置取付金具②を天井または壁の開口部へはめ込み、固定用ネジ④で確実に固定します。
- 受信装置を受信装置取付金具②に受信装置の固定用ネジ⑤で確実に固定します。
- 受信装置カバー①は右側のツメ(4か所)が受信装置取付金具②に確実にかかるように取付けてください。



SG79V354H03



三菱ハウジングエアコン 別売 レシーバー延長コード
形名 MAC-551RC
据付工事説明書

販売店・工事店さま用

この製品の性能・機能に十分に精通させ、また安全を確認するために、正しい据付工事が必要です。
据付工事の前に、この説明書と室内機の据付工事説明書を必ずお読みください。

安全のために必ずお守りください

- ご使用前に、この「安全のために必ずお守りください」をよくお読みの上、据付けてください。
- ここに示した注意事項は、安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。
- 据付工事終了後、●「据付後の確認」を必ず確認し、この据付工事説明書をお客さまにお渡しください。

警告 (誤った取扱いをしたときに、死亡や重傷などの重大な結果に結びつく可能性のあるもの)

- 据付けは、お買上げの販売店または専門業者に依頼する。
据付けには専門の知識と技術が必要です。お客さま自身で据付工事をされ不備があると、水濡れや感電・火災・ユニットの落下によるケガの原因になります。
- 据付けは、重量に十分耐える所に確実に行う。
強度の不十分な所に据付けると、ユニットが落下し、ケガなどの原因になります。

■記号の意味は次のとおりです。
① 厳守を要す

- 据付けは、据付工事説明書に従って確実に行う。
据付けに不備があると、水濡れ、感電、火災、ユニットの落下によるケガの原因になります。
- 据付時、安全のため、適切な保護具、工具を使用する。
ケガの原因になります。
- 据付工事は、必ず当社付属部品および指定の部品を使用する。
当社指定部品を使用しないと、水濡れ、感電、火災、ユニットの落下によるケガの原因になります。

① 使用部品

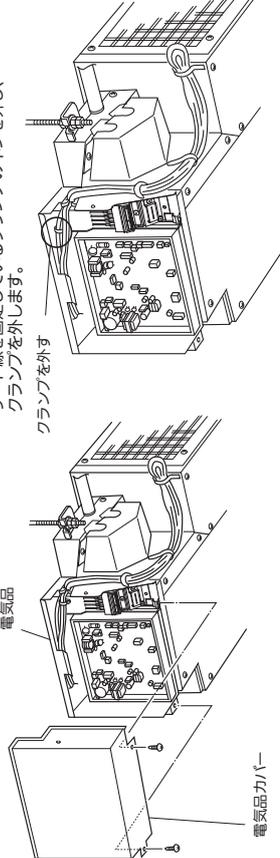
①	受信装置延長コード (10m) (レシーバー延長コード)	1
部品		
個数		1

作業前のお願ひ

- 室内制御基板、受光表示応急基板は静電気により故障する場合がありますので、作業前に金属や地面に触れ、体の静電気を放電後作業してください。
- ブレーカーをOFFにしてから作業してください。

② 受信装置コードの交換

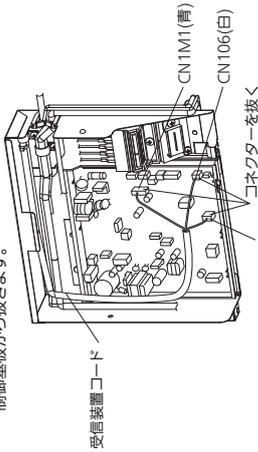
1. 室内機の電気品カバーを外します。
2. 室内機電気品内の受信装置コードと室温サーミスターのリード線を固定しているクランプを外し、クランプを外します。



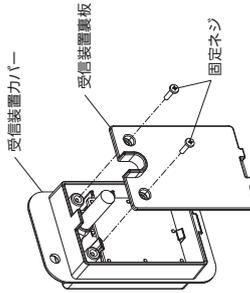
裏面へつづく

② 受信装置コードの交換 つづき

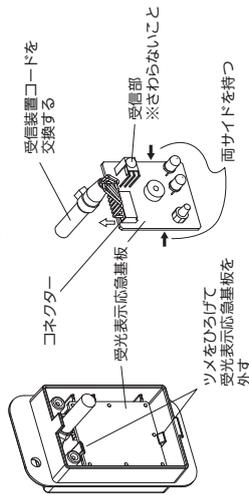
- 3 受信装置コードのコネクター(3か所)を室内機制御基板から抜きます。



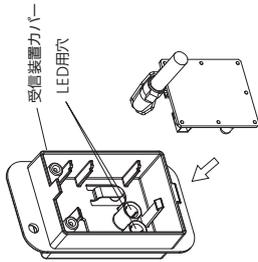
4. 受信装置裏側のネジ(2か所)を外し、受信装置裏板を外します。



5. 受光表示応急基板を受信装置カバーから外し、受信装置コードのコネクターを抜いて受信装置コードを交換します。

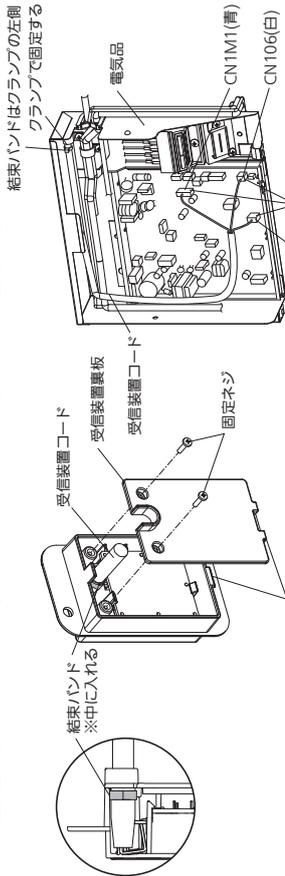


6. 受光表示応急基板を受信装置カバーに取付けます。



7. 受信装置裏板を元どおりに取付けます。
(このとき、受信装置コードの結束バンドが窓の位置(受信装置の内側)になるように取付けます)

8. 受信装置コードの室内機側を室内制御基板に取付け、受信装置コードと室温サーミスターのリード線をクランプにて固定します。



9. 電気品カバーを元どおりに取付けます。
ツメを引っ掛ける

③ 据付後の確認

- の中に✓印をいれて確認してください。確認後、この据付工事説明書をお客さまにお渡しください。
- 応急運転スイッチでの動作確認をしましたか?
- リモコンの受信確認をしましたか?

※ MAC-552HR は MAC-545HR と MAC-546HF で構成されています。

SG79N722H02



三菱ハウジングエアコン 別売 本体フィルター設置レール 形名 MAC-545HR 据付工事説明書

販売店・工事店さま用

この製品の性能・機能を十分に発揮させ、また安全を確保するために、正しい据付工事が必要です。
据付工事の前に、この説明書と室内機の据付工事説明書を必ずお読みください。

安全のために必ずお守りください

- ご使用前に、この「安全のために必ずお守りください」をよくお読みのうえ据付けてください。
- ここに示した注意事項は、安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。
- 据付工事終了後、この据付工事説明書をお客さまにお渡しください。



警告

(誤った取扱いをしたときに死亡や重傷などの重大な結果に結びつく可能性があるもの)

■“図記号”の意味は次のとおりです。



■据付けは、お買上げの販売店または専門業者に依頼する。
据付けには専門の知識と技術が必要です。お客さま自身で据付工事をされ不備があると、水漏れや感電・火災・ユニットの落下によるケガの原因になります。



■据付けは、重量に十分耐える所に確実に行う。
強度の不十分な所に据付けると、ユニットが落下し、ケガなどの原因になります。



■据付けは、据付工事説明書に従って確実に行う。
据付けに不備があると、水漏れ・感電・火災・ユニットの落下によるケガの原因になります。

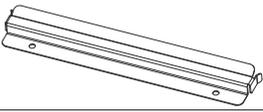
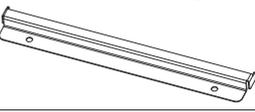


■据付時、安全のため、適切な保護具・工具を使用する。
ケガの原因になります。



■据付工事部品は、必ず当社付属部品および指定の部品を使用する。
当社指定部品を使用しないと、水漏れ・感電・火災・ユニットの落下によるケガの原因になります。

1 使用部品

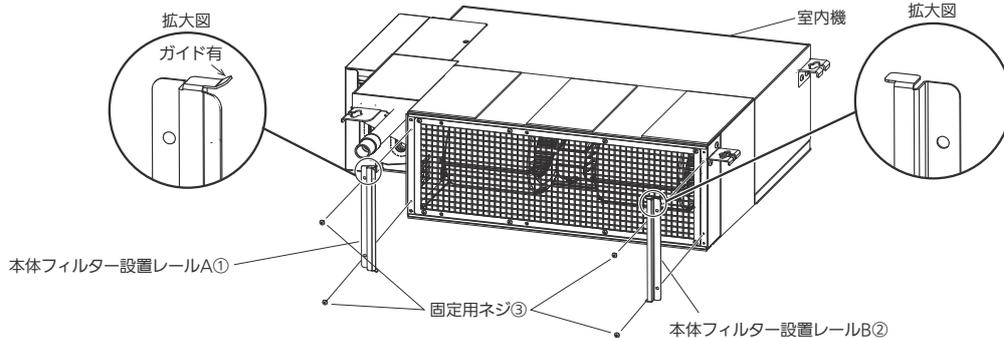
	①	②	③
部品	本体フィルター設置レールA 	本体フィルター設置レールB 	①、②の固定用ネジ  タッピングネジ4×10
個数	1	1	4

2 室内機の先行準備

- 室内機の先行準備として、室内機に同梱の据付工事説明書をご覧ください。
- 室内機の準備（天井埋込の場合）を参考に、断熱材により天面および左右側面の吸込口をふさいでください。

3 本体フィルター設置レール取付け

- 本体フィルター設置レールA①、B②を固定用ネジ③で室内機背面吸込口に取付けます。



三菱電機株式会社 静岡製作所 〒422-8528 静岡市駿河区小鹿3-18-1

※ MAC-552HR は MAC-545HR と MAC-546HF で構成されています。

SG79N723H03



三菱ハウジングエアコン 別売 本体用エアフィルター 形名 MAC-546HF 据付工事説明書

販売店・工事店さま用

この製品の性能・機能を十分に発揮させ、また安全を確保するために、正しい据付工事が必要です。
据付工事の前に、この説明書と室内機の据付工事説明書を必ずお読みください。

安全のために必ずお守りください

- ご使用前に、この「安全のために必ずお守りください」をよくお読みのうえ据付けてください。
- ここに示した注意事項は、安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。
- 据付工事終了後、この据付工事説明書をお客さまにお渡しください。



警告

(誤った取扱いをしたときに、死亡や重傷などの重大な結果に結びつく可能性があるもの)

■“図記号”の意味は次のとおりです。



■据付けは、お買上げの販売店または専門業者に依頼する。
据付けには専門の知識と技術が必要です。
お客さま自身で据付工事をされ不備があると、
水漏れや感電・火災・ユニットの落下によるケガの
原因になります。



■据付けは、据付工事説明書に従って確実に行う。
据付けに不備があると、水漏れ・感電・火災・
ユニットの落下によるケガの原因になります。



■据付時、安全のため、適切な保護具・工具を使用する。
ケガの原因になります。



■据付けは、重量に十分耐える所に確実に行う。
強度の不十分な所に据付けると、ユニットが落下し、
ケガなどの原因になります。



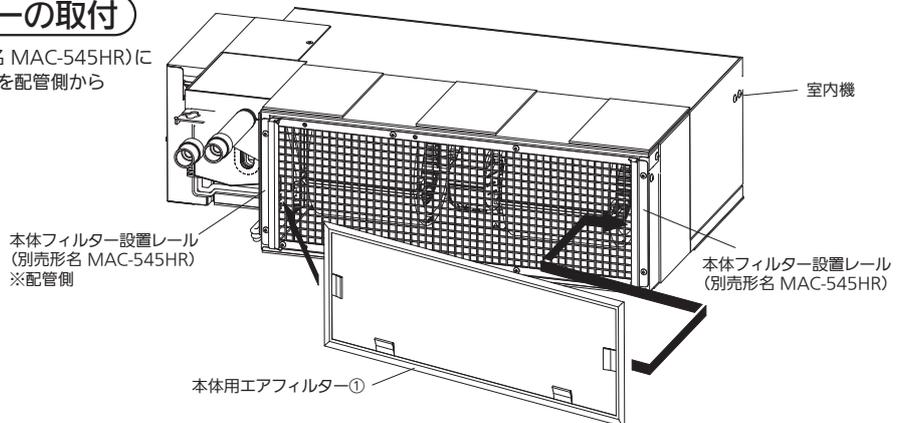
■据付工事部品は、必ず当社付属部品および指定の部品
を使用する。
当社指定部品を使用しないと、水漏れ・感電・火災・
ユニットの落下によるケガの原因になります。

1 使用部品

部品	① 本体用エアフィルター
個数	1

2 本体用エアフィルターの取付

- ・本体フィルター設置レール(別売形名 MAC-545HR)に
合わせて、本体用エアフィルター①を配管側から
順に取付けます。



三菱電機株式会社 静岡製作所 〒422-8528 静岡市駿河区小鹿3-18-1

11. 設置パターン別特性

*設置パターンについては P11 ~ 14 「3. 可能な施工例と構成図」を参照してください。

フリービルトイン形エアコンの運転音、能力、消費電力は設置パターンで変化します。
ここでは設置パターン別各特性の目安を計算します。

11.1 運転音

[1] 運転音の表示

運転音の表示には

- ①任意の位置における音圧を基にした「音圧レベル(騒音レベル)」、あるいは、
- ②音源の音響エネルギーを基にした「音響パワーレベル」が用いられます。
日本におけるルームエアコンの運転音表示は、JIS C 9612 : 2005 に基づいて「音圧レベル(騒音レベル)」での表示をしてきましたが、2013年4月にJIS C 9612 が改正され、運転音の表示は全て「音響パワーレベル」での表示に変更されました。欧米においては、以前よりエアコンの実用的な運転音の表示として「音響パワーレベル」が使われています。

■音響パワーレベルとは

音源が発する音響エネルギーを基にした量です。
音響パワーレベルは音源との距離や方向などの位置関係によらず、運転音の大きさによって一義的に決まりますので、製品から発生する運転音がより正確に表示されます。
当社ではフリービルトイン形のエアコンは別売部材は取付けず、単体で測定しています。

■音圧レベル(騒音レベル)とは

音源から発生した音のある一点における音の大きさ(音圧)を基にした量です。
音圧レベル(騒音レベル)は、以前のJIS C 9612 : 2005 で規定された測定点における値です。
実際は音源から発生する運転音が同じでも、音源との距離や方向などの位置関係によっても変化します。
フリービルトイン形のエアコンでは設置パターンでも測定点が変わりますので下記

[2] 音圧レベル測定点を参照ください。

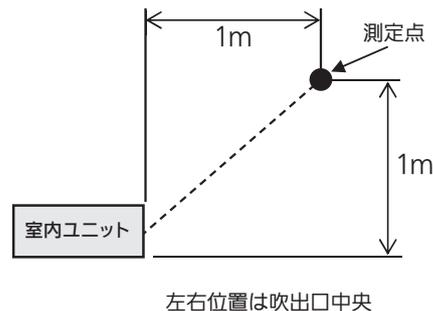
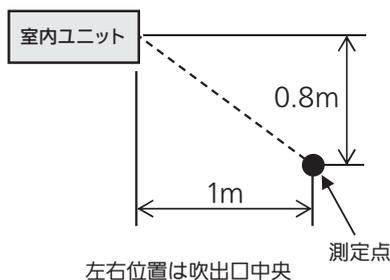
NC 値は周波数帯域別の音圧レベルを NC 曲線にあてはめ、読みとります。

[2] 音圧レベル測定点 (JIS C 9612 : 2005)

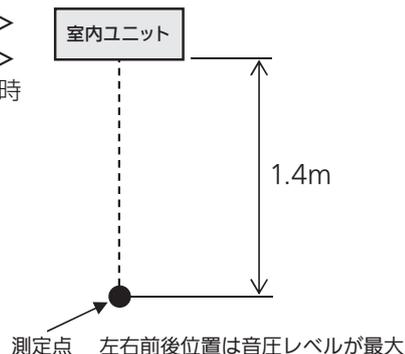
音圧レベル(騒音レベル)の測定点は次のとおりです。

■室内機(設置パターン別)

- 壁面上部吹出し <パターンA><パターンC> <パターンE><パターンF>
- 壁面下部吹出し <パターンB><パターンD> <パターンG>
- 下がり天井 <パターンH><パターンM>



- 天井に埋込み <パターンK><パターンL> <パターンI><パターンJ>
※風量切換スイッチ「標準」時



- 室外機 無響室に設置し、本体表面から 1 m離れた距離で騒音の最も大きい位置

[3] 運転音 (音響パワーレベル、音圧レベル、NC 曲線)

* NC 曲線の音圧レベルは試算値です。

■室内機

周囲温度：(冷房)室内：27℃ 室外：35℃ (暖房)室内：20℃ 室外：7℃ 測定場所：無響室
 測定方法：音響パワーレベルは JIS C 9612：2013 音圧レベルは JIS C 9612：2005
 室内ユニット：50/60Hz 強ノッチ運転

● MBZ-2822AS

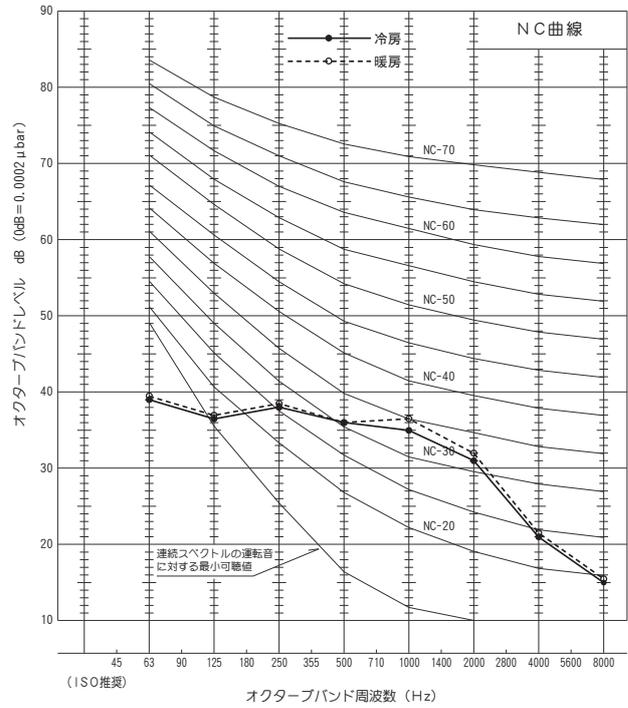
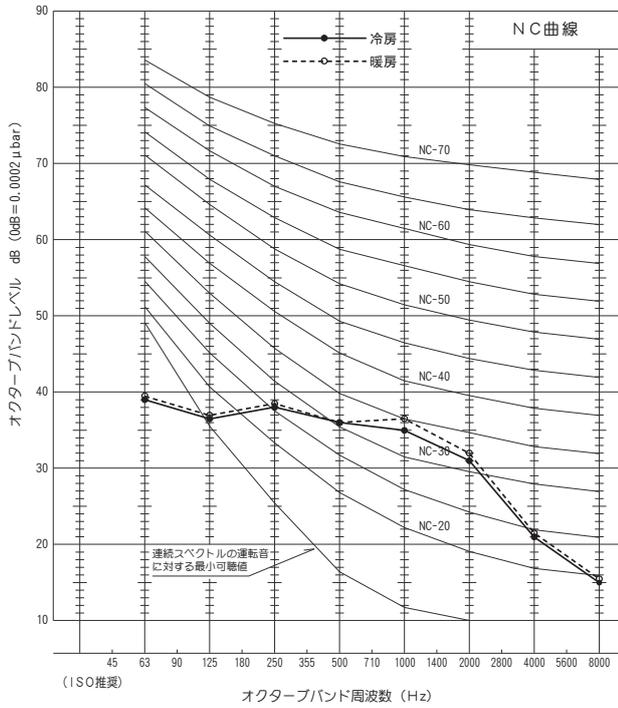
音響パワーレベル	冷房	56	暖房	57
----------	----	----	----	----

・壁面上部吹出し <パターンA><パターンC>
 <パターンE><パターンF><パターンM>

音圧レベル	冷房	39
	暖房	40

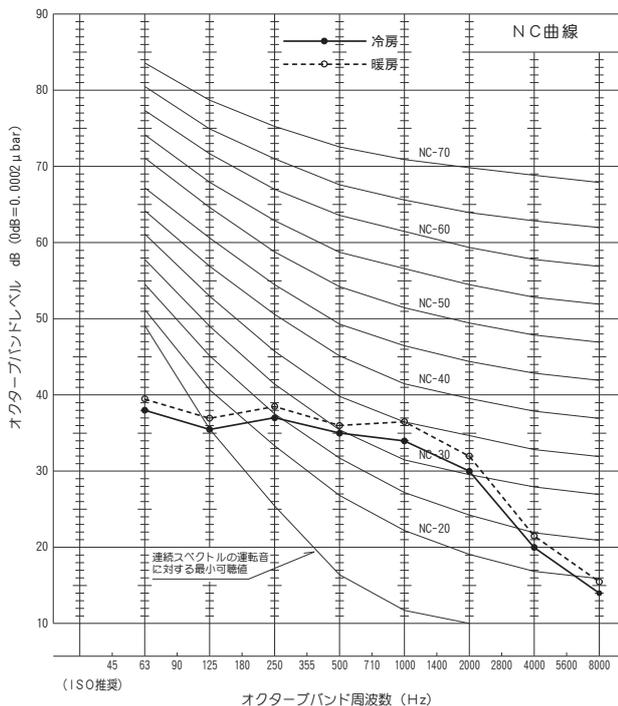
・壁面下部吹出し <パターンB><パターンD>
 <パターンG>

音圧レベル	冷房	39
	暖房	40



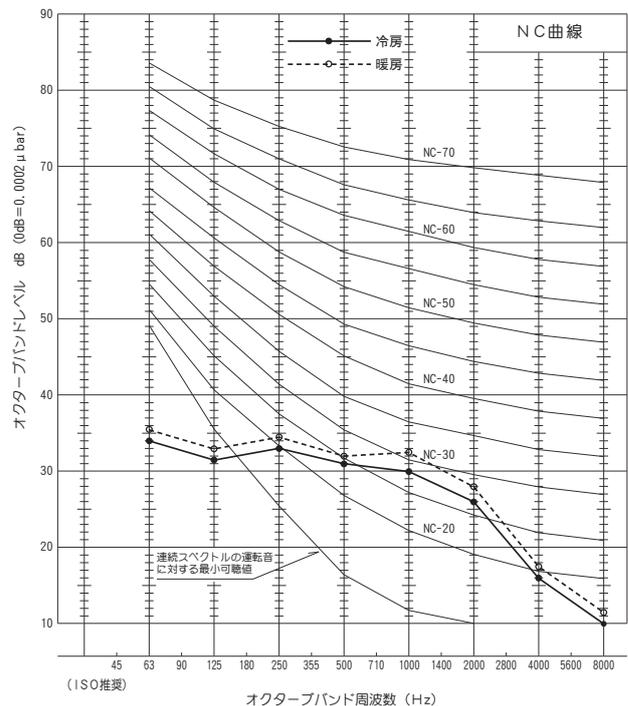
・下がり天井 <パターンH>

音圧レベル	冷房	38
	暖房	40



・天井埋め込み <パターンI><パターンJ>
 <パターンK><パターンL>

音圧レベル	冷房	34
	暖房	36



■室内機

● MBZ-3622AS

周囲温度：(冷房)室内：27℃ 室外：35℃ (暖房)室内：20℃ 室外：7℃ 測定場所：無響室
 測定方法：音響パワーレベルは JIS C 9612：2013 音圧レベルは JIS C 9612：2005
 室内ユニット：50/60Hz 強ノッチ運転

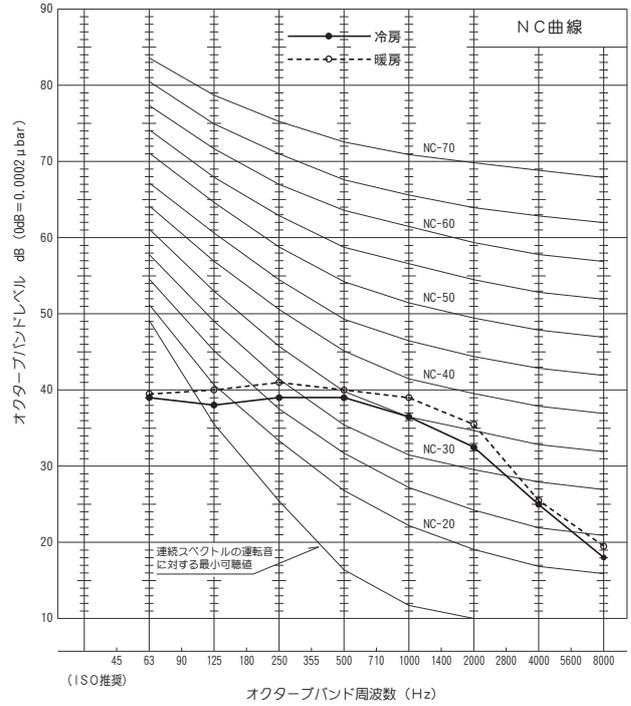
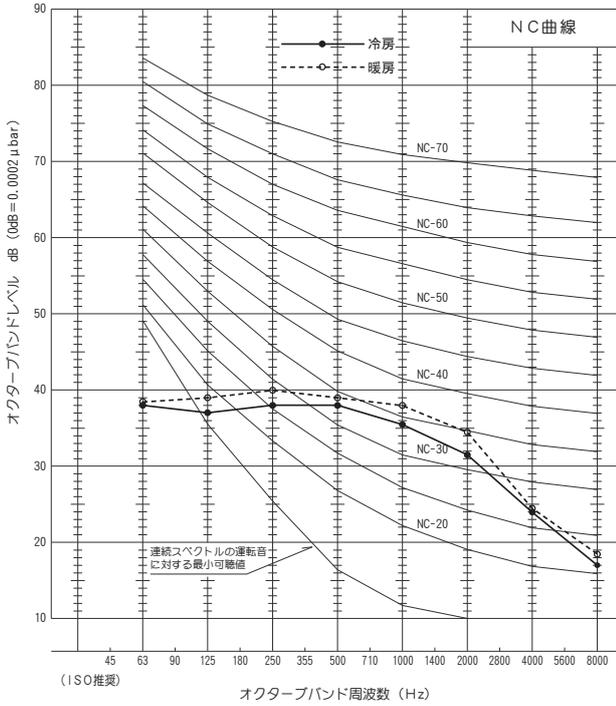
音響パワーレベル	冷房	58	暖房	59
----------	----	----	----	----

・壁面上部吹出し <パターンA><パターンC>
 <パターンE><パターンF><パターンM>

音圧レベル	冷房	40
	暖房	42

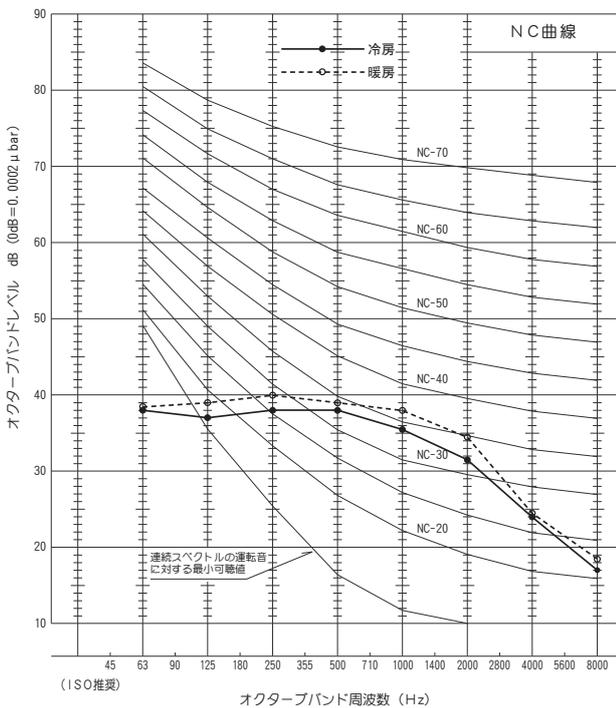
・壁面下部吹出し <パターンB><パターンD>
 <パターンG>

音圧レベル	冷房	41
	暖房	43



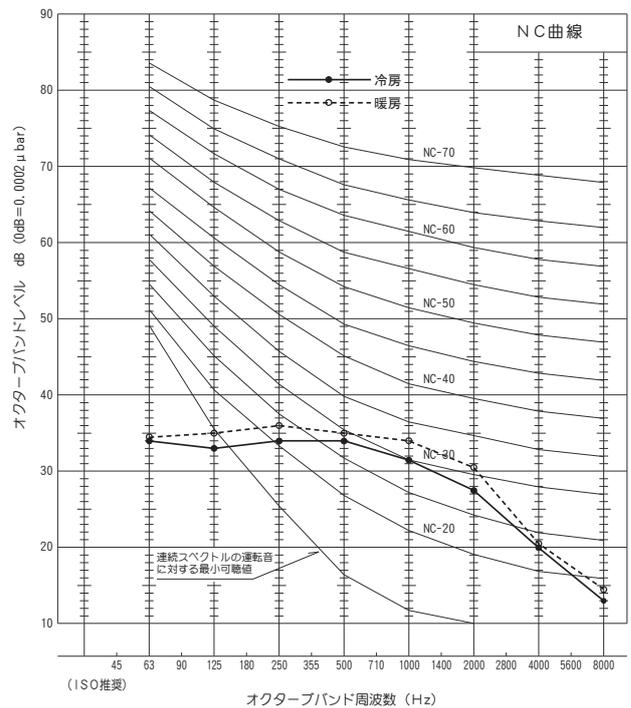
・下がり天井 <パターンH>

音圧レベル	冷房	40
	暖房	42



・天井埋め込み <パターンI><パターンJ>
 <パターンK><パターンL>

音圧レベル	冷房	36
	暖房	38



■室内機

● MBZ-4022AS

周囲温度：(冷房)室内：27℃ 室外：35℃ (暖房)室内：20℃ 室外：7℃ 測定場所：無響室
 測定方法：音響パワーレベルは JIS C 9612：2013 音圧レベルは JIS C 9612：2005
 室内ユニット：50/60Hz 強ノッチ運転

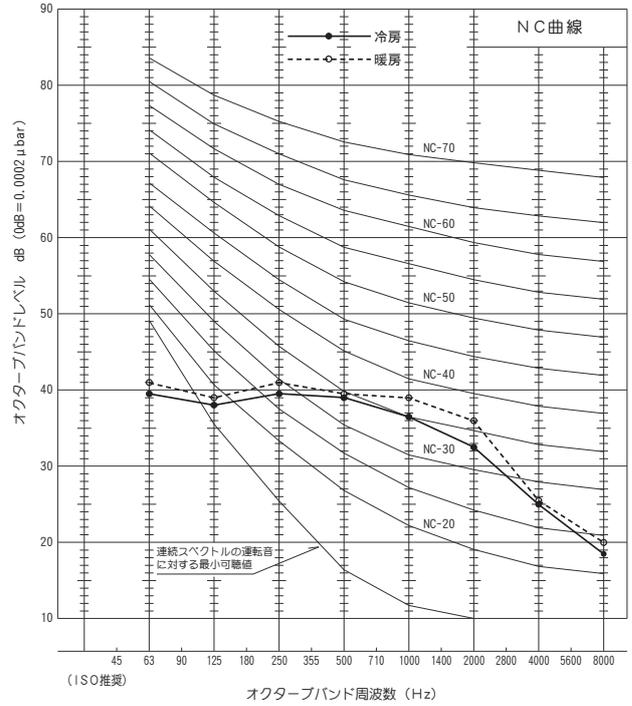
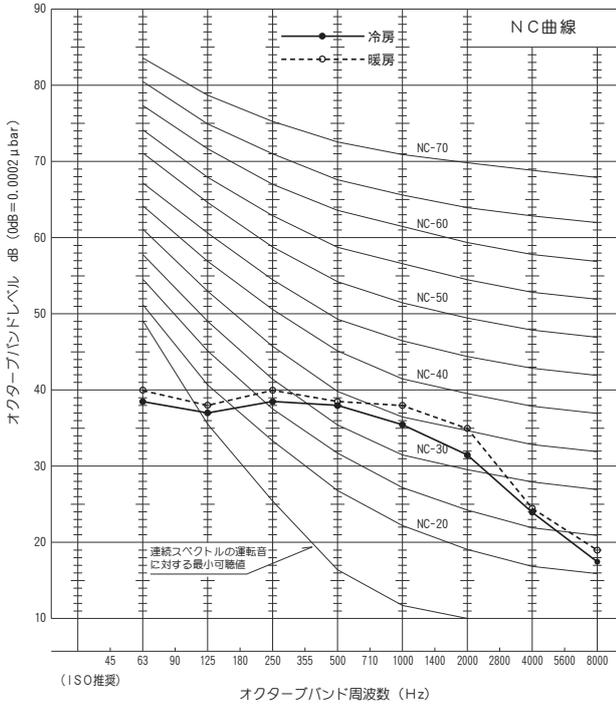
音響パワーレベル	冷房	58	暖房	60
----------	----	----	----	----

・壁面上部吹出し <パターンA><パターンC>
 <パターンE><パターンF><パターンM>

音圧レベル	冷房	40
	暖房	42

・壁面下部吹出し <パターンB><パターンD>
 <パターンG>

音圧レベル	冷房	41
	暖房	43

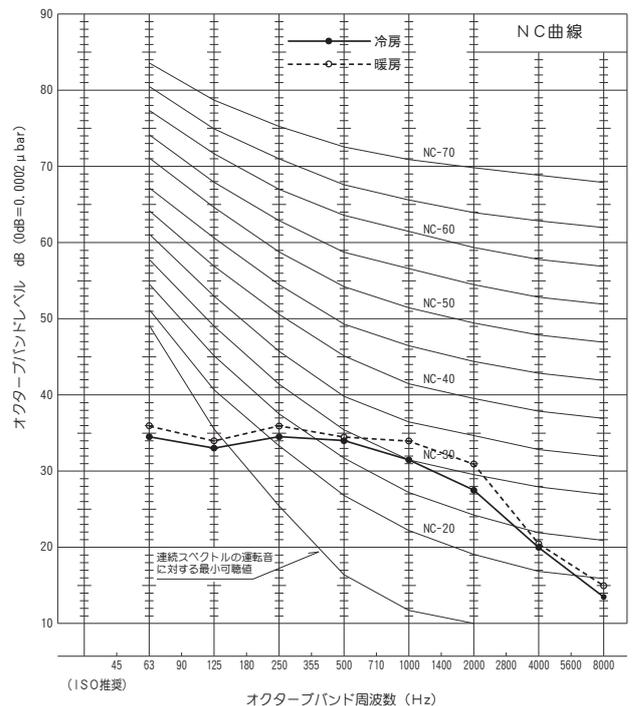
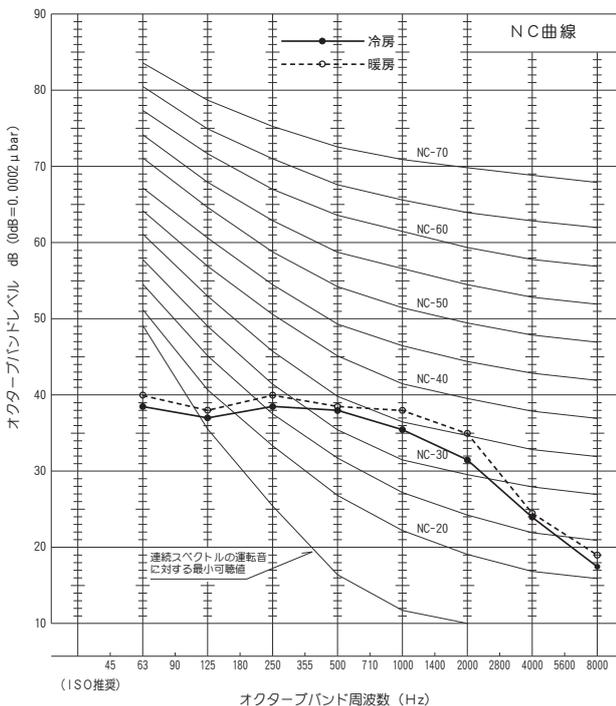


・下がり天井 <パターンH>

音圧レベル	冷房	40
	暖房	42

・天井埋め込み <パターンI><パターンJ>
 <パターンK><パターンL>

音圧レベル	冷房	36
	暖房	38



■室内機

● MBZ-5022AS

周囲温度：(冷房)室内：27℃ 室外：35℃ (暖房)室内：20℃ 室外：7℃ 測定場所：無響室
 測定方法：音響パワーレベルは JIS C 9612：2013 音圧レベルは JIS C 9612：2005
 室内ユニット：50/60Hz 強ノッチ運転

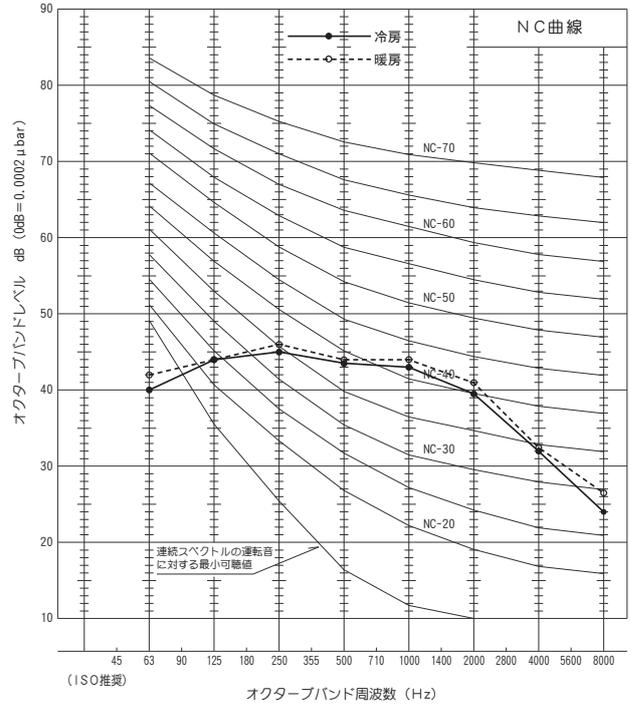
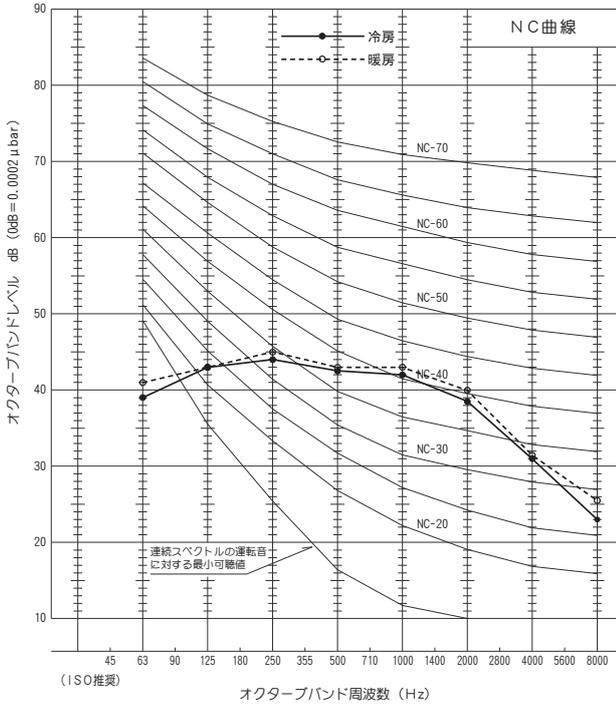
音響パワーレベル	冷房	61	暖房	62
----------	----	----	----	----

●壁面上部吹出し <パターンA><パターンC>
 <パターンE><パターンF><パターンM>

音圧レベル	冷房	43
	暖房	45

●壁面下部吹出し <パターンB><パターンD>
 <パターンG>

音圧レベル	冷房	44
	暖房	46

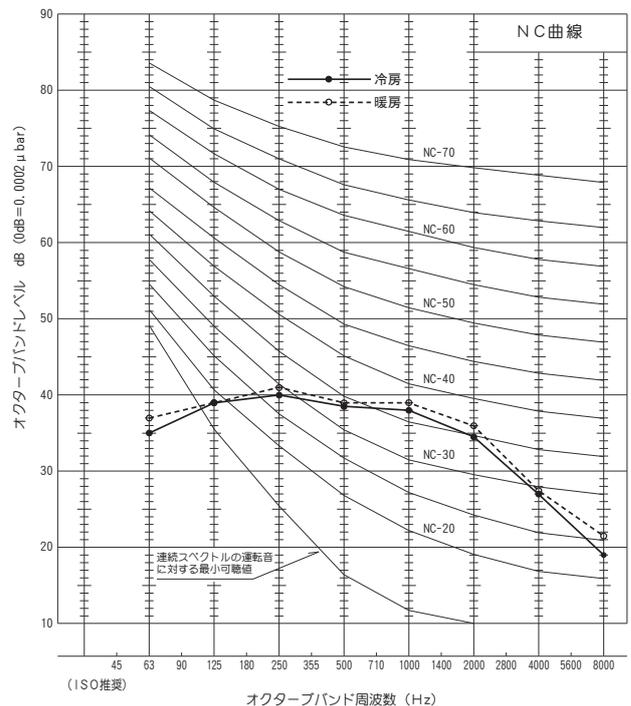
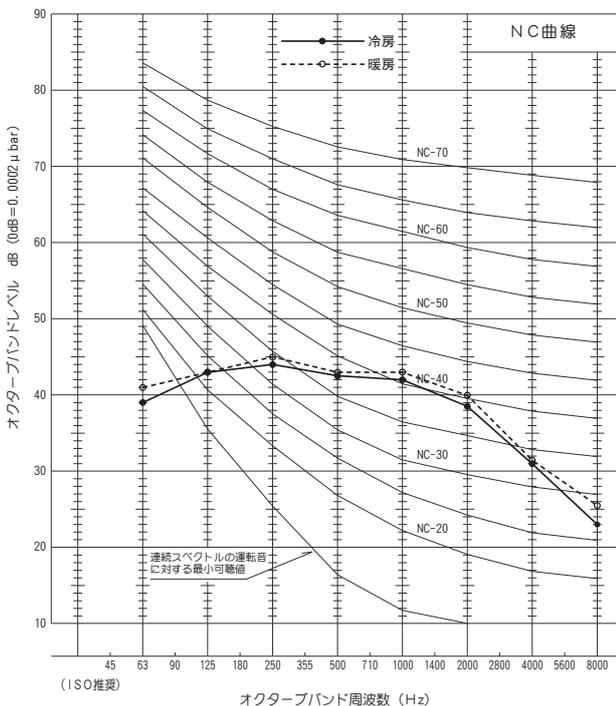


●下がり天井 <パターンH>

音圧レベル	冷房	43
	暖房	45

●天井埋め込み <パターンI><パターンJ>
 <パターンK><パターンL>

音圧レベル	冷房	39
	暖房	41

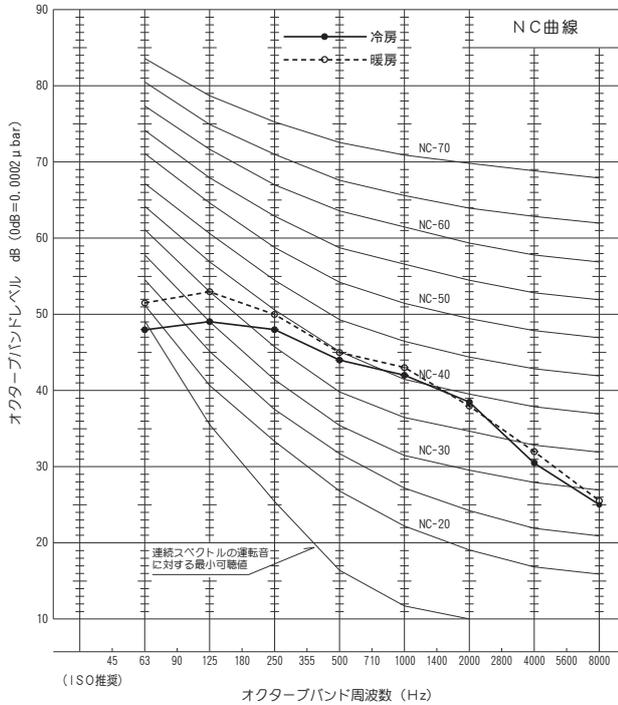


■ 室外機

〔 周囲温度：(冷房)室内：27℃ 室外：35℃ (暖房)室内：20℃ 室外：7℃ 測定場所：無響室 〕
 〔 測定方法：音響パワーレベルは JIS C 9612：2013 音圧レベルは JIS C 9612：2005 〕
 〔 室外ユニット：50/60Hz 〕

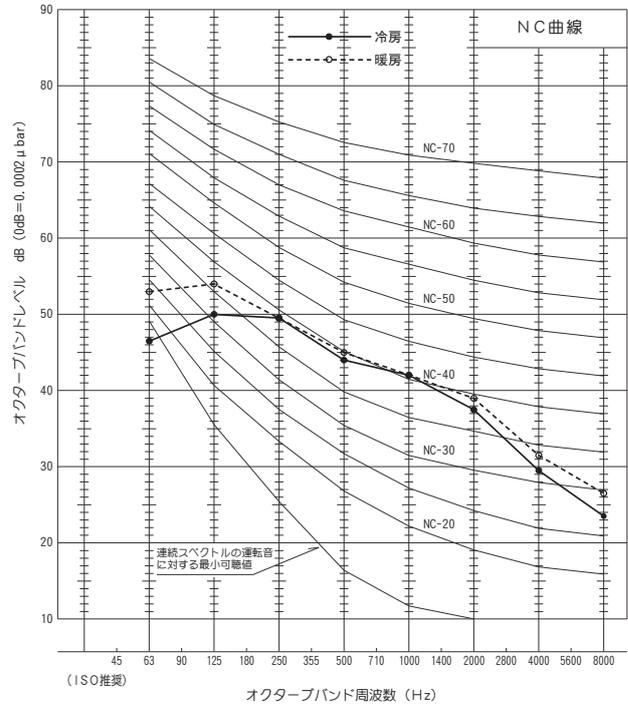
● MUBZ-2822AS

音響パワーレベル	冷房	59
	暖房	60
音圧レベル	冷房	47
	暖房	48



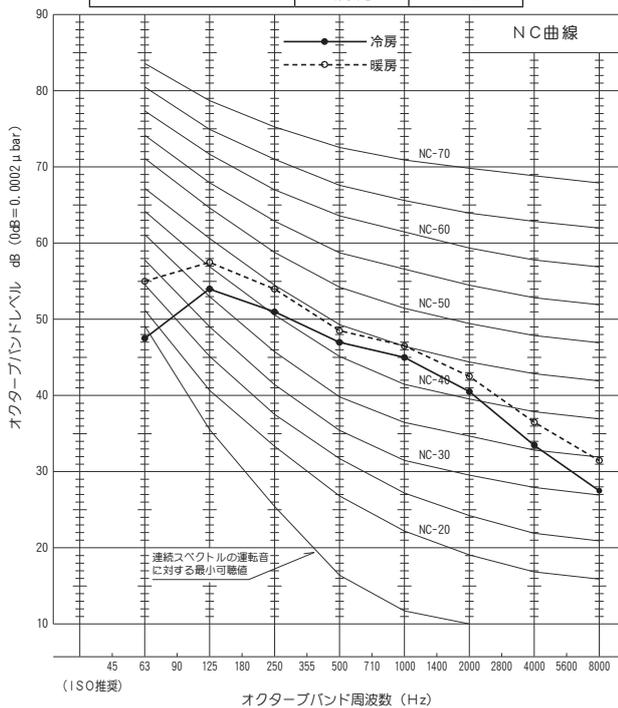
● MUBZ-3622AS

音響パワーレベル	冷房	57
	暖房	58
音圧レベル	冷房	47
	暖房	48



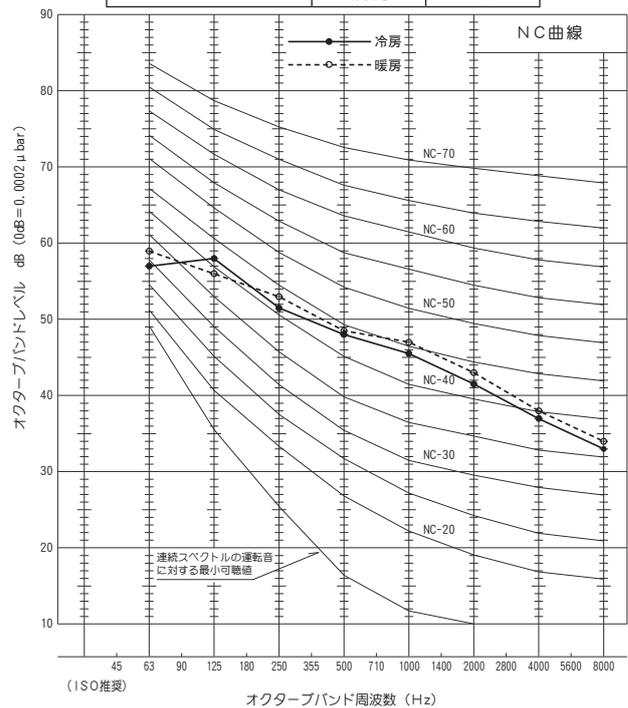
● MUBZ-4022AS

音響パワーレベル	冷房	60
	暖房	63
音圧レベル	冷房	50
	暖房	52



● MUBZ-5022AS

音響パワーレベル	冷房	62
	暖房	63
音圧レベル	冷房	52
	暖房	52



11.2 設置パターン別の能力、消費電力

設置パターンにより使用する別売部品が変わるため、風量が変わり能力・消費電力が変化します。設置パターンを決め、「11.2.1 ダクトを使用しない設置パターンの風量」もしくは「11.2.2 ダクトを使用した設置パターンの風量」からその設置パターンの風量を求め、「11.2.3 能力・消費電力補正曲線図」を使い、能力・消費電力を求めます。

11.2.1 ダクトを使用しない設置パターンの風量

形名	設置パターン	暖房風量 [m ³ /min]	冷房風量 [m ³ /min]
MBZ-2822AS	A 半間幅天吊り設置 [一面グリル]	8.4	8.4
	B 半間幅地袋置き設置 [一面グリル]	8.4	8.4
	C 半間幅天吊り設置 [分離グリル縦置き]	8.4	8.4
	D 半間幅地袋置き設置 [分離グリル縦置き]	8.4	8.4
	E 一間幅天吊り設置	8.4	8.4
	F 一間幅天袋置き設置	8.4	8.4
	G 一間幅地袋置き設置	8.4	8.4
	H 下がり天井設置	9.6	9.6
	M 下がり天井タイプ [直付レール・フィルターセット利用]	9.7	9.7
MBZ-3622AS	A 半間幅天吊り設置 [一面グリル]	9.7	9.7
	B 半間幅地袋置き設置 [一面グリル]	9.7	9.7
	C 半間幅天吊り設置 [分離グリル縦置き]	9.7	9.7
	D 半間幅地袋置き設置 [分離グリル縦置き]	9.7	9.7
	E 一間幅天吊り設置	9.7	9.7
	F 一間幅天袋置き設置	9.7	9.7
	G 一間幅地袋置き設置	9.7	9.7
	H 下がり天井設置	11.1	11.1
	M 下がり天井タイプ [直付レール・フィルターセット利用]	11.1	11.1
MBZ-4022AS	A 半間幅天吊り設置 [一面グリル]	9.7	9.7
	B 半間幅地袋置き設置 [一面グリル]	9.7	9.7
	C 半間幅天吊り設置 [分離グリル縦置き]	9.7	9.7
	D 半間幅地袋置き設置 [分離グリル縦置き]	9.7	9.7
	E 一間幅天吊り設置	9.7	9.7
	F 一間幅天袋置き設置	9.7	9.7
	G 一間幅地袋置き設置	9.7	9.7
	H 下がり天井設置	11.1	11.1
	M 下がり天井タイプ [直付レール・フィルターセット利用]	11.1	11.1
MBZ-5022AS	A 半間幅天吊り設置 [一面グリル]	10.5	10.5
	B 半間幅地袋置き設置 [一面グリル]	10.5	10.5
	C 半間幅天吊り設置 [分離グリル縦置き]	10.5	10.5
	D 半間幅地袋置き設置 [分離グリル縦置き]	10.5	10.5
	E 一間幅天吊り設置	10.5	10.5
	F 一間幅天袋置き設置	10.5	10.5
	G 一間幅地袋置き設置	10.5	10.5
	H 下がり天井設置	11.9	11.9
	M 下がり天井タイプ [直付レール・フィルターセット利用]	11.9	11.9

・当社の別売部品を使用し、各設置パターンで通常に据え付けた場合の測定値です。

・風量は風量切換えスイッチ「標準」でノッチ「強」の値です。

11.2.2 ダクトを使用した設置パターンの風量

ダクトを使用した設置パターン（パターンI、パターンJ、パターンK、パターンL）ではダクトの特性や長さにより風量が変わります。なおダクト長さの制限は吸込側、吹出側の合計が7m以下です。

[1] 風量の求め方

- (1) 当社の別売部品を使用した場合は [3] 風量・静圧特性からダクト長さに対応したノッチ「強」の風量を読み取ります。
- (2) ダクトや吹出グリル等の部材の圧力損失（機外静圧）を計算される場合は次のように計算します。

①設置パターンを決める（パターンI、パターンJ、パターンK、パターンL）



②ダクトの長さを決める ※1



③風量と部材の圧力損失（機外静圧特性）を複数風量で計算する ※2



④計算結果を [3] 風量・静圧特性グラフにプロットし、室内機静圧グラフのノッチ「強」との交点の風量を求める

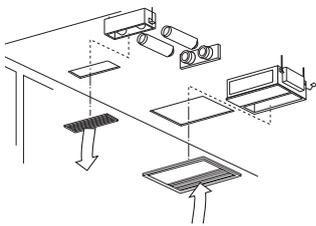
※1：ダクト長さは、最長7mです。

パターンK、パターンLは吸込側ダクトは1m以下、吹出側ダクトは吸込側も含めて7m以下です。

※2：当社別売部品の風量・圧力損失特性は [2] 部材の風量・圧力損失特性を参照ください。

< [3] 風量・静圧特性グラフの読み方 >

①<パターンI> 天埋設置下吸込パネルタイプ [1方向吹出・キャンバスダクトなし] (74ページ参照)

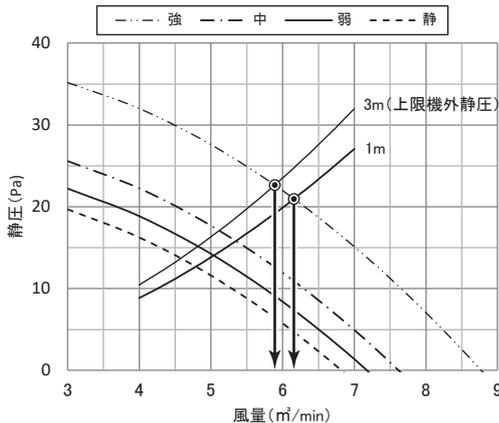


風量静圧特性条件

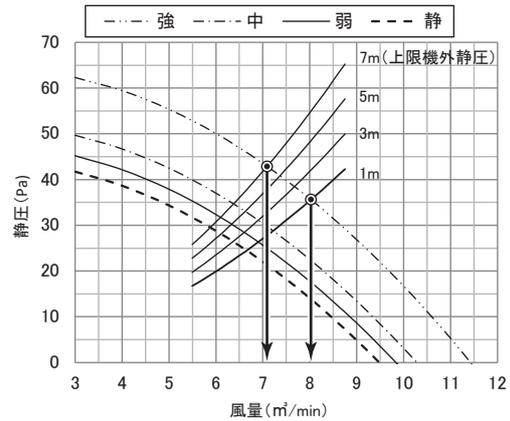
室内機風量切換スイッチ		標準	風量UP			
室内機静圧	下吸込パネル	MAC-530UP	MAC-530UP			
	ダクト吹出チャンバー	MAC-514FC	MAC-514FC			
機外静圧	吹出ダクトφ150	1m×2本 3m×2本	1m×2本	3m×2本	5m×2本	7m×2本
	ダクト曲げ	90°曲げ1ヶ所×2本				
	ダクト大吹出グリル	MAC-517FB、MAC-518FG/519FG				

(注) 本パターンでは下記上限機外静圧以下でご使用ください。

● MBZ-2822AS <冷房時> 風量切換スイッチ「標準」



● MBZ-2822AS <冷房時> 風量切換スイッチ「風量UP」



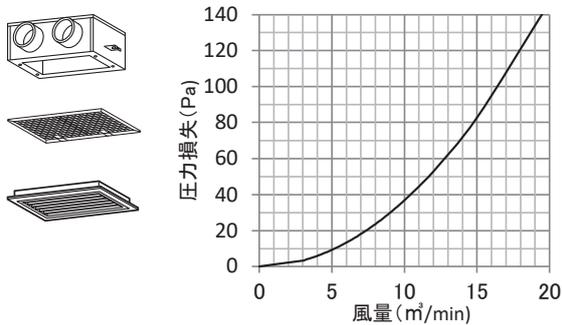
- 左のグラフが風量切換スイッチ「標準」、右のグラフが風量切換スイッチ「風量UP」のグラフです。
- 右下がりのグラフ線が風量「強」「中」「弱」「静」の室内機静圧特性で、右上の表の風量静圧特性条件の下吸込パネルとダクト吹出チャンバーは装着し測定した結果です。
- 右上がりのグラフ線が機外静圧特性で、右上の表の風量静圧特性条件のダクト、ダクト曲げとダクト大吹出グリルを装着し測定した結果です。
- 室内機静圧と機外静圧グラフ線の交点の風量が該当する形名と設置パターンの風量です。
- 能力・消費電力を計算するときには「強」の風量を読み取ります。
- ダクト仕様等をご自身で計算される場合は、機外静圧特性を複数ポイント計算し、上記グラフにプロットし、室内機静圧特性（右下がりのグラフ）の「強」との交点の風量を読み取ります。

[2] 部材の風量・圧力損失特性

風路に使用される各部材の風量・圧力損失特性です。[3] 風量・静圧特性 はこれから計算しました。

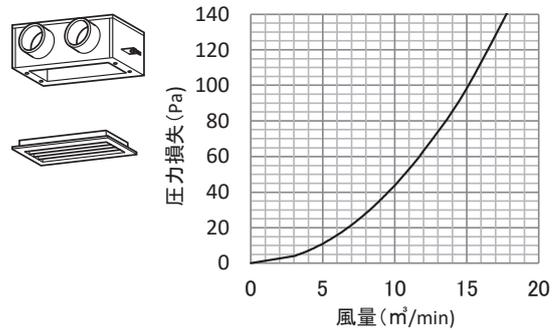
- ダクト吸込ボックス(MAC-510SB)+
ダクト吸込グリル(MAC-511SG/512SG)

図1



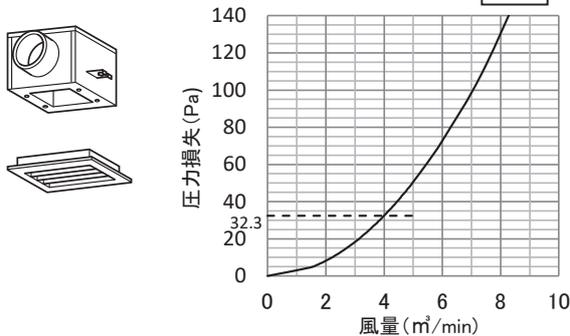
- ダクト大吹出ボックス(MAC-517FB)+
ダクト大吹出グリル(MAC-518FG/519FG)

図2



- ダクト小吹出ボックス(MAC-520FB)+
ダクト小吹出グリル(MAC-521FG/522FG)

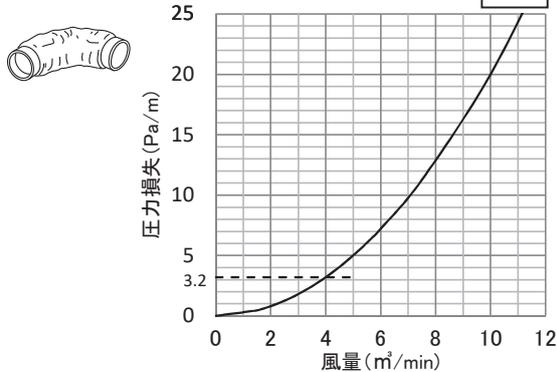
図3



- フレキシブルダクト (φ150 1m)(MAC-515FD)

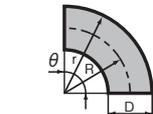
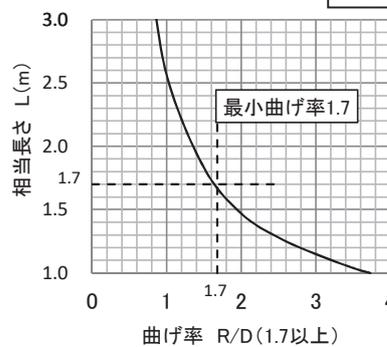
<直管部の圧力損失>

図4



<90° 曲り部の直管相当長さ>

図5

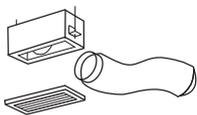


θ° 曲げの直管相当長さ
図5の90° の
場合のLに対し

$$L \times \frac{\theta}{90}$$

最小曲げ半径
 $R = D \times \text{最小曲げ率}$
 $R = 150 \times 1.7 = 255(\text{mm})$

■ 圧力損失の計算例



左図のような接続の圧力損失を求める。
ダクトはφ150mm、全長7m、ダクトの途中にR=255mmの45° 曲げが2ヶ所ある。
ダクト小吹出ボックス(MAC-520FB)、ダクト小吹出グリル(MAC-521FG)が接続してある。
風量は4m³/minとする。

(1) ダクトの圧力損失

- ① 曲げ部の直管相当長さを求める。
45° 曲げの曲げ率 $R/D = 255/150 = 1.7$
図5より、90° 曲げでは相当長さ $L = 1.7(\text{m})$ が求められる。
45° 曲げの相当長さは1ヶ所あたり
 $1.7 \times 45/90 = 0.85(\text{m})$
45° 曲げでは曲げ部の実長は1ヶ所あたり
 $2\pi R \times 45/360 = 2\pi \times 0.255 \times 45/360 \approx 0.20(\text{m})$
45° 曲げ部の直管相当長は1ヶ所あたり
 $0.85 - 0.20 = 0.65(\text{m})$
- ② 長さ7m、45° 曲げ2ヶ所のダクトの直管相当長さを求める。
 $7 + 0.65 \times 2 = 8.3(\text{m})$

- ③ 図4より風量4m³/minの場合の1m当たりの
圧力損失は3.2(Pa/m)

- ④ 長さ7m 45° 曲げ2ヶ所のダクトの圧力損失は
直管相当長さが②から8.3mだから
 $3.2(\text{Pa/m}) \times 8.3(\text{m}) \approx 26.6(\text{Pa})$

- (2) 図3よりダクト小吹出ボックス+ダクト小吹出グリルの
圧力損失は風量4m³/minの場合 32.3(Pa)

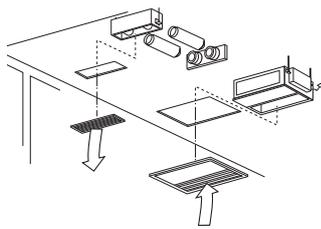
- (3) ダクトとダクト小吹出ボックス(小吹出グリル)の
圧力損失の合計を求める。
 $26.6 + 32.3 = 58.9(\text{Pa})$

圧力損失は58.9Pa

[3] 風量・静圧特性

設置パターンによる室内機の風量・静圧特性は次です。能力・消費電力を計算するときは「強」の風量を読みます。

①<パターンI> 天埋設置下吸込パネルタイプ [1方向吹出・キャンバスダクトなし] (74 ページ参照)

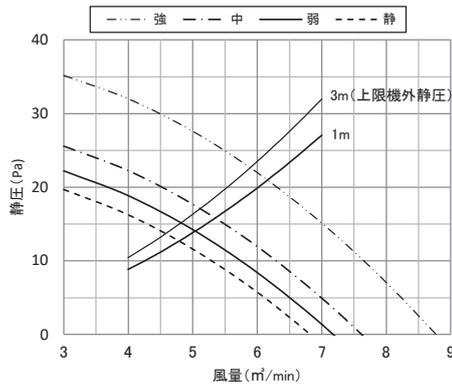


風量静圧特性条件

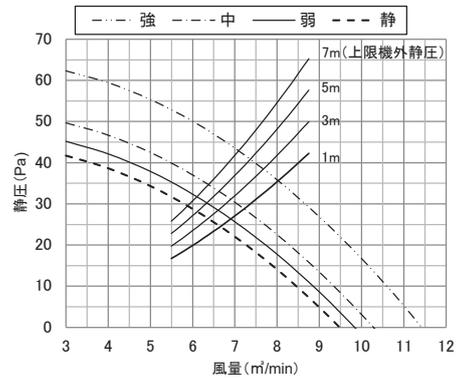
室内機風量切換スイッチ		標準		風量UP			
室内機 静圧	下吸込パネル	MAC-530UP		MAC-530UP			
	ダクト吹出チャンバー	MAC-514FC		MAC-514FC			
機外静圧	吹出ダクトφ150	1m×2本	3m×2本	1m×2本	3m×2本	5m×2本	7m×2本
	ダクト曲げ	90°曲げ1ヶ所×2本					
	ダクト大吹出グリル	MAC-517FB、MAC-518FG/519FG					

(注) 本パターンでは下記上限機外静圧以下でご使用ください。

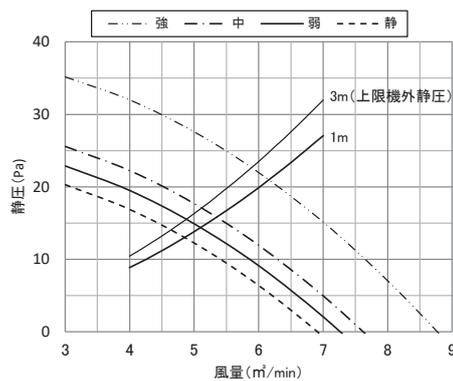
● MBZ-2822AS <冷房時> 風量切換スイッチ「標準」



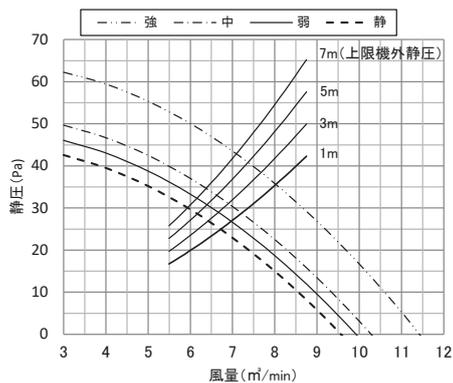
● MBZ-2822AS <冷房時> 風量切換スイッチ「風量UP」



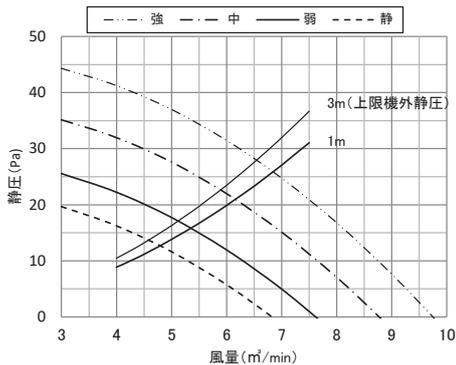
● MBZ-2822AS <暖房時> 風量切換スイッチ「標準」



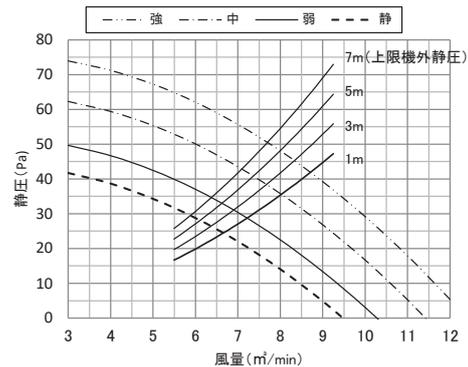
● MBZ-2822AS <暖房時> 風量切換スイッチ「風量UP」



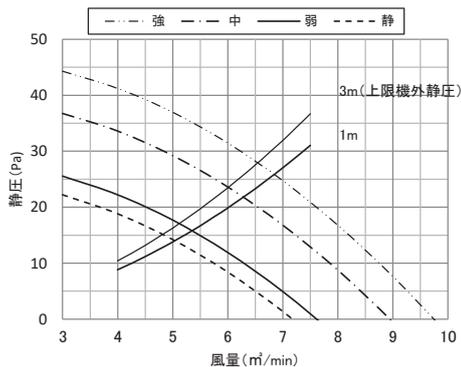
● MBZ-3622AS <冷房時> 風量切換スイッチ「標準」



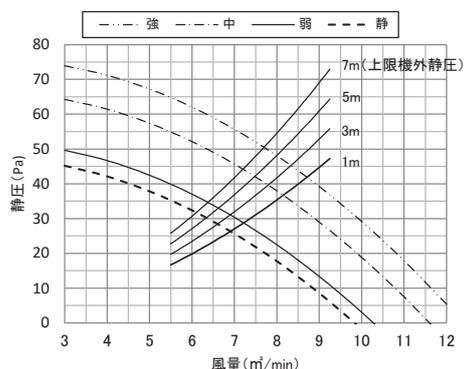
● MBZ-3622AS <冷房時> 風量切換スイッチ「風量UP」



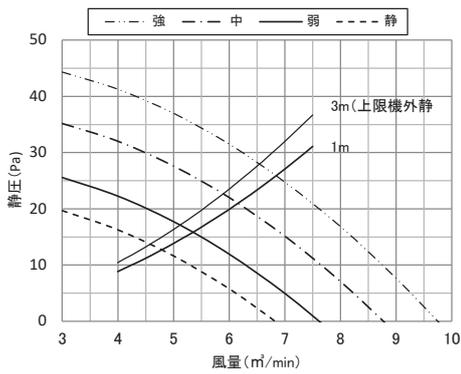
● MBZ-3622AS <暖房時> 風量切換スイッチ「標準」



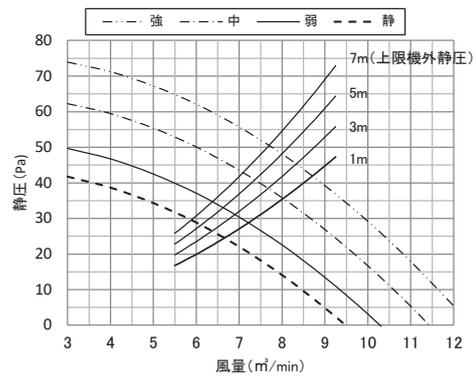
● MBZ-3622AS <暖房時> 風量切換スイッチ「風量UP」



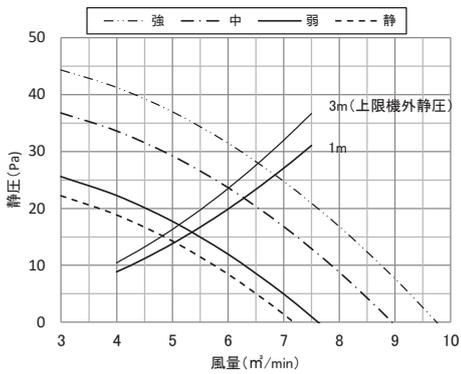
● MBZ-4022AS <冷房時> 風量切換スイッチ「標準」



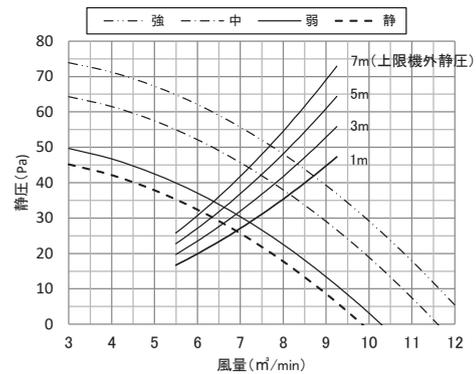
● MBZ-4022AS <冷房時> 風量切換スイッチ「風量UP」



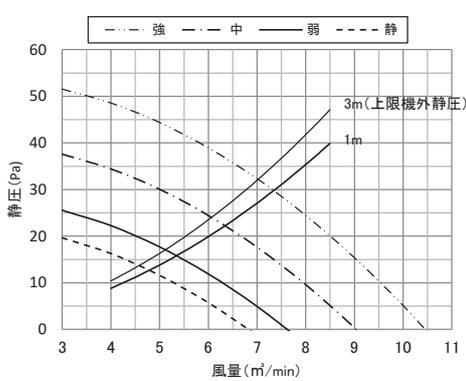
● MBZ-4022AS <暖房時> 風量切換スイッチ「標準」



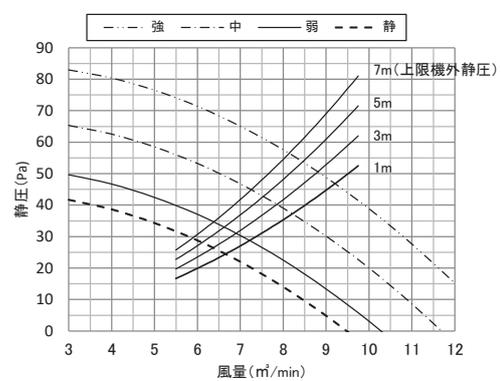
● MBZ-4022AS <暖房時> 風量切換スイッチ「風量UP」



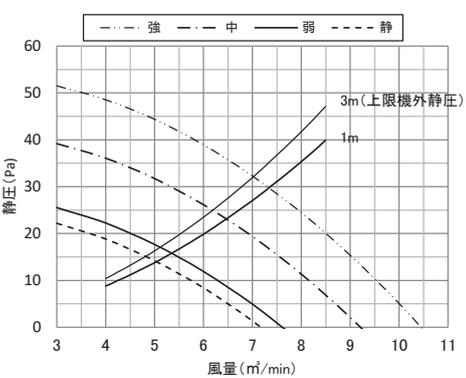
● MBZ-5022AS <冷房時> 風量切換スイッチ「標準」



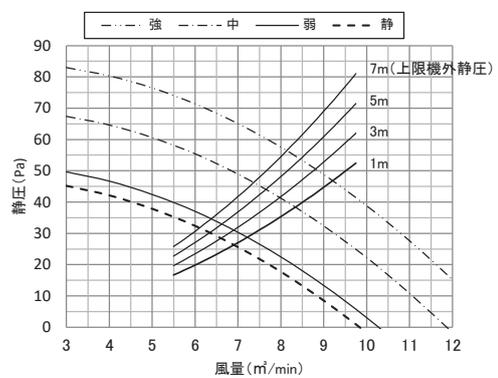
● MBZ-5022AS <冷房時> 風量切換スイッチ「風量UP」



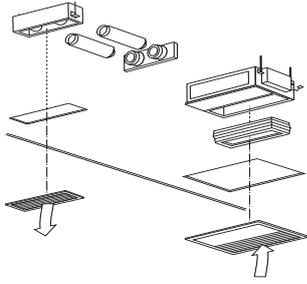
● MBZ-5022AS <暖房時> 風量切換スイッチ「標準」



● MBZ-5022AS <暖房時> 風量切換スイッチ「風量UP」



②<パターンI> 天埋設置下吸込パネルタイプ [1方向吹出・キャンバスダクトあり] (78 ページ参照)

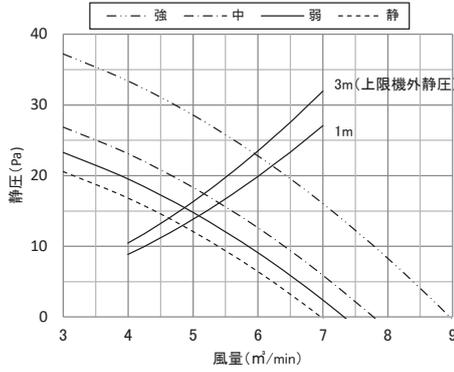


風量静圧特性条件

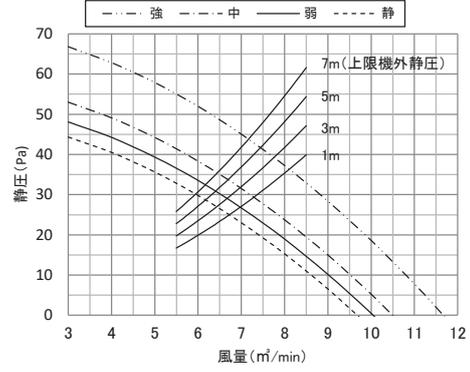
室内機風量切換スイッチ		標準		風量UP				
室内機 静圧	キャンバスダクト	MAC-508CD		MAC-508CD				
	下吸込パネル	MAC-530UP		MAC-530UP				
	ダクト吹出チャンパー	MAC-514FC		MAC-514FC				
機外静圧	吹出ダクトφ150	1m×2本	3m×2本	1m×2本	3m×2本	5m×2本	7m×2本	
	ダクト曲げ	90°曲げ1ヶ所×2本						
	ダクト大吹出グリル	MAC-517FB、MAC-518FG/519FG						

(注) 本パターンでは下記上限機外静圧以下でご使用ください。

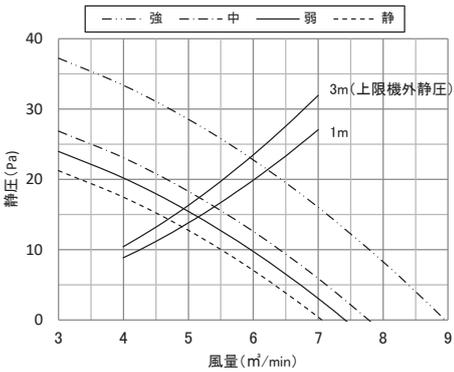
● MBZ-2822AS <冷房時> 風量切換スイッチ「標準」



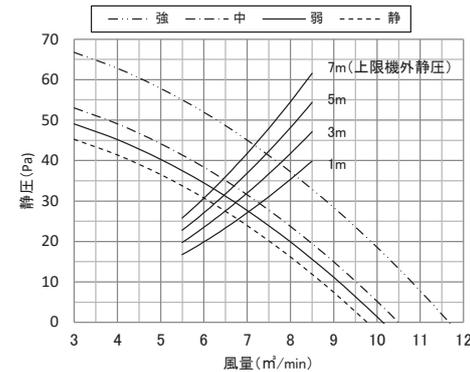
● MBZ-2822AS <冷房時> 風量切換スイッチ「風量UP」



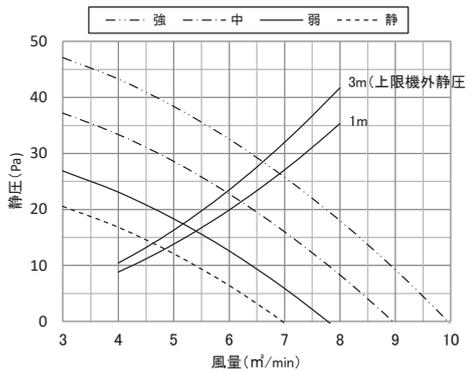
● MBZ-2822AS <暖房時> 風量切換スイッチ「標準」



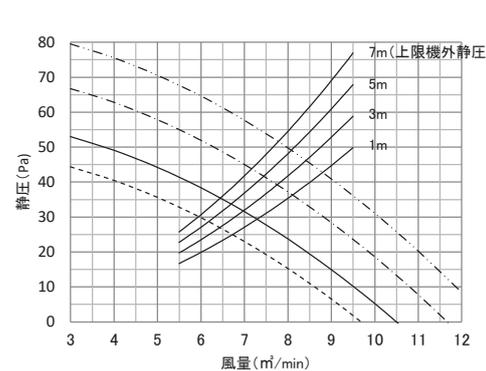
● MBZ-2822AS <暖房時> 風量切換スイッチ「風量UP」



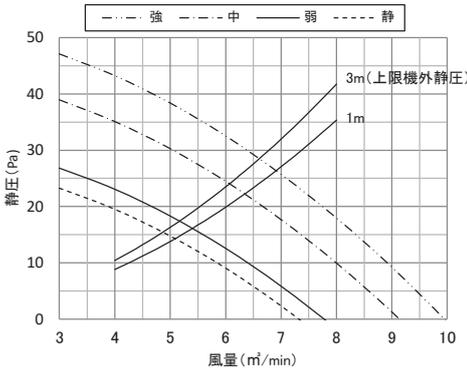
● MBZ-3622AS <冷房時> 風量切換スイッチ「標準」



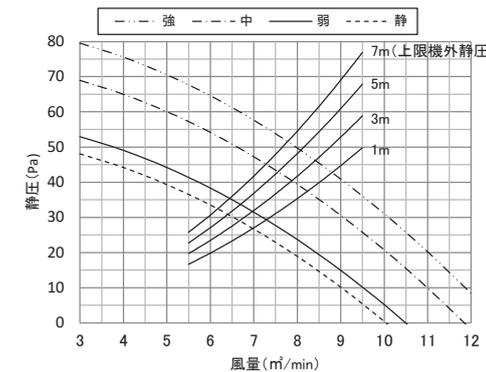
● MBZ-3622AS <冷房時> 風量切換スイッチ「風量UP」



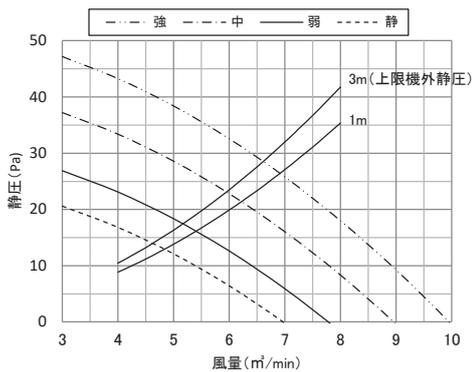
● MBZ-3622AS <暖房時> 風量切換スイッチ「標準」



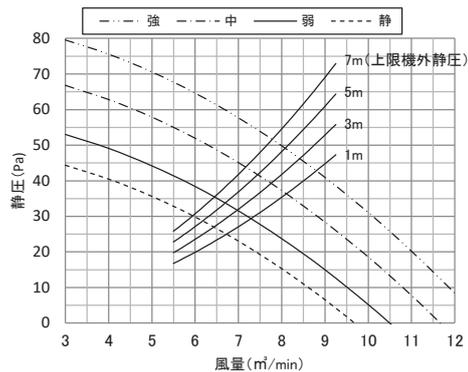
● MBZ-3622AS <暖房時> 風量切換スイッチ「風量UP」



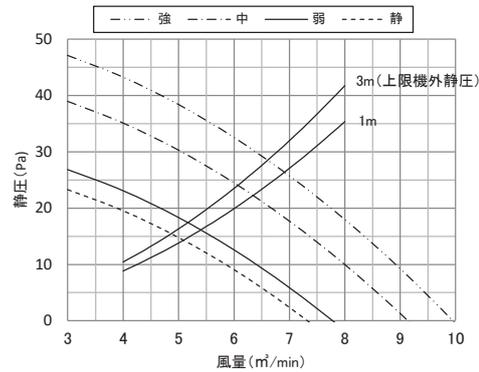
● MBZ-4022AS <冷房時> 風量切換スイッチ「標準」



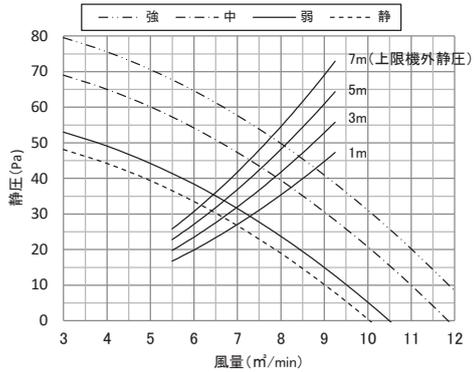
● MBZ-4022AS<冷房時> 風量切換スイッチ「風量UP」



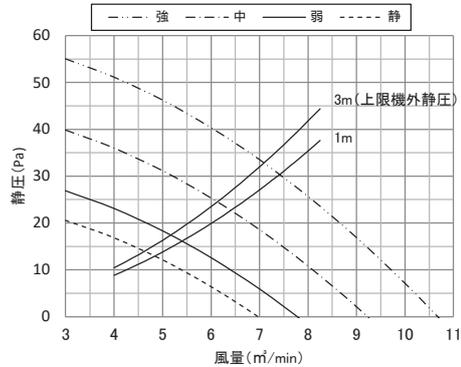
● MBZ-4022AS <暖房時> 風量切換スイッチ「標準」



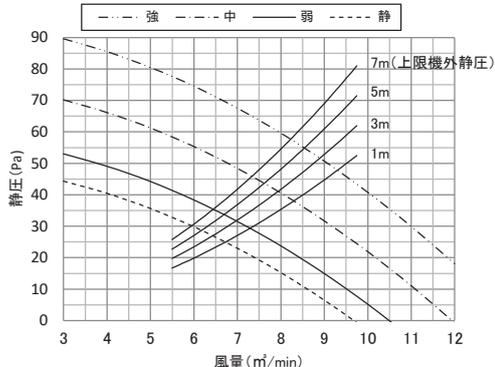
● MBZ-4022AS<暖房時> 風量切換スイッチ「風量UP」



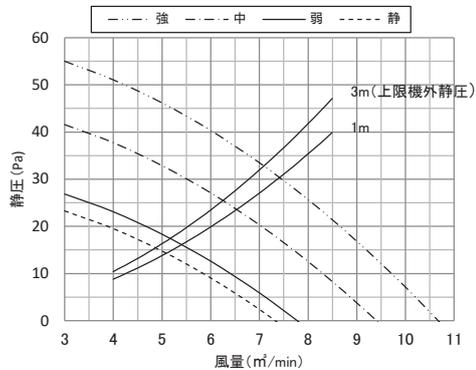
● MBZ-5022AS <冷房時> 風量切換スイッチ「標準」



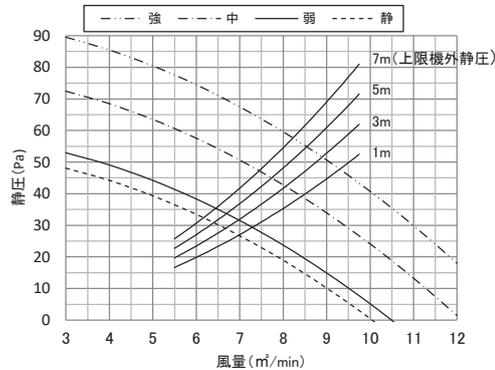
● MBZ-5022AS <冷房時> 風量切換スイッチ「風量UP」



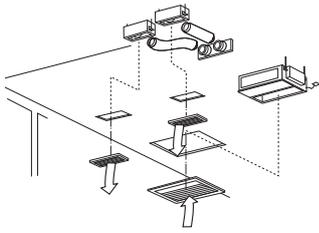
● MBZ-5022AS <暖房時> 風量切換スイッチ「標準」



● MBZ-5022AS <暖房時> 風量切換スイッチ「風量UP」



③<パターンJ> 天埋設置下吸込パネルタイプ [2方向吹出・キャンバスダクトなし] (83 ページ参照)

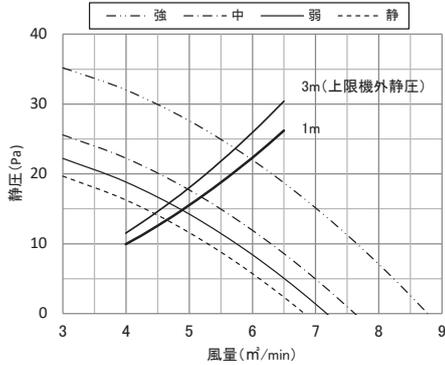


風量静圧特性条件

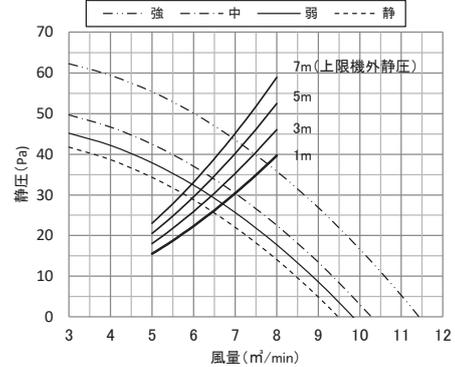
室内機風量切換スイッチ		標準		風量UP			
室内機 静圧	下吸込パネル	MAC-530UP		MAC-530UP			
	ダクト吹出チャンパー	MAC-514FC		MAC-514FC			
機外静圧	吹出ダクトφ150	1m×2本	3m×2本	1m×2本	3m×2本	5m×2本	7m×2本
	ダクト曲げ	90°曲げ1ヶ所×2本					
	ダクト小吹出ボックスグリル	MAC-520FB、MAC-521FG/522FG					

(注) 本パターンでは下記上限機外静圧以下でご使用ください。

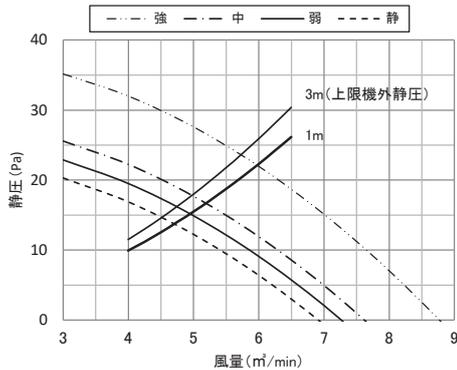
● MBZ-2822AS <冷房時> 風量切換スイッチ「標準」



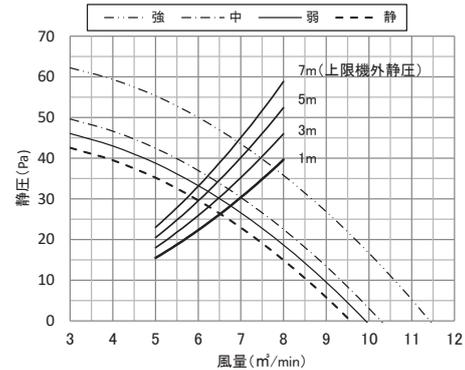
● MBZ-2822AS <冷房時> 風量切換スイッチ「風量UP」



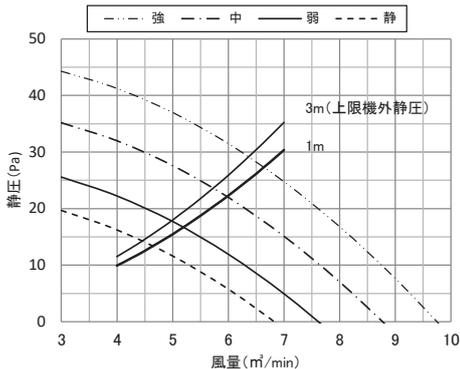
● MBZ-2822AS <暖房時> 風量切換スイッチ「標準」



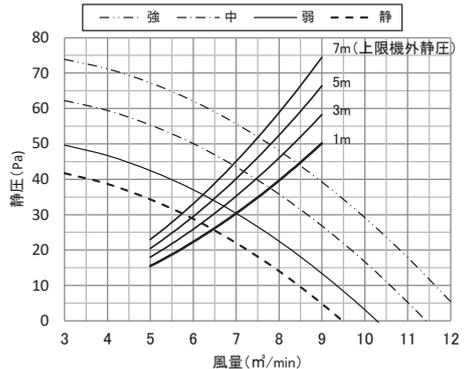
● MBZ-2822AS <暖房時> 風量切換スイッチ「風量UP」



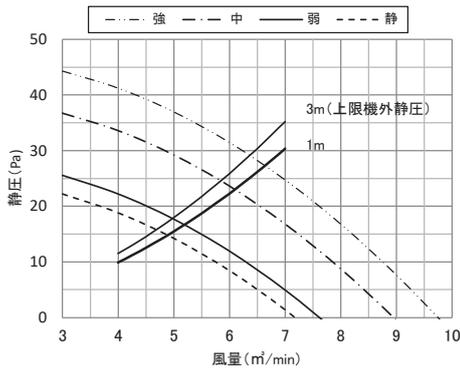
● MBZ-3622AS <冷房時> 風量切換スイッチ「標準」



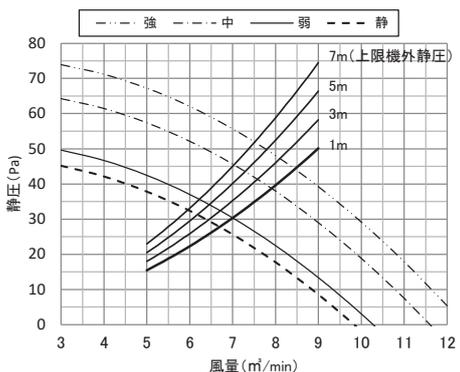
● MBZ-3622AS <冷房時> 風量切換スイッチ「風量UP」



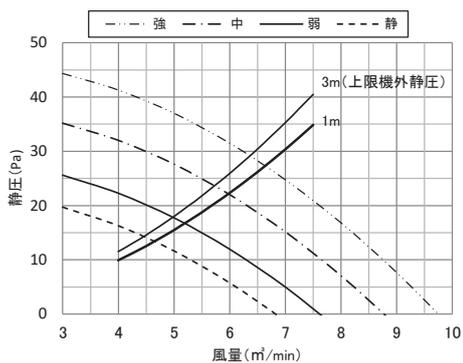
● MBZ-3622AS <暖房時> 風量切換スイッチ「標準」



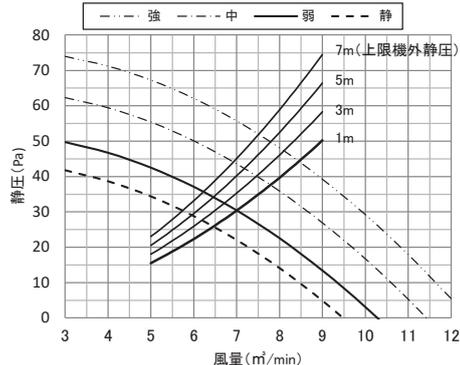
● MBZ-3622AS <暖房時> 風量切換スイッチ「風量UP」



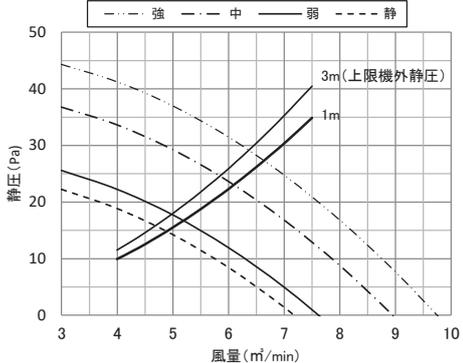
● MBZ-4022AS <冷房時> 風量切換スイッチ「標準」



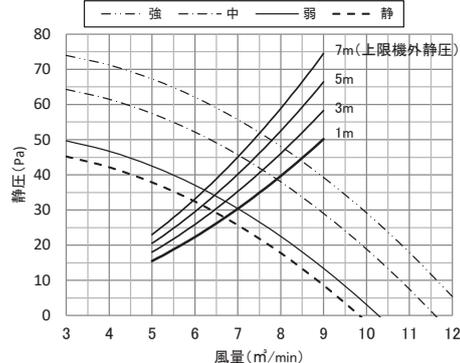
● MBZ-4022AS <冷房時> 風量切換スイッチ「風量UP」



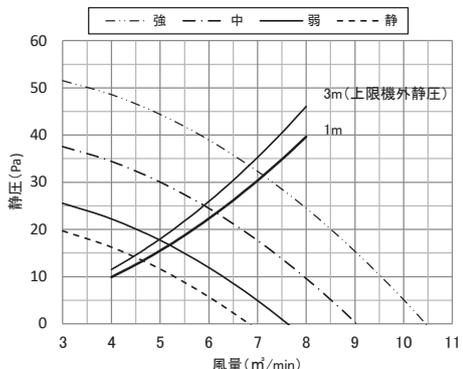
● MBZ-4022AS <暖房時> 風量切換スイッチ「標準」



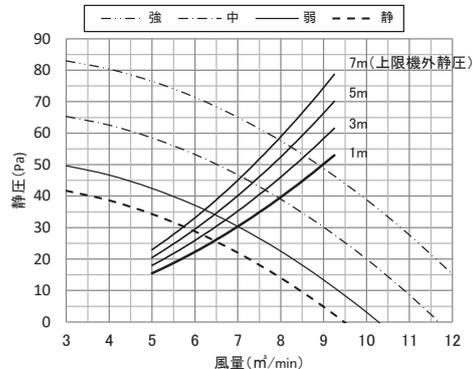
● MBZ-4022AS <暖房時> 風量切換スイッチ「風量UP」



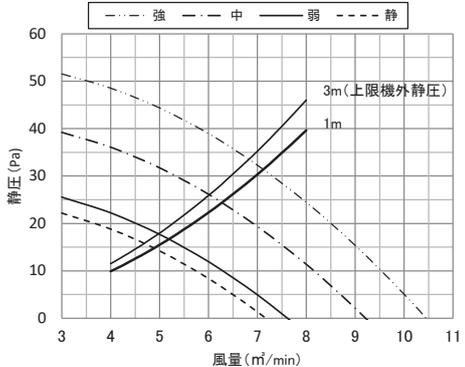
● MBZ-5022AS <冷房時> 風量切換スイッチ「標準」



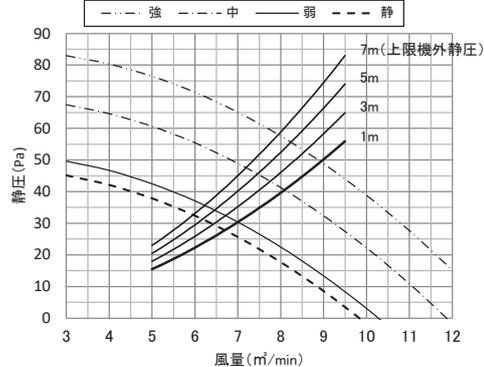
● MBZ-5022AS <冷房時> 風量切換スイッチ「風量UP」



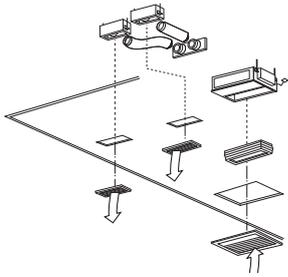
● MBZ-5022AS <暖房時> 風量切換スイッチ「標準」



● MBZ-5022AS <暖房時> 風量切換スイッチ「風量UP」



④<パターンJ> 天埋設置下吸込パネルタイプ [2方向吹出・キャンバスダクトあり] (87 ページ参照)

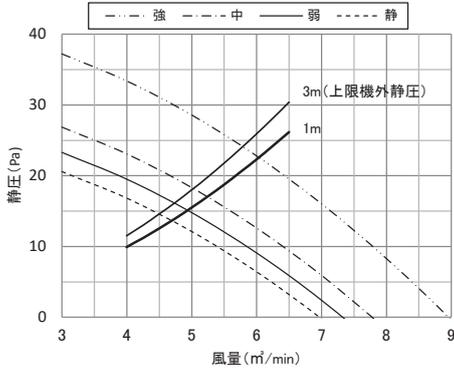


風量静圧特性条件

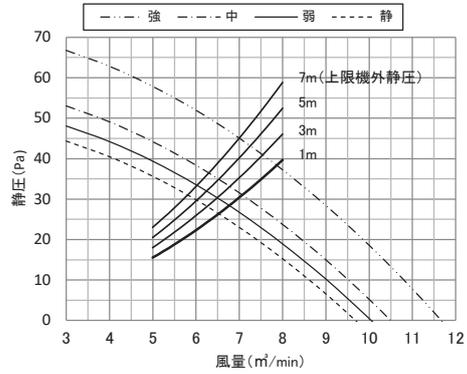
室内機風量切換スイッチ		標準		風量UP			
室内機 静圧	キャンバスダクト	MAC-508CD		MAC-508CD			
	下吸込パネル	MAC-530UP		MAC-530UP			
	ダクト吹出チャンバー	MAC-514FC		MAC-514FC			
機外静圧	吹出ダクトφ150	1m×2本	3m×2本	1m×2本	3m×2本	5m×2本	7m×2本
	ダクト曲げ	90°曲げ1ヶ所×2本					
	ダクト小吹出ボックスグリル	MAC-520FB、MAC-521FG/522FG					

(注) 本パターンでは下記上限機外静圧以下でご使用ください。

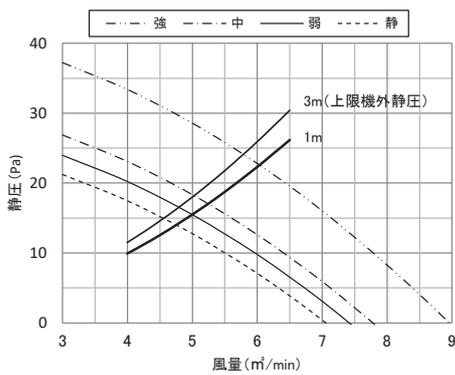
● MBZ-2822AS <冷房時> 風量切換スイッチ「標準」



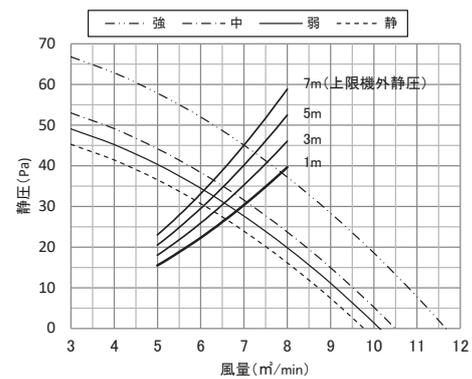
● MBZ-2822AS <冷房時> 風量切換スイッチ「風量UP」



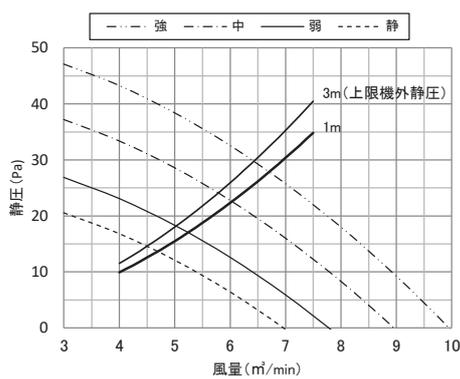
● MBZ-2822AS <暖房時> 風量切換スイッチ「標準」



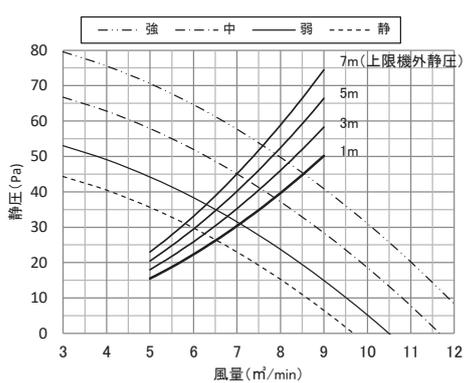
● MBZ-2822AS <暖房時> 風量切換スイッチ「風量UP」



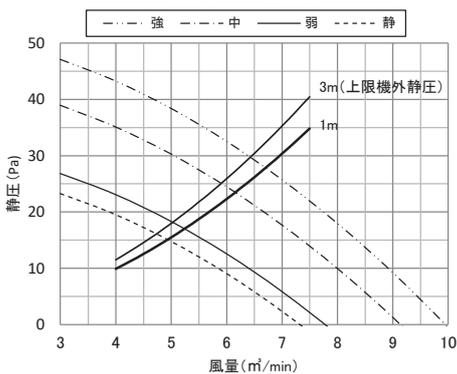
● MBZ-3622AS <冷房時> 風量切換スイッチ「標準」



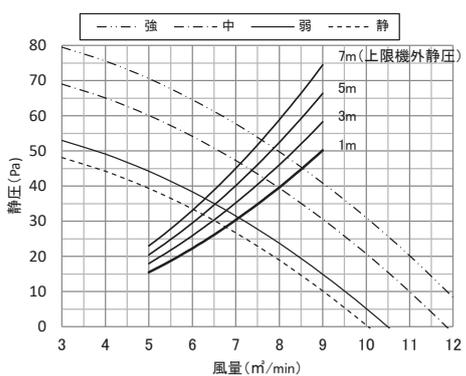
● MBZ-3622AS <冷房時> 風量切換スイッチ「風量UP」



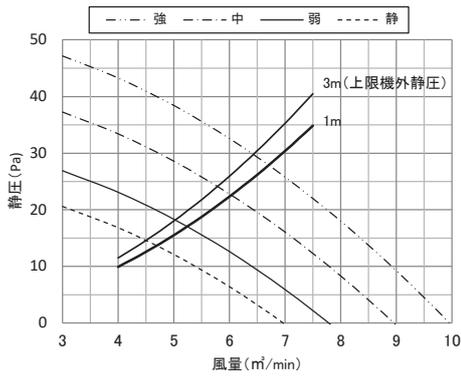
● MBZ-3622AS <暖房時> 風量切換スイッチ「標準」



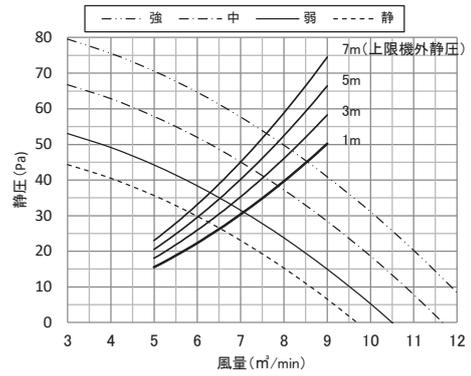
● MBZ-3622AS <暖房時> 風量切換スイッチ「風量UP」



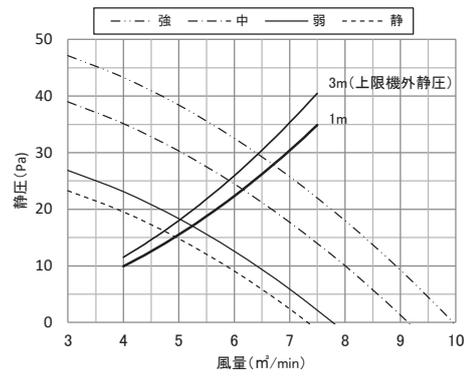
● MBZ-4022AS <冷房時> 風量切換スイッチ「標準」



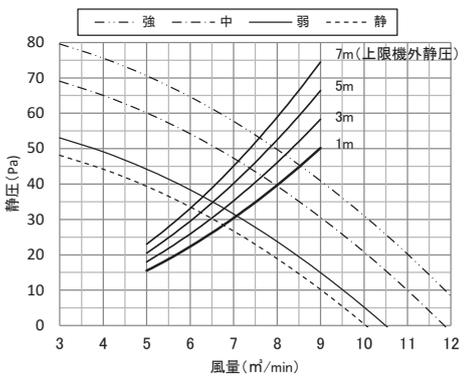
● MBZ-4022AS <冷房時> 風量切換スイッチ「風量UP」



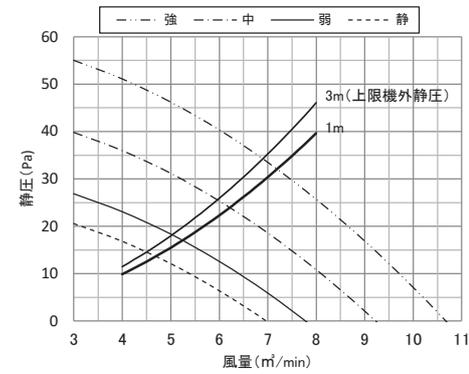
● MBZ-4022AS <暖房時> 風量切換スイッチ「標準」



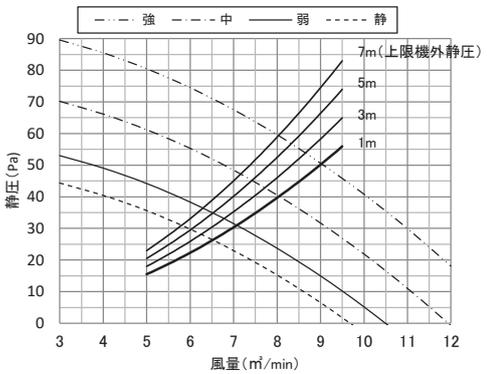
● MBZ-4022AS <暖房時> 風量切換スイッチ「風量UP」



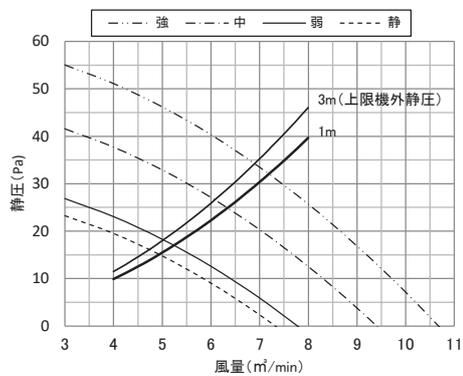
● MBZ-5022AS <冷房時> 風量切換スイッチ「標準」



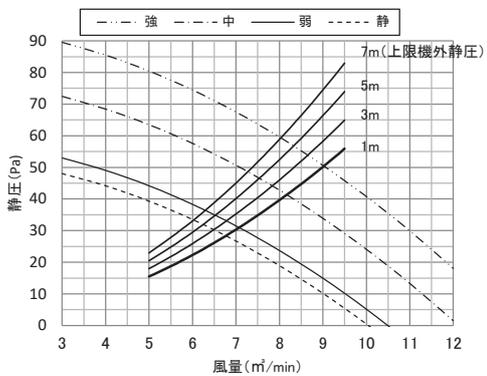
● MBZ-5022AS <冷房時> 風量切換スイッチ「風量UP」



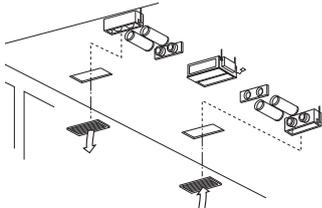
● MBZ-5022AS <暖房時> 風量切換スイッチ「標準」



● MBZ-5022AS <暖房時> 風量切換スイッチ「風量UP」



⑤<パターンK> 天埋設置吸吹両ダクトタイプ [1方向吹出] (99ページ参照)

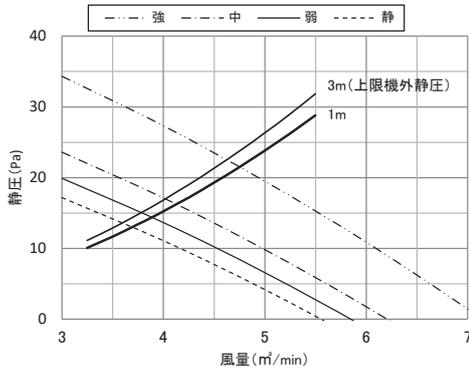


風量静圧特性条件

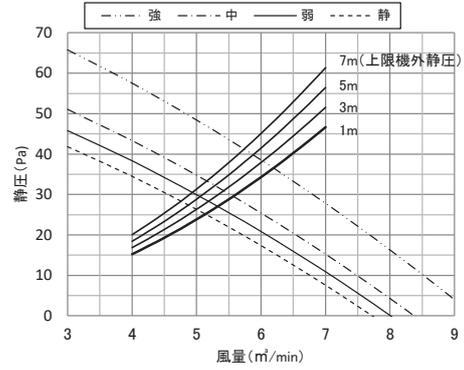
室内機風量切換スイッチ		標準	風量UP			
室内機静圧	ダクト吸込 / 吹出チャンバー	MAC-509SC/514FC	MAC-509SC/514FC			
機外静圧	ダクト吸込グリル	MAC-511SG/512SG	MAC-511SG/512SG			
	ダクト吸込ボックス	MAC-510SB	MAC-510SB			
	吸込ダクトφ150	長さ0.5m 長さ1m	長さ0.5m	長さ1m		
		45°曲げ1ヶ所×2本	45°曲げ1ヶ所×2本			
	吹出ダクトφ150	0.5m×2本 2m×2本	0.5m×2本	2m×2本	4m×2本	6m×2本
	90°曲げ1ヶ所×2本	90°曲げ1ヶ所×2本				
	ダクト大吹出グリル	MAC-517FB、MAC-518FG/519FG				

(注)本パターンでは下記上限機外静圧以下でご使用ください。グラフのダクト長は吸込と吹出の合計です。

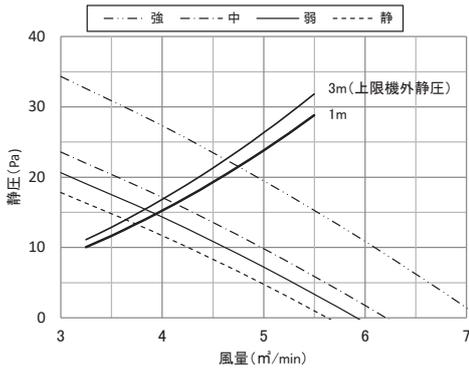
●MBZ-2822AS <冷房時> 風量切換スイッチ「標準」



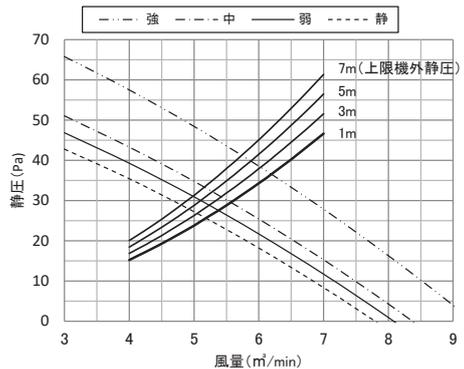
●MBZ-2822AS <冷房時> 風量切換スイッチ「風量UP」



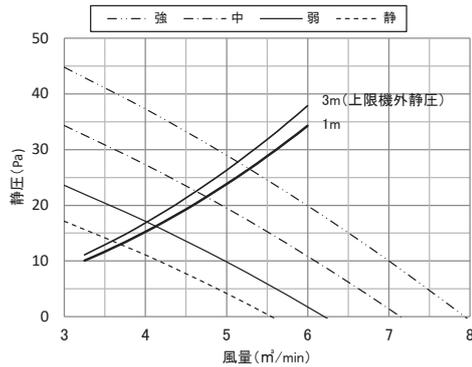
●MBZ-2822AS <暖房時> 風量切換スイッチ「標準」



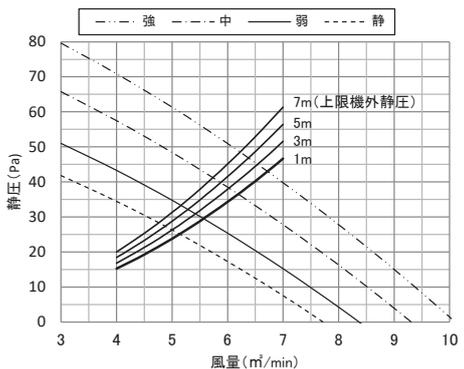
●MBZ-2822AS <暖房時> 風量切換スイッチ「風量UP」



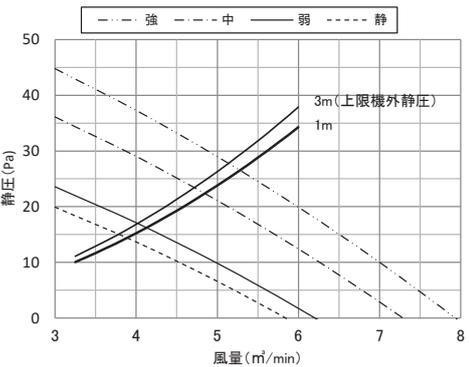
●MBZ-3622AS <冷房時> 風量切換スイッチ「標準」



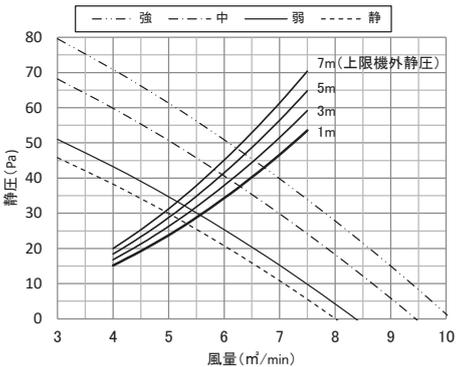
●MBZ-3622AS <冷房時> 風量切換スイッチ「風量UP」



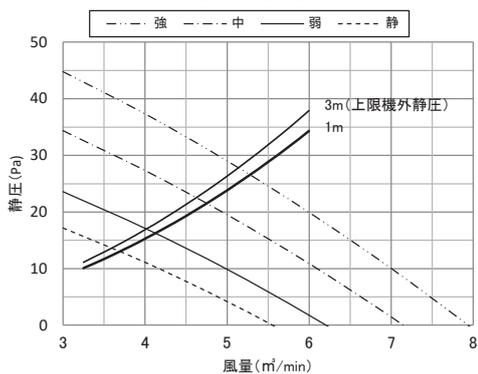
●MBZ-3622AS <暖房時> 風量切換スイッチ「標準」



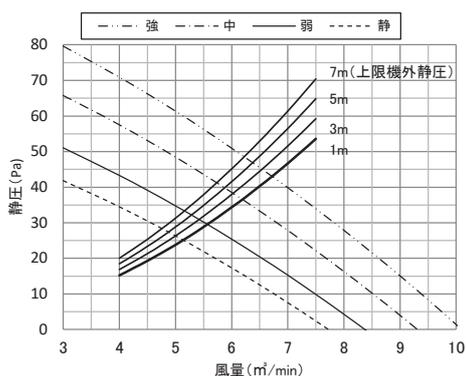
●MBZ-3622AS <暖房時> 風量切換スイッチ「風量UP」



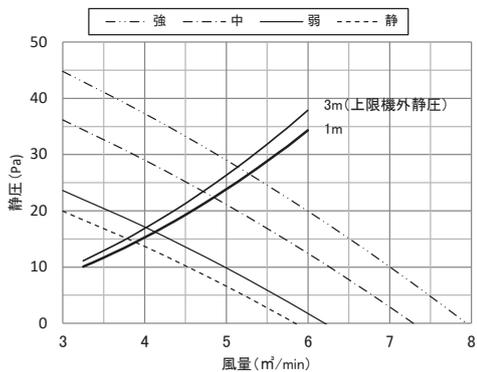
● MBZ-4022AS <冷房時> 風量切換スイッチ「標準」



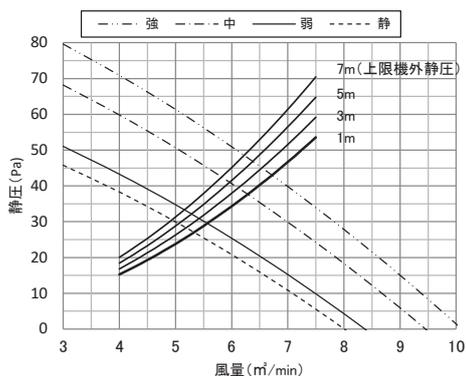
● MBZ-4022AS <冷房時> 風量切換スイッチ「風量UP」



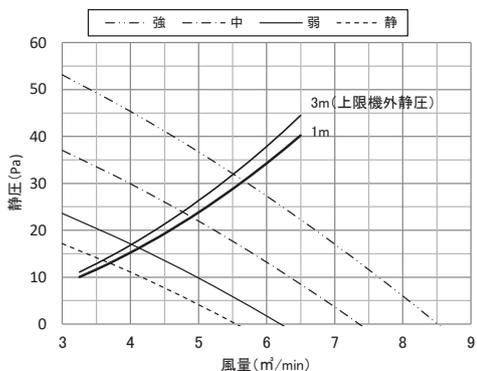
● MBZ-4022AS <暖房時> 風量切換スイッチ「標準」



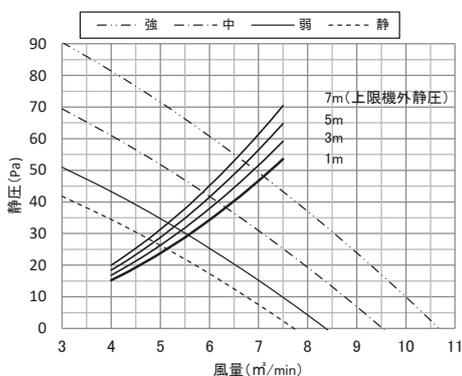
● MBZ-4022AS <暖房時> 風量切換スイッチ「風量UP」



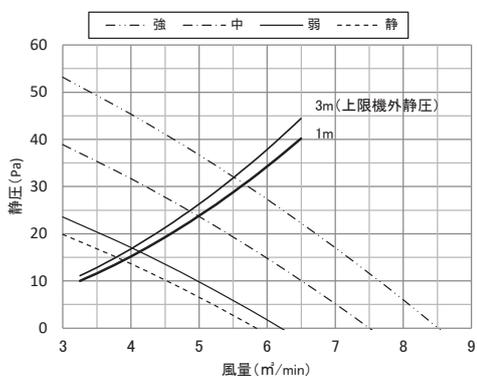
● MBZ-5022AS <冷房時> 風量切換スイッチ「標準」



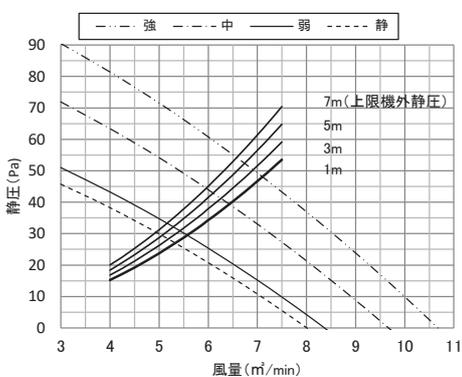
● MBZ-5022AS <冷房時> 風量切換スイッチ「風量UP」



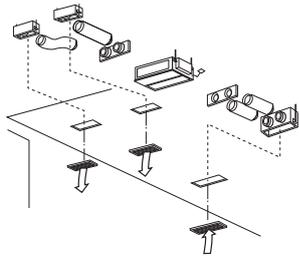
● MBZ-5022AS <暖房時> 風量切換スイッチ「標準」



● MBZ-5022AS <暖房時> 風量切換スイッチ「風量UP」



⑥<パターンL> 天埋設置吸吹両ダクトタイプ [2方向吹出] (105 ページ参照)

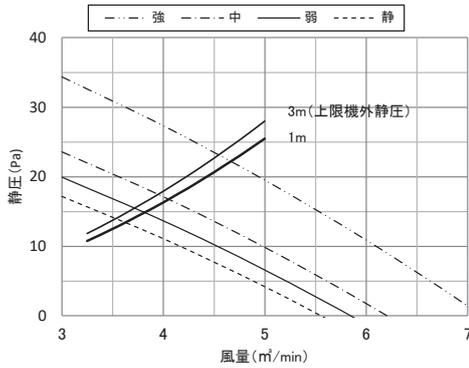


風量静圧特性条件

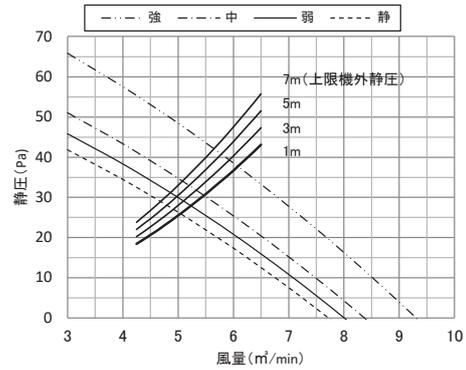
		標準	風量UP			
室内機 静圧	ダクト吸込 / 吹出チャンバー	MAC-509SC/514FC	MAC-509SC/514FC			
	ダクト吸込グリル	MAC-511SG/512SG	MAC-511SG/512SG			
機外静圧	ダクト吸込ボックス	MAC-510SB	MAC-510SB			
	吸込ダクトφ150	長さ0.5m	長さ1m	長さ0.5m	長さ1m	
		45°曲げ1ヶ所×2本		45°曲げ1ヶ所×2本		
	吹出ダクトφ150	0.5m×2本	2m×2本	0.5m×2本	4m×2本	6m×2本
		90°曲げ1ヶ所×2本		90°曲げ1ヶ所×2本		
ダクト小吹出ボックスグリル	MAC-520FB、MAC-521FG/522FG					

(注)本パターンでは下記上限機外静圧以下でご使用ください。グラフのダクト長は吸込と吹出の合計です。

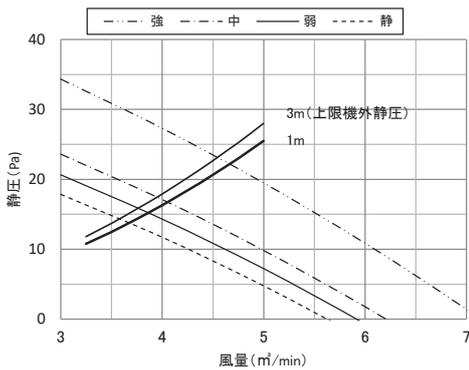
●MBZ-2822AS <冷房時> 風量切換スイッチ「標準」



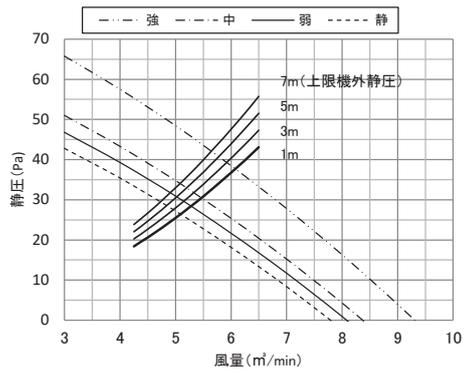
●MBZ-2822AS <冷房時> 風量切換スイッチ「風量UP」



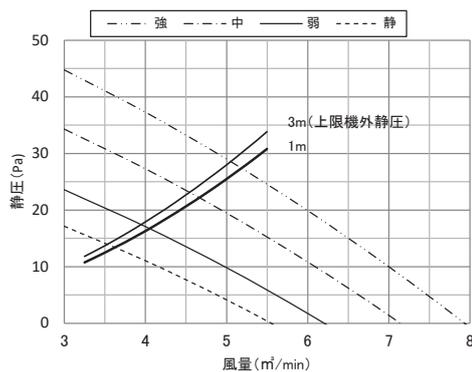
●MBZ-2822AS <暖房時> 風量切換スイッチ「標準」



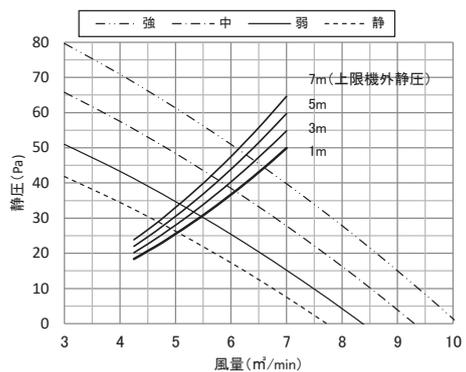
●MBZ-2822AS <暖房時> 風量切換スイッチ「風量UP」



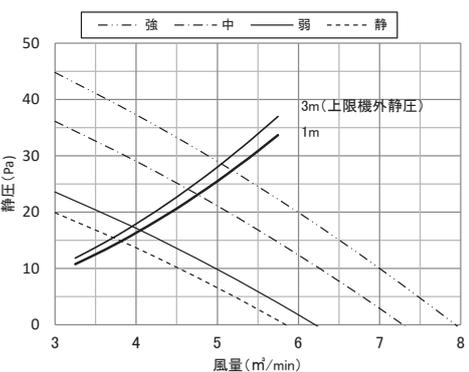
●MBZ-3622AS <冷房時> 風量切換スイッチ「標準」



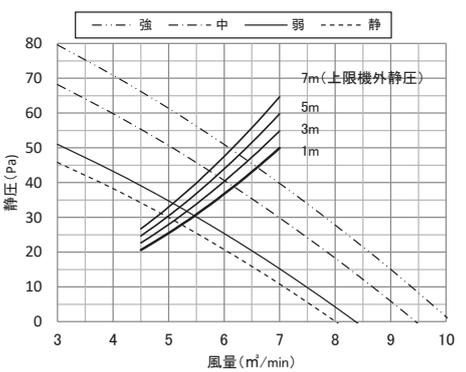
●MBZ-3622AS <冷房時> 風量切換スイッチ「風量UP」



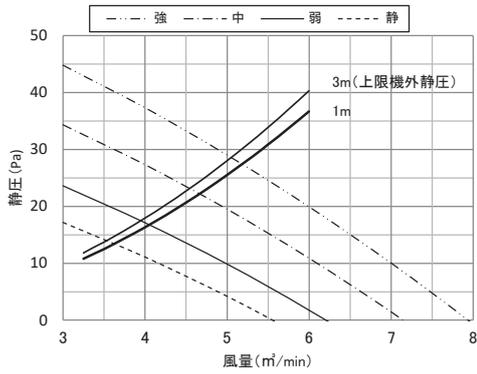
●MBZ-3622AS <暖房時> 風量切換スイッチ「標準」



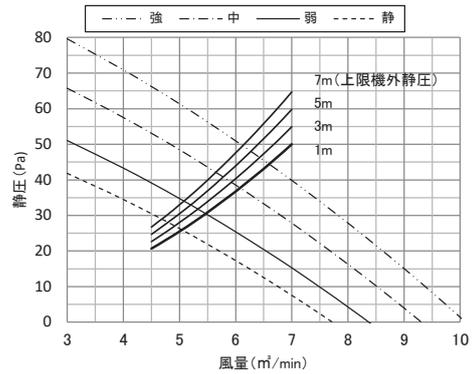
●MBZ-3622AS <暖房時> 風量切換スイッチ「風量UP」



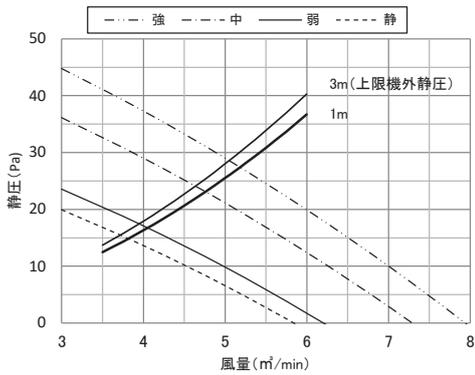
● MBZ-4022AS <冷房時> 風量切換スイッチ「標準」



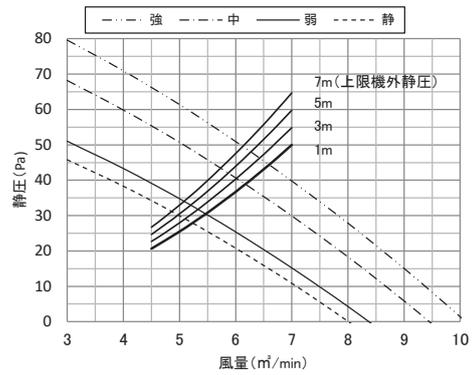
● MBZ-4022AS <冷房時> 風量切換スイッチ「風量UP」



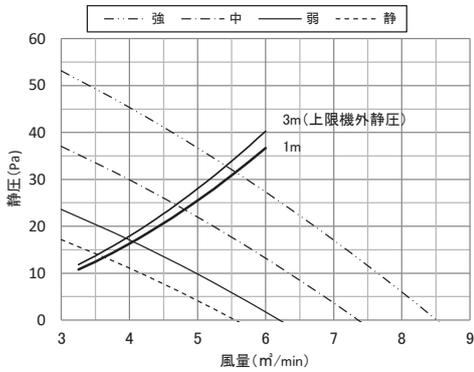
● MBZ-4022AS <暖房時> 風量切換スイッチ「標準」



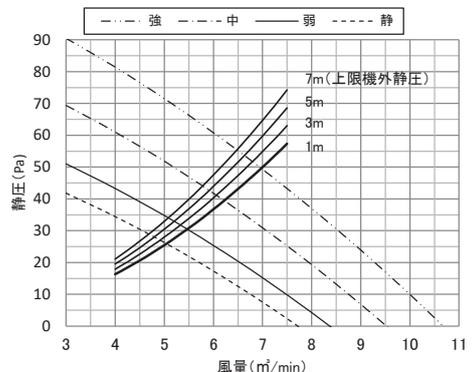
● MBZ-4022AS <暖房時> 風量切換スイッチ「風量UP」



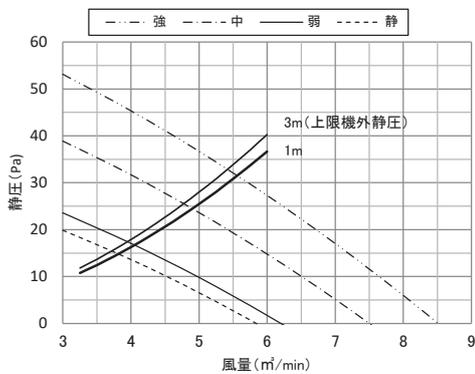
● MBZ-5022AS <冷房時> 風量切換スイッチ「標準」



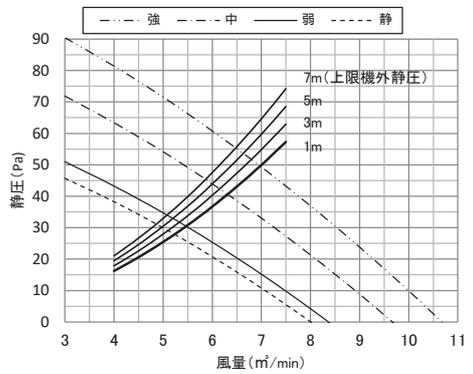
● MBZ-5022AS <冷房時> 風量切換スイッチ「風量UP」



● MBZ-5022AS <暖房時> 風量切換スイッチ「標準」



● MBZ-5022AS <暖房時> 風量切換スイッチ「風量UP」

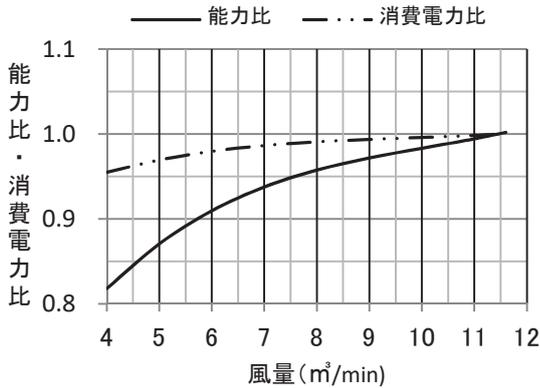


11.2.3 能力・消費電力性能補正曲線

求めた風量から下記補正曲線を使い、能力・消費電力を求めます。

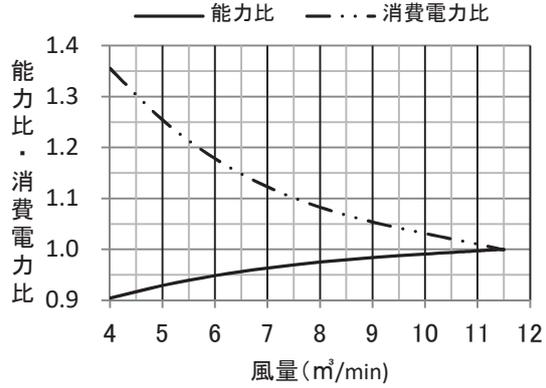
●MBZ-2822AS<冷房>

標準能力 2.8kW 標準消費電力 735W



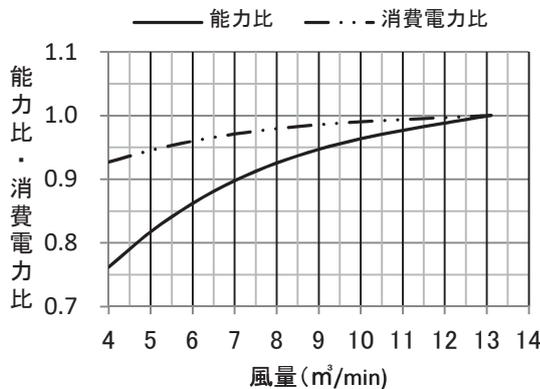
●MBZ-2822AS<暖房>

標準能力 4.0kW 標準消費電力 1015W



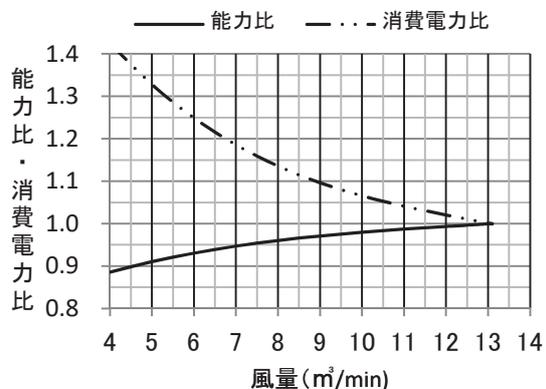
●MBZ-3622AS<冷房>

標準能力 3.6kW 標準消費電力 1050W



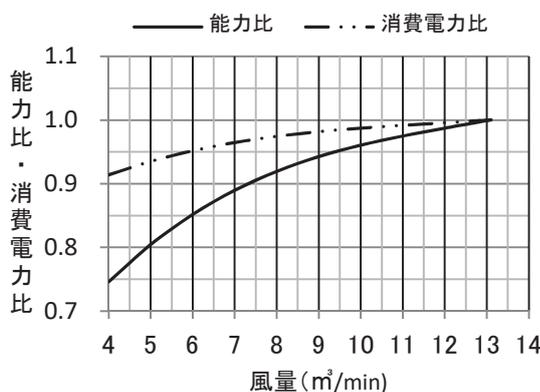
●MBZ-3622AS<暖房>

標準能力 4.8kW 標準消費電力 1270W



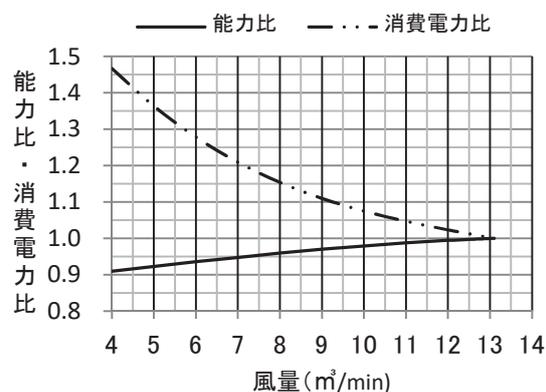
●MBZ-4022AS<冷房>

標準能力 4.0kW 標準消費電力 1220W



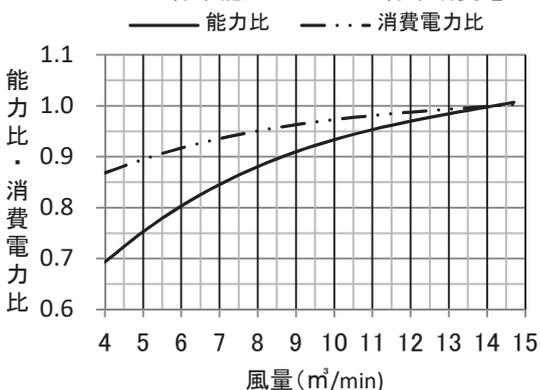
●MBZ-4022AS<暖房>

標準能力 5.6kW 標準消費電力 1700W



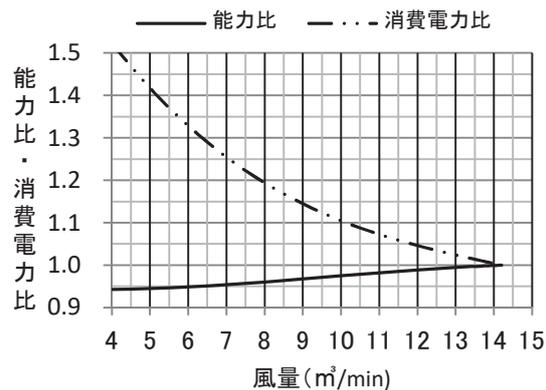
●MBZ-5022AS<冷房>

標準能力 5.0kW 標準消費電力 2230W



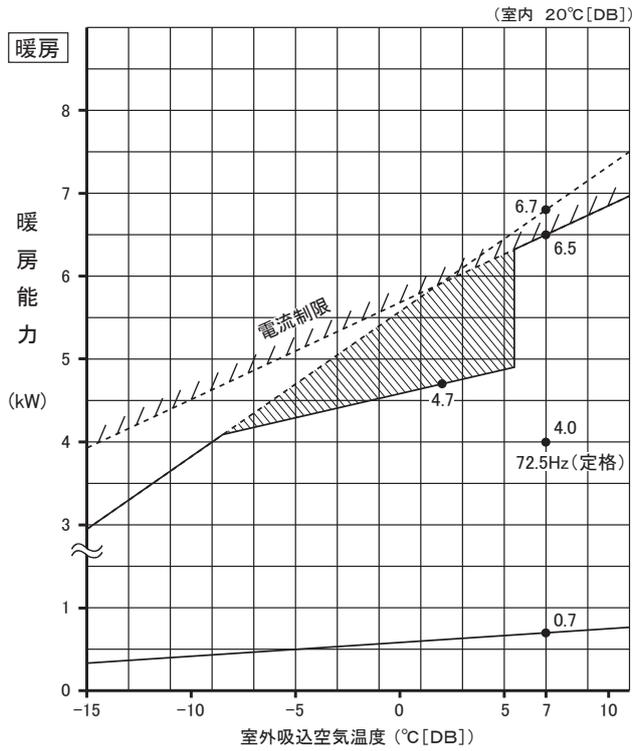
●MBZ-5022AS<暖房>

標準能力 6.3kW 標準消費電力 2020W

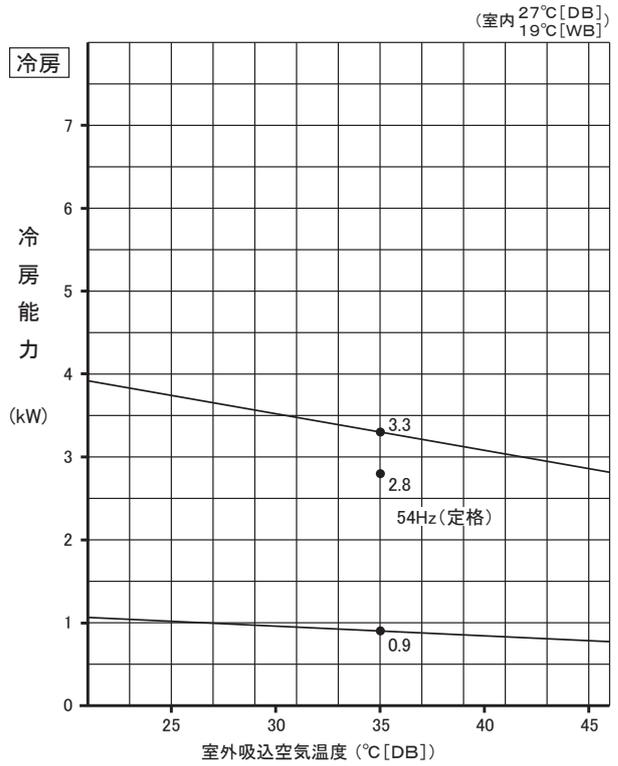


12. 能力曲線図

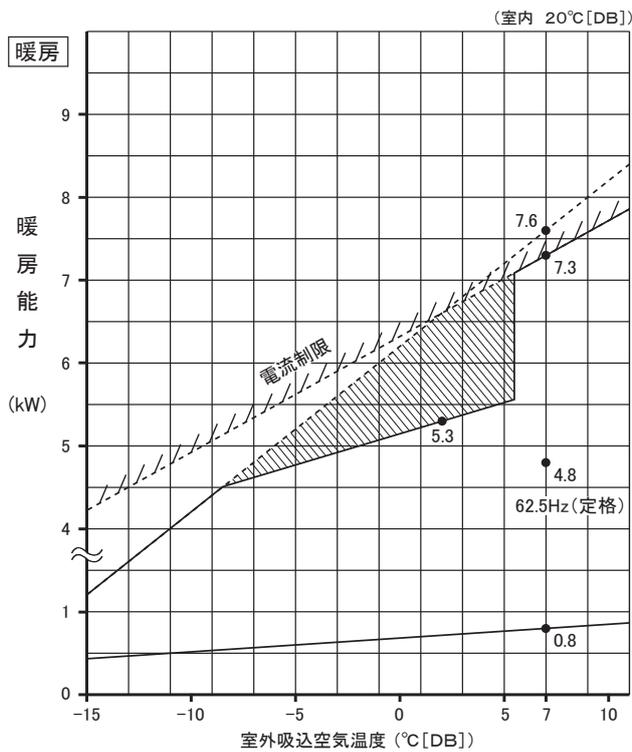
■ MBZ-2822AS



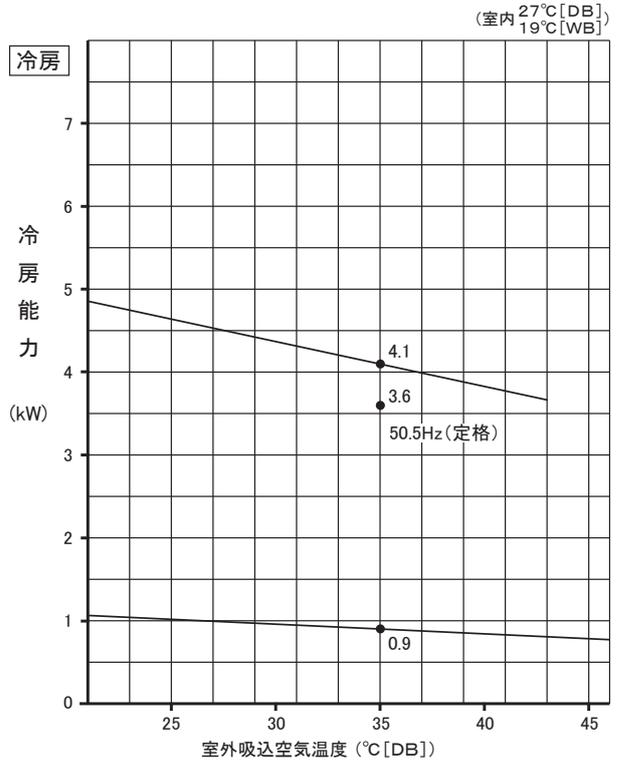
注: は、霜取運転による暖房能力低下分を示します



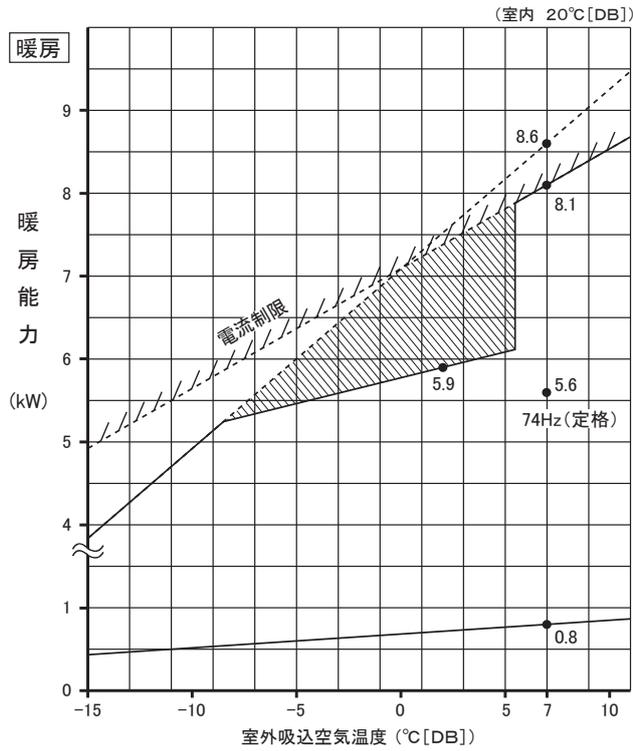
■ MBZ-3622AS



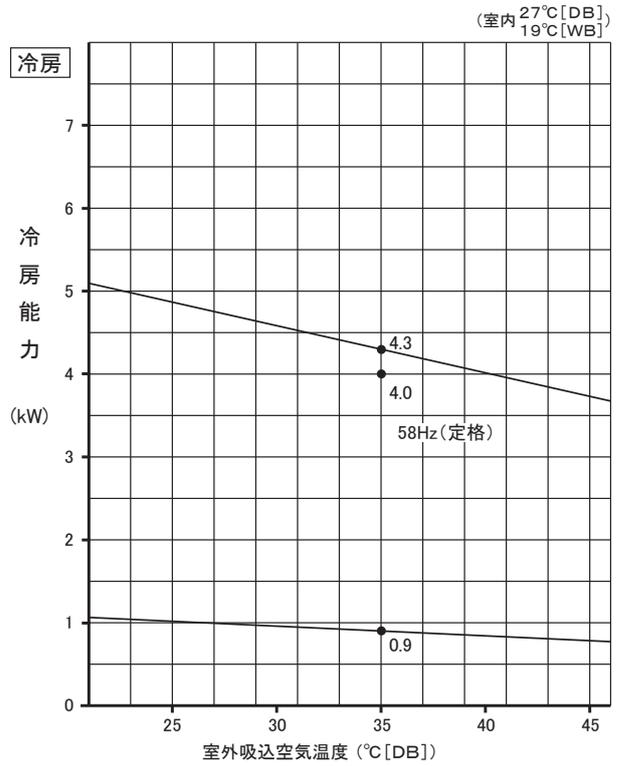
注: は、霜取運転による暖房能力低下分を示します



■ MBZ-4022AS

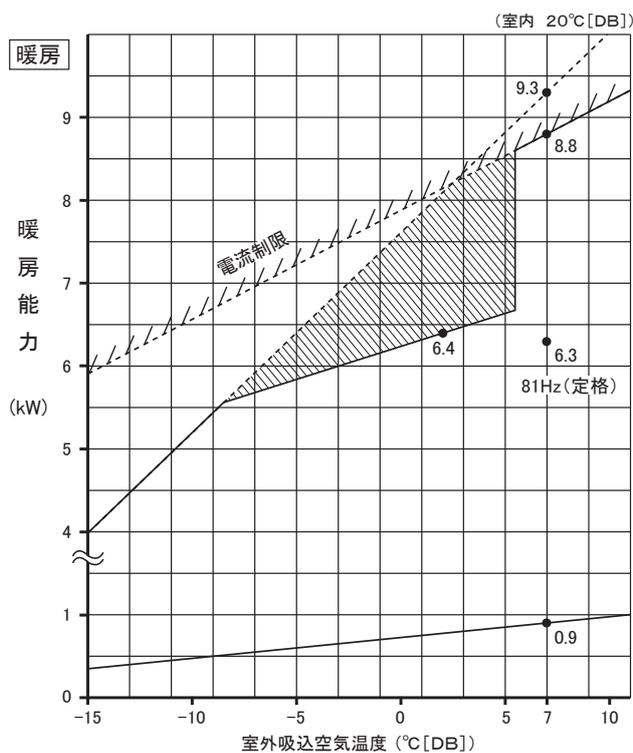


注. 斜線は、霜取運転による暖房能力低下分を示します

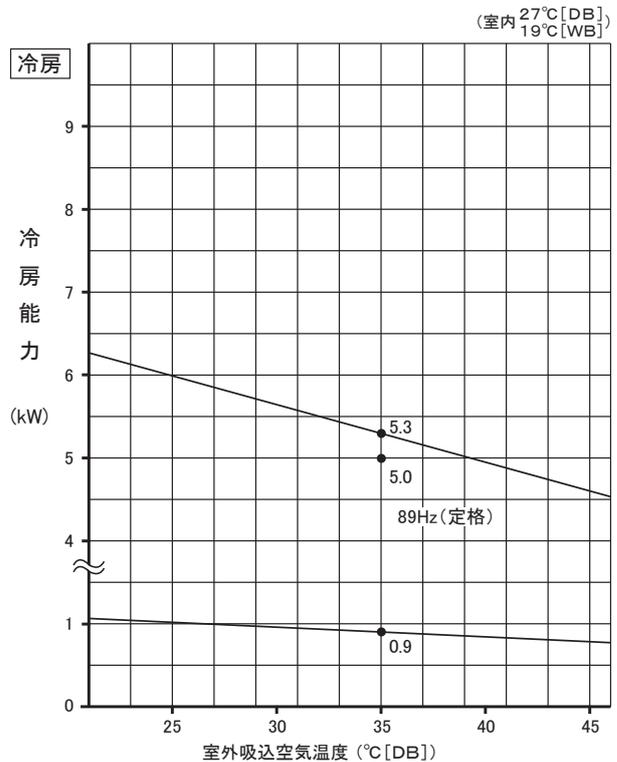


注. 斜線は、霜取運転による暖房能力低下分を示します

■ MBZ-5022AS



注. 斜線は、霜取運転による暖房能力低下分を示します

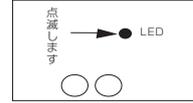


注. 斜線は、霜取運転による暖房能力低下分を示します

(2) インバーター制御基板のLEDモニター表

- 注1. LEDの位置は右図に表示します。
 2. 正常時はLEDが常に点灯しています。
 3. LEDを直視できない場合がありますので、
 右図で示すLED実装近傍を注視し、ご確認ください。

(インバーター制御基板)



現象	LEDの表示	故障モード	検出方法	処置	
室外機運転せず	1回点滅 	室外パワー系異常停止	圧縮機起動から1分以内の過電流保護停止が連続3回発生した場合、または圧縮機の起動失敗保護停止による再起動に24回失敗した場合。	・圧縮機接続コネクタ部の抜け確認 ・インバーター/圧縮機の簡易チェック ・ストップバルブ、冷媒回路、ガス量のチェック	
		室外サーミスター系異常停止	圧縮機運転中にサーミスターがショートまたはオープンした場合、圧縮機を停止する。	・室外サーミスターのチェック ・吐出温サーミスター、フィン温サーミスター、霜取温サーミスターのチェック	
		室外制御系異常停止	不揮発性メモリのデータが正常に読み込めない場合に停止する。 電源電圧または母線電圧が検出できない場合に停止する。	・インバーター制御基板の交換	
	6回点滅		シリアル信号異常停止	室内機と3分間正常に通信ができない場合、シリアル通信異常とする。	・シリアル信号異常のチェック
	9回点滅		異電圧印加異常	200V機種に100V電源が接続された場合、室外機は運転しない。	・電源電圧のチェック
	11回点滅		バルブ閉保護停止	圧縮機電流によりバルブ閉状態を検出する。	・ストップバルブのチェック ・冷媒回路、ガス量のチェック
17回点滅		室外冷媒系異常停止	室内外サーミスターの温度と圧縮機電流により、冷媒回路の閉塞と空気混入を検出する。	・ガス漏れ箇所をチェック(接続配管等) ・ストップバルブのチェック ・室外冷媒回路のチェック	
「室外機が運転停止し、3分経過後再運転する」を繰り返す	2回点滅		過電流保護停止	パワーモジュールに過大な電流が流れた場合、圧縮機の運転を停止し、3分後再起動する。圧縮機起動後10秒以内に発生した場合は、15秒後に再起動を行う。(最大24回)	・圧縮機接続コネクタ部の抜け確認 ・インバーター/圧縮機の簡易チェック ・ストップバルブ、冷媒回路、ガス量のチェック
	3回点滅		吐出温過昇保護停止	吐出温サーミスターの検出温度が116℃以上になった場合に圧縮機の運転を停止し、3分後再起動する。(復帰は吐出温サーミスターの温度が100℃以下になった場合)	・冷媒回路、ガス量のチェック ・LEVのチェック
	4回点滅		フィン温/基板温サーミスター過昇保護停止	インバーターヒートシンク上のサーミスター温度が規定値以上になった場合、または基板温サーミスターの温度が規定値以上になった場合、圧縮機の運転を停止し3分後再起動する。	・室外機周辺をチェック ・通風経路をチェック ・室外ファンモーターのチェック
	5回点滅		高圧過昇保護停止	暖房の場合は室内機の冷媒配管の温度が70℃以上になった場合。冷房の場合は霜取温サーミスターの温度が70℃以上になった場合。	・冷媒回路、ガス量のチェック ・ストップバルブのチェック
	8回点滅		圧縮機同期異常停止	圧縮機電流の歪み量により検出する。	・圧縮機接続コネクタ部の抜け確認 ・インバーター/圧縮機の簡易チェック ・ストップバルブ、パワーモジュール、圧縮機のチェック
	10回点滅		室外ファン保護停止	ファン起動30秒以内のファン異常停止が連続3回発生した場合。	・室外ファンモーターのチェック ・ファンモーター、インバーター制御基板のチェック
	12回点滅		圧縮機相電流保護停止	圧縮機の相電流が正常に検出できない場合。	・インバーター/圧縮機の簡易チェック
	13回点滅		母線電圧検出保護停止	インバーター回路の直流電圧が正常に検出されない場合。	・瞬時停電(落雷等)の有無確認 ・インバーター/圧縮機の簡易チェック
	16回点滅		四方弁切替異常停止	四方弁が正常に切替わらなかった場合。	・四方弁のチェック ・インバーター制御基板の交換
	室外機は運転する	1回点滅		電流保護周波数低下	コンセント電流が約15Aを越えた場合、圧縮機周波数を下げる。
3回点滅			高圧保護周波数低下 冷房霜取り周波数低下	暖房運転時に冷媒配管の温度が55℃を越えた場合、圧縮機の運転周波数を下げる。 冷房運転時に管温サーミスターの温度が8℃以下になった場合に圧縮機の運転周波数を下げ	・冷媒回路、ガス量のチェック ・LEVのチェック ・室外サーミスターのチェック
4回点滅			吐出温度保護周波数低下	吐出温サーミスターの温度が111℃を越えた場合、圧縮機の運転周波数を下げる。	・冷媒回路、ガス量のチェック ・LEVのチェック ・室外サーミスターのチェック
7回点滅			吐出温低下保護	低吐出温状態50℃以下が20分続いた場合。	・冷媒回路、ガス量のチェック ・LEVのチェック
8回点滅			コンバーター保護停止	パワーモジュールに過電流が流れた場合、または母線電圧が過電圧保護レベルまで上昇した場合に、コンバーター制御を停止する。(圧縮機、室外ファンは運転)	次の様な場合は、製品の異常ではありません。 ・瞬時電圧降下(短時間の停電) ・電源電圧が±10%より高いまたは低い ※電源電圧に異常なく保護に入る場合は基板故障の可能性が有ります。 その場合は基板を交換してください。
9回点滅			インバーターチェックモード	圧縮機接続コネクタがはずれている場合、インバーターチェックモードに入ります。	・圧縮機接続コネクタ抜けの確認 ・インバーター/圧縮機の簡易チェック

2022年度版
フリービルトインタイプ
設計・施工用資料集(総集編)